

191-TB03 型(自立運転機能付き)

型式名 TM1-AD-NP (都市ガス 13A)

136-CF02 型

型式名 FCG-202-DR

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証登録カードは販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、メンテナンス会社または大阪ガスにご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

UM-FCQ12-022-f

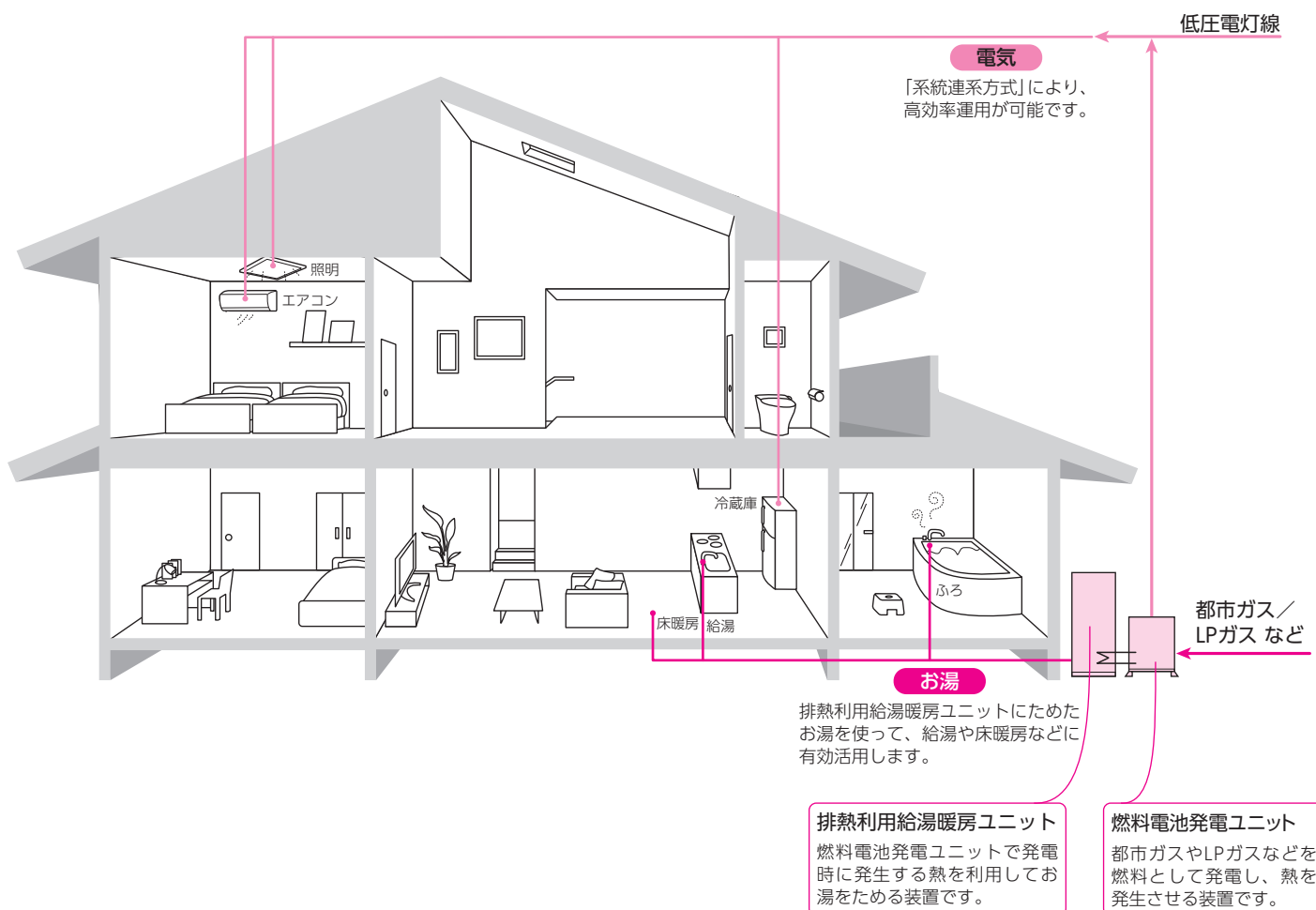
も く じ

ページ

ごま ずは じめ に さ い	特 長	1
	エネファーム(家庭用燃料電池システム)とは	2
	安全に正しく使用していただくために	4
	使用上のお願い	12
	各部の名称とはたらき	
	燃料電池発電ユニット	14
	排熱利用給湯暖房ユニット	15
	リモコンセット	16
の使 用 準 備	インターホンリモコンセット	20
	機能設定について	24
	表示について	26
給 湯 ・ ふ ろ 運 転	設置状態の確認	27
	ご使用前の準備と確認	28
	日付・時刻の設定	30
	給 湯	34
	ふろ自動運転	36
	ふろ自動運転の予約時刻の設定	38
	ふろ自動運転の予約	40
	ふろ水位の設定	41
	保温時間の設定	42
	湯はり中断の設定	44
暖 房 運 転	追いだし運転	46
	たし湯運転	47
	たし水運転	48
	ふろ温度の設定	48
発 電 運 転	浴室暖房運転と予約運転	49
	浴室暖房運転の予約時刻の設定	51
	暖房静音時間の設定	53
	暖房運転の設定	55
ル エ ネ ッ ク	発電モードの設定	57
	ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)	59
	経済的な運転をしたい場合	60
	暗証番号について	62
そ の 他 の 機 能	停電時に電気を使う	63
	エネルギー表示について	67
	エネルギー表示	70
	エネルギー表示の設定	74
	呼び出し・インターホン	88
	リモコンの設定	92
	配管クリーンの設定	110
	連絡先の登録・表示	112
故 障 か な ?	音声ガイド一覧	114
	長く使っていただくために	116
	冬期の凍結による破損防止について	121
	長期間使用しない場合	121
	災害時などにお湯を取出す方法	124
	故障・異常の見分けかたと処置方法	
仕 様	修理を依頼する前に	125
	故障表示	130
	運転動作モード一覧表	135
	安全装置	135
	異常時の処置方法	136
ア フ タ ー サ ー ビ ス	仕 様	137
	アフターサービス	139
	保証書	巻末

特 長

- 燃料電池発電ユニットで発電したお得な電気が使用できます。
 - 貯湯タンクに貯めた水を燃料電池発電ユニットで発電したときに発生する排熱を利用して沸かし、給湯に利用します。
 - 各家庭の電気の利用状況を判断し、自動的に燃料電池発電ユニットで発電を行います。＜省エネ運転＞
 - リモコンの表示と音声で電気と熱の利用状況をお知らせします。＜エネルギー機能＞
 - 台所リモコンと浴室リモコンで通話ができます。(インターホン機能付リモコンのみ)
 - お湯が足りないときは補助熱源機でお湯を沸かすことができます。
 - 断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。[124ページ](#)
 - 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、燃料電池発電ユニットは発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使うことができます。＜自立運転機能＞ [63ページ](#)
- ※ 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 自立運転機能で使える電気の量は約350Wです。
 - ※ 排熱利用給湯暖房ユニットで使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は350Wよりも少なくなります。
 - 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
 - 自立運転専用コンセントには「**エネファーム自立運転専用**」と表示されています。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。



ごま
ずは
じめ
に
さ
い

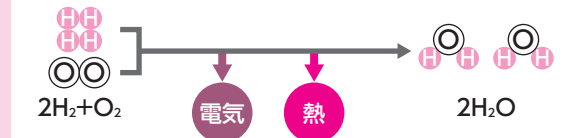
エネファーム(家庭用燃料電池システム)とは

発電のしくみ

都市ガスやLPガスから水素を取り出し、酸素と反応させて発電します。同時に発生する熱でお湯も沸かして給湯できるので、効率的です。

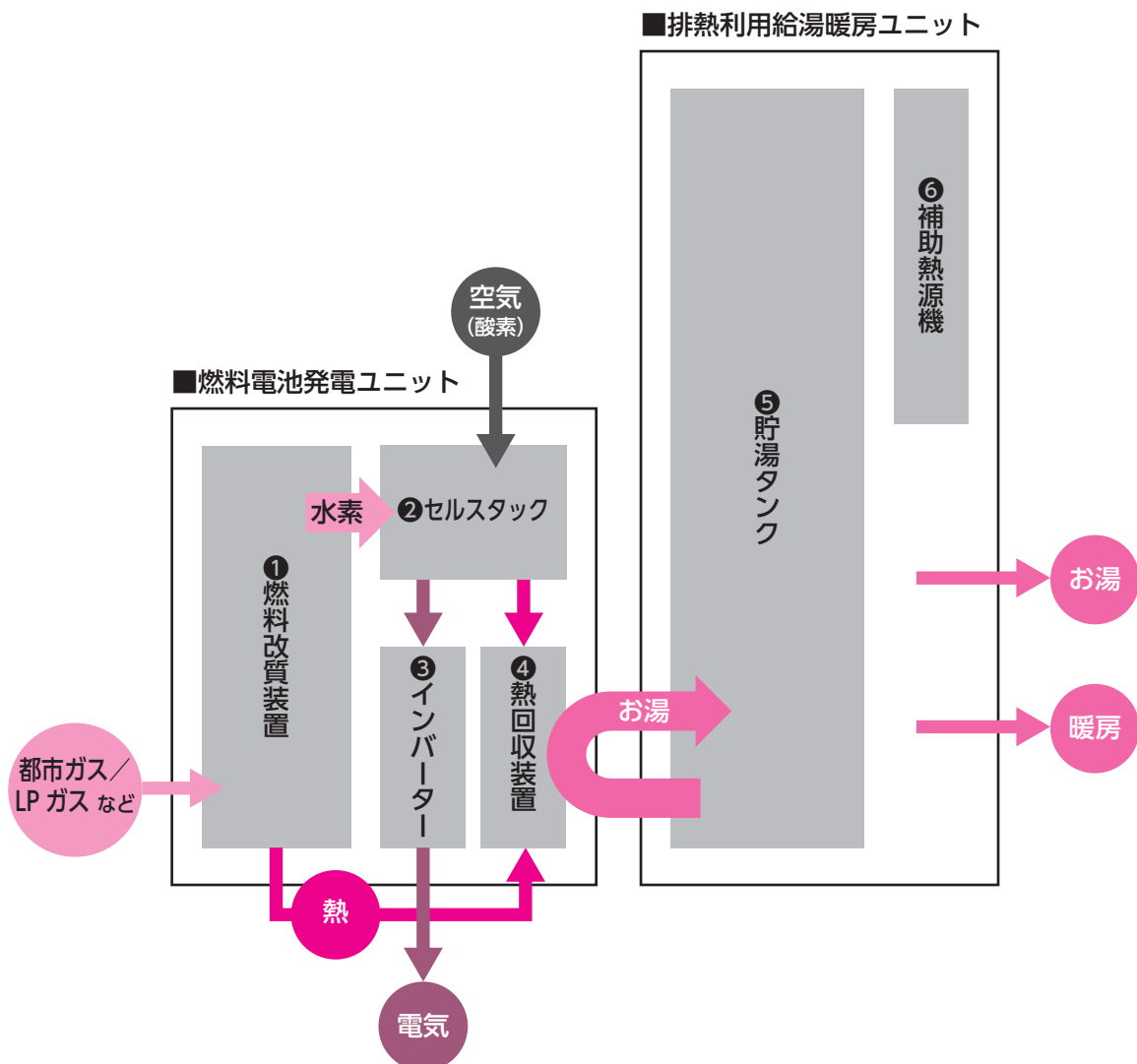
電気化学反応のイメージ

- セルスタックの中で水素と空気中の酸素を反応させて、直流電気を発生します。



システムの構成

創り出した電気と熱をご家庭の電気機器や給湯などに利用することができます。



①燃料改質装置

都市ガス／LPガスなどから水素を取り出します。

②セルスタック

水素と空気中の酸素を使って直流電気を発生させます。

③インバーター

発生した直流電気を交流に変換します。

④熱回収装置

セルスタックや燃料改質装置から熱を回収し、温水を作ります。

⑤貯湯タンク

回収したお湯をためておき、給湯需要がある時に供給します。

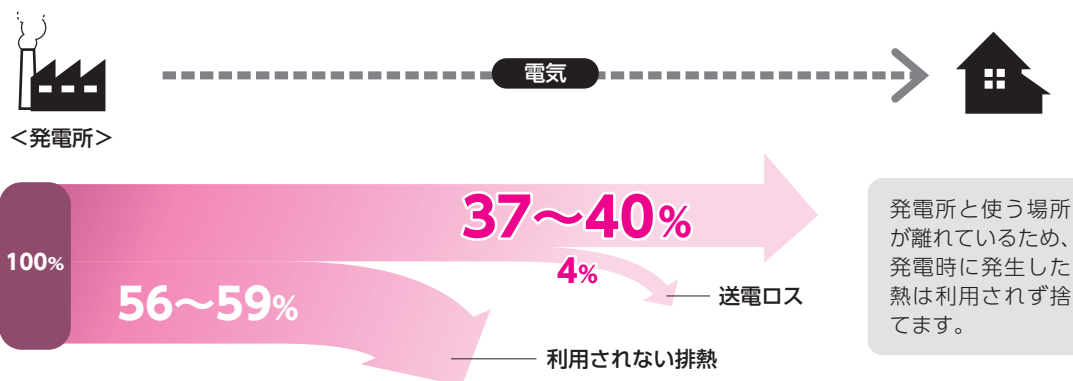
⑥補助熱源機

貯湯タンク内の温水で足りない場合、ガスでお湯を沸かします。

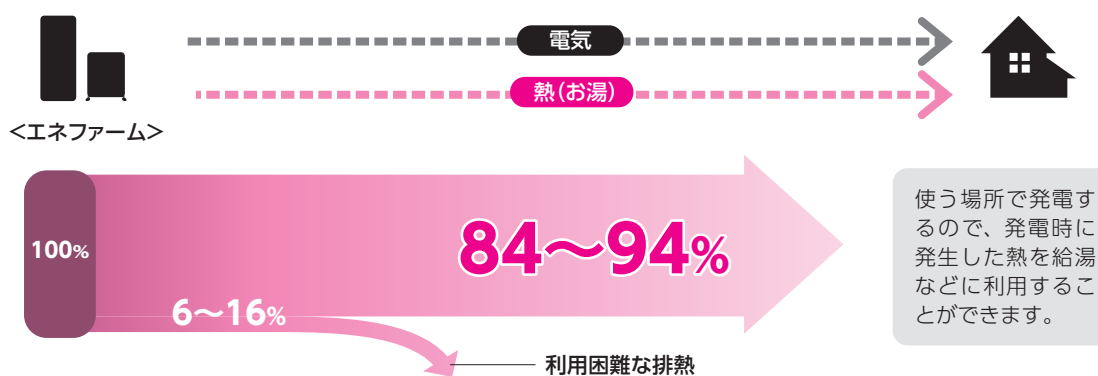
エネルギーの利用効率

- 電気を使う場所で発電するので、送電ロスがありません。また、従来の発電方式では捨てていた、発電の際に発生する熱もお湯として利用できるので、エネルギーを効率よく使えます。
- 同じ量の電気と熱を使う場合、これまでよりCO₂の排出が少なくなります。

従来のシステム






エネファーム



まずはじめに
ご確認ください

安全に正しく使用していただくために

- ご使用の前に、この「安全に正しく使用していただくために」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		一般的な禁止	注 意		一般的な危険・警告・注意	指 示		必ず行うこと
		接触禁止			火災注意			アースを接続すること
		分解禁止			感電注意			電源プラグを抜くこと
		火気禁止			高温注意			
		濡れ手禁止						

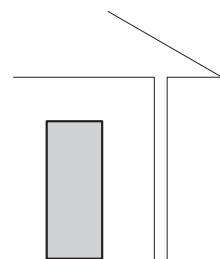
 は参考になるページです。

設置について

危険 (DANGER)

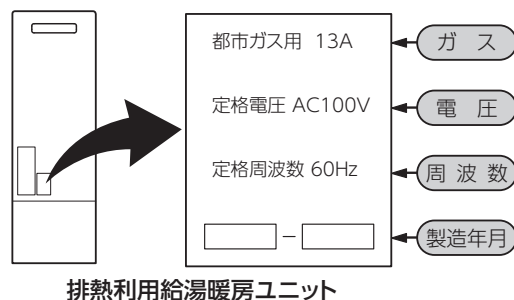
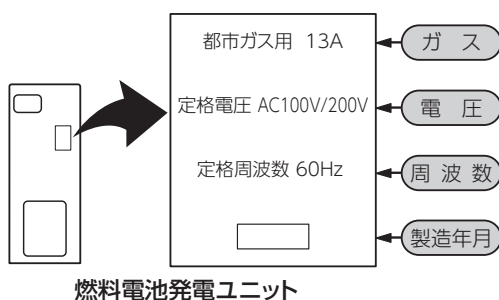
屋内や浴室内への設置禁止

屋外設置型ですので、絶対に屋内や浴室内には設置しないでください。
不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因になります。



警告 (WARNING)

ガスの種類・電源の確認 (不完全燃焼・爆発着火・火災・故障の原因)



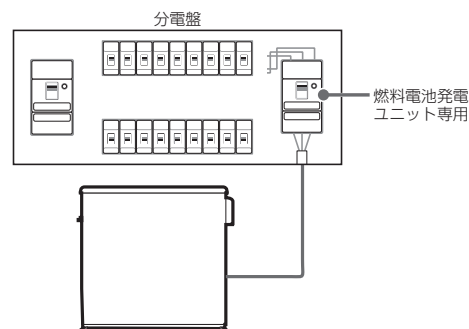
必ず機器の銘版に表示してあるガスの種類 (ガス種・ガスグループの区分)、電圧、周波数で使用してください。
銘版は図の位置に貼ってあります。

警告(WARNING)

燃料電池発電ユニット専用のブレーカが 設けられていることを確認する

事故の原因になります。

- 分電盤に「発電設備専用」と、表示されていることをご確認ください。

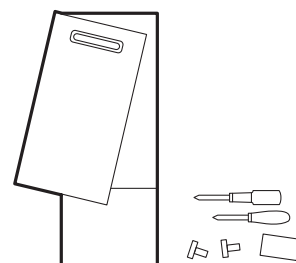


設置・移設・修理の注意

機器やリモコンの設置・移設・付帯工事・修理をする場合は、必ず担当のメンテナンス会社に依頼してください。また、分解や改造を行わないでください。

火災・感電・事故の原因になります。

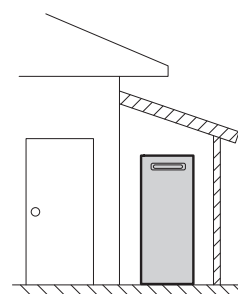
移設など	必要な電力会社への手続き
増改築による移設の場合 (電気の使用場所に変更のない場合)	変更手続き
引っ越しによる移設 (電気の使用場所に変更のある場合)	引っ越し前：連系廃止手続き 引っ越し後：連系申請手続き
引っ越しなどによる廃止	連系廃止手続き



囲い禁止

設置後、機器や排気部を波板やビニルなどで囲んで屋内状態にしないでください。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



ガス配管の接続

この機器のガス配管はねじ接続です。ガス配管の接続工事には専門の資格、技術が必要ですので、メンテナンス会社または大阪ガスに依頼してください。

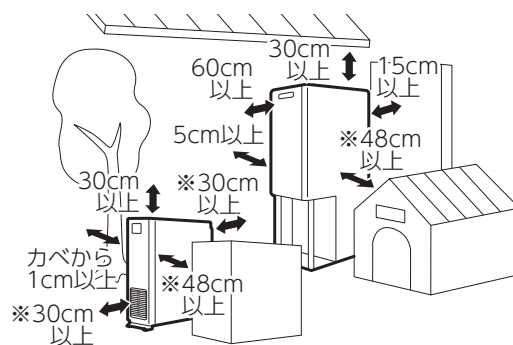
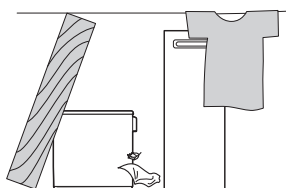


可燃物に注意

機器や排気部の周囲に紙や木材など燃えやすい物を置かないでください。

また、スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。火災の原因になります。

(※はサービススペースとして必要な距離です。)



引火のおそれがあるものの使用禁止

機器や排気部の周囲ではスプレー・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがあるものを置いたり、使用したりしないでください。火災の原因になります。



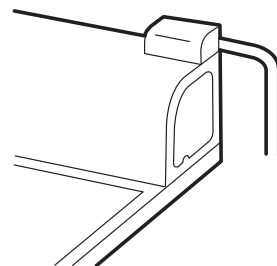
まずはじめに
ご確認ください

安全に正しく使用していただくために

⚠ 警告 (WARNING)

太陽熱温水器との接続禁止

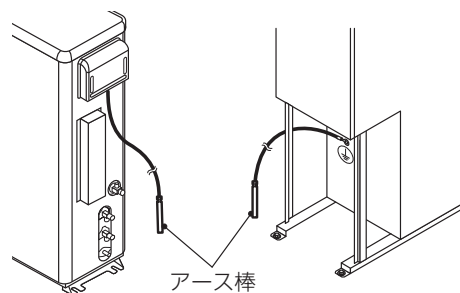
太陽熱温水器と接続することはできません。



⚠ 注意 (CAUTION)

アースの確認

この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。(D種接地工事)



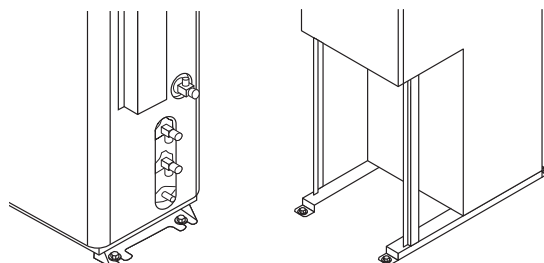
指定の機器と接続すること

指定の燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニット以外の機器は、接続しないでください。故障・やけどの原因になります。



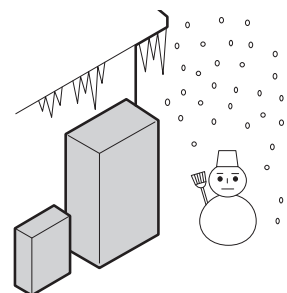
機器の固定確認 (事故の原因)

機器がアンカーで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。



凍結予防について

冬季には凍結に充分注意し、凍結予防の処置を行ってください。



自立運転出力のコンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用のコンセントが必要です。自立運転専用コンセントには「エネファーム自立運転専用」「最大電流 3.5A」と表示されていることを確認してください。

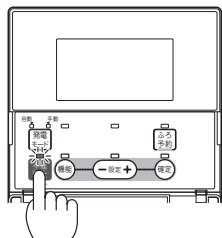


エネファーム自立運転専用
最大電流3.5A

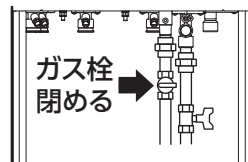
使用について

⚠ 危険 (DANGER)

ガス漏れに注意



燃料電池発電ユニット



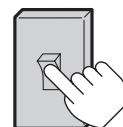
排熱利用給湯暖房ユニット



ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用を中止して、換気をしてください。不在停止スイッチを約3秒間押してガス発電・給湯暖房機を停止し、ガス栓を閉め、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご連絡ください。

絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇・電灯など)の「入・切」はしないでください。
また長期間使用しない場合は、必ず「長期間使用しない場合」に従ってください。

121ページ



まずはじめに
ご確認ください

⚠ 警告 (WARNING)

吸排気口をふさがない

不完全燃焼や火災の原因になります。

●積雪時には、吸排気口がふさがれていないことをご確認ください。



やけどに注意



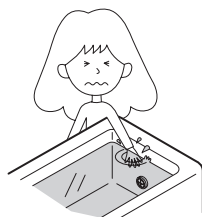
シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手で湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。



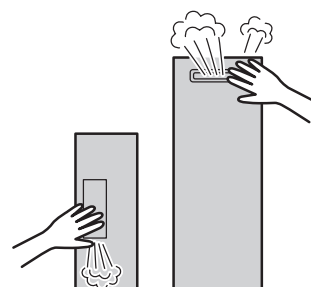
床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間、座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こすおそれがあります。

特に次のようなかたが使用する場合はまわりのかたが注意してください。

(乳幼児や自分の意志で体を動かせないかた
疲労の激しいとき・お酒や睡眠薬を飲まれたかた
皮膚や皮膚感覚の弱いかなど)



沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱い湯が出ますので、注意してください。
また、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合がありますので、充分にかき混ぜてから手で湯温を確認してください。



使用中や消火直後は機器の排気部が高温になっています。
絶対に手を触れないでください。

安全に正しく使用していただくために

⚠ 警告 (WARNING)

排気口などの開口部に金属類や
燃えやすいものを入れない

感電、火災の原因になります。



機器の排気に顔を近づけたりしない

一酸化炭素中毒の原因になります。

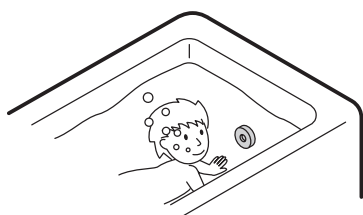


給湯中の外出や就寝禁止 (火災の原因)



お湯を出したまま外出や就寝は絶対にしないでください。

子どもに注意



循環口付近でもぐらないでください。髪の毛などが吸い込まれて事故やけがをするおそれがあります。特に小さなお子様には注意してください。

機器に無理な力を加えない



機器の上に乗ったり、植木鉢などを置いたりしないでください。また、配管・配線に無理な力を加えないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

排熱利用給湯暖房ユニット内のお湯を排水するときはやけどに注意

やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。
冷めていないと高温水が排水される場合があります。



自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器



自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの大事故になるおそれがあります。



自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電気が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリットが損なわれます。



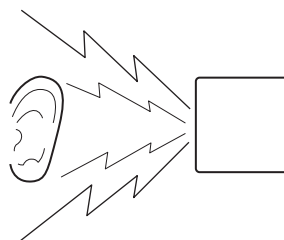
⚠ 注意 (CAUTION)

不凍液に注意



不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、すみやかに医師の診断を受けてください。

リモコンに耳を近づけて使用しない



大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

用途に注意

一般家庭の給湯・シャワー・追いだき・暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。



パネルヒーターに注意

パネルヒーターの表面は高温になるので触らないでください。やけどのおそれがあります。特に小さなお子様のいる家庭では注意してください。



床暖房の使用について

床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ・そり・すき間の原因になります。またカーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



まずはお読みください
ご確認ください

その他

⚠ 警告 (WARNING)

異常時の処置

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。

この処置を行った場合は使用できません。

ガス漏れの場合は、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差し、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 換気をする

ガス漏れの場合はすぐに使用を中止して、換気してください。ただし、換気扇は回さないでください。十分に換気してから「2」以下を行ってください。

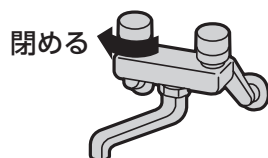
2 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

3 給湯栓を閉める

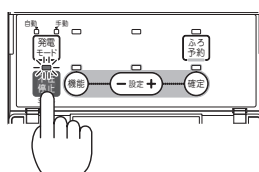


4 不在停止スイッチを約3秒間押す(ガス発電・給湯暖房機の全停止)

不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。

発電はすぐに停止しません。

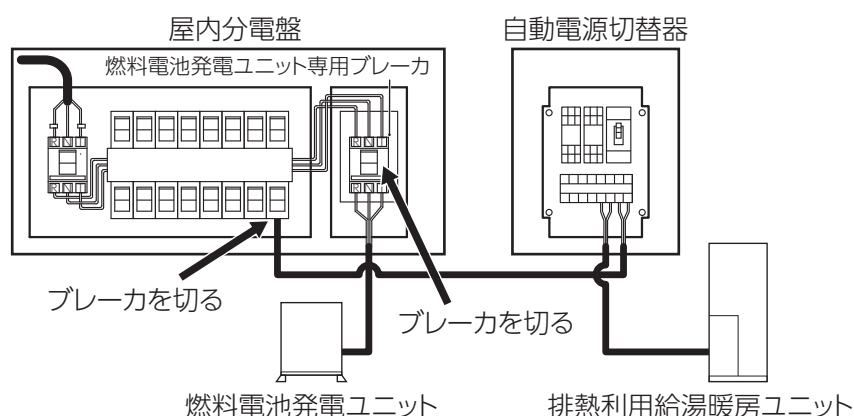
緊急の場合はすぐに「5」以下を行ってください。



59ページ

5 ブレーカを切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから行ってください。



6 ガス栓や給水元栓を閉める



7 担当のメンテナンス会社に連絡する

警告 (WARNING)

定期点検を実施する

事故・故障の原因となります。

●定期点検は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご依頼ください。



機器の廃棄に関する注意

事故の原因になります。

●廃棄する場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡してください。



循環アダプターのフィルターは必ずつける

循環アダプターのフィルターをはずして使用しないでください。ふろポンプに髪の毛やゴミがつまり故障の原因になります。



注意 (CAUTION)

配管カバーをはずした際の注意


配管カバーをはずした場合、作業終了後には、化粧ねじをしっかりと締めてください。思わぬ事故の原因になります。



逃し弁の確認

排熱利用給湯暖房ユニットの逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。「長く使っていただくために」に従って作動テストを行ってください。



116ページ 

機器取換え時の注意

機器を取換えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。



必ず
ご確認
ください

お願い (NOTICE)

指定された別売部品以外は使用しない

(故障の原因)

必ず指定された別売部品を使用してください。

落雷のおそれがあるときの処置 (故障の原因)

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに「**ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)**」を行い、燃料電池発電ユニット専用ブレーカ および 自動電源切替器のブレーカを切ってください。雷がやんだ後は、ブレーカをもとに戻してください。

59ページ

電源について

凍結予防運転のために電気を使用しています。緊急の場合以外はブレーカーを切らないでください。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

125～136ページ

リモコンについて

リモコンに故意に水やシャンプーなどをかけないでください。またお子様がいたずらしないように注意してください。故障・作動不良・音声異常の原因になります。

リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

リモコンを掃除するときはシンナー・ベンジン・酸性洗剤などを使用しないでください。変色や変形の原因になります。

リモコンの使用環境温度は-10～60℃の範囲です。

点火・着火・消火の確認

リモコンの補助熱源機燃焼表示で点火・着火・消火を確認してください。

リモコンの設置場所について

インターホン機能付のリモコンは台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするとうハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、担当のメンテナンス会社に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

石けんの使用禁止

浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

長期間使用しない場合の処置

しばらく使用しない場合は「**ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)**」を行ってください。長期間(1ヶ月以上)使用しない場合、または電源を切る場合は必ず水抜きを行ってください。

59・121ページ

機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用しないで、雑用水として使用してください。

●飲用する場合は下記の点に注意し、必ず沸騰させてから使用してください。

・必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。

・熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。

・固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しないですぐに担当のメンテナンス会社や販売店、またはもよりの大阪ガスへ点検を依頼してください。

停電時の注意

燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気を使うことができます。

63ページ

燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合、停電中は発電することができませんが、停電復帰後は自動で運転を再開します。なお、約24時間以上停電した場合は、暗証番号の入力、日付・時刻の設定を行ってください。また、冬期の場合は凍結予防のため水抜きを行ってください。

121ページ

自立運転の状況によっては、暗証番号の入力、日付・時刻の設定が必要となる場合があります。

配管バルブを閉じない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉じないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

ドレン配管のつまりに注意

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などで詰まらせないでください。故障の原因になります。

吸気口の近くで薬剤散布や塗装作業をしない

故障の原因になります。

ごま
ずは
じめ
に
い
ご
確
認
く
だ
さ
い

各部の名称とはたらき

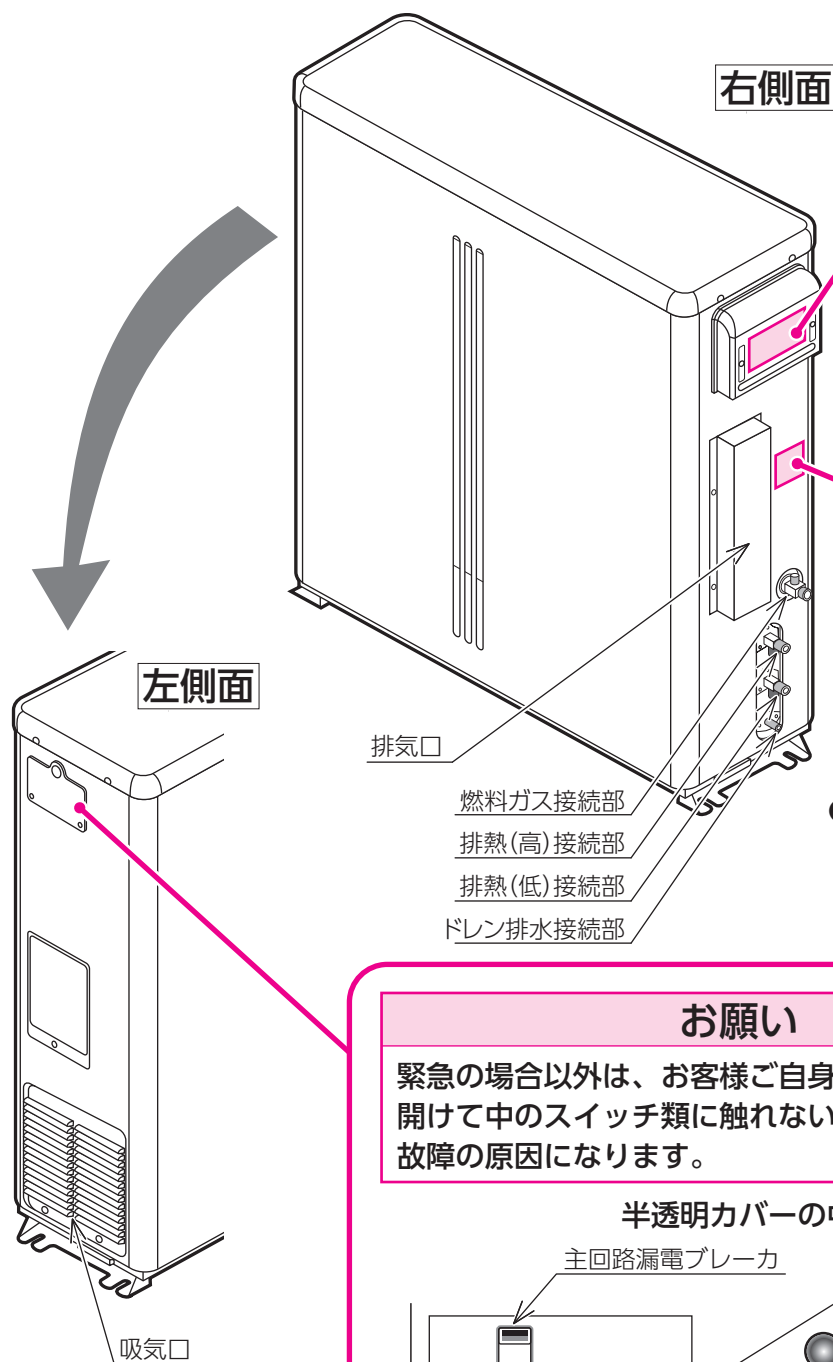
燃料電池発電ユニット

- 吸気口は左側面にあります。内部の換気と発電に必要な空気はここから取り入れます。
- 排気口は右側面にあります。排気は下方方向に排出されます。
- 本体ブレーカ(電源：主回路漏電ブレーカ)は、左側面の半透明カバーの中にあります。
- 発電している時は、半透明カバーの中の運転表示ランプが緑色に点灯します。

なお、自立運転中は以下のように点滅します。



- 起動中、または停止中のときは、運転表示ランプがゆっくり点滅(3秒ごと)します。



安全ラベル「警告」



感電のおそれあり
開放する際は停電確認のこと
自立運転機能付き燃料電池発電ユニットは、停電時も発電しています
開放する際は停電確認および運転停止していることを確認してください

安全ラベル「危険」



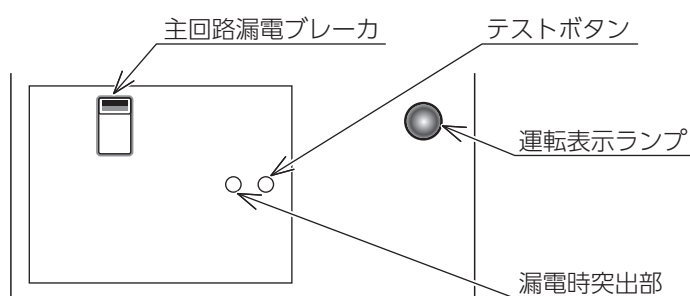
- 全体を覆わないこと
周囲を板などで覆わないでください。換気不良による異常な温度上昇により、火災のおそれがあります。
- 吸排気口を塞がないこと
吸排気口を塞がないでください。正常な運転が継続できず、火災のおそれがあります。

- この機器に貼ってあるラベルが汚れや破れ、紛失などで読めなくなった場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡して新しいラベルに貼り換えてください。

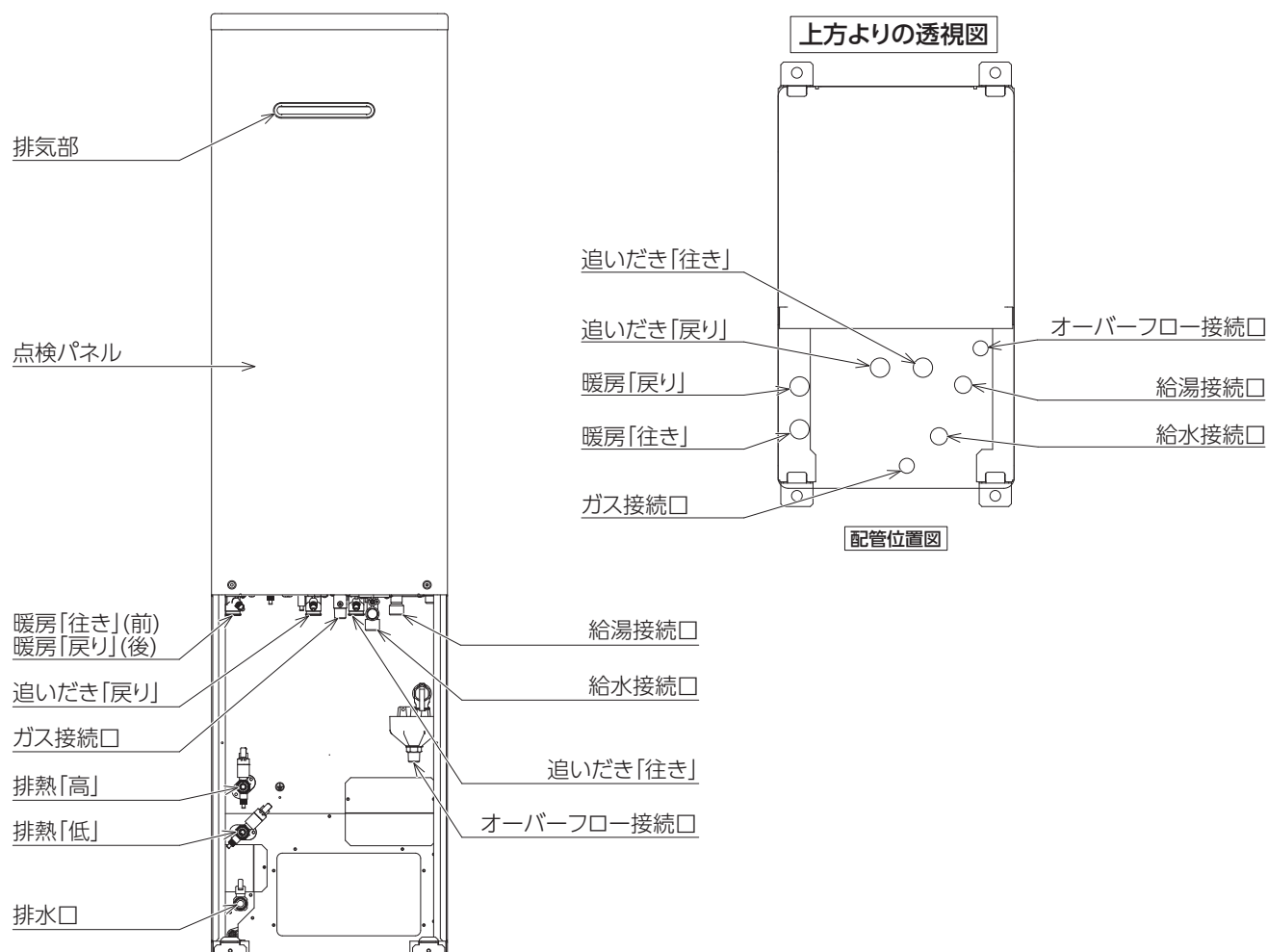
お願い

緊急の場合以外は、お客様ご自身で半透明カバーを開けて中のスイッチ類に触れないでください。
故障の原因になります。

半透明カバーの中



排熱利用給湯暖房ユニット



まずはじめに
ご確認ください

各部の名称とはたらき

リモコンセット(138-C370)

●台所リモコン

①ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。

点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。

点灯…保温運転中です。

②給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

③エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

④給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。

「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度を高くする。

▼…温度を低くする。

温度調節範囲…約32～60℃

32℃・35℃・37～48℃

(1℃ごと)・55℃・60℃

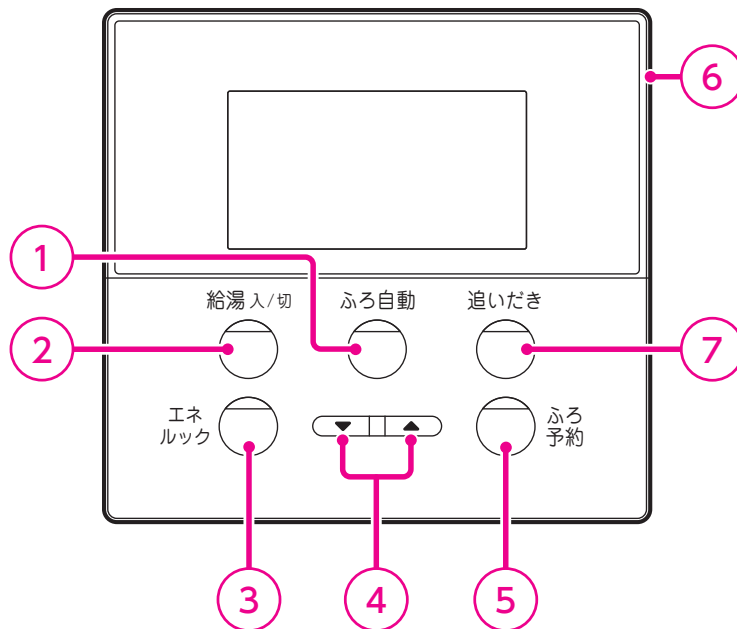
に設定できます。

⑤ふろ予約スイッチ (ふろ予約ランプ)

ふろ自動運転を予約するときに押します。

点灯…ふろ自動運転を予約中です。

ふたを閉じた状態です。



⑥スピーカー

ここから音声や音が出ます。

⑦追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

⑧発電モードスイッチ

発電モードを切換えるときに押します。

自動…自動モード中です。

通常はこの状態でご使用ください。

手動…手動モード中です。

57 ページ

⑨不在停止スイッチ (不在停止ランプ)

ガス発電・給湯暖房機の全停止をするときに押します。

⑩機能スイッチ

予約時刻・現在時刻・保温時間・単価などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑪設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。

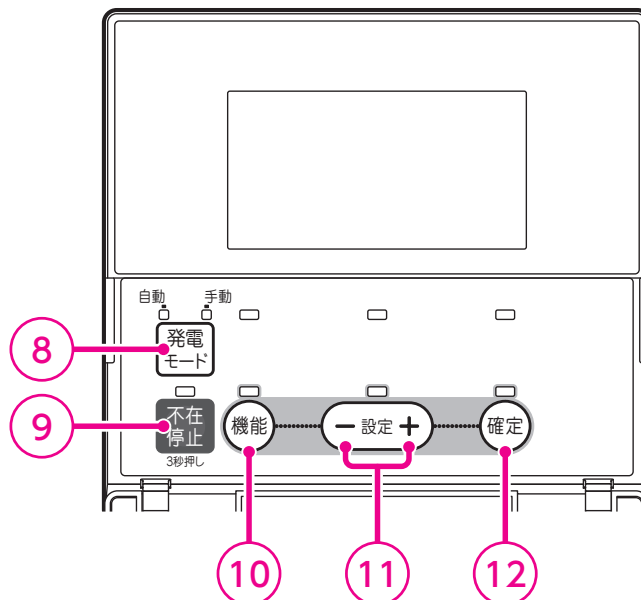
+…進む。

-…戻る。

⑫確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

ふたを開いた状態です。



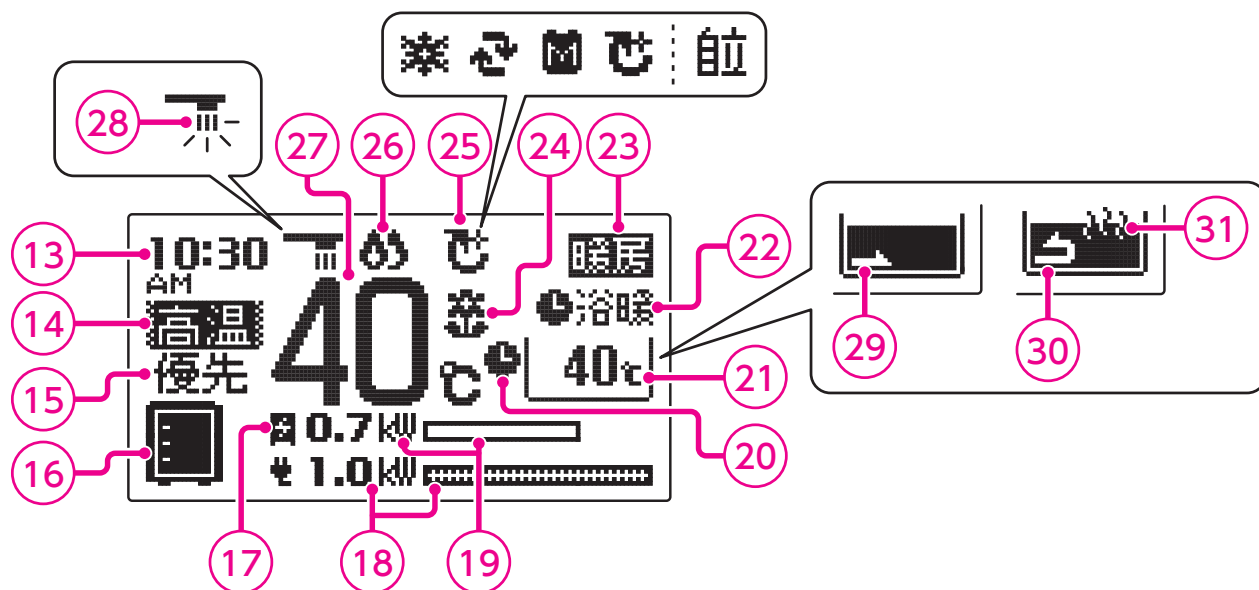
音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

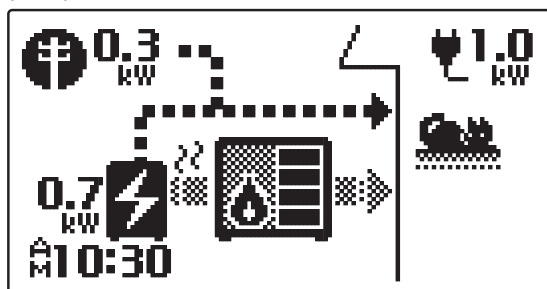
表示画面

●給湯スイッチを「入」にしたときの表示

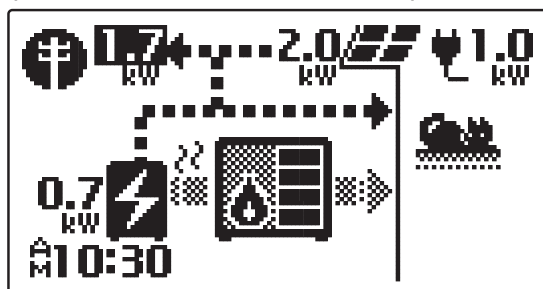


●給湯スイッチを「切」にしたときの表示 84・85ページ

エネルギーモニタの表示を「エネルギー+待機」にしたとき
(通常)



(太陽光発電システムを接続したとき)



一部異なりますが、エネルギー表示のエネルギーモニタと同じ表示画面になります。 69ページ

⑬現在時刻表示 現在時刻を表示します。	⑱電気使用量表示 ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。	㉓暖房表示 点灯…暖房中です。	㉗給湯温度表示 給湯設定温度を表示します。
⑭高温表示 給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。	⑲発電量表示 発電量を表示します。	㉔達成マーク表示 エネルックで設定した目標値の達成度を表示します。 26ページ	㉘給湯中表示 点滅…給湯中です。
⑮優先表示 「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。	㉚ふろ予約表示 ふろ自動運転の予約中に表示します。	㉕排熱利用給湯暖房ユニット状態表示 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。 26ページ	㉙お湯はり表示 ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。
⑯貯湯量表示 貯湯量を表示します。 26ページ	㉛ふろ温度表示 ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。 お湯はり表示・追いだし表示中・保温表示中は表示しません。	また自立運転中に「自立」を表示します。 66ページ	㉚循環表示 追いだし中です。
⑰発電表示 発電状態を表示します。 26ページ	㉜浴室暖房表示 浴暖…浴室暖房乾燥機の運転中に表示します。 浴暖…浴室暖房乾燥機の予約中に表示します。	㉞補助熱源機燃焼表示 点灯…補助熱源機が燃焼しています。	㉛保温表示 保温運転・追いだし中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
 発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

まずはじめに
ご確認ください

各部の名称とはたらき

●浴室リモコン

①給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。

点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。
点灯…保温運転中です。

③追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

④たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯をするときに押します。
たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

⑤呼出スイッチ (呼出ランプ)

台所リモコンを呼び出すときに押します。
呼出ランプが約3秒間点灯し、台所リモコンから音声が出ます。

⑥スピーカー

ここから音声や音が出ます。

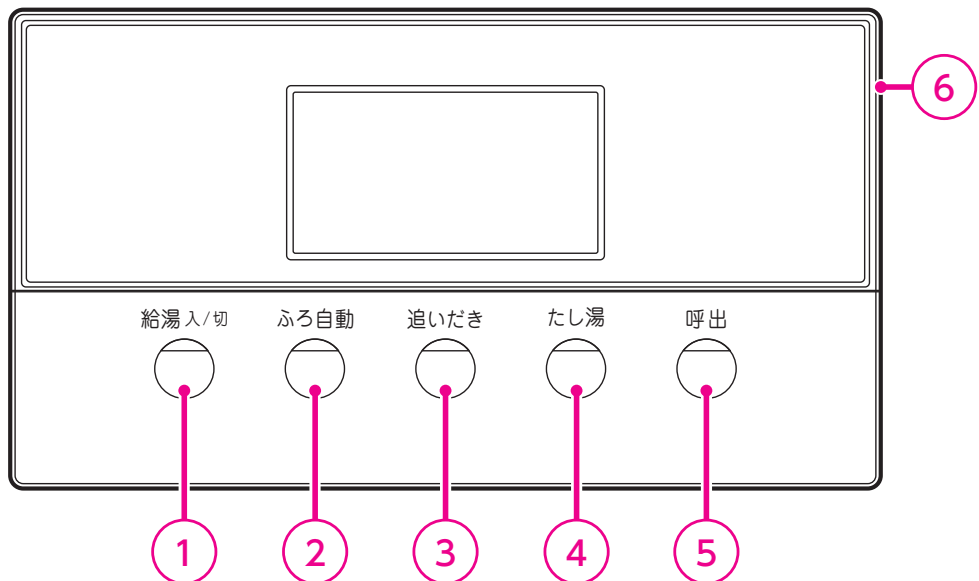
⑦給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。
「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。

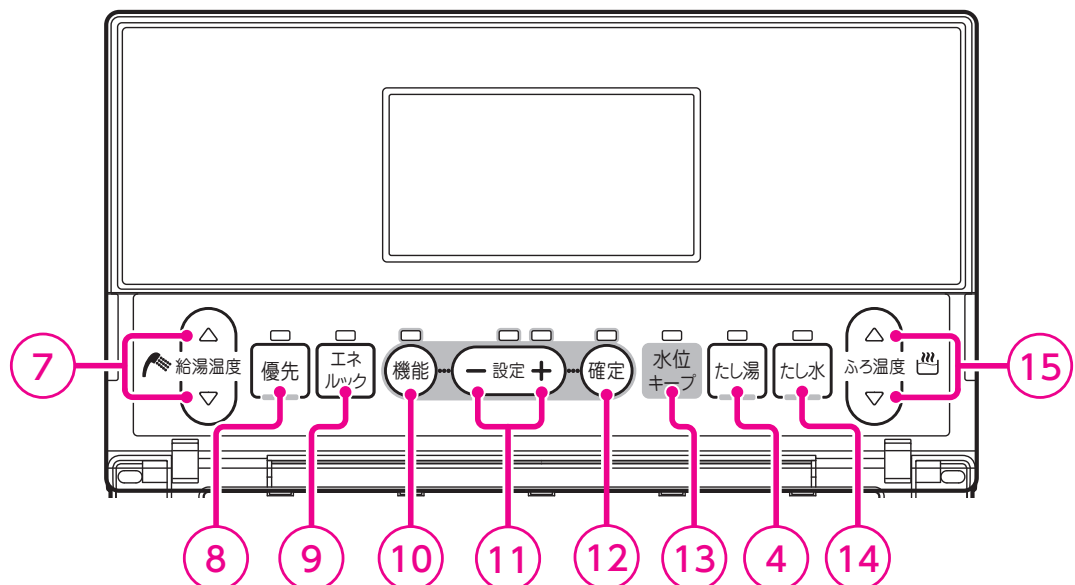
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。

温度調節範囲…約32～60℃
32℃・35℃・37～48℃
(1℃ごと)・55℃・60℃
に設定できます。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。

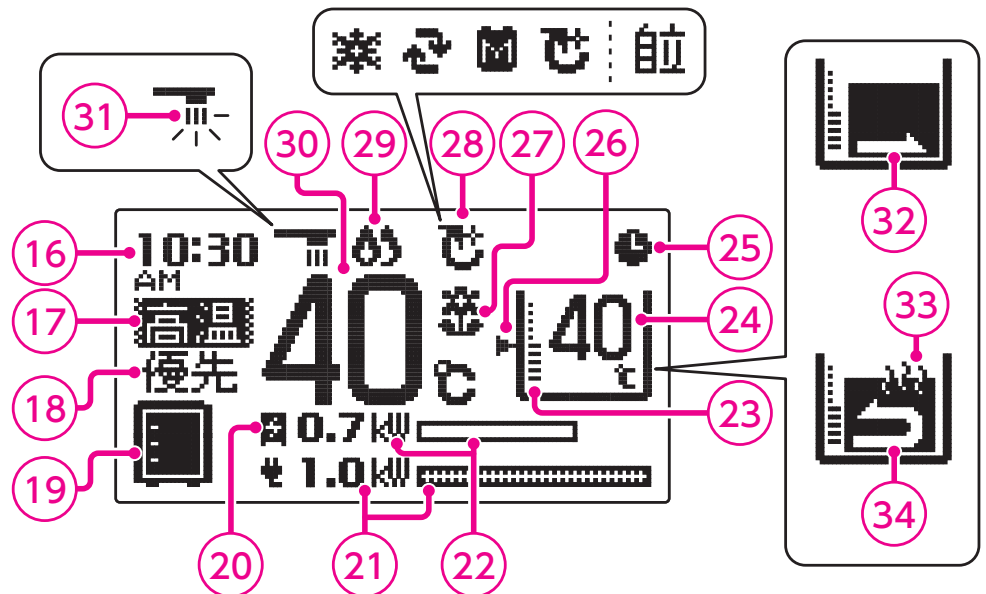


音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

表示画面



まずはじめに
ご確認ください

⑧優先スイッチ (優先ランプ)

浴室リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑨エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

⑩機能スイッチ

音量・水位などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑪設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。
+…進む。
-…戻る。

⑫確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

⑬水位キープスイッチ (水位キープランプ)

自動たし湯を解除したいときに押します。水位キープランプが消灯します。

⑭たし水スイッチ (たし水ランプ)

浴そうにたし水をするときに押します。たし水スイッチが「入」のときに点灯します。

⑮ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転・追いだし運転・たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。
温度調節範囲…約33~48℃
1℃ごとに設定できます。

⑬現在時刻表示

現在時刻を表示します。

⑭高温表示

給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

⑮優先表示

「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑯貯湯量表示

貯湯量を表示します。

26 ページ

⑰発電表示

発電状態を表示します。

26 ページ

⑱電気使用量表示

ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。

⑲発電量表示

発電量を表示します。

⑳水位表示

ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉑ふろ温度表示

ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。表示位置は運転状態によって変わります。

㉒ふろ予約表示

ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉓水位キープ表示

点灯…ふろ自動運転中に自動的にたし湯をし、水位を一定に保ちます。

㉔達成マーク表示

エネルギーで設定した目標値の達成度を表示します。

26 ページ

㉕排熱利用給湯暖房 ユニット状態表示

凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

26 ページ

また自立運転中に「自立」を表示します。

66 ページ

㉖補助熱源機燃焼表示

点灯…補助熱源機が燃焼しています。

㉗給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

㉘給湯中表示

点滅…給湯中です。

㉙お湯はり表示

ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。

㉚保温表示

保温運転・追いだし中です。

㉛循環表示

追いだし中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

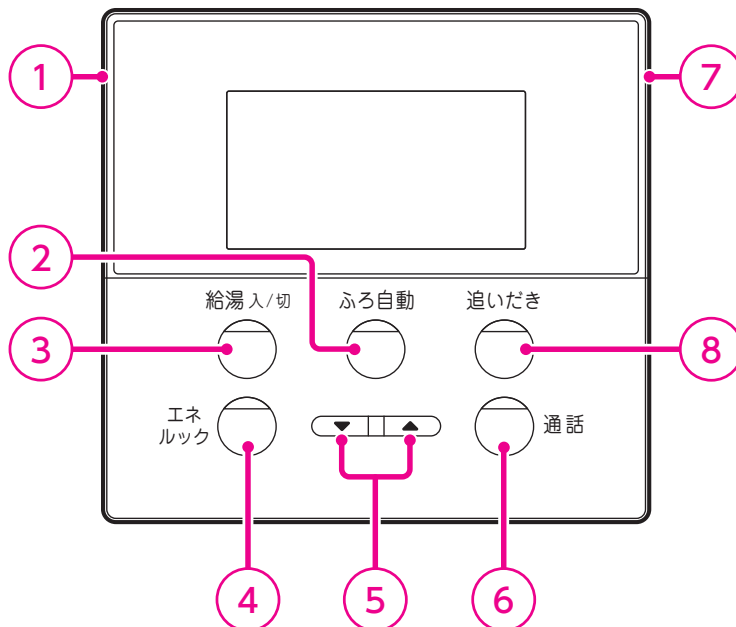
各部の名称とはたらき

インターホンリモコンセット (138-C372)

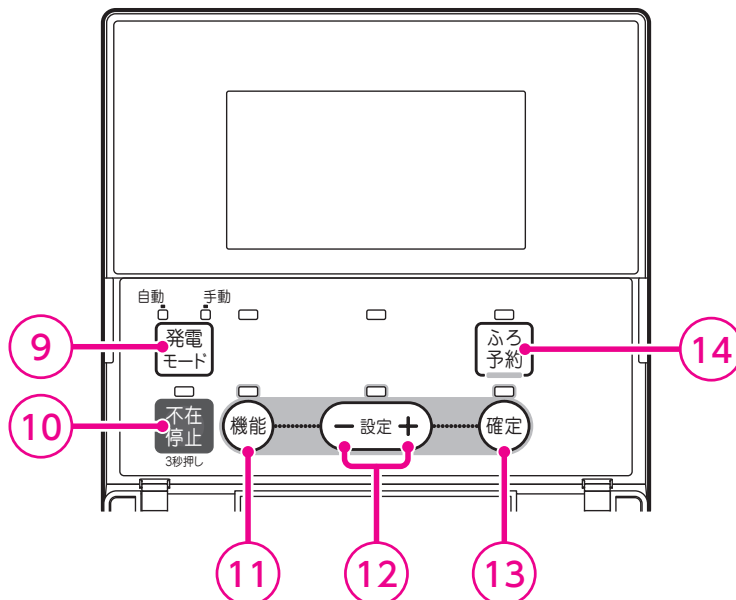
●台所リモコン

①マイク
浴室にいる人と通話するときに使います。
②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)
ふろ自動運転をするときに押します。 点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。 点灯…保温運転中です。
③給湯スイッチ (給湯ランプ)
給湯・停止・リセットするときに押します。 給湯スイッチが「入」のときに点灯します。
リセット(警報解除)の方法 給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。
④エネルギースイッチ (エネルギーランプ)
発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。
⑤給湯温度調節スイッチ
給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。 「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度を高くする。 ▼…温度を低くする。 温度調節範囲…約32～60℃ 32℃・35℃・37～48℃ (1℃ごと)・55℃・60℃ に設定できます。
⑥通話スイッチ (通話ランプ)
浴室リモコンと通話するときに使います。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



⑦スピーカー
ここから音声や音が出ます。
⑧追いだきスイッチ (追いだきランプ)
追いだきするときに押します。 追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。
⑨発電モードスイッチ
発電モードを切換えるときに押します。 自動…自動モード中です。 通常はこの状態でご使用ください。 手動…手動モード中です。 57 ページ
⑩不在停止スイッチ (不在停止ランプ)
ガス発電・給湯暖房機の全停止をするときに押します。
⑪機能スイッチ
予約時刻・現在時刻・保温時間・単価などを設定するときに押します。 24・25 ページ
⑫設定スイッチ
選択した機能の設定を変更するときに押します。 +…進む。 -…戻る。
⑬確定スイッチ
機能設定の内容を確定するときに押します。
⑭ふろ予約スイッチ (ふろ予約ランプ)
ふろ自動運転を予約するときに押します。 点灯…ふろ自動運転を予約中です。

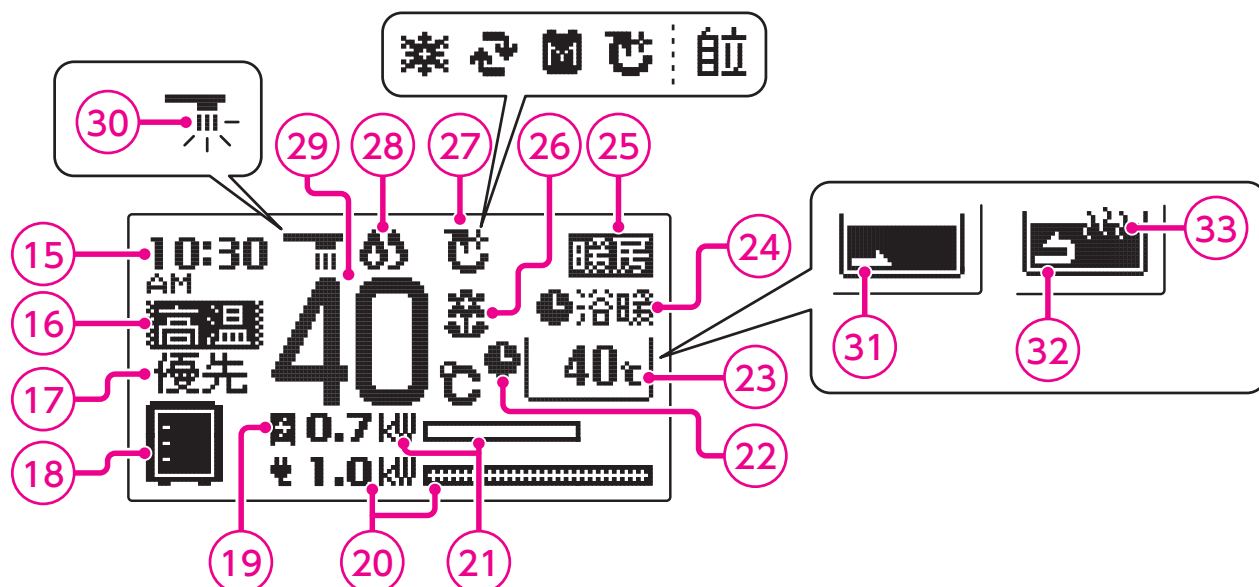
音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

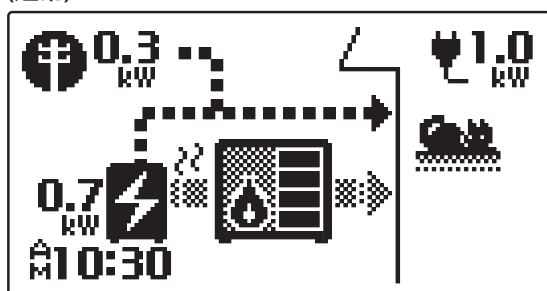
表示画面

●給湯スイッチを「入」にしたときの表示

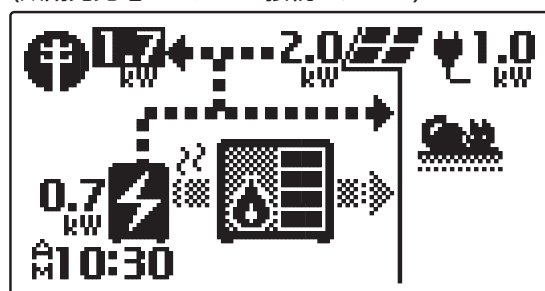


●給湯スイッチを「切」にしたときの表示 84・85ページ

エネルギーモニタの表示を「エネルギー+待機」にしたとき
(通常)



(太陽光発電システムを接続したとき)



一部異なりますが、エネルギー表示のエネルギーモニタと同じ表示画面になります。 69ページ

⑮現在時刻表示 現在時刻を表示します。	⑳電気使用量表示 ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。	㉕暖房表示 点灯…暖房中です。	㉘補助熱源機燃焼表示 点灯…補助熱源機が燃焼しています。
⑯高温表示 給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。	㉑発電量表示 発電量を表示します。	㉖達成マーク表示 エネルックで設定した目標値の達成度を表示します。 26ページ	㉙給湯温度表示 給湯設定温度を表示します。
⑰優先表示 「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。	㉒ふろ予約表示 ふろ自動運転の予約中に表示します。	㉗排熱利用給湯暖房ユニット状態表示 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。 26ページ	⑳給湯中表示 点滅…給湯中です。
⑱貯湯量表示 貯湯量を表示します。 26ページ	㉓ふろ温度表示 ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。 お湯はり表示・追いだき表示中・保温表示中は表示しません。	また自立運転中に「自立」を表示します。 66ページ	㉑お湯はり表示 ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。
⑲発電表示 発電状態を表示します。 26ページ	㉔浴室暖房表示 浴暖…浴室暖房乾燥機の運転中に表示します。 浴暖…浴室暖房乾燥機の予約中に表示します。		㉒循環表示 追いだき中です。
			㉓保温表示 保温運転・追いだき中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
 発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

まずはお読みください
ご確認ください

各部の名称とはたらき

●浴室リモコン

①マイク

台所リモコンと通話するときに使います。

②給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

③ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。

点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。

点灯…保温運転中です。

④追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

⑤たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯をするときに押します。
たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

⑥通話スイッチ (通話ランプ)

台所リモコンと通話するときに使います。

⑦スピーカー

ここから音声や音が出ます。

⑧給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。
「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度を高くする。

▼…温度を低くする。

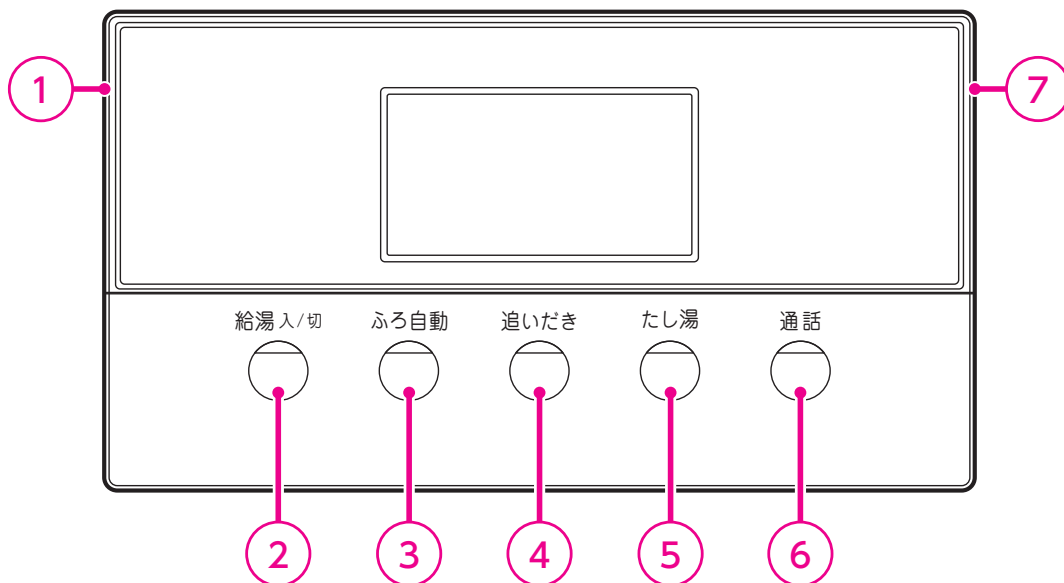
温度調節範囲…約32～60℃

32℃・35℃・37～48℃

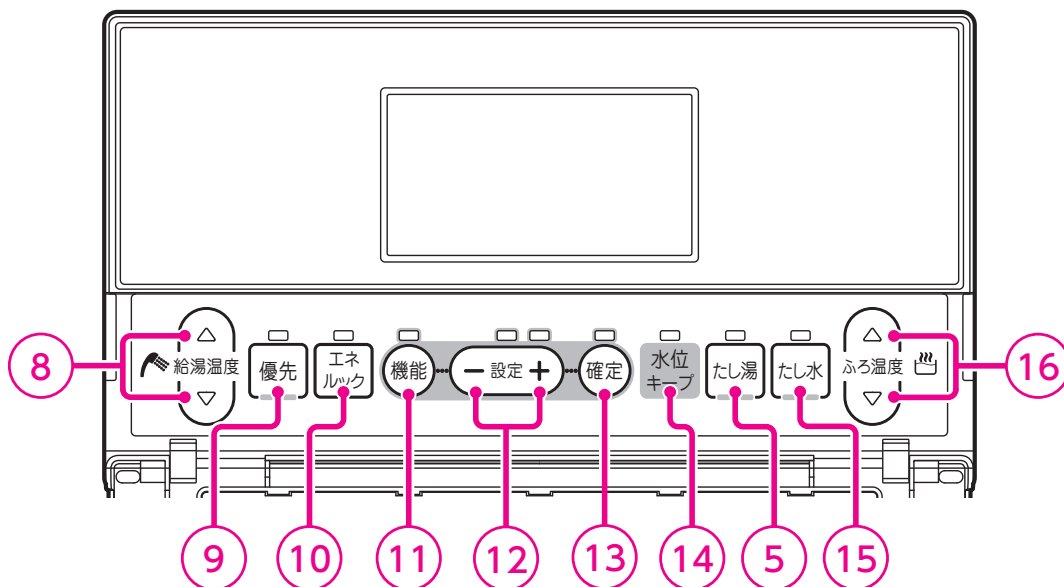
(1℃ごと)・55℃・60℃

に設定できます。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。

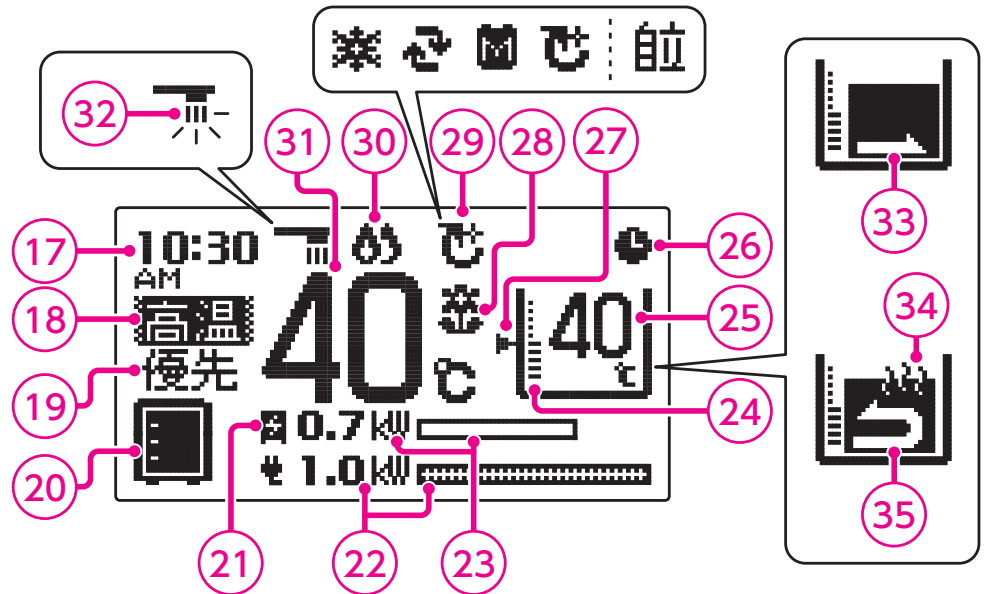


音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

表示画面



まずはじめに
ご確認ください

⑨優先スイッチ (優先ランプ)

浴室リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑩エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

⑪機能スイッチ

音量・水位などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑫設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。
+…進む。
-…戻す。

⑬確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

⑭水位キープスイッチ (水位キープランプ)

自動たし湯を解除したいときに押します。水位キープランプが消灯します。

⑮たし水スイッチ (たし水ランプ)

浴そうにたし水をするときに押します。たし水スイッチが「入」のときに点灯します。

⑯ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転・追いだし運転・たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。
温度調節範囲…約33~48℃
1℃ごとに設定できます。

⑰現在時刻表示

現在時刻を表示します。

⑱高温表示

給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

⑲優先表示

「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑳貯湯量表示

貯湯量を表示します。

26 ページ

㉑発電表示

発電状態を表示します。

26 ページ

㉒電気使用量表示

ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。

㉓発電量表示

発電量を表示します。

㉔水位表示

ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉕ふろ温度表示

ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。表示位置は運転状態によって変わります。

㉖ふろ予約表示

ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉗水位キープ表示

点灯…ふろ自動運転中に自動的にたし湯をし、水位を一定に保ちます。

㉘達成マーク表示

エネルギーで設定した目標値の達成度を表示します。

26 ページ

㉙排熱利用給湯暖房 ユニット状態表示

凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

26 ページ

また自立運転中に「自立」を表示します。

66 ページ

㉚補助熱源機燃焼表示

点灯…補助熱源機が燃焼しています。

㉛給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

㉜給湯中表示

点滅…給湯中です。

㉝お湯はり表示

ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。

㉞保温表示

保温運転・追いだし中です。

㉟循環表示

追いだし中です。

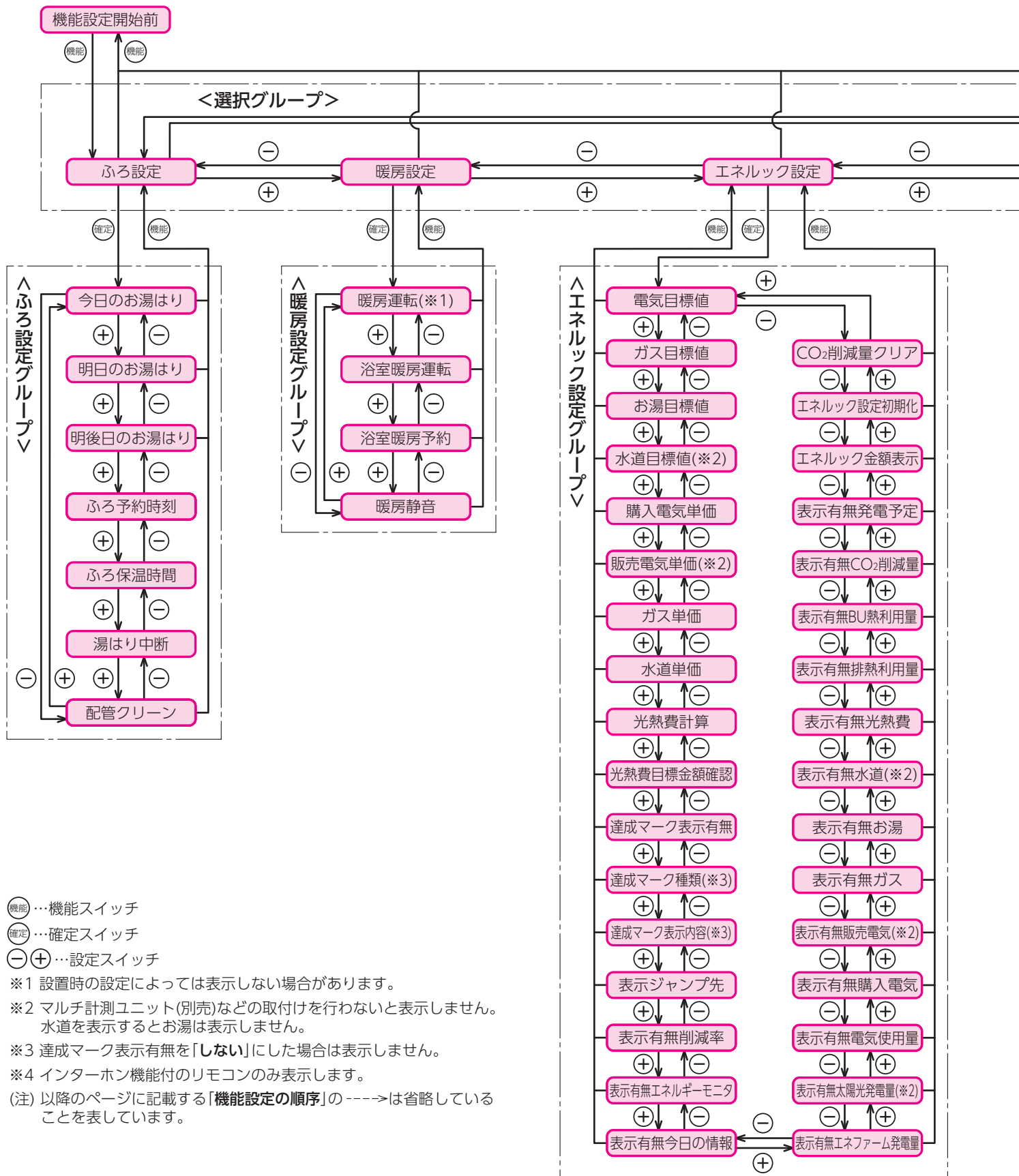
表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

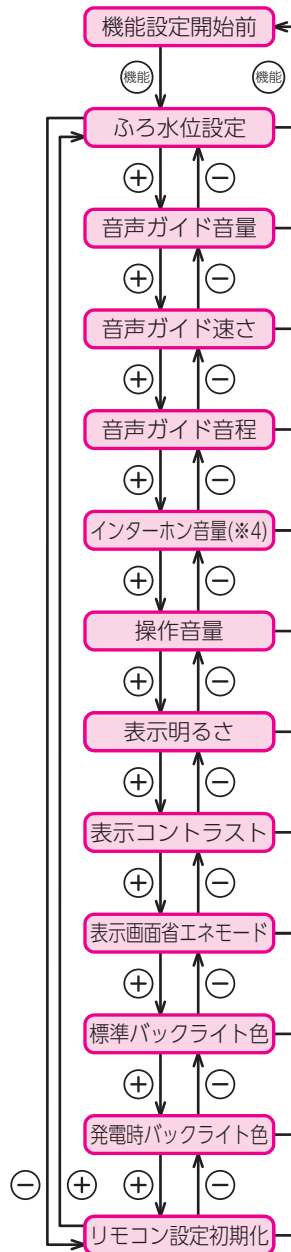
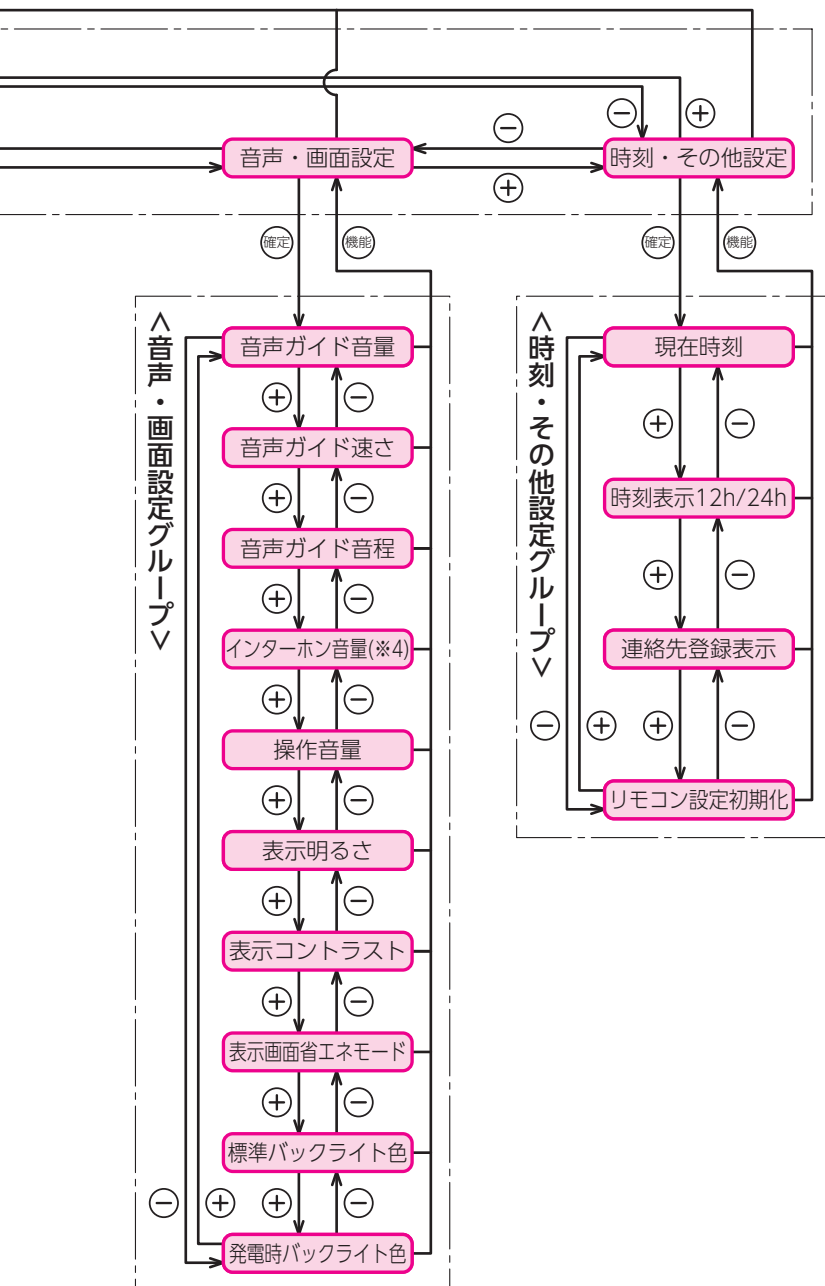
機能設定について

●機能スイッチ・設定スイッチ・確定スイッチを操作することにより、下記の機能設定ができます。

台所リモコンの場合



浴室リモコンの場合



お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 日付・現在時刻の設定を行っていない場合は、機能スイッチを押すと「**現在時刻**」の設定画面を表示します。
- 機能設定中に約10秒間操作をしないと操作ガイドが表示されます。
- 機能設定を確定後に続けて他の機能を設定する場合は、リモコンのふたを閉じる前に機能スイッチを押してください。次の項目に移動して続けて設定することができます。

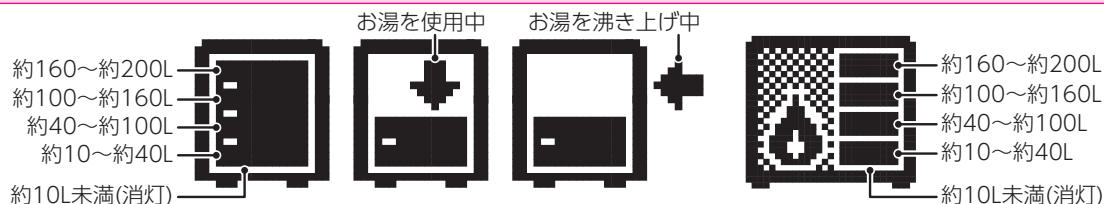
各部の名称とはたらき

表示について

貯湯量表示

- 貯湯タンク内の「お湯(約42℃以上)の量」を表示します。
- 約42℃以上のお湯を元に表示していますが、季節や貯湯状態により変動します。
- 貯湯量表示を表示している場合でも、給湯設定温度によっては補助熱源機が作動する場合があります。お湯の出を早くするためで、故障ではありません。
- 表示されたお湯の量以外は水です。

貯湯タンク内のお湯(約42℃以上)の量の目安



発電表示

- 発電状態を表示しています。

	発電	発電しています。 点灯…発電中です。 点滅(約2秒周期)…発電準備中です。 点滅(約6秒周期)…停止移行中です。 (連続で発電を行っているときでも、性能維持運転のため一時的に送電を中断する場合があります。その際にもこの表示になります。)
	自動発電停止	自動モード設定中に発電を停止しています。故障ではありません。 (学習機能が働いているためです。) 発電予定時刻はエネルギー表示で確認できます。
表示なし	停止中	手動モード停止中や不在停止中は発電表示されません。 その他ご使用状況により、貯湯タンクのお湯の入れ替えが必要な場合、燃料電池発電ユニットを一時停止させる場合があります。その場合、補助熱源機を経由してお湯を供給しますが、しばらく使用すると燃料電池発電ユニットは自動的に発電を開始します。 故障を表示している場合は「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってください。

排熱利用給湯暖房ユニット状態表示

- 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

	凍結防止運転	燃料電池発電ユニット停止中に排熱回路の凍結防止をしています。
	タンクリフレッシュ運転	お湯の利用が少なくなると貯湯タンク内の水質維持のため、お湯を高温にします。 (貯湯タンク内の水を沸き上げる場合は補助熱源機が作動します。)
	タンク長期滞留防止運転	貯湯タンクにお湯が長期間滞留することを防止する運転を行っています。
	マイコンメータの確認	マイコンメータの機能を確認するために燃料電池発電ユニットを約24時間停止させます。 ご家庭で使用するすべてのガスを使用しない時間が連続1時間以上必要です。 深夜などにガス機器の使用は控えてください。

- 「自立」の表示については66ページを参照してください。

達成マーク

- 「エネルギー表示の設定」で設定した目標値に対する達成度をお知らせします。80・81ページ

目標値を大きく達成しています。	目標値を達成しています。	ほぼ目標値通りです。	目標値を超えています。	目標値を大きく超えています。

1 設置場所

機器の設置場所は次のことを満たしていることを確認してください。

- 水平な場所
- 給気部や排気部の周囲に冷暖房装置や換気扇などの吹出口や吸込口がない場所
- 給気や排気が充分できる場所（波板などで囲まないでください。）
- 落下物の危険がない場所
- 周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- 給気部や排気部に強い風が吹き込まない場所
- 足場などを組まなくてもメンテナンスができる場所
- 排気部からの吹き出し音が隣家の迷惑にならない場所
- 階段や避難口から離れた場所
- 排気部から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

2 周囲の防火処置

火災予防のため、図を参考に周囲の可燃物から防火上有効な距離をとってください。

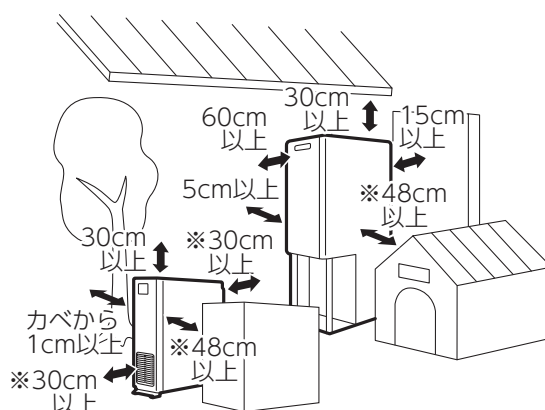
(※はサービススペースとして必要な距離です。)

3 排気部の周囲

排気部から吹き出される排気ガスによって、加熱されると危険なものを機器の近くに置かないでください。

(ガソリン・ベンジン・灯油・スプレー缶など)

また窓などの建物開口部が近くにない場所に設置してください。



の使用
準備前

4 排気口の周囲

植物やペットなど、燃焼排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口の周囲には置かないでください。

また増築するときは、燃焼排気ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどにあたらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。

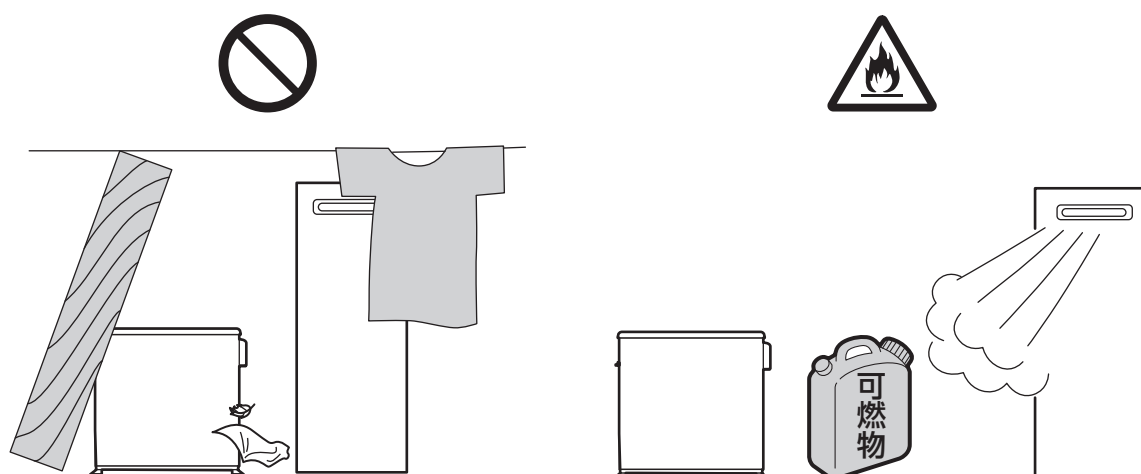


ご使用前の準備と確認

1 機器および周辺の確認

給気部や排気部がふさがれていないことを確認してください。

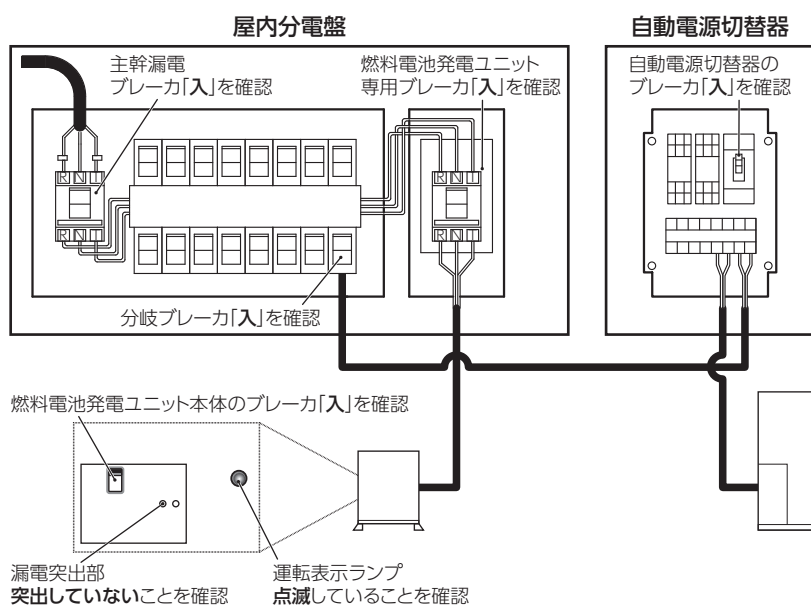
機器の近くにガソリン・ベンジンなど引火性のものや燃えやすいものを置かないでください。



2 電気の確認

- 屋内分電盤の主幹漏電ブレーカおよび燃料電池発電ユニット専用ブレーカが「入」であることを確認してください。
- 屋内分電盤の分岐ブレーカ（自動電源切替器用）が「入」であることを確認してください。
- 燃料電池発電ユニット本体のブレーカ（主回路漏電ブレーカ）が「入」であり、漏電表示が出ていないことを確認してください。また、運転表示ランプが点滅していることを確認してください。
- 自動電源切替器のブレーカが「入」であることを確認してください。

※ 自動電源切替器は屋外に設置されている場合もあります。

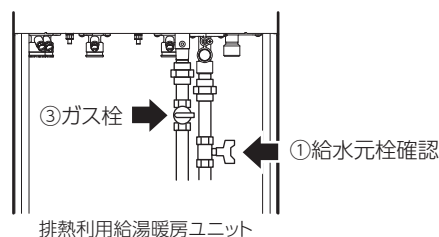
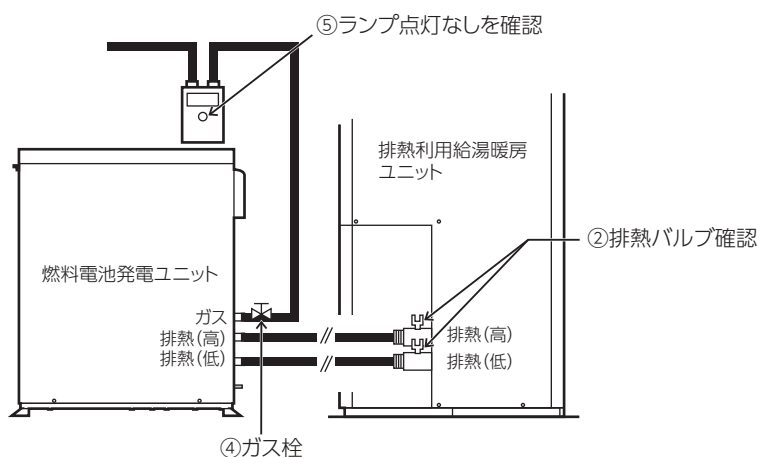


3 ガス・水道の確認

- 排熱利用給湯暖房ユニットの給水元栓が開いていることを確認してください。……………①
- 排熱配管のバルブが開いていることを確認してください。……………②
- ガス栓が開いていることを確認してください。……………③ ④
- ガスの臭いやガスメーター指針の異常回転など、ガス漏れの恐れが無いことを確認してください。
- ガスのマイコンメータのランプが点灯していないことを確認してください。……………⑤
- 機器および周囲の配管から水漏れなどの異常がないことを確認してください。

リモコンに「260」が点滅した場合は「長期間使用しない場合」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って通水を行ってください。

123ページ



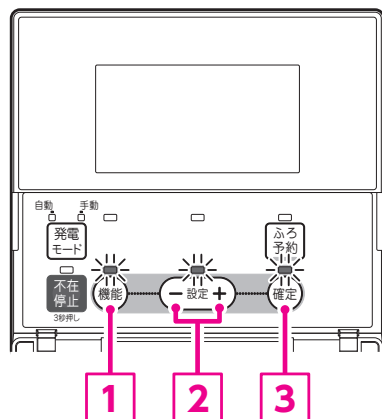
の使用
準備前

日付・時刻の設定

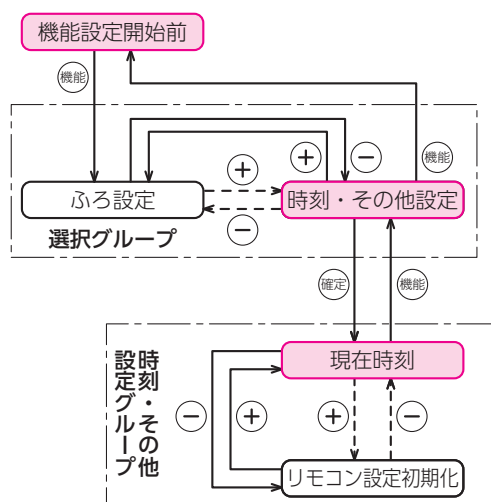
日付・現在時刻の設定

- 必ず日付と現在時刻の設定を行ってください。
- 日付と現在時刻の設定は台所リモコンで行います。

台所リモコン

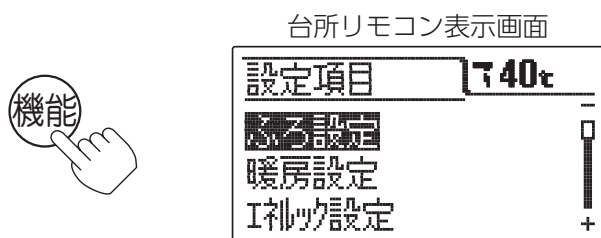


機能設定の順序



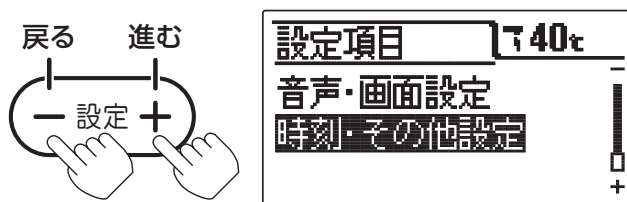
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

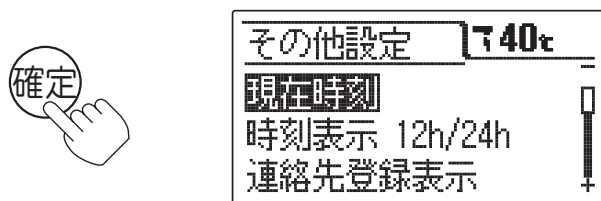


日付・現在時刻の設定を行っていない場合は、「現在時刻」の設定画面を表示します。

3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する

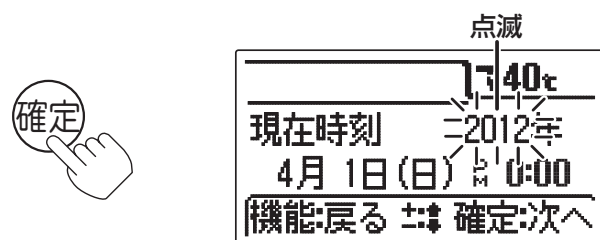


4 確定スイッチ③を押す



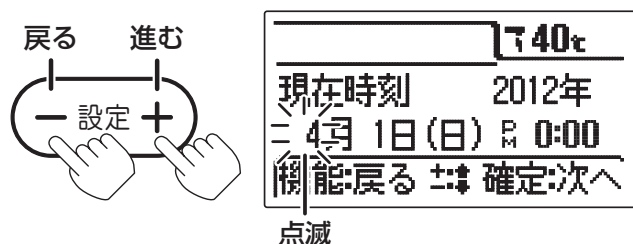
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 再度確定スイッチ③を押す



西暦が点滅します。

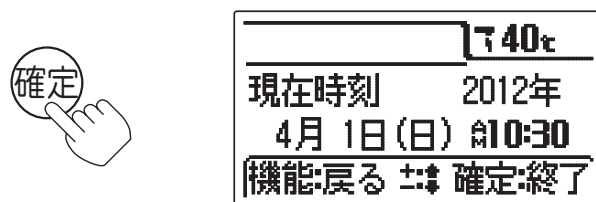
6 設定スイッチ②を押して 西暦・日付・現在時刻を設定する



現在時刻は1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

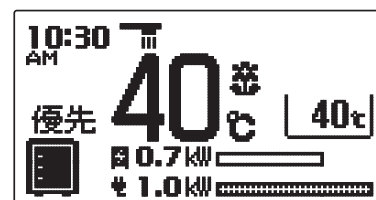
5・6を繰り返し、日付と時刻を設定します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。

約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

の使用
準備前

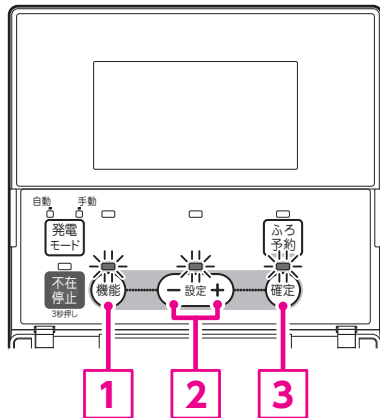
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電により「PM 0:00」が点滅しているときは現在時刻を設定し直してください。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

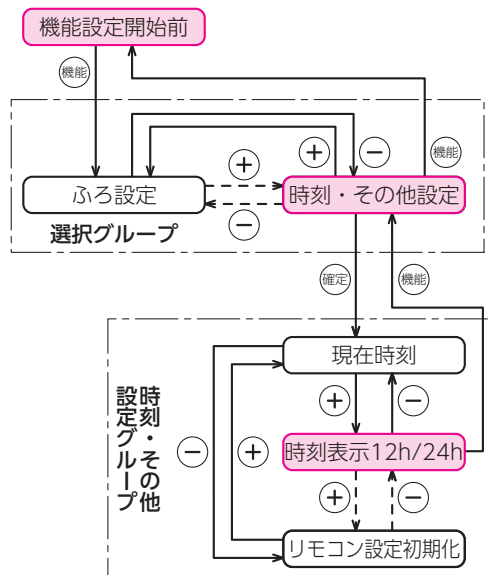
時刻の表示方法の設定

- 時刻の表示を「12h」(AM・PM表示)または「24h」(24時間表示)のどちらかに設定できます。
- 時刻の表示を変更すると現在時刻・設定時刻・音声などが変更されます。

台所リモコン

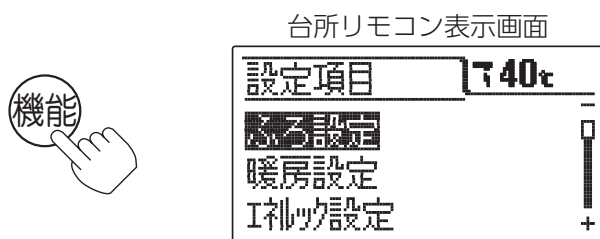


機能設定の順序

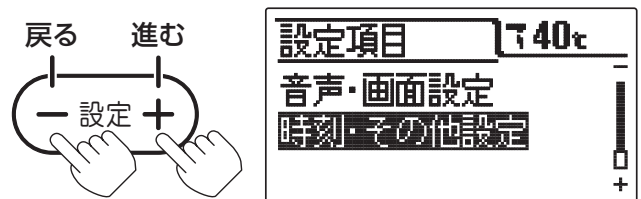


1 ふたを開く

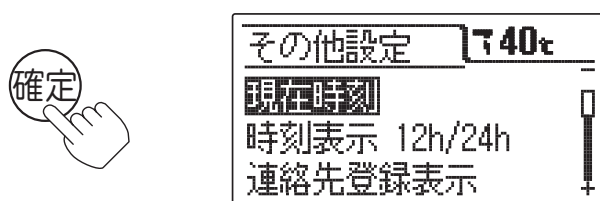
2 機能スイッチ①を押す



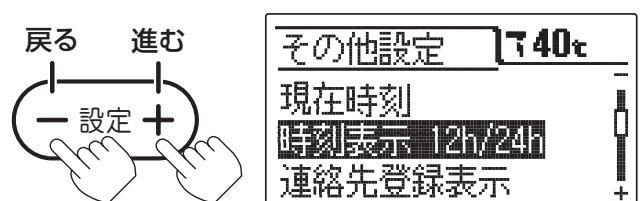
3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

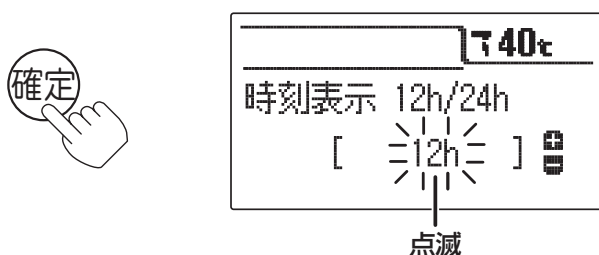


5 設定スイッチ②を押して「時刻表示 12h/24h」を選択する



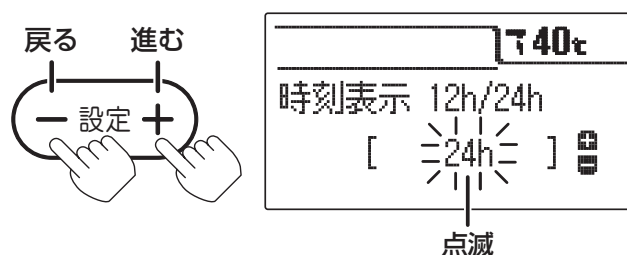
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



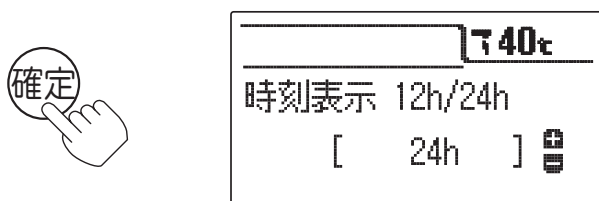
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して時刻表示 12h/24h を設定する



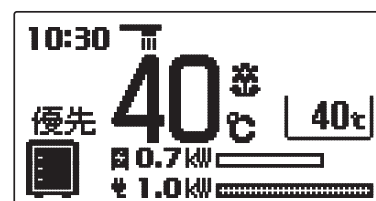
設定スイッチを押すごとに
12h ← → 24h を交互に繰り返します。
(AM・PM表示) (24時間表示)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



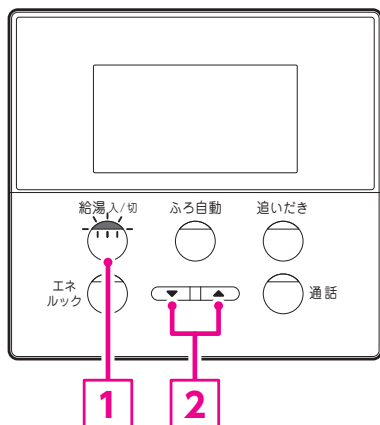
通常表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常表示に戻ります。

お知らせ

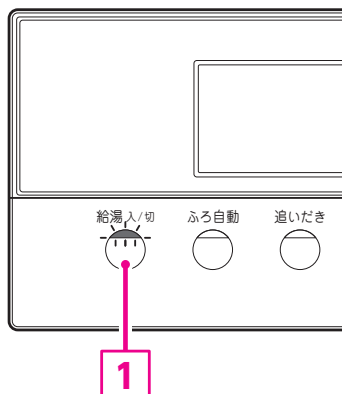
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「12h」(AM・PM表示)に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

給湯

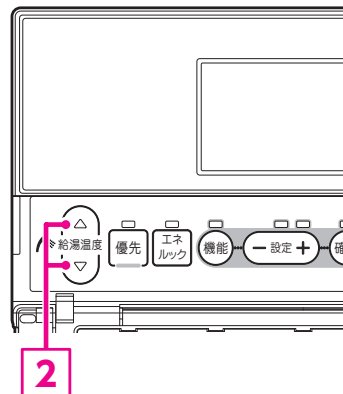
台所リモコン



浴室リモコン



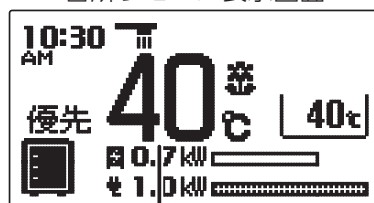
浴室リモコン



1 給湯スイッチ①を「入」にする

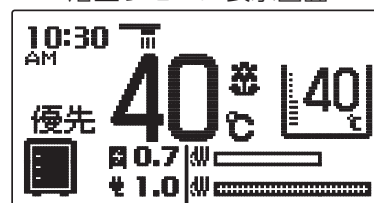


台所リモコン表示画面



前に設定した温度(例: 40°C)

浴室リモコン表示画面

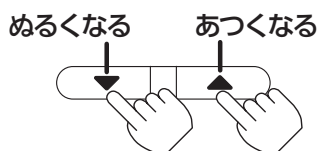


前に設定した温度(例: 40°C)

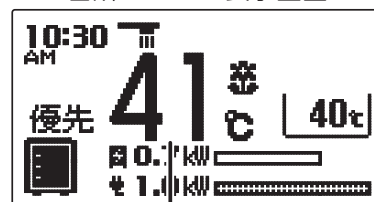
給湯スイッチを押したリモコンの「優先」(優先ランプ)が表示します。
給湯設定温度が55°C以上の場合は、表示(*)と音声で「あつのお湯が出ます」とお知らせします。
※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

2 給湯温度調節スイッチ②を押す

(一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

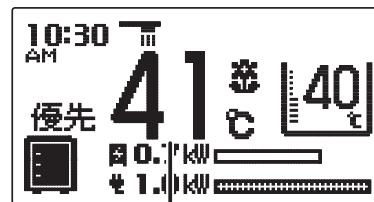


台所リモコン表示画面



給湯設定温度

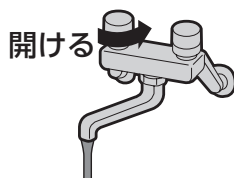
浴室リモコン表示画面



給湯設定温度

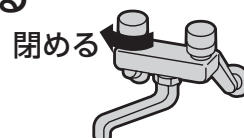
「優先」(優先ランプ)を表示しているリモコンで温度調節ができます。
設定温度は32°C・35°C・37~48°C(1°Cごと)・55°C・60°Cの範囲で調節
できます。
設定温度が55°C以上の場合は「高温」を表示し、表示(*)で「お湯の温度が
変更されました あつのお湯が出ます」、音声で「お湯の温度が〇〇°Cに変
更されました あつのお湯が出ます」とお知らせします。48°C以下の場合は、
表示(*)で「お湯の温度が変更されました」、音声で「お湯の温度が〇〇°Cに
変更されました」とお知らせします。
※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

3 給湯栓を開ける



お湯が出ます。
お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

4 給湯栓を閉める

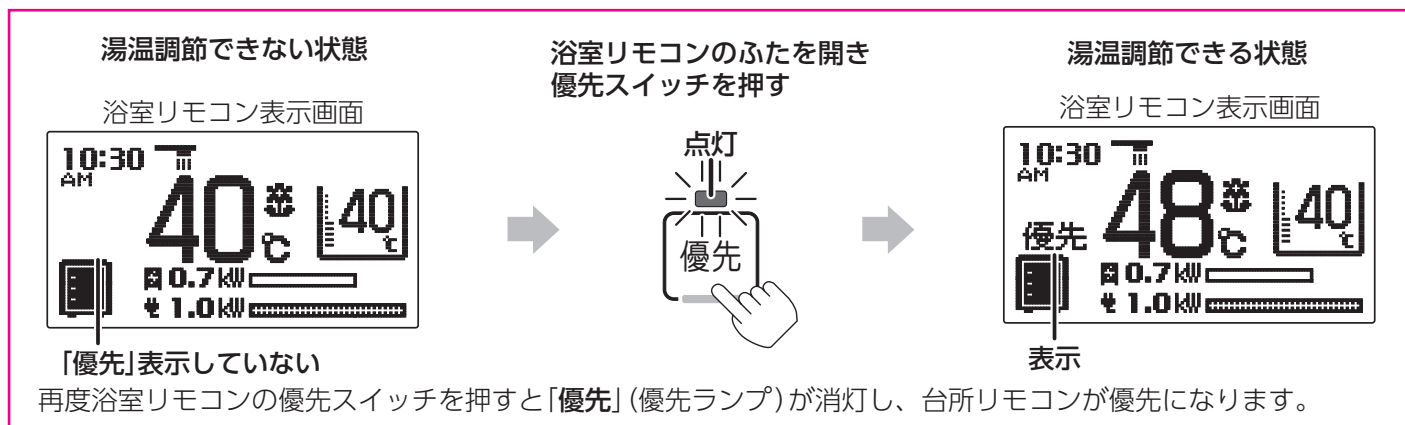


次回使用するときは、給湯栓を開けるだけで使用でき
ます。長時間使用しないときはリモコンの給湯スイッ
チを「切」にしてください。

リモコンの優先について

台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯設定温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水による思わぬ事故につながる場合があります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先ランプの点灯と「優先」を表示しているリモコン以外は給湯設定温度の変更ができないようになっています。

(台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。)



警告

- シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
 - シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
 - 給湯設定温度を55℃以上に設定したときは、
 - ・表示(*)で「お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます」
 - ・音声で「お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます」
 - ・「高温」の表示でお知らせします。
- ※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。55℃以上の高温で使用了後、あらためて使用するときは特に注意してください。
 - 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- 給湯中に追いだき運転や暖房運転をすると給湯量が減ったり、給湯温度が変化することがあります。
 - ふろ自動運転やたし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ運転は一時中断することがあります。ただし、ふろ運転を一時中断しないように設定することができます。
 - じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。
- 点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。

44・45ページ

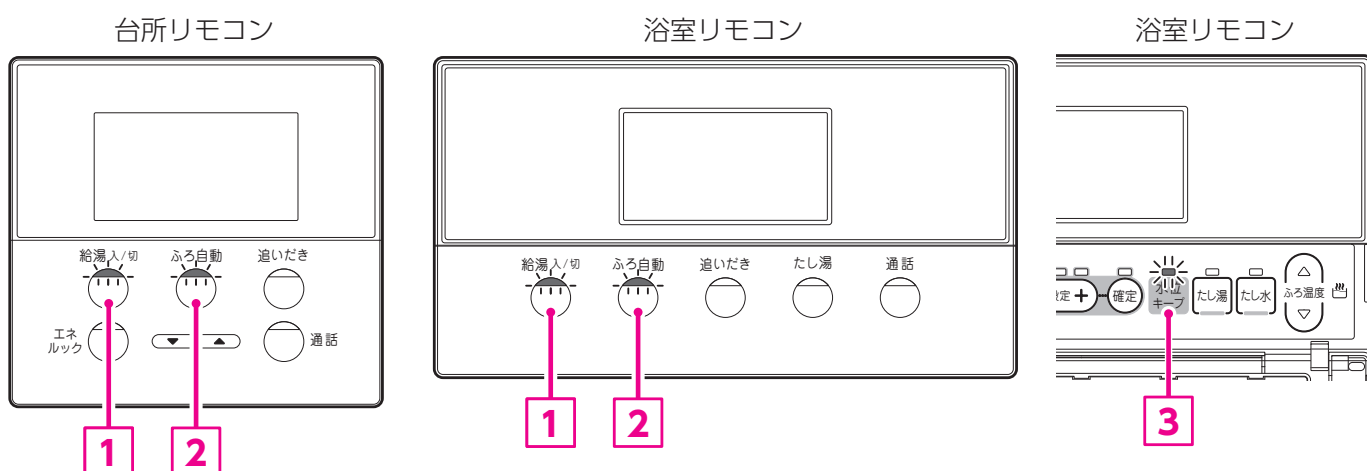
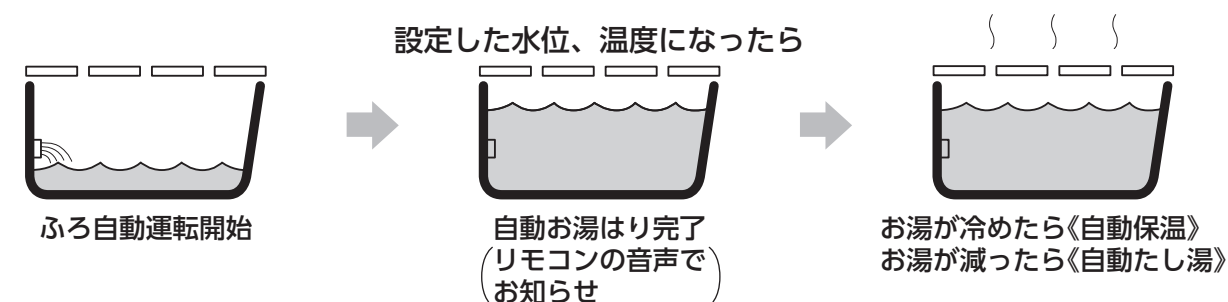
断水検知したときの処置方法

- 断水したときは台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に「260」を表示します。
- 表示している処置方法や「故障表示」に従って処置を行ってください。

132ページ

ふろ自動運転

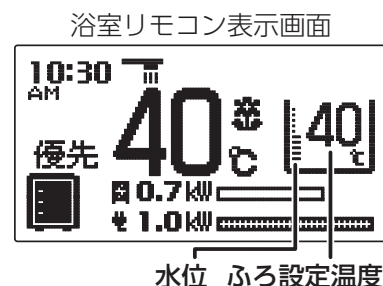
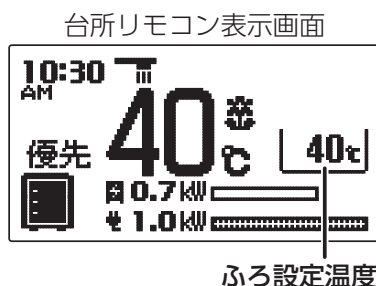
自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し《自動保温》、お湯が減ったらたし湯をして水位を保ちます《自動たし湯》。



運転前の準備

1. 浴そうに排水栓をする。
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
3. 浴そうにふたをする。

1 給湯スイッチ①を「入」にする



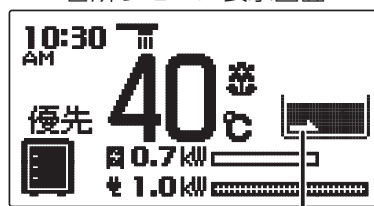
給湯スイッチを押したリモコンの「優先」(優先ランプ)が表示します。
ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認してください。

水位の調節は「ふろ水位の設定」(41 ページ)を参照してください。
ふろ設定温度の調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。

2 ふろ自動スイッチ②を「入」にする

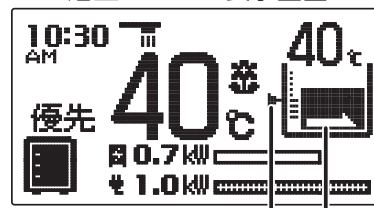


台所リモコン表示画面



点滅

浴室リモコン表示画面



水位キープ表示 点滅

表示(*)と音声で「ふろ温度〇〇℃でお湯はりをはじめます」とお知らせし、お湯はりをはじめます。

(お湯はり表示点滅・水位キープ表示・水位キープランプ点灯)

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。



お湯はり終了後は……

設定した水位までお湯はりをするすると自動的に停止します。設定温度に沸き上げるとリモコンからメロディーと音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。その後お湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、お湯が減ったらたし湯をして水位を保ちます。保温中は保温表示とふろ自動ランプが点灯します。

保温の設定は「保温時間の設定」(42・43ページ)を参照してください。

ふろ自動をやめたいときは



ふろ自動スイッチ②を「切」にします。
(ふろ自動ランプ消灯)

自動たし湯をやめたいときは



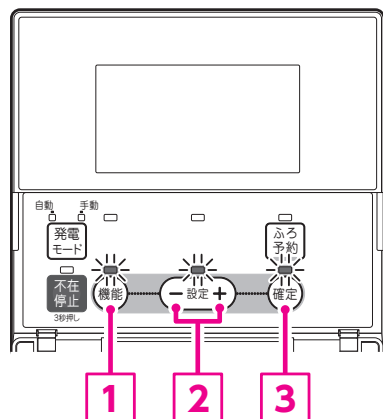
水位キープスイッチ③を「切」にします。
音声で「水位キープを解除します」とお知らせします。
(水位キープ表示・水位キープランプ消灯)

お知らせ

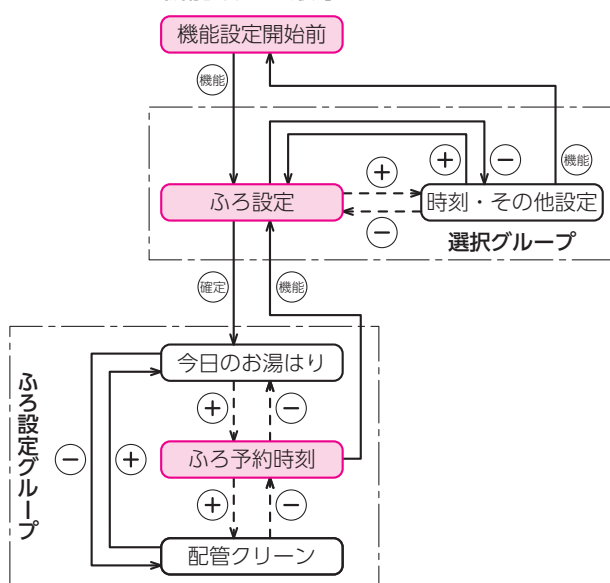
- やけど防止のためふろ設定温度を確認してください。48ページ
- ふろ自動運転のお湯はり時間は給水温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。
- 保温運転中は約20分に一度ふろポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで追っいただきます。
- ふろ自動運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ自動運転は一時中断することがあります。
ただし、ふろ自動運転を一時中断しないように設定することができます。44・45ページ
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯すると沸き上げ時間が長くなる場合があります。
- 残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。
- 設置後初めてお湯はりを行う場合は必ず浴そうを空にしてください。浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転を行うと故障表示「002」が出てお湯はりを停止します。
このときは、浴そうの水を一度全部抜いてふろ自動運転をやり直してください。
- 水位キープスイッチはふろ自動運転中しか受け付けません。
ふろ自動運転中以外で水位キープスイッチを押すと「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 水位キープは約4cm水位が下がるとたし湯をして水位を保ちます。
- 水位が低下し続けたり安定しないときは、水位キープは動作しません。

ふろ自動運転の予約時刻の設定

台所リモコン



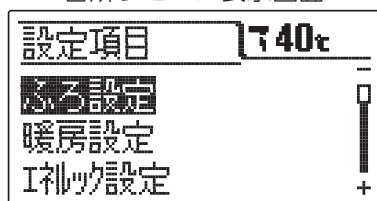
機能設定の順序



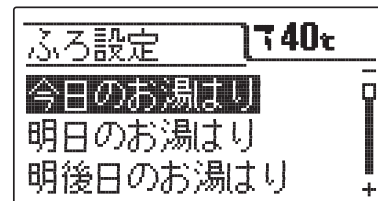
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

台所リモコン表示画面

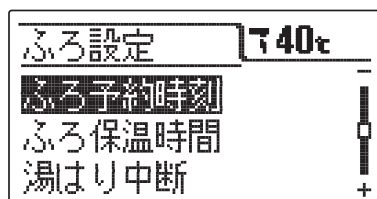
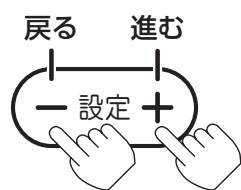


3 確定スイッチ③を押す



ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「ふろ予約時刻」を選択する



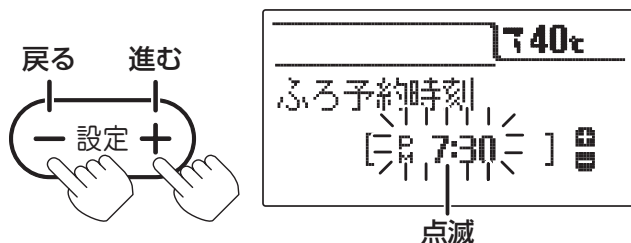
5 確定スイッチ③を押す



点滅

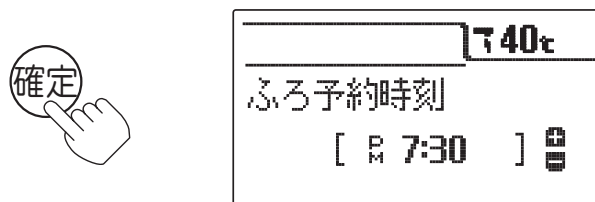
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ[2]を押して ふろ予約時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

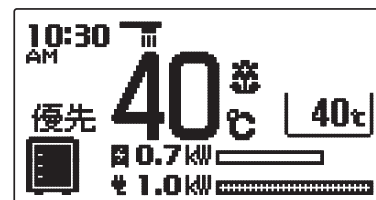
7 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

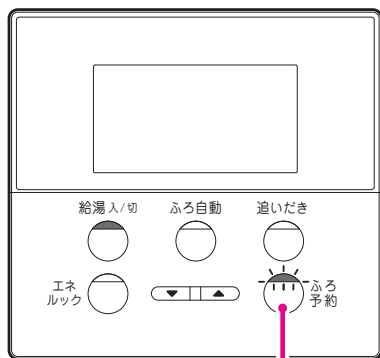


お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認して予約時刻を設定してください。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「PM5:00 (17:00)」に設定されています。
- 「6」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ[1]を押すと「3」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

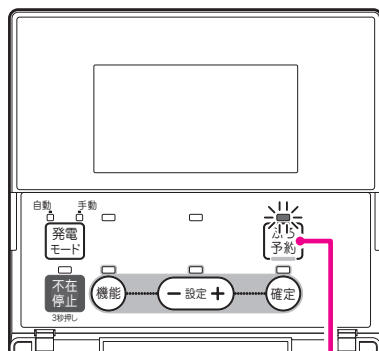
ふろ自動運転の予約

台所リモコン



1

台所リモコン



1

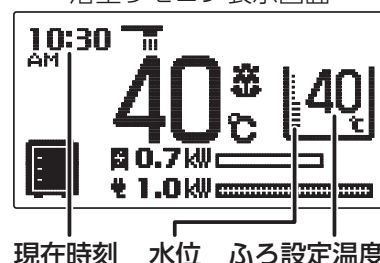
リモコンの種類によってふろ予約スイッチの位置は異なります。
(右はインターホンリモコンです。)

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

運転前の準備

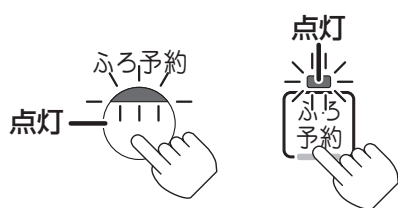
1. 浴そうに排水栓をする。
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
3. 浴そうにふたをする。
4. ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認する。(浴室リモコン)
5. 現在時刻が正しいか確認する。

浴室リモコン表示画面

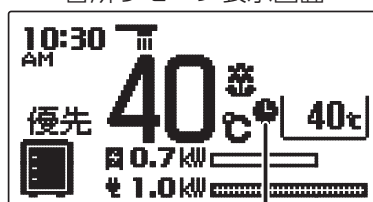


水位の調節は「ふろ水位の設定」(41 ページ)を参照してください。
ふろ設定温度の調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。
ふろ自動運転の予約時刻の設定は「ふろ自動運転の予約時刻の設定」(38・39 ページ)を参照してください。

1 ふろ予約スイッチ①を「入」にする

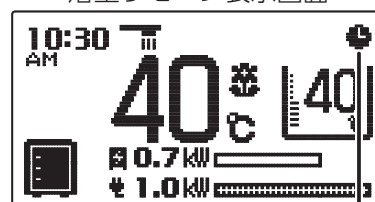


台所リモコン表示画面



点灯

浴室リモコン表示画面

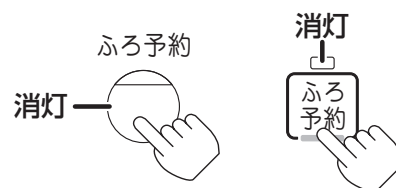


点灯

表示(*)と音声で「お湯はりが(午後・午前)〇〇時に予約されました」とお知らせします。
予約時刻に沸き上がるように約30分前にお湯はりを始めます。
※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

ふろ自動運転の予約をやめたいときは

ふろ予約スイッチ①を「切」にしてください。
(ふろ予約ランプとふろ予約表示消灯)



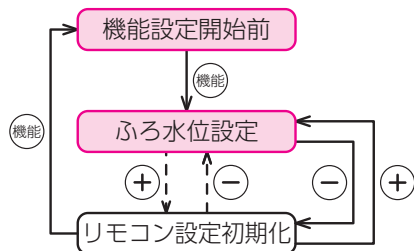
お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認してください。
また、現在時刻が未設定の場合は予約できません。
音声で「予約できません 時計を合わせてください」とお知らせします。
- 予約中に停電すると予約が解除されることがあります。
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯する場合は沸き上げ時刻が遅れることがあります。

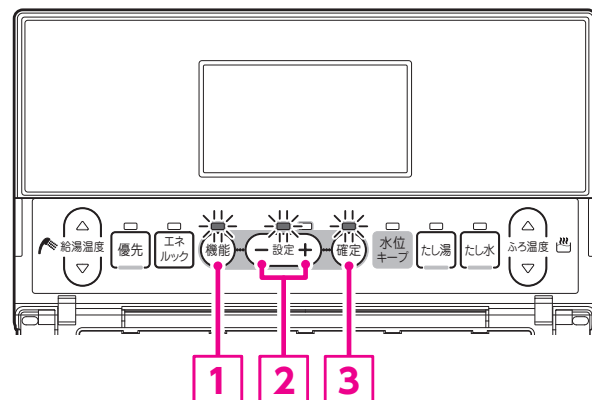
ふろ水位の設定

ふろ自動運転時のお湯はりの水位を設定します。
浴室リモコンのみ設定できます。

機能設定の順序

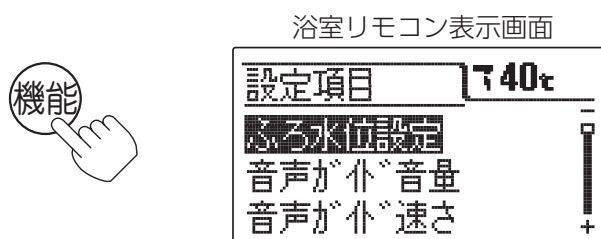


浴室リモコン

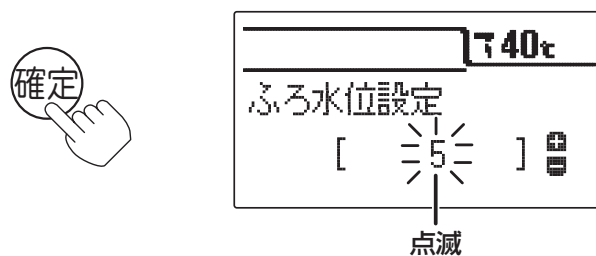


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

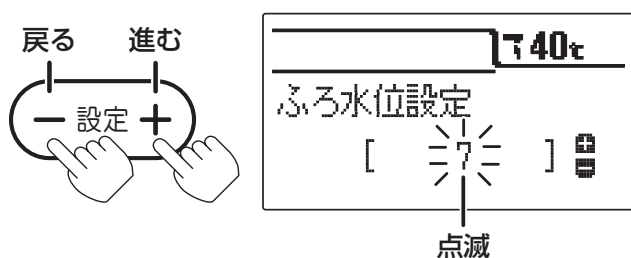


3 確定スイッチ③を押す



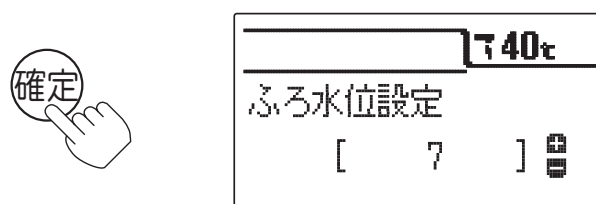
現在の設定が点滅します。

4 設定スイッチ②を押して ふろ水位を設定する



設定スイッチを押すごとに 1 ↔ 2...9 ↔ 10 の順で
変更できます。水位は 1 は循環アダプターから約 60
リットル、2 以上は約 4cm ずつ増えます。

5 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知
らせします。

6 ふたを閉じる

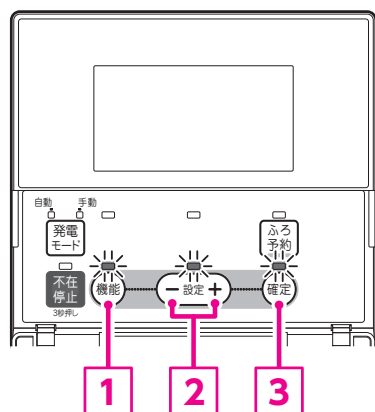
通常の表示に戻ります。約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

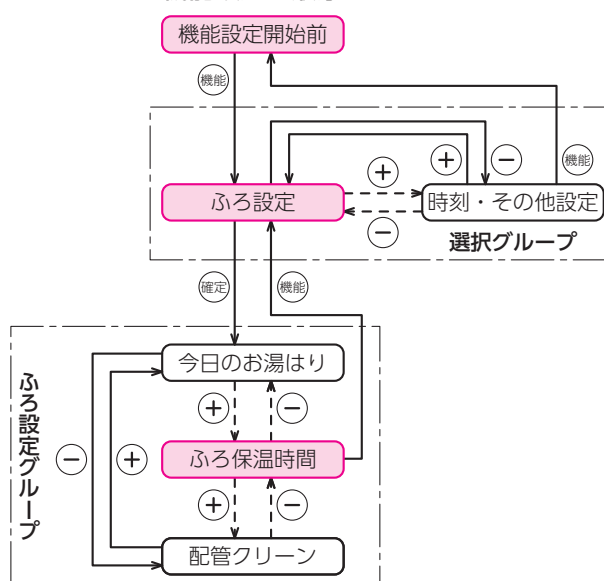
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環アダプターの位置によっては、ふろ水位設定を高めにするると浴
そうから湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場
合があります。
- お買い求め時は「5」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

保温時間の設定

台所リモコン

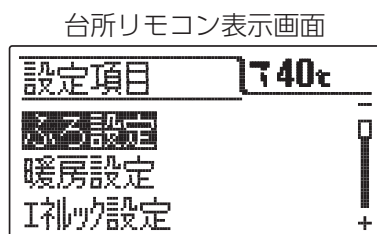


機能設定の順序

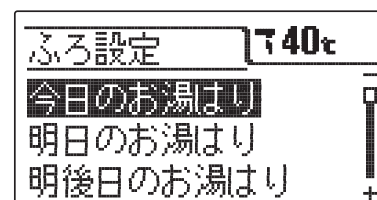


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

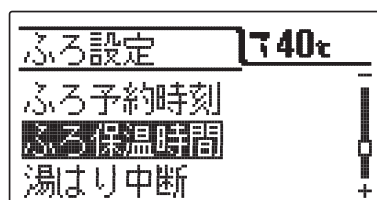
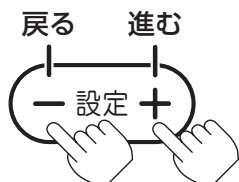


3 確定スイッチ③を押す

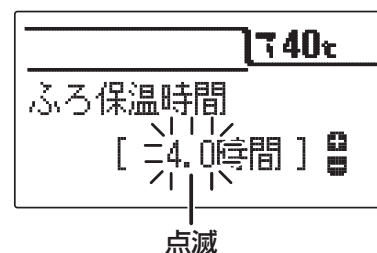


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「ふろ保温時間」を選択する



5 確定スイッチ③を押す



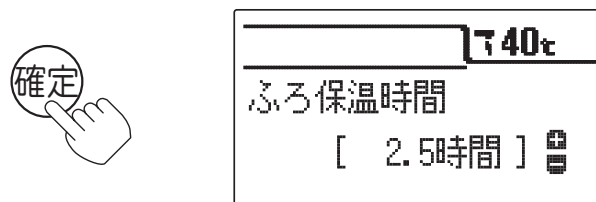
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して ふろ保温時間を設定する



設定スイッチでご希望の時間に設定します。設定時間は0～10時間までは30分単位、10時間以上は1時間単位で変わります。最大24時間まで設定できます。

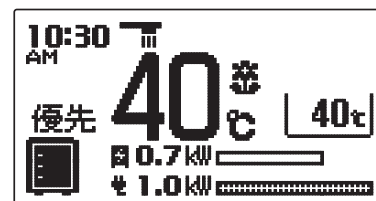
7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。



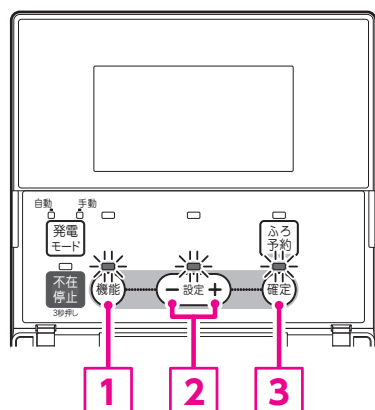
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「4.0時間」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

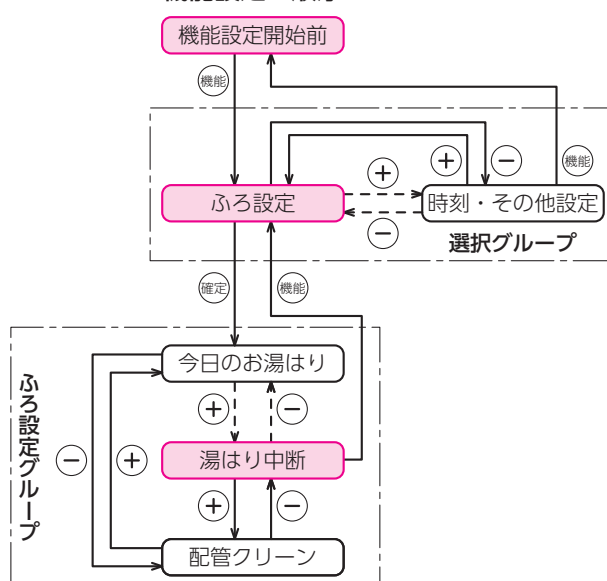
湯はり中断の設定

ふろ自動運転、たし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ運転は一時中断することがあります。
湯はり中断を「しない」に設定すると中断しません。

台所リモコン

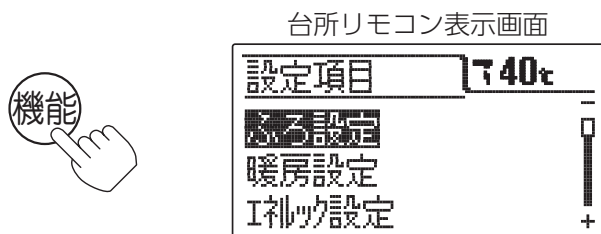


機能設定の順序

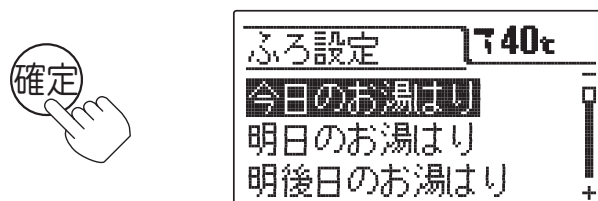


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

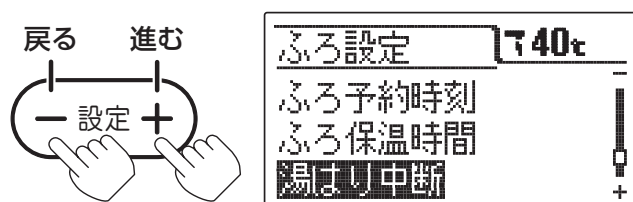


3 確定スイッチ③を押す

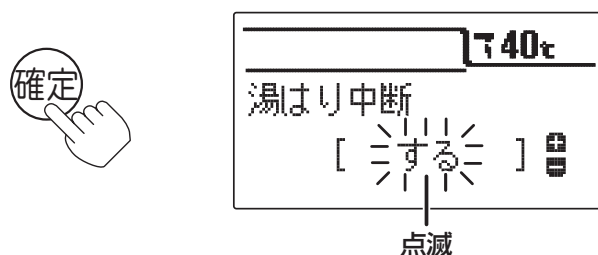


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「湯はり中断」を選択する



5 確定スイッチ③を押す



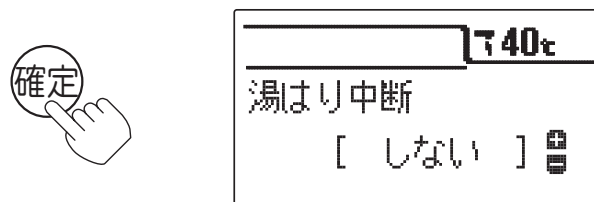
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して 湯はり中断を設定する



設定スイッチを押すごとに**する**↔**しない**を交互に繰り返します。

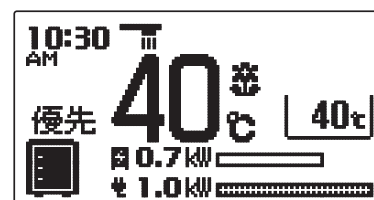
7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

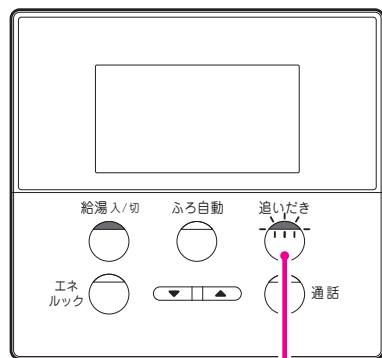


お知らせ

- 湯はり中断する……ふろ自動運転中やたし湯中に給湯すると、給湯が優先されお湯はりを中断することがあります。給湯が終わると再開します。中断するため沸き上がりが遅くなります。
湯はり中断しない…ふろ自動運転中やたし湯中に給湯しても、ふろ自動運転とたし湯は中断しません。給湯量が少なくなることがあります。給湯するとふろ設定温度より少し低い温度のお湯が出ます。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「する」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

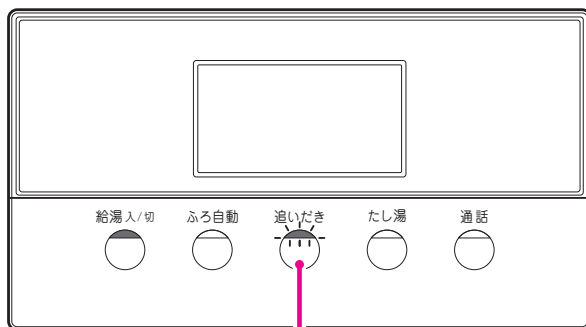
追いだき運転

台所リモコン



1

浴室リモコン



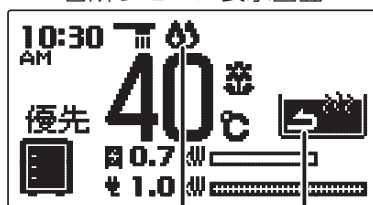
1

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

追いだきスイッチ①を「入」にする

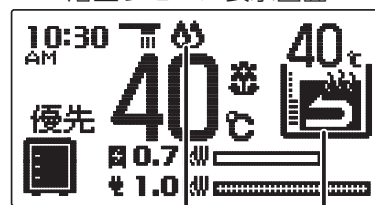


台所リモコン表示画面



点灯 点滅
(補助熱源機燃焼)

浴室リモコン表示画面



点灯 点滅
(補助熱源機燃焼)

表示(*)と音声で「追いだきをします」とお知らせします。

お湯の温度が設定温度より低い場合は、設定温度まで沸き上げます。

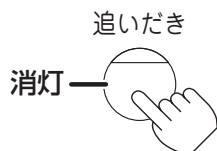
浴室リモコンで操作した場合のみお湯の温度が設定温度以上のときはお湯の温度+約1℃まで沸き上げます。

台所リモコンで操作した場合は、沸き上げるとリモコンからメロディーと音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

追いだきの温度調節は「ふろ温度の設定」(48ページ)を参照してください。

追いだき運転をやめたいときは



追いだきスイッチ①を「切」にしてください。
(追いだきランプ消灯)

お願い

- 浴そうの水が循環アダプターから5cm以上ある状態で使用してください。

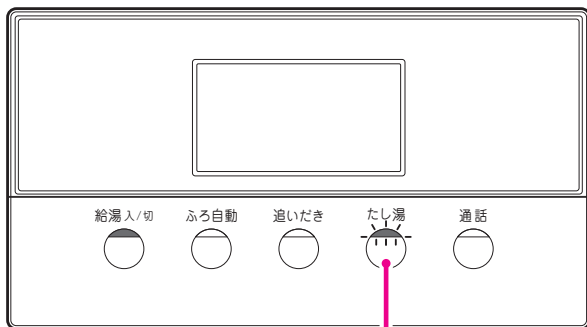
お知らせ

- 追いだき運転中に給湯すると給湯能力が低下することがあります。
- 追いだき運転中に補助熱源機燃焼表示が点灯・消灯を繰り返すことがあります。
- 断水のときは浴そうのお湯(水)が循環口上部から約5cm以上あっても追いだき運転はしないでください。故障の原因になります。

たし湯運転

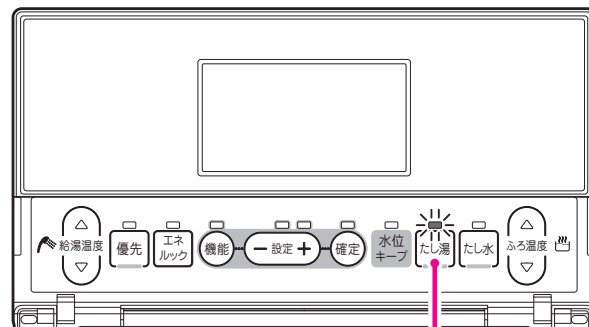
ふろ設定温度のお湯を約 20 リットルたし湯します。

浴室リモコン



1

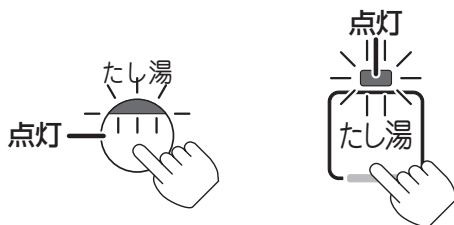
浴室リモコン



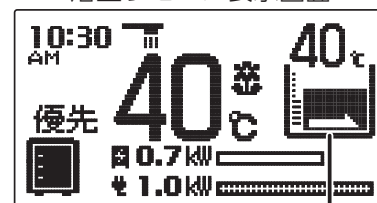
1

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし湯スイッチ①を「入」にする



浴室リモコン表示画面



点滅

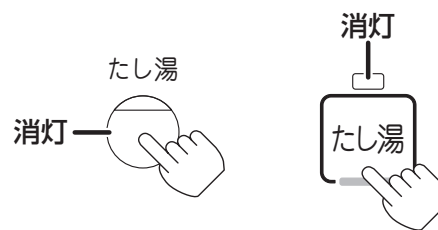
表示(*)と音声で「たし湯をします」とお知らせし、ふろ設定温度のお湯を約 20 リットルたし湯すると自動的に終了します。

※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

たし湯の温度調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。

給湯・ふろ運転

たし湯運転をやめたいときは



たし湯スイッチ①を「切」にしてください。
(たし湯ランプ消灯)

お知らせ

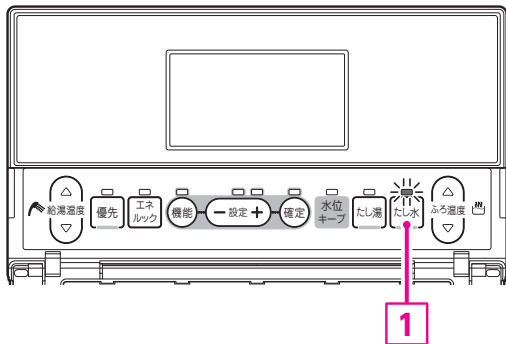
- たし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、たし湯運転は中断することがあります。ただし、たし湯運転を中断しないように設定することができます。
- たし湯運転中にたし水スイッチを押してもたし水運転を開始しません。たし湯運転を停止してから、たし水運転を行ってください。

44・45ページ

たし水運転

約10 リットルの水を給水して浴そうのお湯の温度を下げます。

浴室リモコン

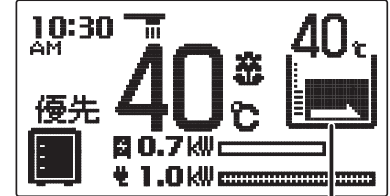


給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし水スイッチ①を「入」にする



浴室リモコン表示画面



点滅

表示(*)と音声で「たし水をします」とお知らせし、約10リットルの水を給水すると自動的に終了します。
※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

お知らせ

- たし水運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。
- たし水運転中に給湯やたし湯運転をするとたし水運転を中止します。

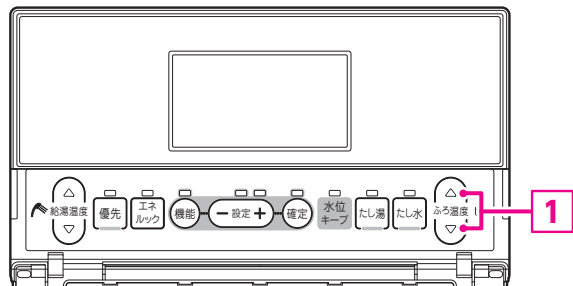
たし水をやめたいときは



たし水スイッチ①を「切」にしてください。
(たし水ランプ消灯)

ふろ温度の設定

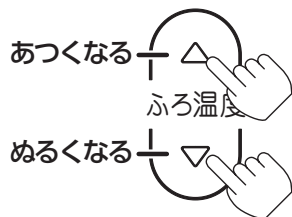
浴室リモコン



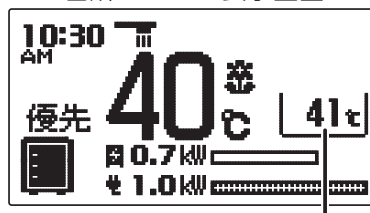
浴室リモコンで設定します。

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

ふろ温度調節スイッチ①を押す (一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

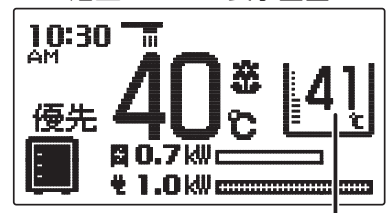


台所リモコン表示画面



数字が変わる

浴室リモコン表示画面



数字が変わる

設定温度は33～48℃(1℃ごと)の範囲で調節できます。

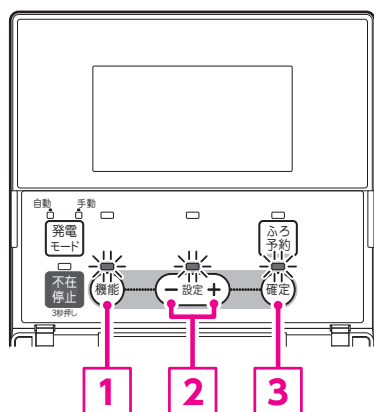
設定温度を変えると、表示(*)で「ふろ温度が変更されました」、音声で「ふろ温度が〇〇℃に変更されました」とお知らせします。

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

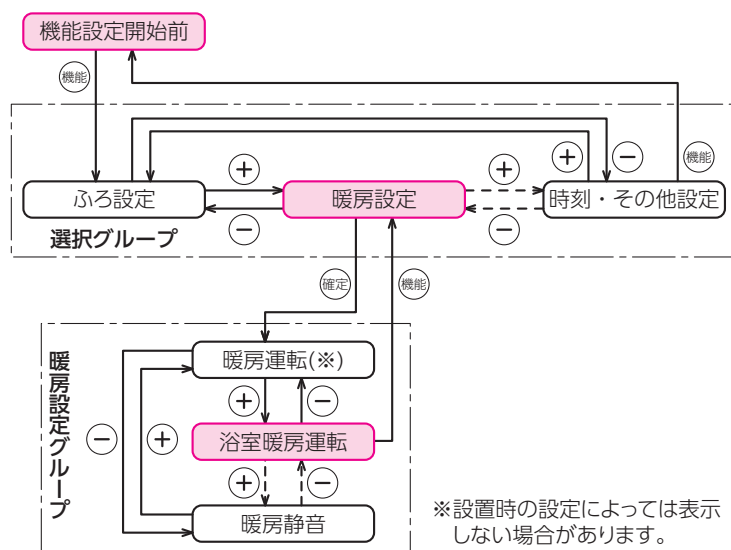
浴室暖房運転と予約運転

浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

台所リモコン

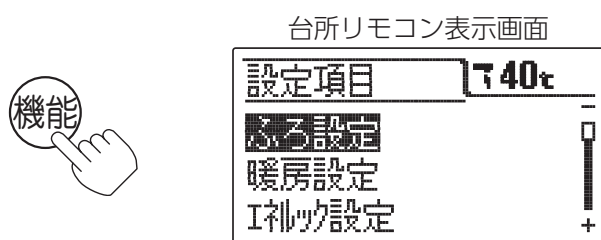


機能設定の順序

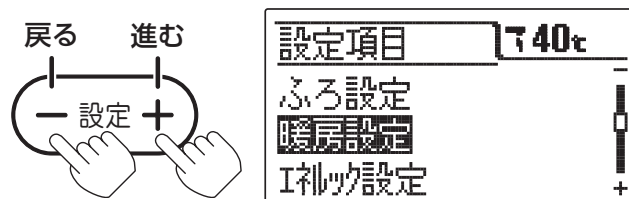


1 ふたを開く

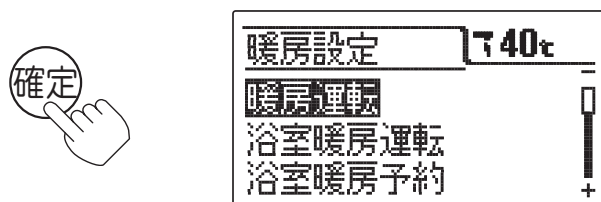
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す



5 設定スイッチ②を押して「浴室暖房運転」を選択する

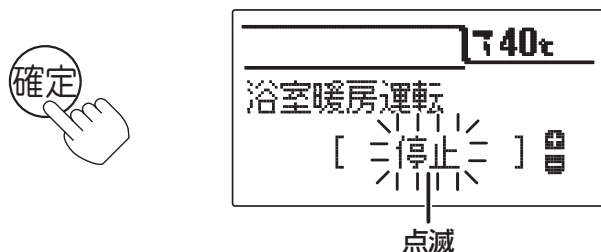


暖房設定グループの項目を表示します。

現在の設定が点滅します。

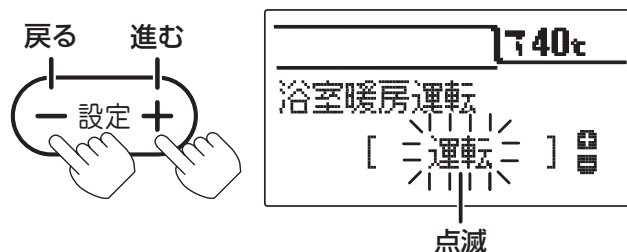
浴室暖房運転と予約運転

6 確定スイッチ③を押す



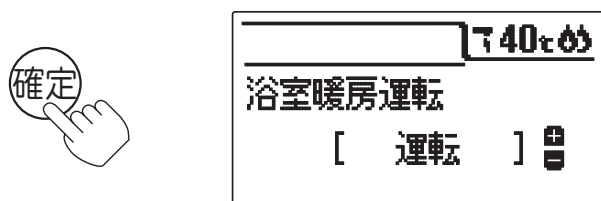
暖房設定グループの項目を表示します。

7 設定スイッチ②を押して浴室暖房運転を設定する



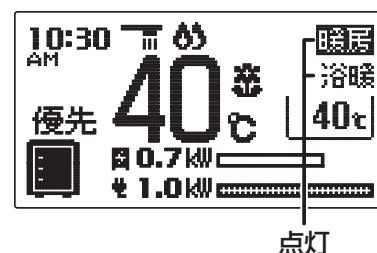
設定スイッチを押すごとに **運転<=>予約<=>停止** の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

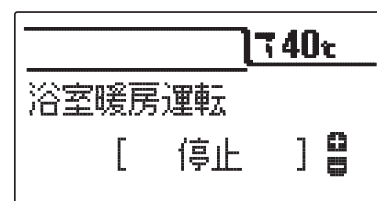
9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

浴室暖房運転をやめたいときは

「7」で設定を「停止」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても浴室暖房運転は停止しません。



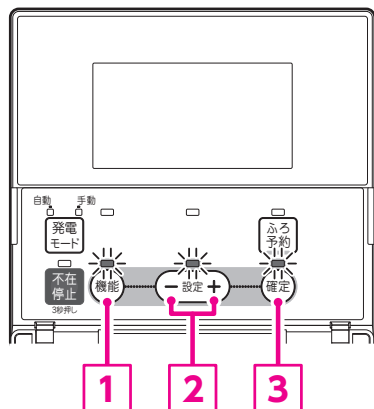
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「停止」に設定されています。
- 浴室暖房乾燥機と接続していない場合は「受付できません」と表示します。
- 「8」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

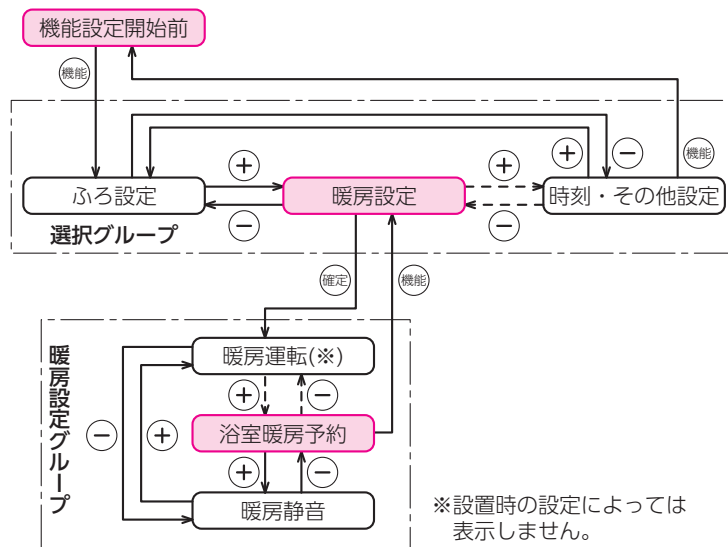
浴室暖房運転の予約時刻の設定

浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

台所リモコン



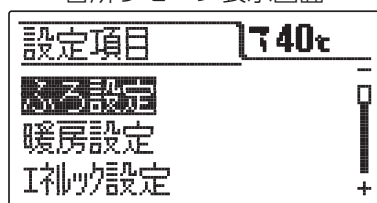
機能設定の順序



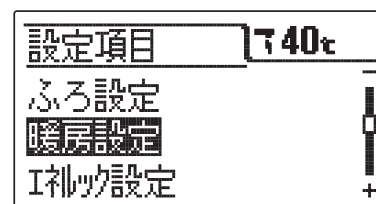
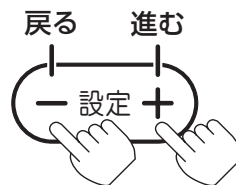
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

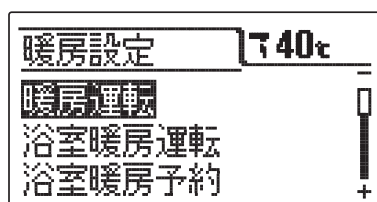
台所リモコン表示画面



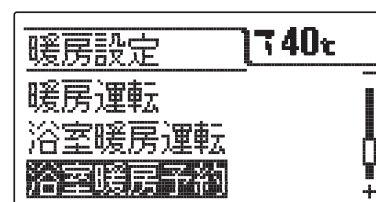
3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す



5 設定スイッチ②を押して「浴室暖房予約」を選択する

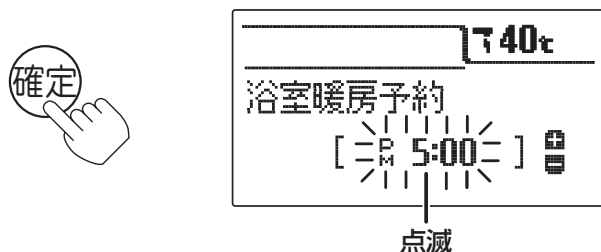


暖房設定グループの項目を表示します。

現在の設定が点滅します。

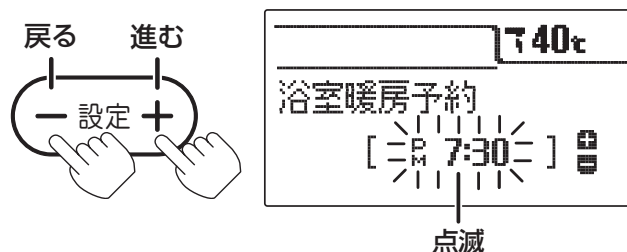
浴室暖房運転の予約時刻の設定

6 確定スイッチ③を押す



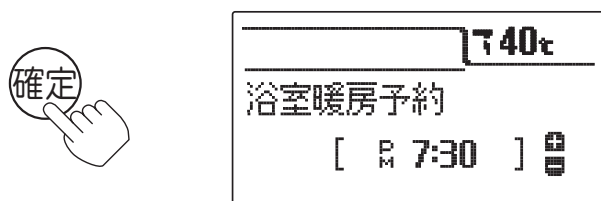
暖房設定グループの項目を表示します。

7 設定スイッチ②を押して浴室暖房予約を設定する



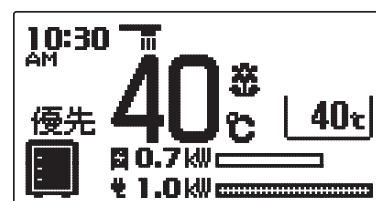
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

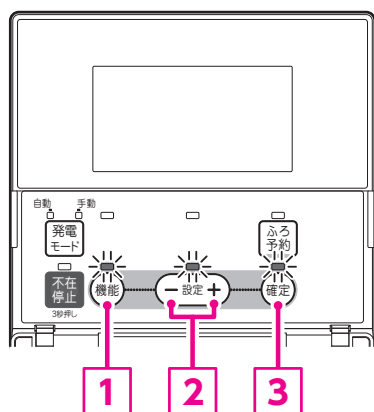
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には設定されていません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

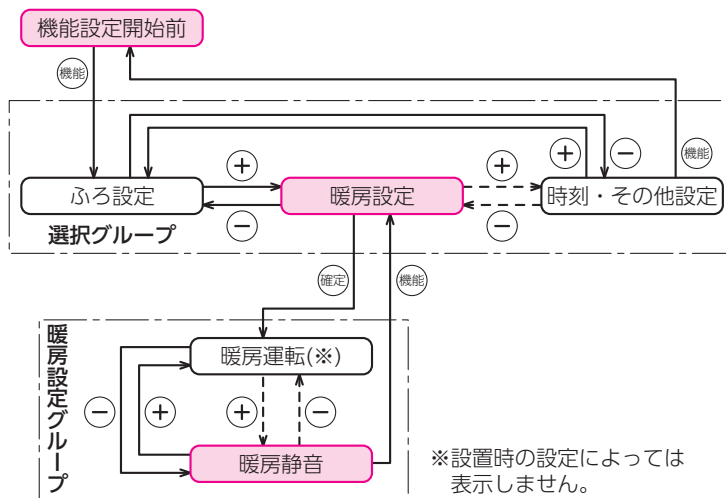
暖房静音時間の設定

暖房静音を設定した時間に暖房すると暖房能力をおさえた暖房静音モードになります。

台所リモコン



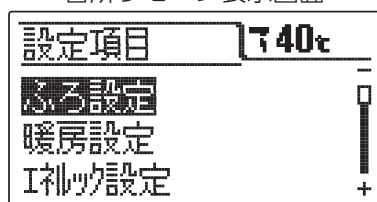
機能設定の順序



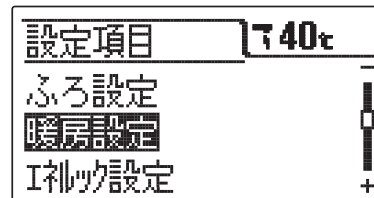
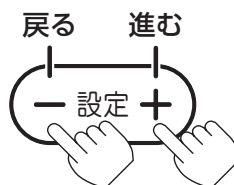
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

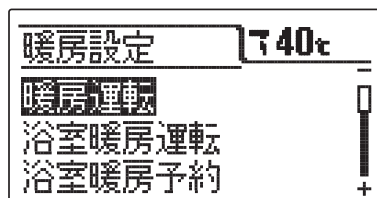
台所リモコン表示画面



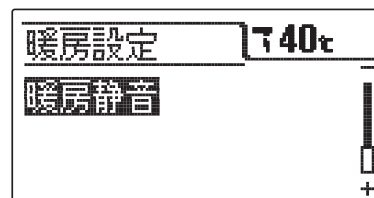
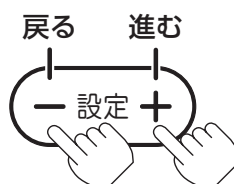
3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

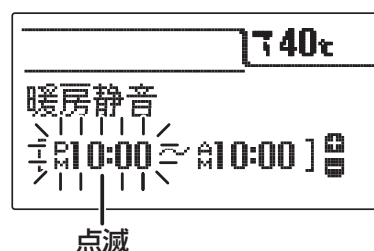


5 設定スイッチ②を押して「暖房静音」を選択する



暖房設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す

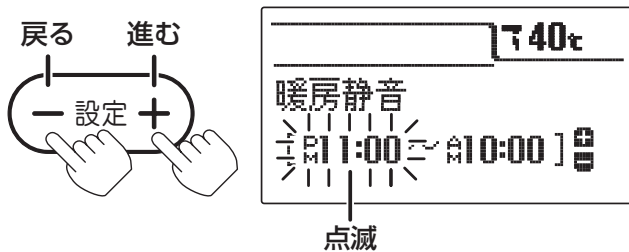


現在の設定 (開始時刻) が点滅します。

暖房運転

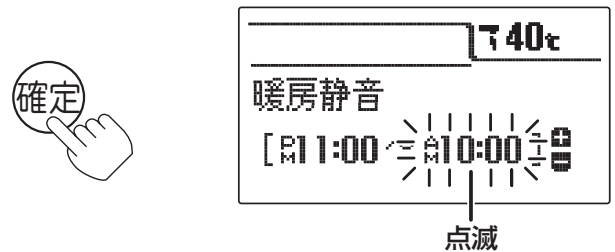
暖房静音時間の設定

7 設定スイッチ②を押して 開始時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



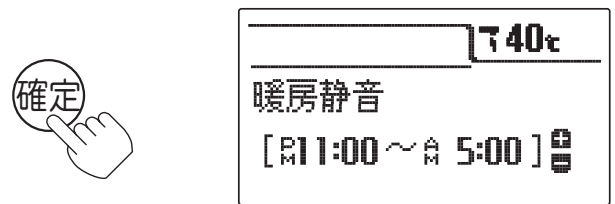
音声で「変更されました」とお知らせし、終了時刻が点滅します。

9 設定スイッチ②を押して 終了時刻を設定する



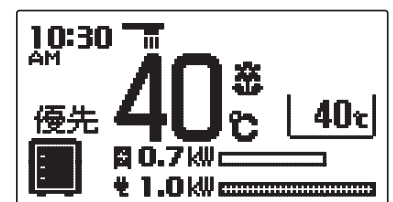
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

10 確定スイッチ③を押す



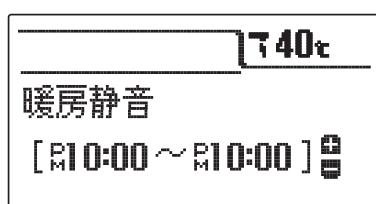
設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

11 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

暖房静音時間をやめたいときは



開始時刻と終了時刻を同じ時刻にしてください。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には設定されていません。
- 「10」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

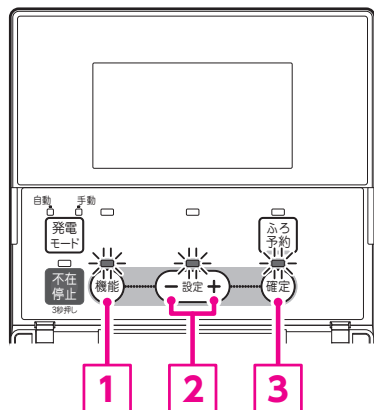
暖房運転の設定

運転スイッチがない暖房端末機（パネルヒーターなど）を台所リモコンで運転する場合に設定します。

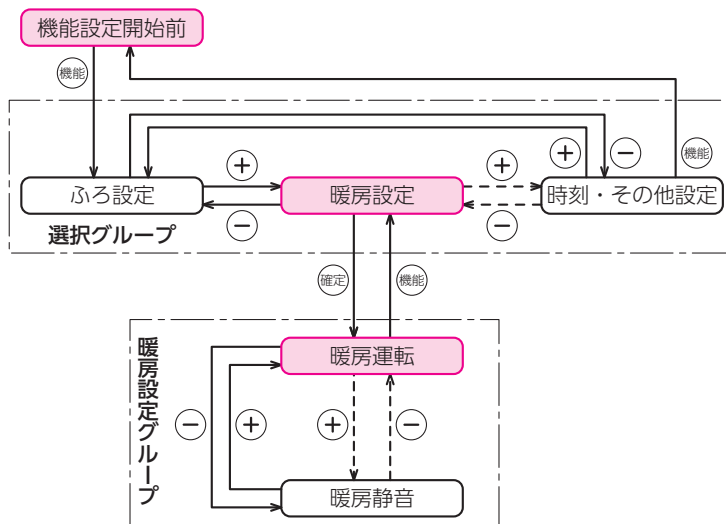
運転スイッチがある暖房端末機（浴室暖房乾燥機・ファンコンベクター・ルームヒーター・床暖房など）を運転する場合は設定する必要はありません。ただし、運転スイッチの操作だけでは暖房運転できない暖房端末機の場合は、設定を行ってください。

設置時の設定によってはこの機能は使用できません。（その場合は暖房設定グループの「暖房運転」表示はありません。）

台所リモコン

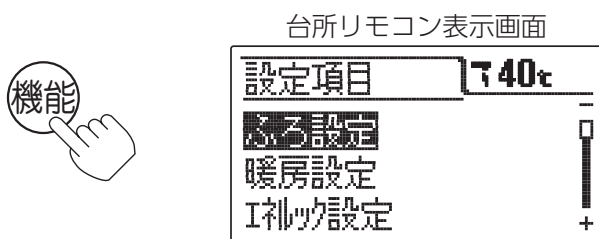


機能設定の順序

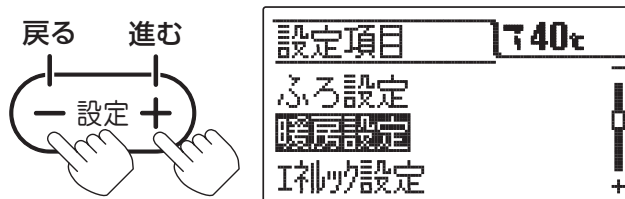


1 ふたを開く

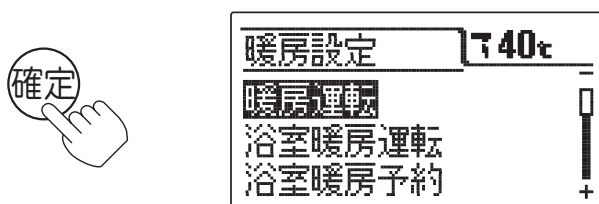
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する

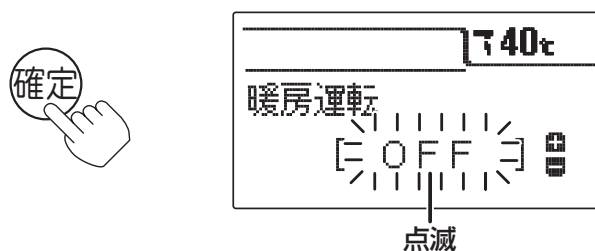


4 確定スイッチ③を押す



暖房設定グループの項目を表示します。

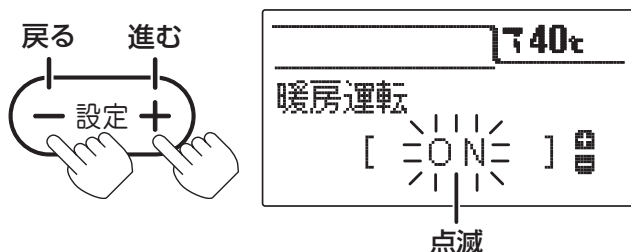
5 再度確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

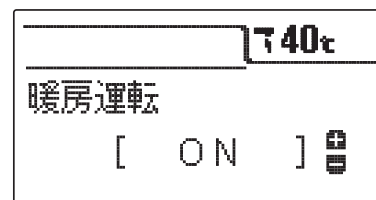
暖房運転の設定

6 設定スイッチ②を押して暖房運転を設定する



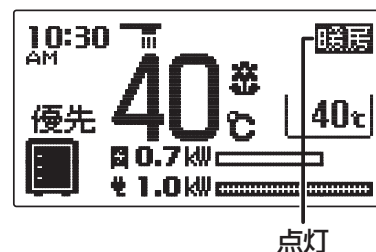
設定スイッチを押すごとに ON ↔ OFF を交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

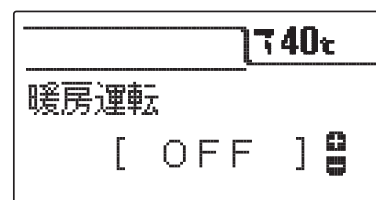
8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

暖房運転をやめたいときは

「6」で設定を「OFF」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても暖房運転は停止しません。



お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「OFF」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

発電モードの設定

学習機能によって自動的に発電する自動モードと、電気使用量に応じて発電量を調節する手動モードが選択できます。

58ページ

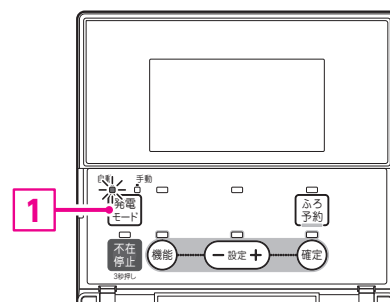
通常は自動モードに設定してください。

燃料電池発電ユニットで発電した電力を販売することはできません。

日付・現在時刻・暗証番号の設定が行われていないと発電できません。

30・31ページ 62ページ

台所リモコン

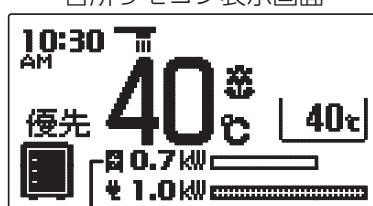


1

発電モードスイッチ①を押して自動ランプまたは手動ランプを点灯させる

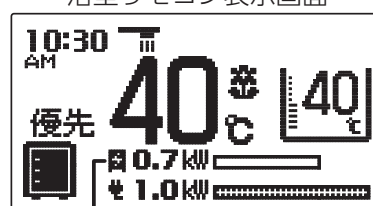


台所リモコン表示画面



点灯(発電中のみ)

浴室リモコン表示画面



点灯(発電中のみ)

音声で「変更されました」とお知らせします。

発電すると発電表示でお知らせします。

26ページ

お知らせ

- 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気を使うことができます。＜自立運転機能＞ 63ページ
- 燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合、停電中は発電することができませんが、停電復帰後は自動で運転を再開します。なお、約24時間以上停電した場合は、再通電後に日付・時刻の入力、暗証番号を入力する画面を表示することがあります。入力をしないと発電はできません。 30・31ページ 62ページ
- 約24時間以上停電すると学習機能の記憶は失われることがあります。
- 貯湯タンク内のお湯が沸き上がっている場合は発電しないことがあります。
- 現在時刻が未設定の場合は自動的に発電しません。 30・31ページ
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 給湯スイッチが「切」でも発電中は発電表示が点灯します。
- 学習機能をより効果的に利用するためお湯はりの設定を行ってください。 60・61ページ
- 旅行などで48時間以上ご不在になる場合は、「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」で発電を停止させてください。 59ページ

発電モードの設定

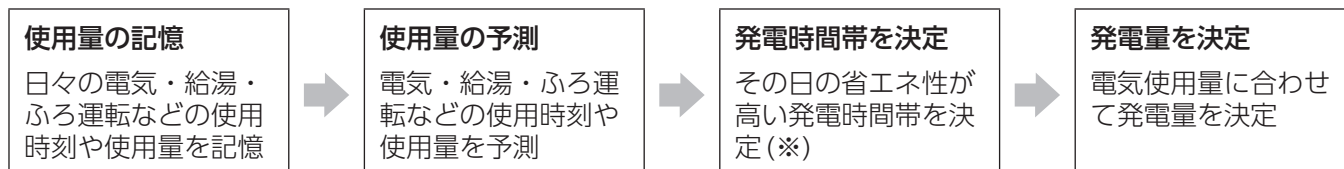
発電の学習機能について

学習機能とは電気・給湯の使用・ふろ運転などの使用時刻や使用量を記憶し、これに基づいてその日の最適な発電運転を決定する機能です。給湯の使用量によっては発電運転を停止することもあります。

学習機能を元に運転するので、お湯の使用量が不規則な場合は最適な発電運転が行えないことがあります。

なお、自立運転時は学習機能は働きません。

●学習機能の流れ

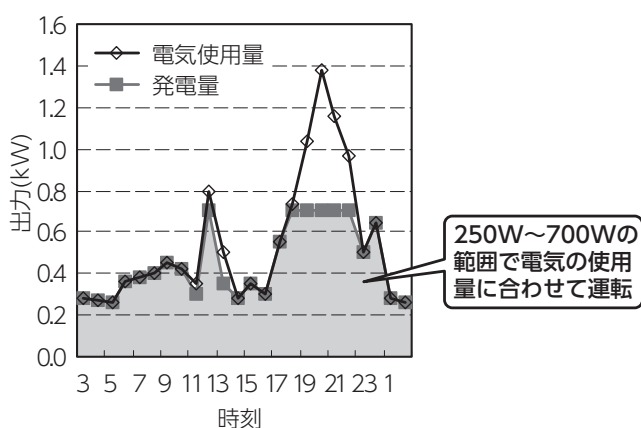


※ 予測と異なる使用状況の場合は使用状況に応じて変動します。

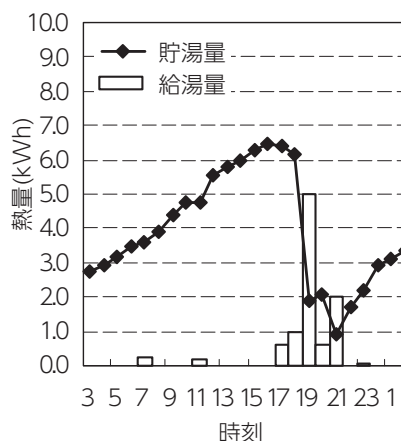
●使用状況に応じて運転を自動的に切替えます。

連続運転

標準的な量でほぼ毎日お湯を使う場合(毎日お湯はりする場合など)、燃料電池発電ユニットを連続して運転させます。手動モードはお湯の使用量に関係なくこの運転を行います。

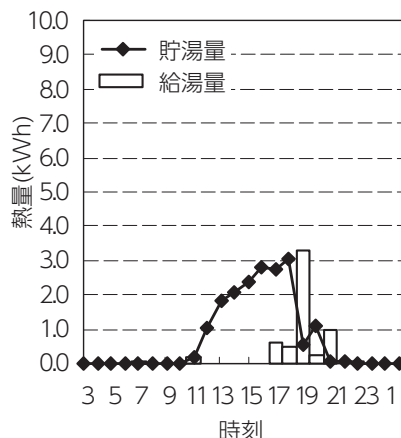
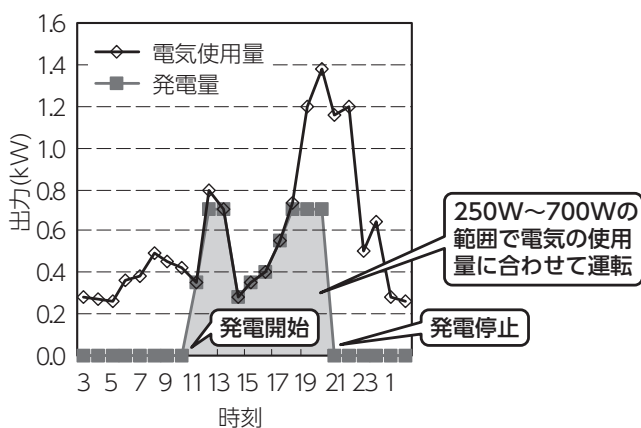


お湯の貯まり具合により発電量を調節することがあります。



起動・停止運転

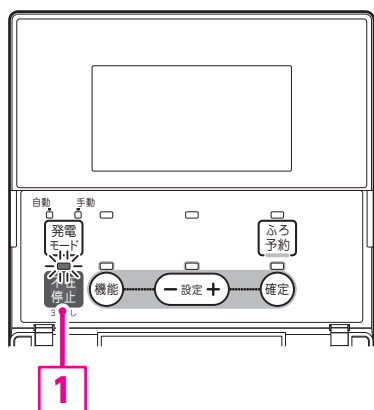
お湯の使用量が少ない場合、燃料電池発電ユニットを起動・停止させる運転です。



ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)

旅行などで48時間以上不在になったり使用しない場合にご利用ください。
凍結予防運転以外のすべての運転(発電・給湯・暖房など)を停止します。

台所リモコン



1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

暖房運転の予約中に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を設定しても、予約時刻になると暖房運転を開始し、「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」が解除されます。必ず暖房運転の予約を解除してください。

再び使用するときは



不在停止スイッチ①を押してください。
音声で「不在停止を解除します」とお知らせします。
給湯スイッチ、接続している暖房端末機の運転スイッチを押すことでも解除できます。
このときは音声でお知らせしません。

2 不在停止スイッチ①を約3秒間押す



音声で「不在停止します」とお知らせします。
運転が停止するとすべての表示が消灯します。
暖房運転中は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を受け付けません。音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。

お知らせ

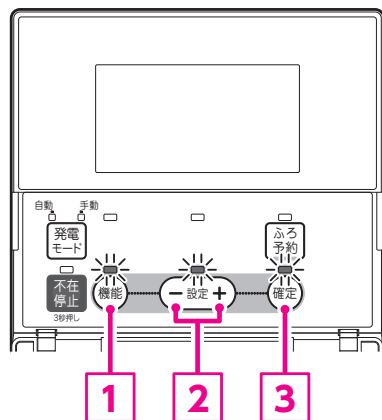
- 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を設定しないとリモコンの給湯スイッチを「切」にしても発電を行います。
- 排熱利用給湯暖房ユニットを48時間以上使用しない場合は自動的に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」になります。このとき不在停止ランプが点灯します。
- 落雷のおそれがある場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってから、ブレーカを切ってください。
- 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行っても凍結予防運転をするために補助熱源機が燃焼することがあります。電源・ガスを切らないでください。
- 発電中に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を頻繁に行うと機器の寿命低下の原因になります。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)することはできません。

経済的な運転をしたい場合

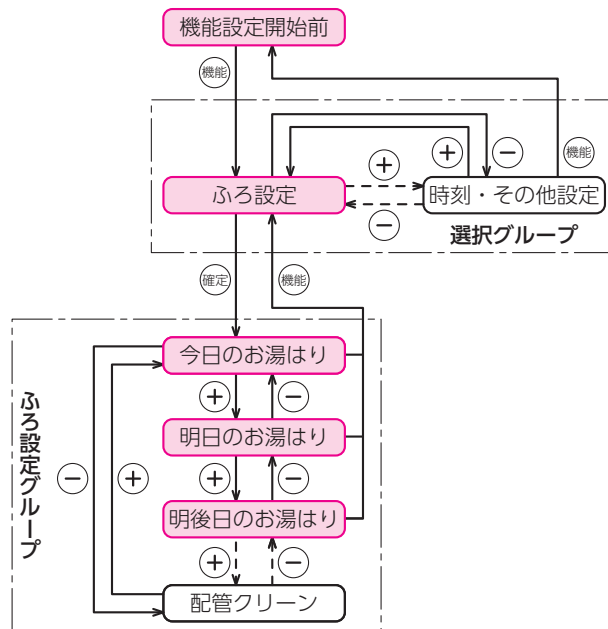
お湯はりの設定

旅行などでお風呂に入らない日に、お湯はり用のお湯を貯めないように発電運転をさせることができます。お湯はりを「なし」に設定した日には貯湯量を調節することにより経済的な運転を行います。今日・明日・明後日の3日間の設定ができます。(設定を変えなければお湯はりは「あり」になります。)

台所リモコン

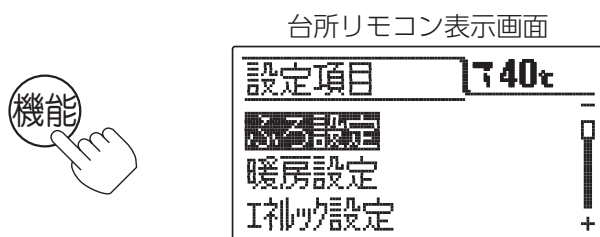


機能設定の順序

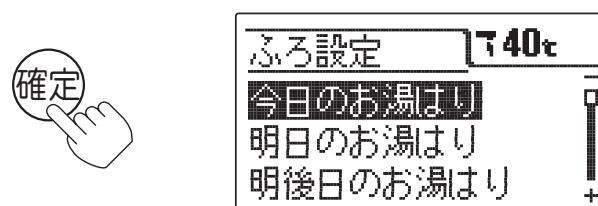


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

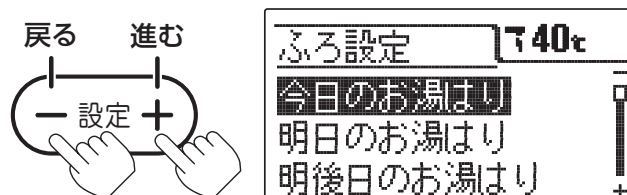


3 確定スイッチ③を押す

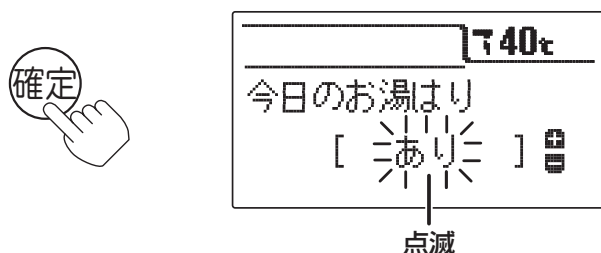


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「今日のお湯はり」「明日のお湯はり」「明後日のお湯はり」のいずれかを選択する



5 確定スイッチ③を押す



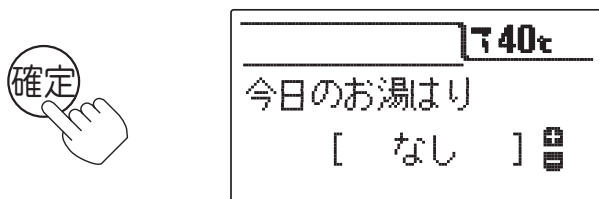
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して お湯はりを設定する



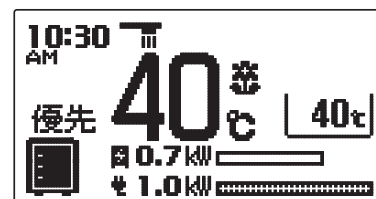
設定スイッチを押すごとにあり<=>なしを交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

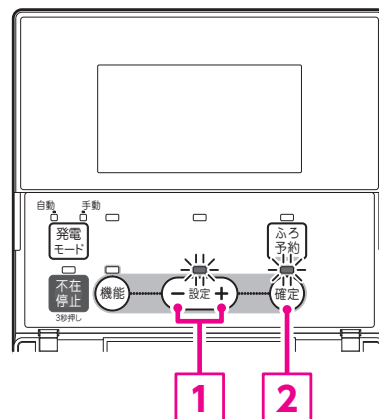
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- ふろ予約スイッチを「入」にすると、「なし」に設定した日でも学習機能に基づいた貯湯量の調節を行います。
- 午前0時を過ぎると「明後日」の設定内容は「明日」の設定に、「明日」の設定内容は「今日」になります。
「明後日」の設定内容は「あり」になります。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

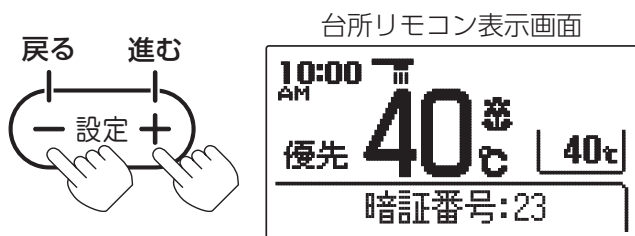
暗証番号について

停電やブレーカを切った状態が約24時間以上続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。

台所リモコン



1 設定スイッチ①を押して暗証番号を選択する



1回ずつ押すと1単位、押し続けると早く変わります。

2 確定スイッチ②を押す



暗証番号があれば発電ができるようになります。
暗証番号を間違えている場合は「発電要手続き」・「メン
テ会社へ連絡」を交互に表示します。


お知らせ

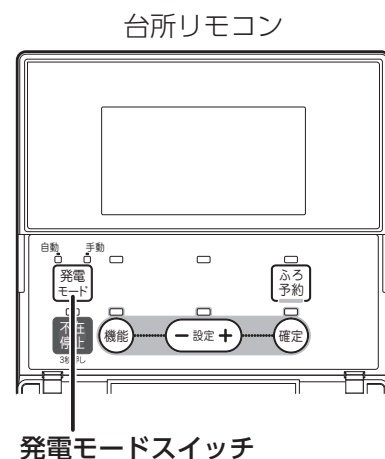
- 暗証番号とは機器を設置業者からお客様に引き渡される際に、お客様に登録していただく数字です。
暗証番号を登録することで燃料電池発電ユニットが運転できる状態になります。
- 暗証番号を登録していない場合は2桁の数字を入力してください。
登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。
電話番号の下2桁など覚えやすい数字をおすすめします。
- 既に登録している場合は登録した暗証番号を入力してください。運転できるようになります。
- 暗証番号を忘れた場合は担当のメンテナンス会社にご相談ください。
- 暗証番号を入力しない状態でも発電以外の操作は行えます。

停電時に電気を使う

- 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使うことができます。＜自立運転機能＞
 - ※ 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているとき
 - ・マイコンメーターの安全機能確認により、運転を停止しているとき（26日間連続で運転した場合、1日停止）
 - ・学習機能により、省エネのため運転を停止させているとき
 - ・お客さまのリモコン操作（不在停止・手動停止）により運転を停止させているとき
- 自立運転機能で利用できる電気の量は約350Wです。
 - ※ 排熱利用給湯暖房ユニットで使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は350Wよりも少なくなります。
- 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
自立運転専用コンセントには「**エネファーム自立運転専用**」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧して5分経過すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 自立運転機能は停電時のみ、お使いください。本来の機能、メリットを損なってしまいます。

1. 停電前に

- 計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - ・マイコンメーターの安全機能確認により発電が停止することを避けるため、停電予定期間の2～3日前に「**発電モードスイッチ**」を5秒間押して、あらかじめ発電を連続24時間以上停止させる。
 - ・学習機能による省エネ運転のために発電が停止することを避けるため、停電予定時間の2時間以上前に「**発電モードスイッチ**」を押して、発電モードを「**手動**」にし、連続発電をさせる。
- 自立運転が行えない場合でも、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。  124ページ

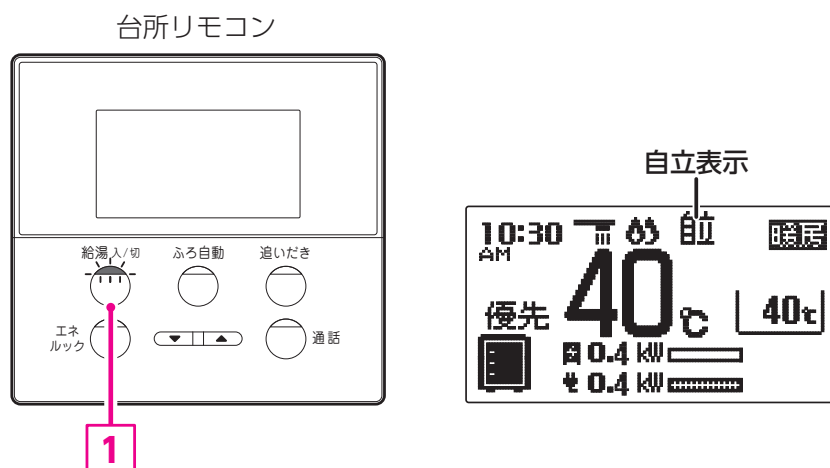


2. 停電時の対応

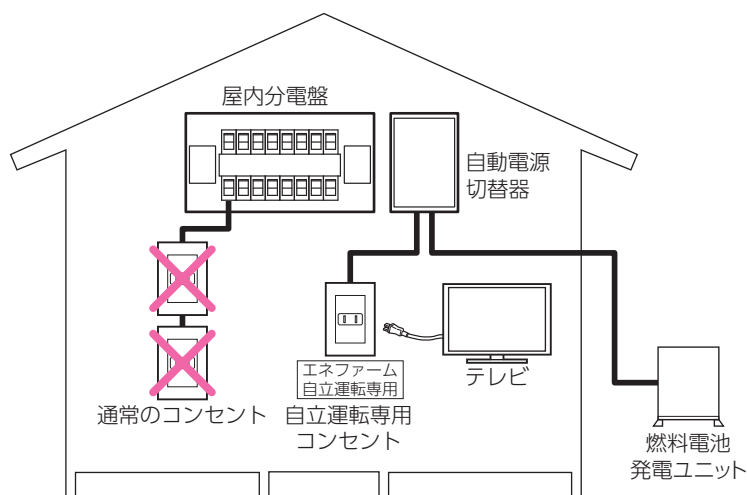
- 停電時に電気を使う場合は下記の手順を参照してください。お湯の使い方は通常の操作方法と変わりません。
- 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

136ページ

1 給湯スイッチ①を「入」にして、「自立」の表示がされていることを確認する



2 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- 自立運転専用コンセントには使用したい電化製品を一つずつ接続してください。もし消費電力が発電量を超えた場合、一時的に電気が使えなくなります。すぐに接続した電化製品を取り外してください。
- 消費電力が350Wを大きく上回る場合は約50秒後に発電を停止します。350Wを少し(5%程度)上回る場合は約300秒後に発電を停止します。
- 停電中に発電を停止すると、停電が復旧するまで発電を行うことができませんので、ご注意ください。
- 接続した電化製品の消費電力が発電量を超えないよう、運転状態をこまめに確認してください。

66ページ

警告

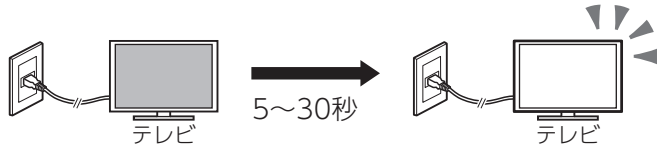
自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受ける恐れがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受ける恐れのある機器

お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は、排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力(数十W(※))と合わせて最大で約350Wです。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
※ 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、台所リモコンで発電量を確認しながらご使用ください。
- 停電が発生すると発電量は250Wから上昇し始めます。350Wまで使用可能になるのは、おおよそ4分かかります。電気を使用する際には台所リモコンで発電量を確認しながら行ってください。
- 電化製品の電源を入れたとき、電化製品の種類によっては一時的に使用できないことがあります。その場合、5～30秒ほど待つと使用できるようになりますので、電化製品をつないだままにしてください。



30秒ほど待っても使用できない場合は、消費電力が発電量を超えています。すぐに、使用する電化製品の数を減らしてください。

この状態を10回繰り返すと燃料電池発電ユニットは発電を停止し、停電が復旧するまで発電を再開することができません。

また、この間に日付・時刻の入力、暗証番号を入力する画面が表示されることがあります。設定を行ってください。(自立運転には支障ありません。)

30・31・62ページ

- 自立運転中に発電を停止させたい場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。(リモコンの発電モードボタンを長押しすることでも停止させることができます。停電が復旧したときは、発電モードボタンを押すことで再び発電を行うことができます。)
ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)することはできません。

59ページ

主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に350Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません)

製品名	参考型番	消費電力の目安(W)
携帯の充電器	—	15
卓上LED照明	—	20
ラジカセ	—	20
ガスファンヒーター	—	30
扇風機	東芝製 F-DLN100 ※1	40(※1は20)
液晶テレビ	東芝製 32RE2(32型) ※2	150(※2は90)
保温ポット	東芝製 PLK-22DE(2L)	900(湯沸し時)
電気炊飯器	東芝製 RC-10FE(5合炊き)	1100
ヘアードライヤー	東芝製 HDH-PPR100	1200

ご使用できません

発電運転

注意

ガスファンヒーターの使用について

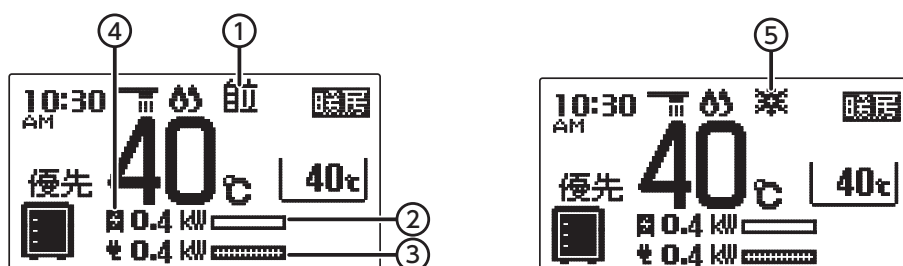
- ・ ガスファンヒーターをご使用中は部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1～2回(1分～2分)程度、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷で停電する場合は使用しないでください。
ガスファンヒーター運転中に停電が発生するとガスファンヒーターの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルター部や取っ手部分)が高温になり、手を触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合には、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

停電時に電気とお湯を使う

3. 停電中のリモコン表示

台所リモコンで給湯スイッチを「入」にしたときに、以下の表示がされます。

※ 停電中に燃料電池発電ユニットが停止している場合は電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
また、自立運転中に燃料電池発電ユニットが停止した場合も電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。(エラーコードは表示されません)

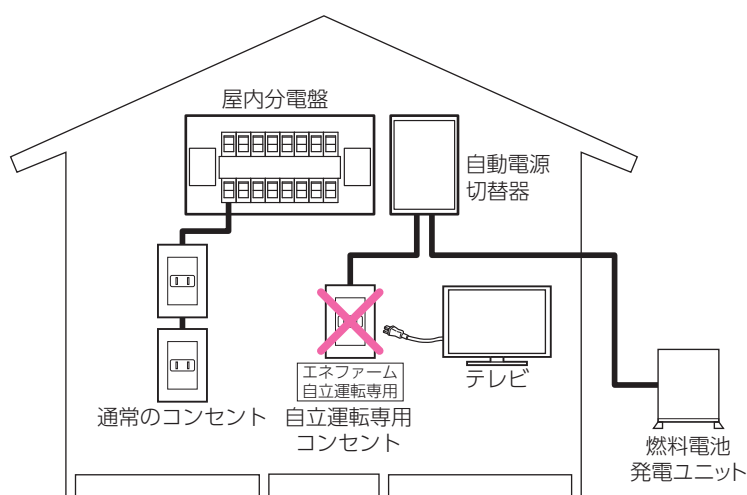


①自立運転表示	停電中に燃料電池発電ユニットが運転している場合、「自立」の文字が表示されます。
②発電量表示	発電量を表示します。なお、350Wの発電量は「0.4kW」と表示されます。
③電気使用量表示	ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。自立運転中はこの数値が発電量を超えないように注意してください。
④発電状態表示	発電状態を表示します。
⑤凍結防止運転表示	凍結防止運転に入ると、この表示になります。 排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力が増加するので、使用できる電力量にご注意ください。

※ 断水を検知してエラーコード「260」が発生したときは、①～⑤の表示は確認できませんが自立運転は続きます。

4. 停電が復旧したときの対応

自立運転専用コンセントから電化製品の電源プラグを抜く



- 停電が復旧して5分経過すると、自立運転専用コンセントへの電気の供給は自動的に止まります。(通常のコンセントに電気が供給されます)
- 停電復旧後、すみやかに電化製品の電源プラグを抜いてください。電化製品をつないだままにすると、次回の自立運転時に突然電気が流れ、機器の損傷や突然の動作による事故の原因になります。
- 停電が復旧したら、発電モードを「自動」に戻してください。(「自動」に設定後、学習制御機能により発電を行わない場合があります。)

エネルギー表示について

エネルギーとは

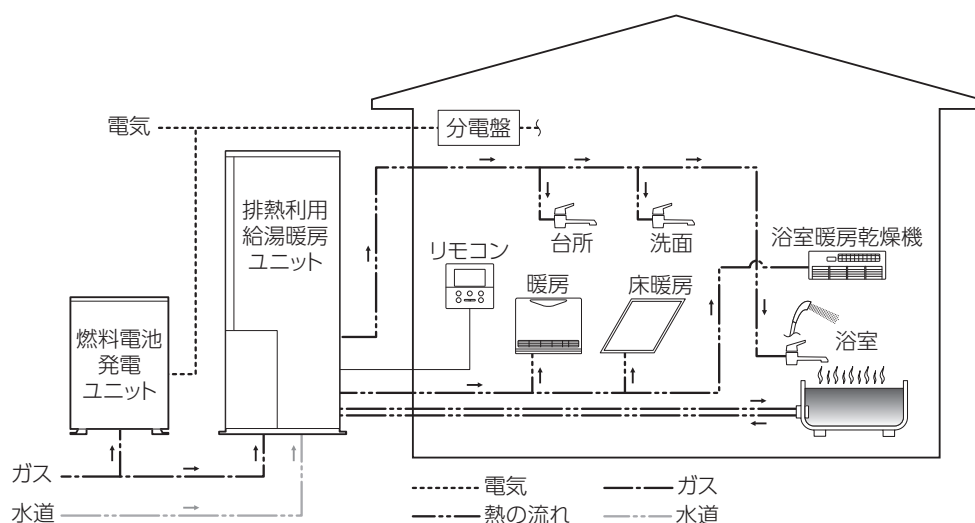
エネルギーとはエネファーム(排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット)で使用したガス・水道・電気の使用量・使用金額をリモコンに表示する機能です。また、使用量の目標を設定し実績と見比べることで日々のエネルギー消費状況をよりわかりやすく把握できます。

- ガス・水道・電気などの目安使用量や目安使用金額を表示しています。実際の使用量や使用金額とは異なります。
- 金額は設定した単価に使用量を掛けた値(従量料金)を表示しています。基本料金は含まれません。
- ご家庭で支払われる使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示される金額で請求されることはありません。
- エネルギーの機能をお使いいただくためには、「日付・時刻の設定」を行ってください。
- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには、「エネルギー表示の設定」でガス・水道・電気などの単価や目標値の設定を行ってください。データが表示されないなどの原因になります。
- 「エネルギー表示の設定」や別売のマルチ計測ユニットなどの取付けによって表示する項目や内容が異なります。
- 矢印の配管の使用分をデータとして積算しています。

30・31ページ

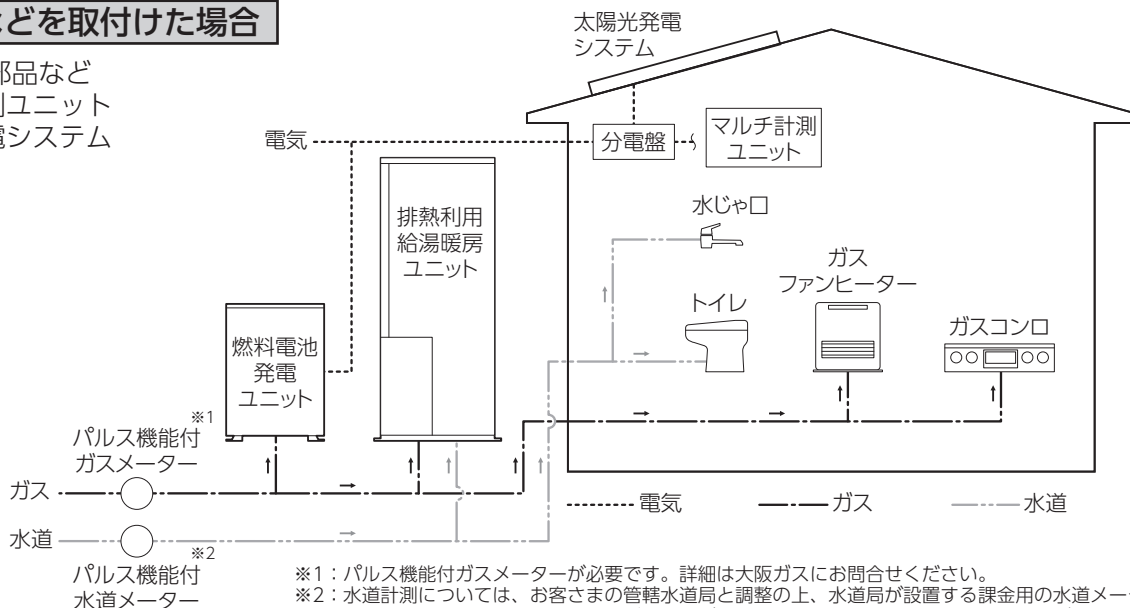
69ページ

標準



別売部品などを取付けた場合

- 必要な別売部品など
 - ・マルチ計測ユニット
 - ・太陽光発電システム



※1：パルス機能付ガスメーターが必要です。詳細は大阪ガスにお問合せください。

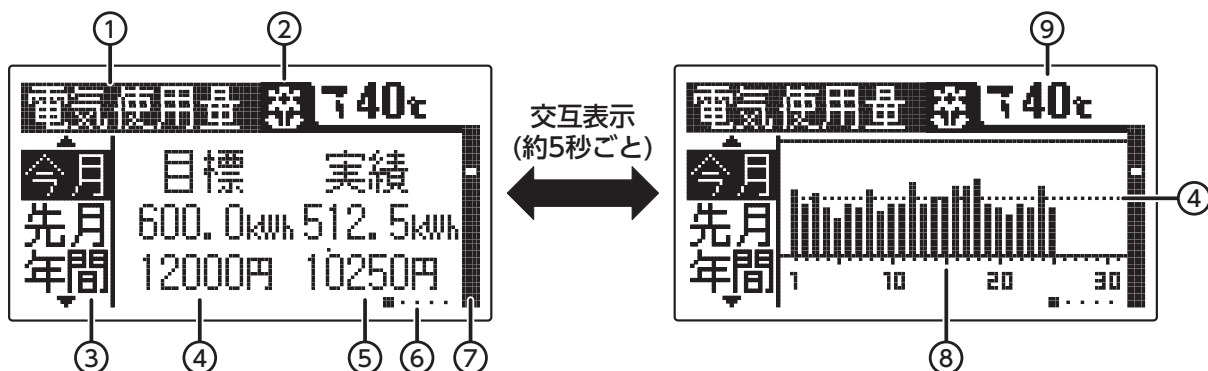
※2：水道計測については、お客さまの管轄水道局と調整の上、水道局が設置する課金用の水道メーターとは別に水量計測器を設置していただく必要があります。水道の計測については事前にご相談ください。

- マルチ計測ユニットと太陽光発電システムを取付けると太陽光発電の発電量・販売した電力量を表示します。
- 標準の表示では、排熱利用給湯暖房ユニットや燃料電池発電ユニットを通らないガスコンロ・ガスファンヒーターなどのガス使用量は含まれません。
マルチ計測ユニットとパルス機能付ガスメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します。
- マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

エネルギー表示について

電気・ガス・お湯・水道などの目安使用量・目安使用金額の実績を表示

例 今月の電気使用量



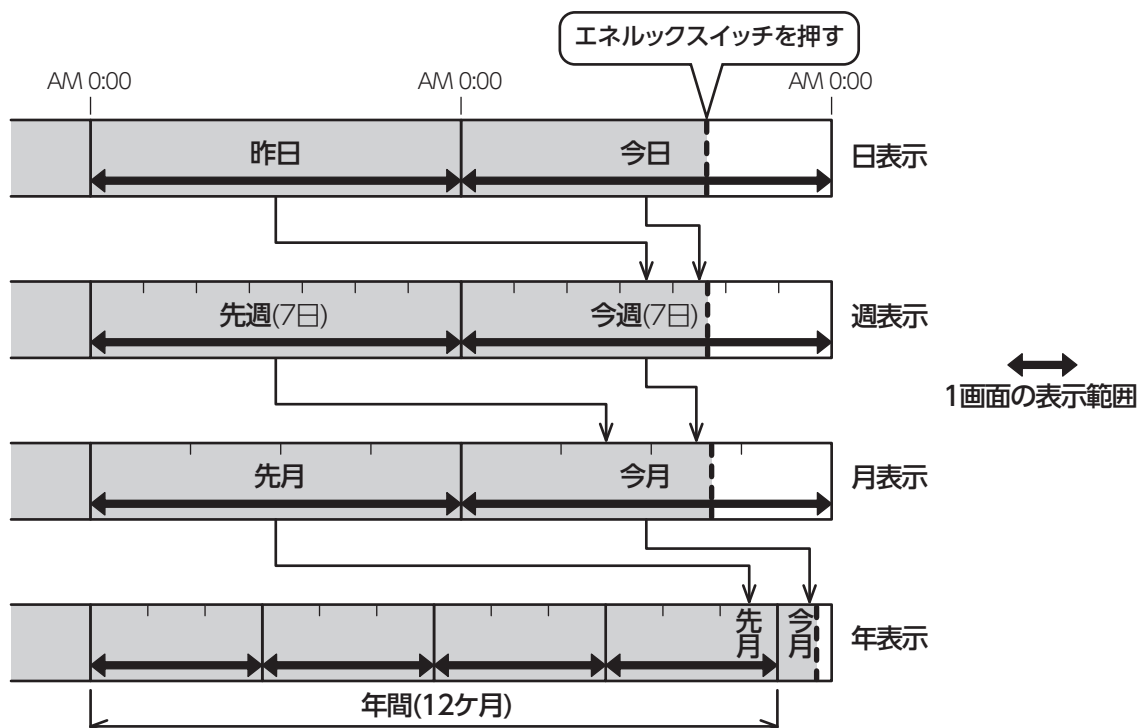
① 表示項目 {70 ページ}	④ 使用量や金額の目標値 (※1) {74~79・84・85 ページ}	⑥ 交互表示タイマー
② 達成マーク {80・81 ページ}	⑤ 期間中の量・金額・光熱費・一次エネルギー消費量の目安 {76~79・84・85 ページ}	⑦ 表示の順番
③ 期間 {82・83 ページ}		⑧ 1 時間または 1 日の使用量 (※2)
		⑨ 給湯温度表示 (給湯「入」のときに表示します)

「エネルギー表示の順序」については70ページをご覧ください。
データを表示しないなどの場合は「エネルギー表示の設定」(上記表中の参照ページ)に従って設定を確認してください。

※1 目標値が中心になるように表示しています。
目標値を変更したときは、変更前のデータが正確に表現されない場合があります。
目標値が設定されていない場合は、最大値に合わせて表示します。

※2 年間データはグラフ表示されません。

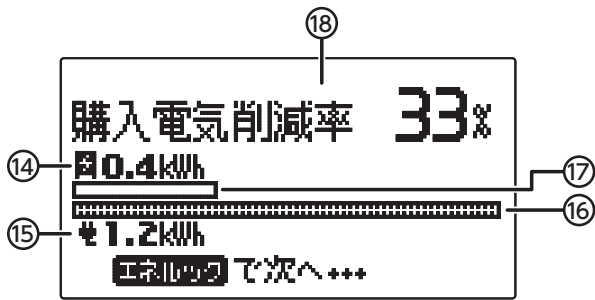
- エネルギースイッチを押すと図のように一定期間ごとのデータを表示します。
- 日付と現在時刻を設定するとエネルギーのデータの積算・保存を開始します。
時刻を設定した日はPM11:59までのデータを一日分として保存します。



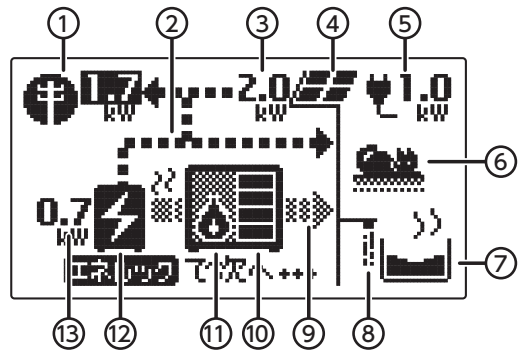
現在の電気・お湯などの利用状況を表示(エネルギーモニタ)

- 現在の電気やお湯の利用状況などがひと目でわかります。
 - エネルギースイッチを押すとエネルギーモニタ(削減率)を表示します。今日の発電による購入電気の削減率を表示します。
- 再度エネルギースイッチを押すとエネルギーモニタを表示します。

●エネルギーモニタ(削減率)



●エネルギーモニタ



① 購入電気量・販売電気量(※1・※2)	⑧ 給湯使用中	⑭ 今日の発電量
② 電気の流れ ▶…消費中、◀…販売中	⑨ 熱の流れ	⑮ 今日の電気使用量
③ 太陽光発電システムによる発電量(※1)	⑩ 貯湯量 ◀{26 ページ}	⑯ 今日の電気使用量グラフ
④ 太陽光発電システム(※1)	⑪ 補助熱源機燃焼中	⑰ 今日の発電量グラフ
⑤ 電気使用量	⑫ 燃料電池発電ユニット ■…燃焼中	⑱ $\frac{\text{今日の発電量}}{\text{今日の電気使用量}} \times 100 (\%)$
⑥ 暖房使用中	⑬ 燃料電池発電ユニット ■…発電中、■…停止中	
⑦ ふろ使用中	⑭ 燃料電池発電ユニットによる発電量	

※1 太陽光発電システムを設置されている場合、別売のマルチ計測ユニットの取付け、「エネルギー表示の設定」などにより表示することができます。
「①購入電気量・販売電気量」の数字が購入電気量のときは黒字、販売電気量のときは白抜きになります。

※2 燃料電池発電ユニットは発電準備中・停止移行中・待機中(停止中)に電力を消費します。
購入電気量・電気使用量にはこの燃料電池発電ユニットの消費電力を含んでいます。

エネルギー表示を表示させるために

- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには「日付・時刻の設定」と表の「エネルギー表示の設定」を行ってください。

◀{30・31 ページ}

- 「エネルギー表示の設定」には表以外に下記の設定ができます。

「表示ジャンプ先の設定」

- ・エネルギースイッチを押して次の項目を表示させたときに、最初に表示する期間の設定

82・83ページ▶

「エネルギー設定初期化・CO₂削減量クリアの設定」

- ・設定内容をお買い求め時の状態に戻す設定
- ・CO₂削減量の「最高」を消去する設定

86・87ページ▶

●エネルギー表示の設定

目標値の設定

ひと月の使用量の目標値を設定

74・75 ページ▶



単価の設定

金額を求めるための単価を設定

76・77 ページ▶



光熱費計算の設定

光熱費として表示する項目を設定

78・79 ページ▶



達成マークの設定

80・81 ページ▶



表示有無の設定

エネルギー表示で表示する項目を設定

84・85 ページ▶



エネルギー金額表示の設定

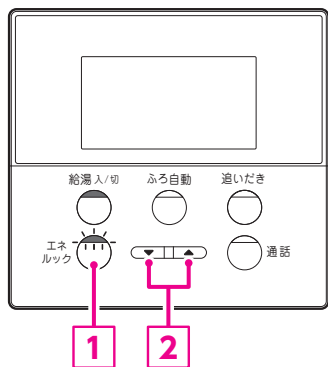
金額を表示させるかを設定
設定しないと単価を設定しても金額を表示しません。

84・85 ページ▶

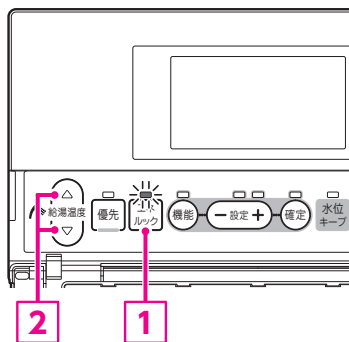
エネルギー

エネルギー表示

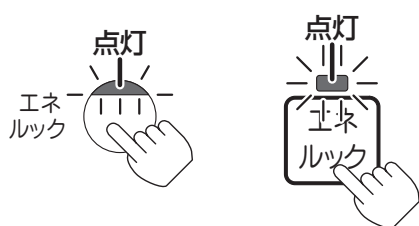
台所リモコン



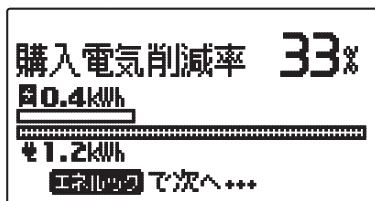
浴室リモコン



エネルギースイッチ①を押す

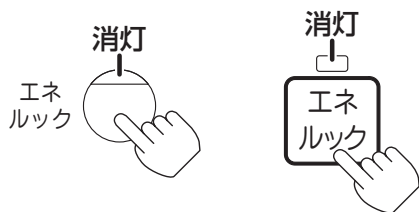


台所リモコン表示画面



以降はエネルギースイッチ①と給湯温度調節スイッチ②を押すごとに右の順序で表示します。

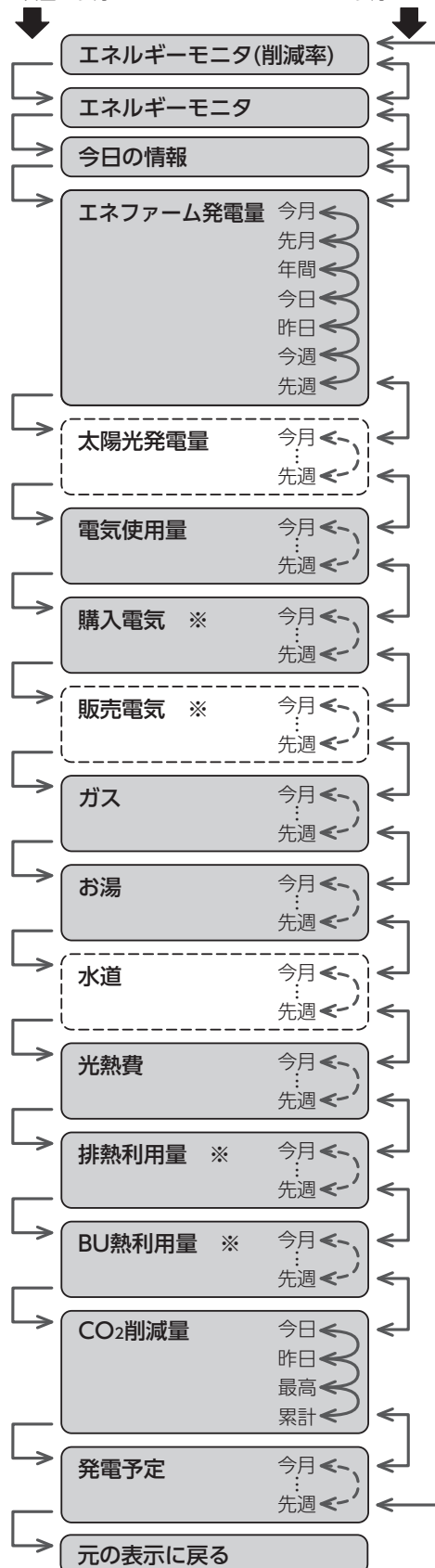
エネルギー表示をやめたいときは



エネルギースイッチを数回押すと通常の表示に戻ります。また、何も操作しない状態が約1分間続くと通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の順序

①を押すごとに ②を押すごとに
次の項目を表示します。 ひとつずつ表示します。



※：お買い求め時は表示無しに設定されています。表示を行いたいときは「エネルギー表示の設定」で設定を行ってください。

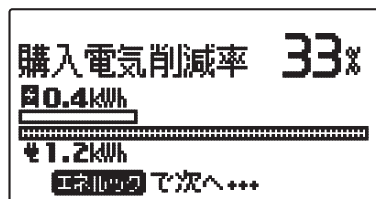
〔 〕：別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。水道を表示するとお湯は表示しません。

交互表示を一時的に停止したいときは

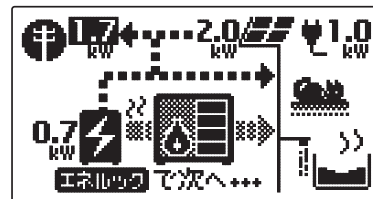
グラフ表示をする画面では数字とグラフを交互に表示します。
 確定スイッチを押すと確定ランプが点滅し、表示が停止します。
 再度確定スイッチを押すと交互表示に戻り、確定ランプが点灯します。
 また、何も操作しない状態が約2分間続くと通常表示に戻ります。



エネルギーモニタ (削減率) 69ページ

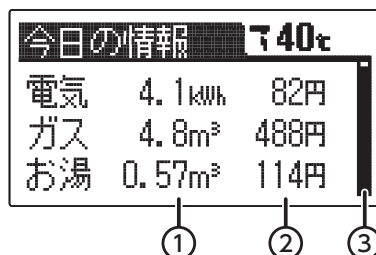


エネルギーモニタ 69ページ



今日の情報

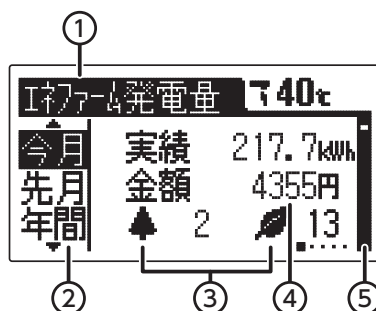
●今日の電気・ガス・お湯の使用量と金額を表示します。



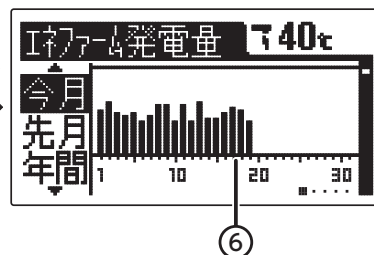
①	使用量の目安
②	使用金額の目安
③	表示の順番


エネファーム発電量・太陽光発電量・購入電気・販売電気

- エネファーム発電量は燃料電池発電ユニットで発電した電力量を表示します。
- 太陽光発電量は太陽光発電システムで発電した電力量を表示します。(※1)
- 購入電気は電力会社から購入した電力量を表示します。
- 販売電気は太陽光発電システムで発電した電力のうち電力会社に販売した電力量を表示します。(※1)



交互表示



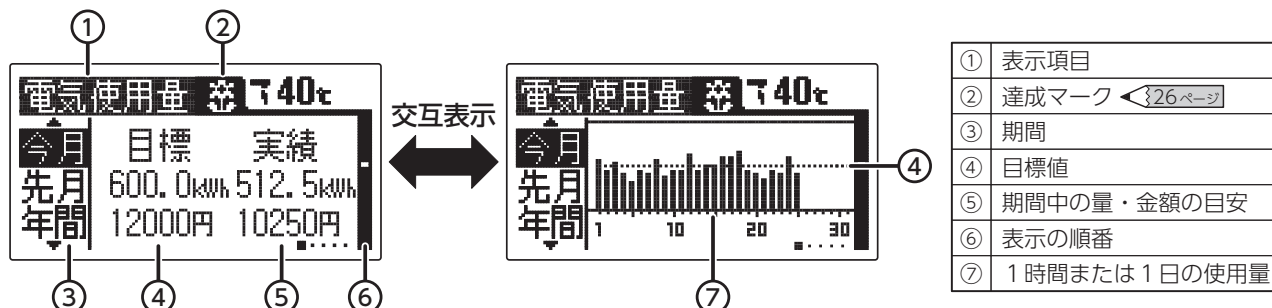
①	表示項目
②	期間
③	CO2削減量  73ページ
④	期間中の量・金額の目安
⑤	表示の順番
⑥	1時間または1日の使用量

※1 太陽光発電システムの設置、電力会社との販売契約、別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。

エネルギー表示

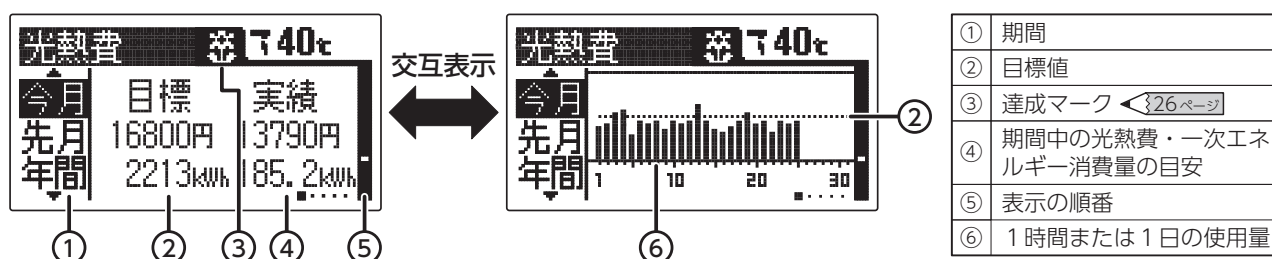
電気使用量・ガス・お湯・水道

- 電気使用量は家庭で使用したすべての電力量と目標値を表示します。
- ガス使用量は排熱利用給湯暖房ユニットと燃料電池発電ユニットで使用したガスの量と目標値を表示します。(※2)
- お湯使用量は排熱利用給湯暖房ユニットで使用したお湯の量と目標値を表示します。(※3)
- 水道使用量は家庭全体で使用したすべての水道量と目標値を表示します。(※3)



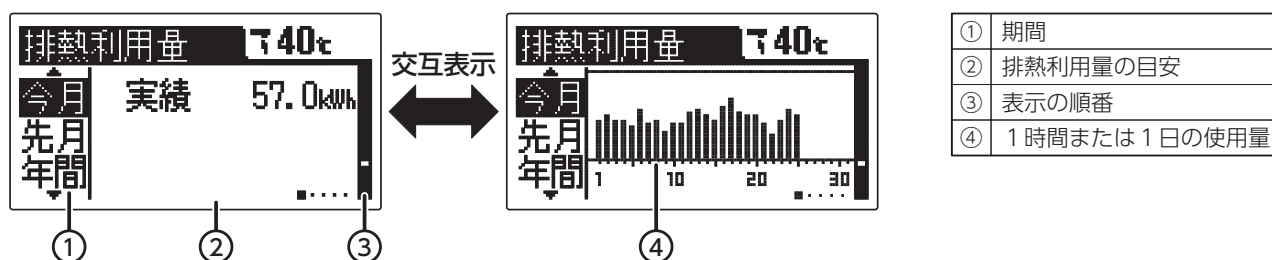
光熱費

- ガス・お湯(水道)・電気の目標値と一次エネルギー消費量を表示します。
- ガス・お湯(水道)・電気いずれか1つ、または合計して表示します。
- 「光熱費計算の設定」で「ガス+電気」を選択した場合のみ一次エネルギー消費量を表示します。(※4)



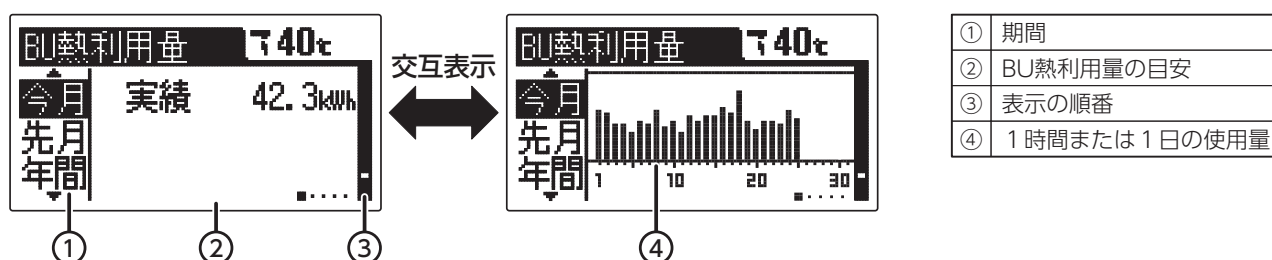
排熱利用量

- 燃料電池発電ユニットで生じた熱を排熱利用給湯暖房ユニットに貯湯して利用した熱量を表示します。



BU熱利用量

- 補助熱源を使って、給湯・ふろ自動・暖房に利用した熱量を表示します。



※2パルス機能付ガスメーターと別売のマルチ計測ユニットを取付けると排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット以外でのガスの使用(ガスファンヒーターやガスコンロなど)を含んだ家庭全体で使用したガス消費量を表示します。

※3パルス機能付水道メーターと別売のマルチ計測ユニットを取付けると水道の使用量を表示します。

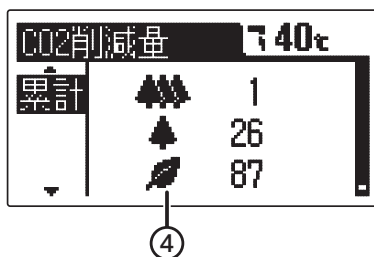
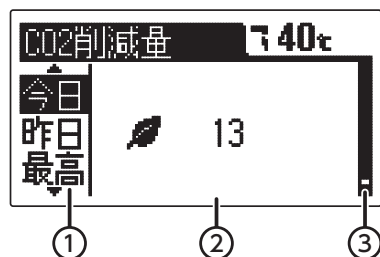
水道の使用量を表示するとお湯の使用量は表示しません。

※4エネルギー量表示は次の式にて算出しています。

$$\text{ガス量 (m}^3\text{)} \times \begin{cases} \text{都市ガスの場合: 12.5 (kWh/m}^3\text{)} \\ \text{LPガスの場合: 27.9 (kWh/m}^3\text{)} \end{cases} + \text{購入電気 (kWh)} / 0.369 \text{ (一次エネルギー換算量)}$$

CO₂削減量

- CO₂の削減量を杉の葉・木・森に置き換えて表示します。
- 杉の葉 1枚あたりのCO₂削減量は0.14kg
杉の木 1本あたりのCO₂削減量は14kg
杉の森 1つあたりのCO₂削減量は1400kgを表します。



①	期間
②	CO ₂ 削減量の目安
③	表示の順番
④	<p>…杉の森。杉の木100本分</p> <p>…杉の木。杉の葉100枚分</p> <p>…杉の葉。</p>

発電予定

- エネルギースイッチを押した時点での発電予定を表示します。
その後のお湯と電気の利用状況によっては予定通りに発電しないことがあります。



①	期間
②	発電予定(※)
③	表示の順番

※「連続運転」…一日中発電します。
「起動停止運転」…発電開始予定時刻と発電終了予定時刻を表示します。
「---:---~---:---」…発電予定はありません。

お知らせ

- 「表示有無の設定」で表示を「なし」または「しない」に設定した項目は表示しません。 84・85ページ
- 「単価の設定」で金額を設定していない場合や「表示有無の設定」でエネルギー金額表示を「しない」に設定した場合は金額の代わりに「ー」を表示します。 76・77・84・85ページ
- 一次エネルギー消費量とはガスのエネルギー量と電気を作るために必要なエネルギー量のことです。
- 停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示なくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。
- 目標値および達成マークは設定しないと表示されません。 74・75・80・81ページ
- エネルギーの数値はエネルギー非表示状態からエネルギースイッチを押して表示させたときに、最新に更新されます。グラフは毎正時に更新されます。
- CO₂削減量は下記に基づいて算出しています。
CO₂削減量 = A + B - C (CO₂削減量がマイナスの場合はゼロとします。)
A: 燃料電池発電ユニットで発電したときに回収した熱を、一般的な給湯器でまかなった場合のCO₂排出量
[一般的な給湯器の効率(高位発熱量基準) 76%]
B: 発電した電気のうち家庭内で電気として利用された量を平均的な火力発電所でまかなった場合のCO₂排出量
[平均的な火力発電所のCO₂原単位 0.69kg-CO₂/kWh]
C: 発電のために消費した燃料のCO₂排出
[燃料のCO₂原単位 0.0509kg-CO₂/MJ]

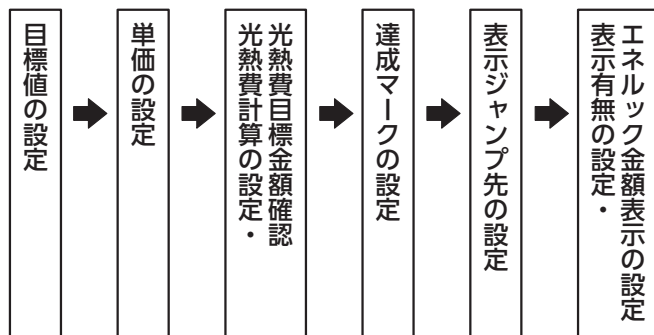
エネルギー表示の設定

- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには右記設定と「日付・時刻の設定」を行ってください。

30・31ページ

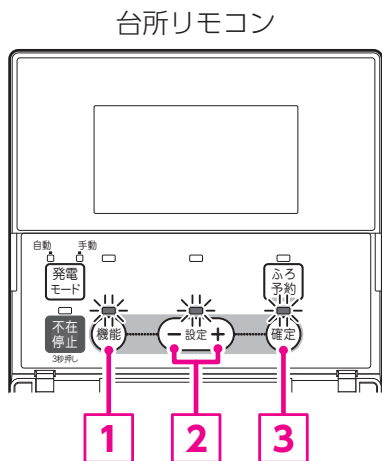
設定をしないとエネルギー表示のデータが一部表示されません。

- 別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しない項目があります。
- 停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示しなくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。

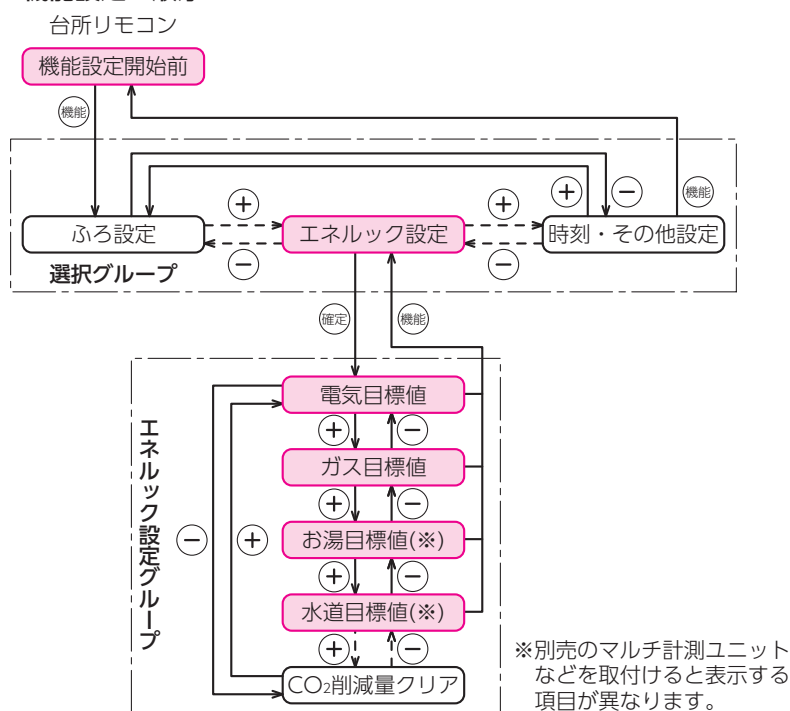


目標値の設定

- ひと月分の電気・ガス・お湯・水道の使用量の目標値を設定します。目標値に対してどの程度達成できたかをエネルギー表示や達成マークでお知らせします。

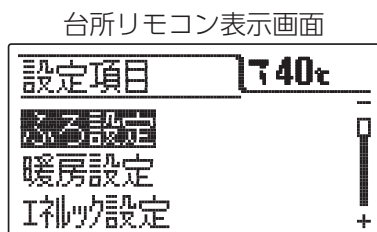


機能設定の順序

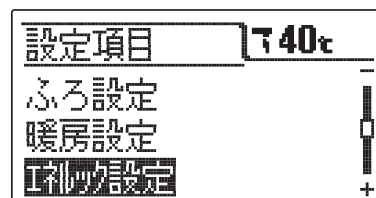
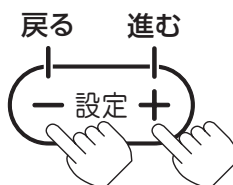


1 ふたを開く

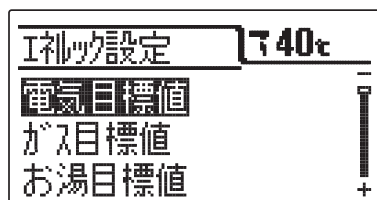
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

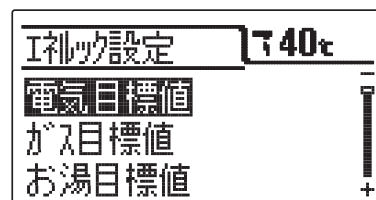
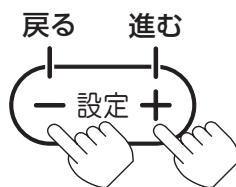


4 確定スイッチ③を押す

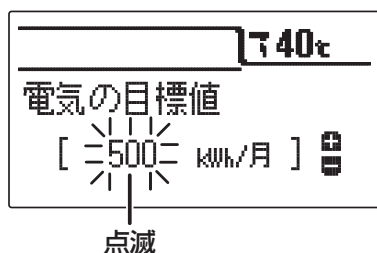


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して「電気目標値」「ガス目標値」「お湯目標値」「水道目標値」のいずれかを選択する

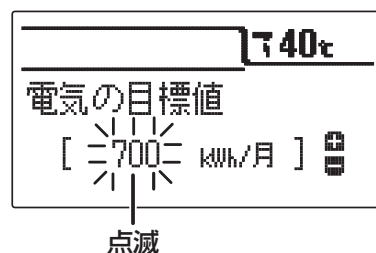
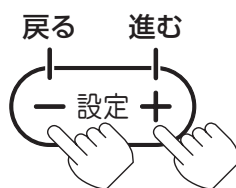


6 確定スイッチ③を押す



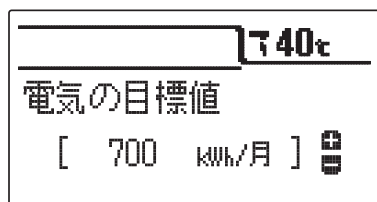
現在の設定が点滅します。
イラストは「電気目標値」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して目標値を設定する



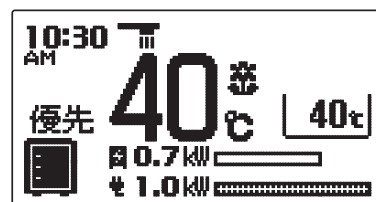
1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位、更に押し続けると100単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

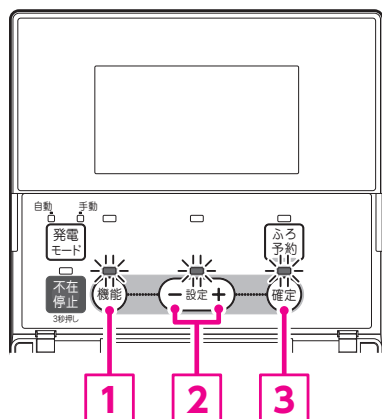
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は目標値の設定がされていません。
- 目標値を設定しないとエネルギー表示の目標値や達成マークを表示しません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

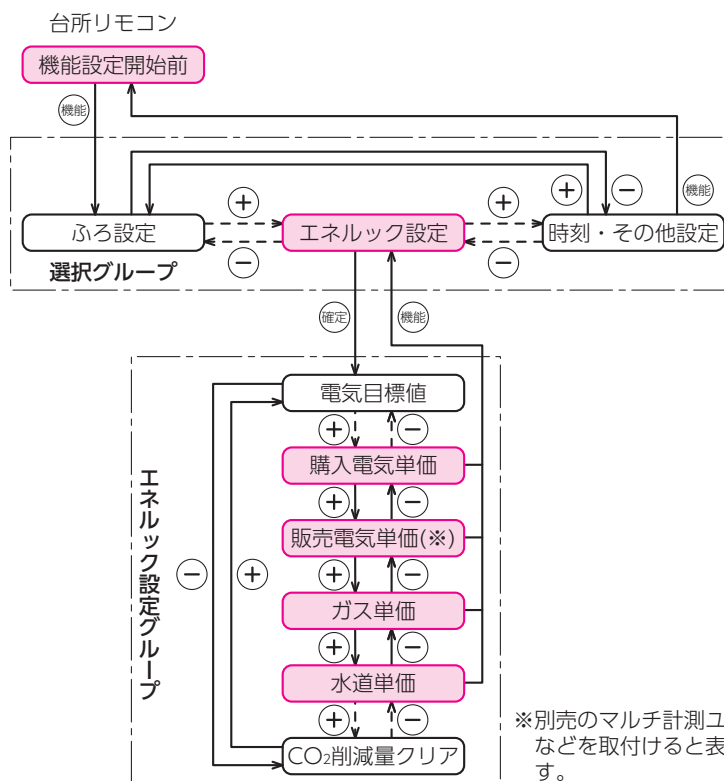
単価の設定

●お客様が契約している電力会社・ガス会社・水道局の「検針票」や「使用量のお知らせ」などを参考にして単価を設定します。

台所リモコン



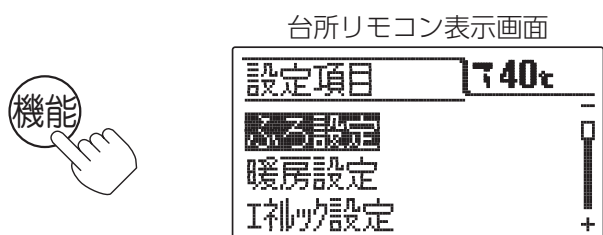
機能設定の順序



※別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると表示します。

1 ふたを開く

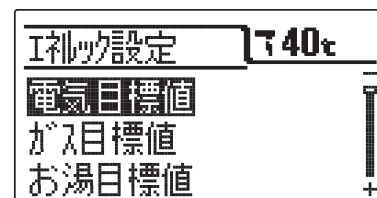
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

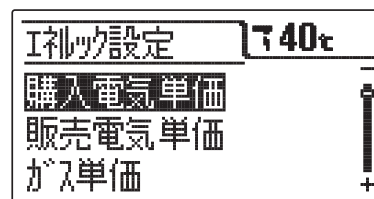


4 確定スイッチ③を押す

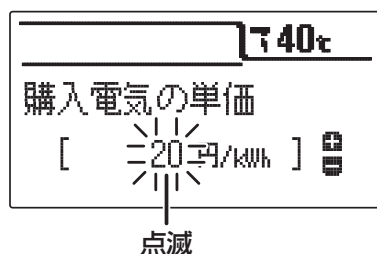


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「購入電気単価」 「販売電気単価」 「ガス単価」 「水道単価」の いずれかを選択する

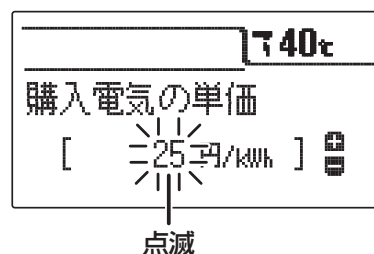
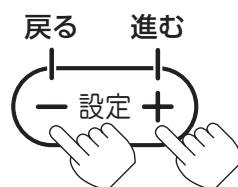


6 確定スイッチ③を押す



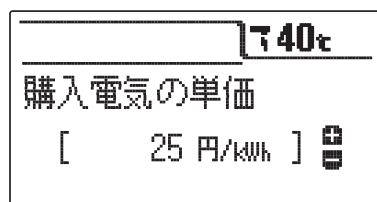
現在の設定が点滅します。
イラストは「購入電気単価」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 単価を設定する



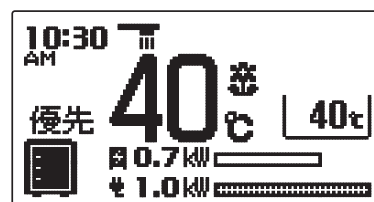
1 回ずつ押すと 1 単位、押し続けると 10 単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

ルエ
ツネ
ク

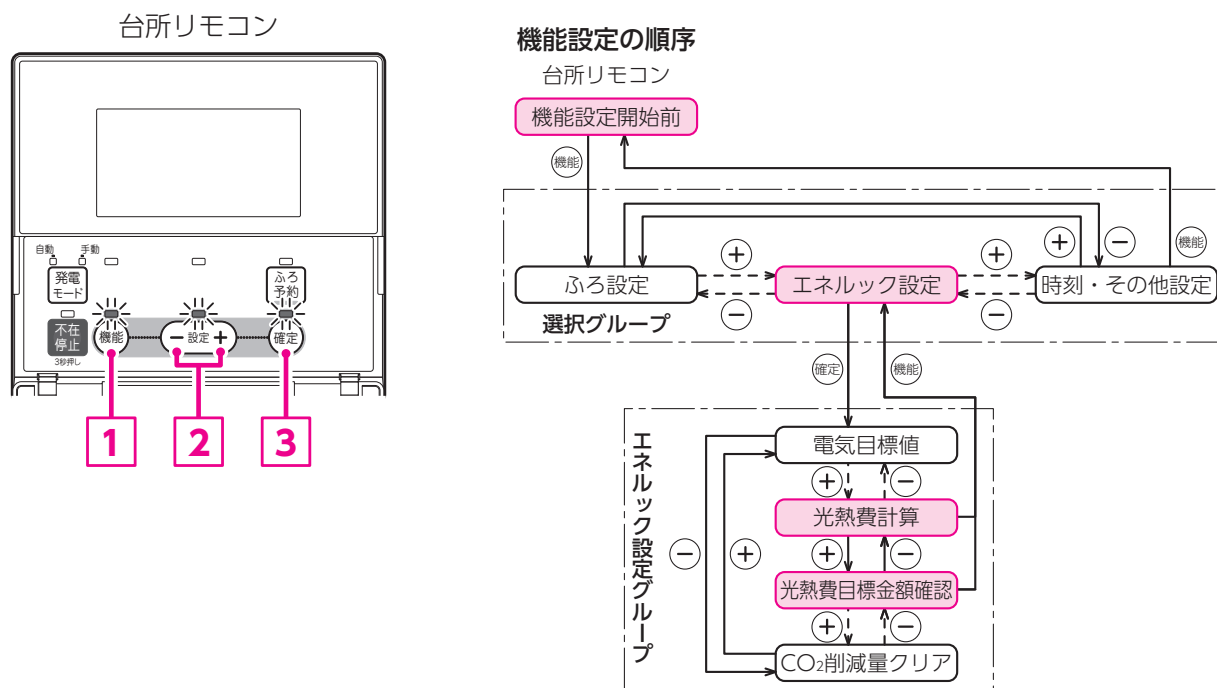
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「購入電気単価」・「販売電気単価」は「20 円」、「ガス単価」は「100 円」、「水道単価」は「200 円」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

光熱費計算の設定・光熱費目標金額確認

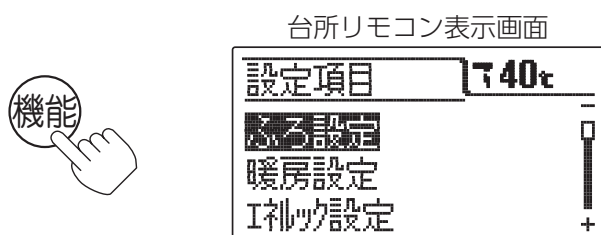
- 「光熱費計算」で「光熱費」の計算内容を設定します。計算内容はガス・電気・お湯の組み合わせにより決まります。
- 「光熱費目標金額確認」の光熱費計算で設定した内容の目標金額の合計を表示します。



- 「光熱費目標金額確認」の場合は**7・8**の操作は不要です。

1 ふたを開く

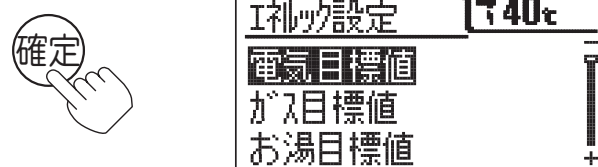
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

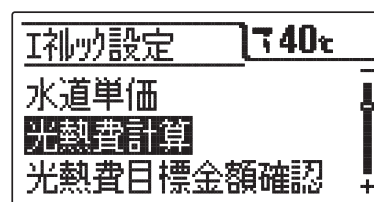


4 確定スイッチ③を押す



エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「光熱費計算」 「光熱費目標金額確認」の いずれかを選択する

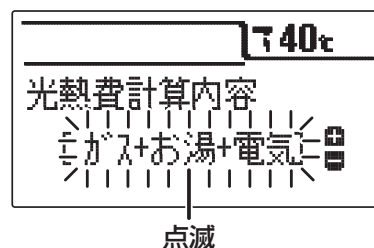


6 確定スイッチ③を押す



光熱費計算の場合は現在の設定が点滅します。
光熱費目標金額確認の場合は目標金額を表示します。
イラストは「光熱費計算」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 光熱費計算を設定する

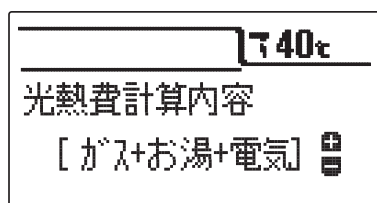


設定スイッチを押すごとに

ガス+電気 ↔ お湯+電気 ↔ ガス+お湯+電気
↑ ↓
ガス+お湯 ↔ 電気 ↔ お湯 ↔ ガス ↔ OFF

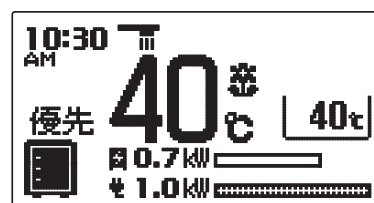
の順で変更できます。
(お湯表示は別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると水道表示になる場合があります。)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

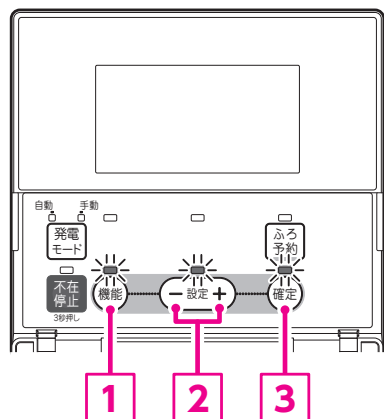
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 「光熱費計算」はお買い求め時に「ガス+電気」に設定されています。
- 「光熱費計算」を「OFF」に設定すると「光熱費目標金額確認」は「---円」を表示します。
- 「光熱費計算」の設定内容すべてに目標値を設定してください。設定していないと金額表示は「---円」を表示します。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

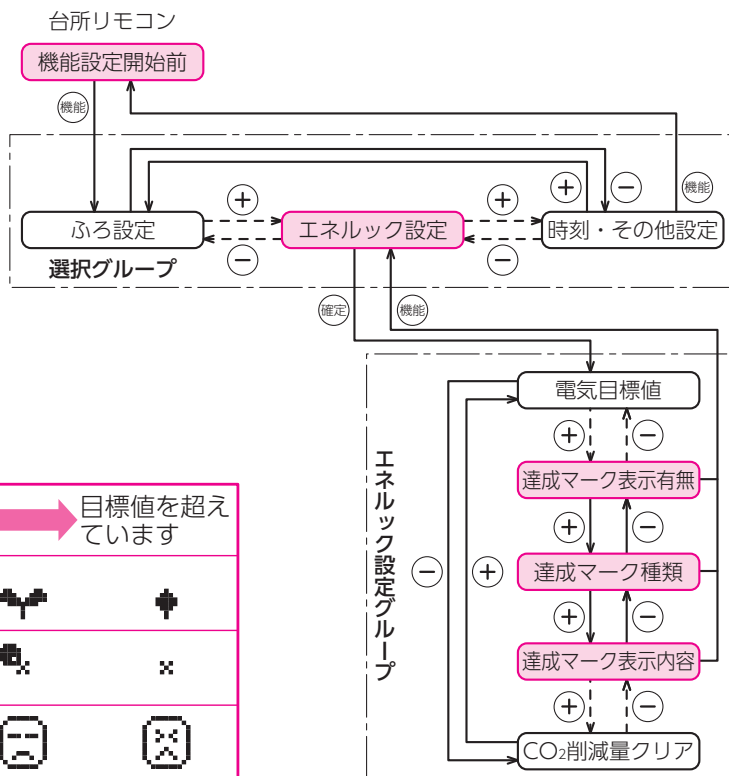
達成マークの設定

- 達成マークは目標を設定した項目の目標値に対する達成度合を各項目と通常画面（エネルギーモニタ表示を除く）に表示します。
- 「達成マーク表示有無」で達成マークを表示するかしないかを設定します。
- 「達成マーク種類」で3種類の達成マークのうちどれを表示させるかを設定します。
- 「達成マーク表示内容」でどの項目の今週の目標値達成状況を通常画面に表示するかを設定します。

台所リモコン



機能設定の順序

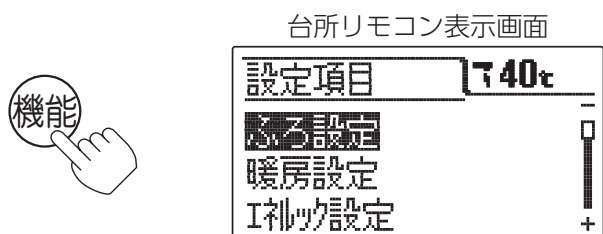


●達成マークの種類

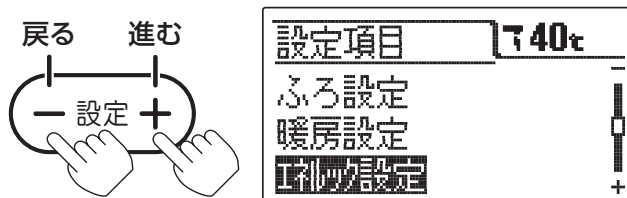
達成度	目標値を大きく達成しています	ほぼ目標値どおり	目標値を超えています
花			
クローバー			
顔			

1 ふたを開く

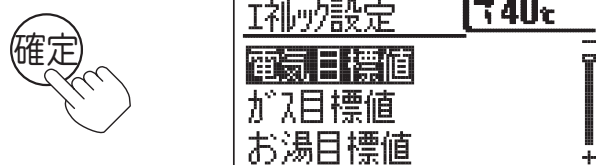
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

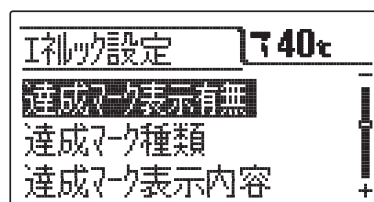
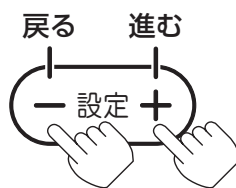


4 確定スイッチ③を押す

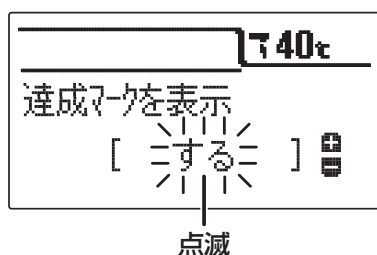


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「達成マーク表示有無」 「達成マーク種類」 「達成マーク表示内容」の いずれかを選択する

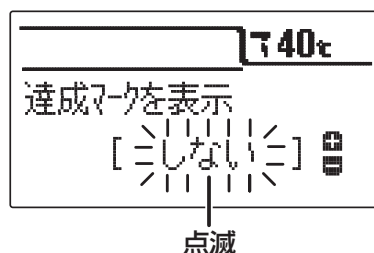
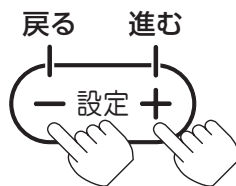


6 確定スイッチ③を押す



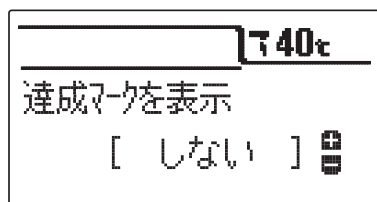
現在の設定が点滅します。
イラストは「達成マーク表示有無」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 達成マークを設定する



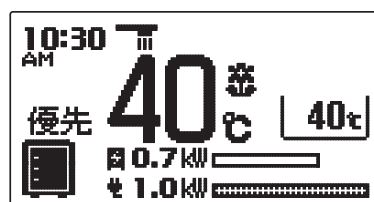
- 達成マーク表示有無の場合
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。
- 達成マーク種類の場合
設定スイッチを押すごとに花<=>クローバー<=>顔の順で変更できます。
- 達成マーク表示内容の場合
設定スイッチを押すごとに電気使用量<=>ガス<=>お湯<=>光熱費の順で変更できます。
(お湯表示は別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると水道表示になる場合があります。)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

ルエ
ツネ
ク

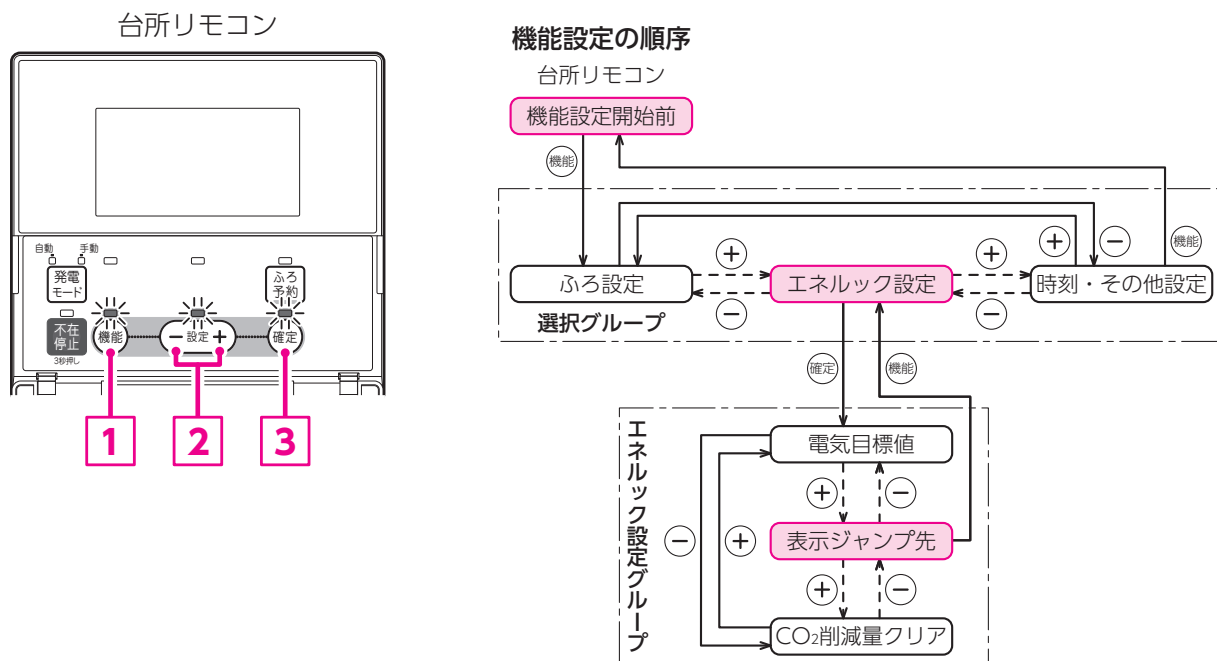
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 「達成マーク表示有無」を「する」に設定しても、「目標値の設定」を設定していない場合は表示しません。
- お買い求め時の設定は「達成マーク表示有無」は「する」、「達成マーク種類」は「花」、「達成マーク表示内容」は「電気使用量」です。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

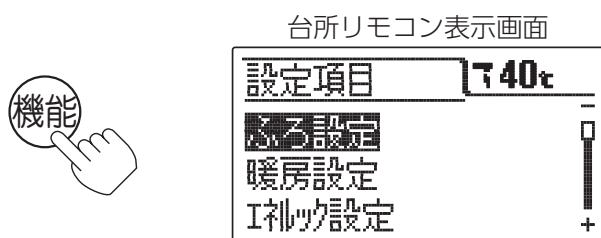
表示ジャンプ先の設定

●エネルギースイッチを押して次の項目を表示させたときに、最初に表示する期間を設定します。

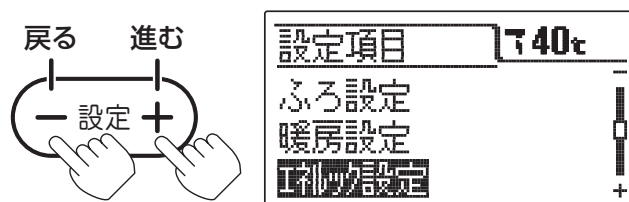


1 ふたを開く

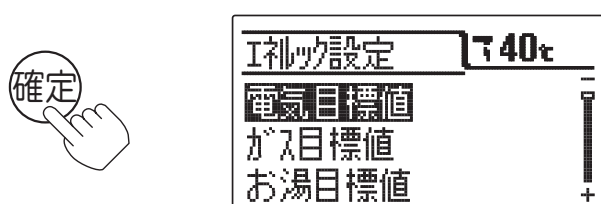
2 機能スイッチ①を押す



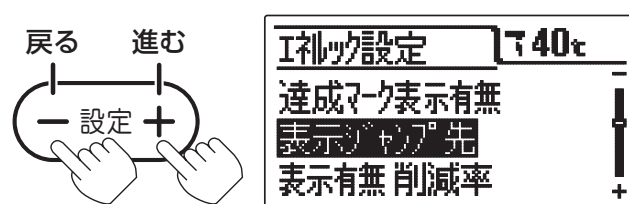
3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

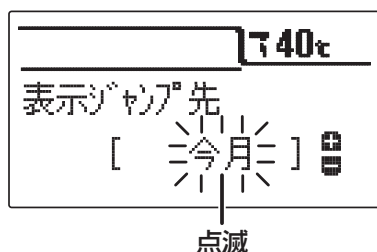


5 設定スイッチ②を押して「表示ジャンプ先」を選択する



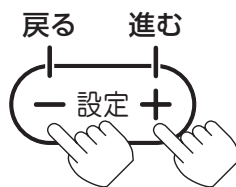
エネルギー設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



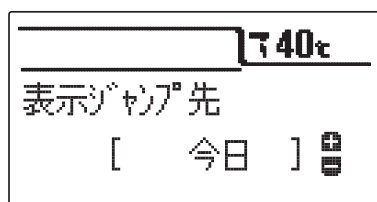
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して表示ジャンプ先を設定する



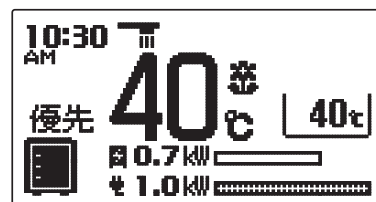
設定スイッチを押すごとに
 今月<=>先月<=>年間<=>今日の順で変更できます。
 ↑先週<=>今週<=>昨日↑

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
 約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「今月」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

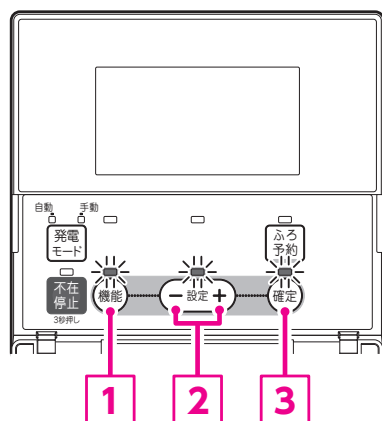
エネルギー表示の設定

表示有無・エネルギー金額表示の設定

- 「表示有無○○○○」でエネルギー表示の各項目を表示するかしないかを項目ごとに設定します。また、「エネルギーモニタ」は給湯スイッチを「切」にしたときに表示させることができます。
- 「エネルギー金額表示」でエネルギー表示の各項目に金額を表示するかしないかを設定します。「する」に設定すると「単価の設定」で設定した金額に基づいて金額を表示します。

76・77ページ

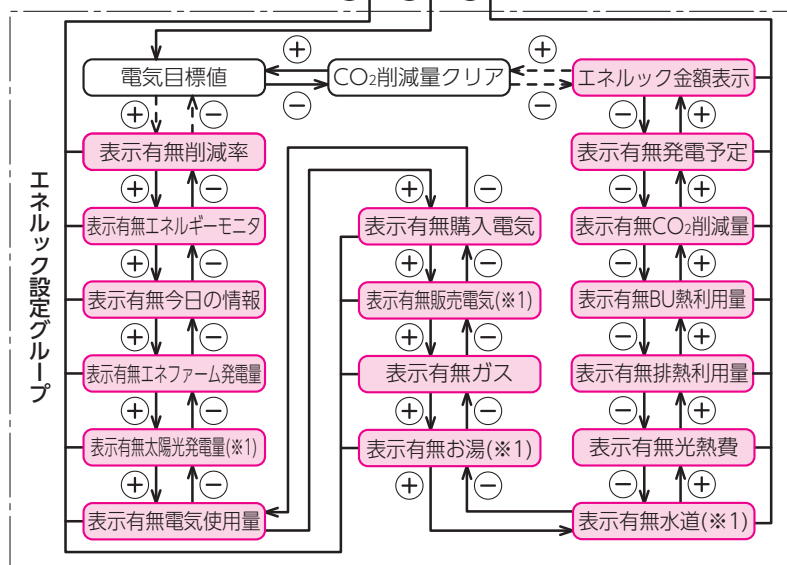
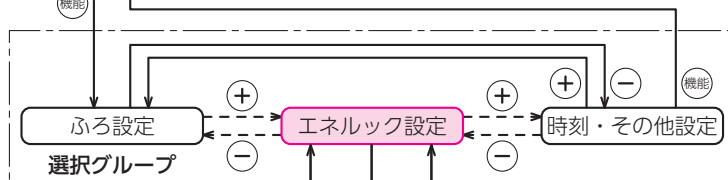
台所リモコン



機能設定の順序

台所リモコン

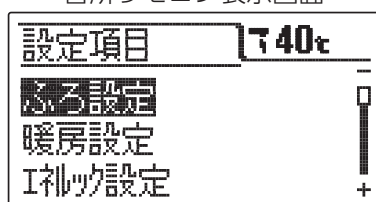
機能設定開始前



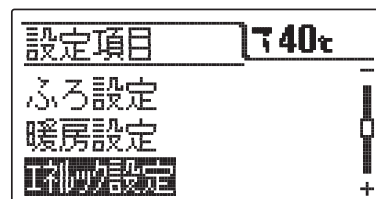
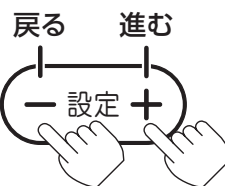
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

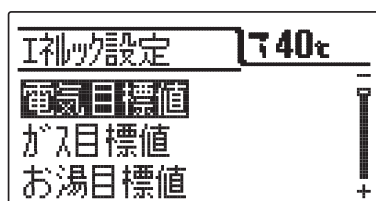
台所リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

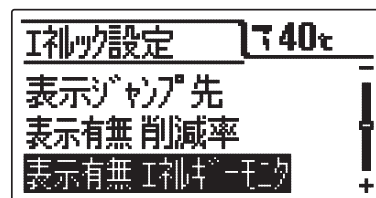
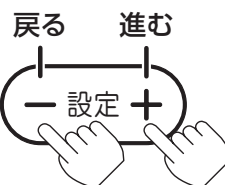


4 確定スイッチ③を押す

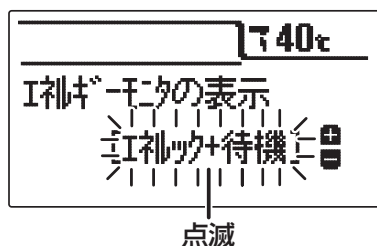


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して「表示有無○○○○」「エネルギー金額表示」のいずれかを選択する

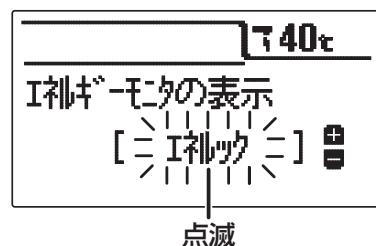
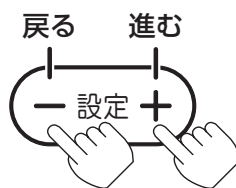


6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。
イラストは「表示有無エネルギーモニタ」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して表示有無を設定する



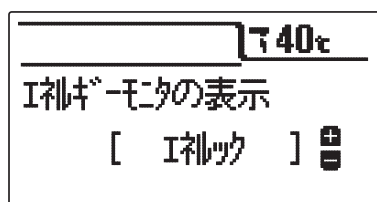
●表示有無エネルギーモニタの場合(※2)

設定スイッチを押すごとに
エネルギーロック+待機<=>エネルギー<=>なしの順番で
↑ ↑
変更できます。

●表示有無エネルギーモニタ以外の場合

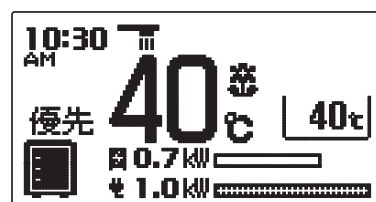
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は表のように設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

※1 別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると表示する項目が異なります。

※2 表示有無エネルギーモニタの設定について

「エネルギーロック+待機」を選択する…エネルギーロック表示の2番目と給湯スイッチを「切」にしたときに表示します。

「エネルギーロック」を選択する……………エネルギーロック表示の2番目に表示し、給湯スイッチを「切」にしたときは表示しません。

「なし」を選択する……………エネルギーロック表示で表示しません。給湯スイッチを「切」にしたときにも表示しません。

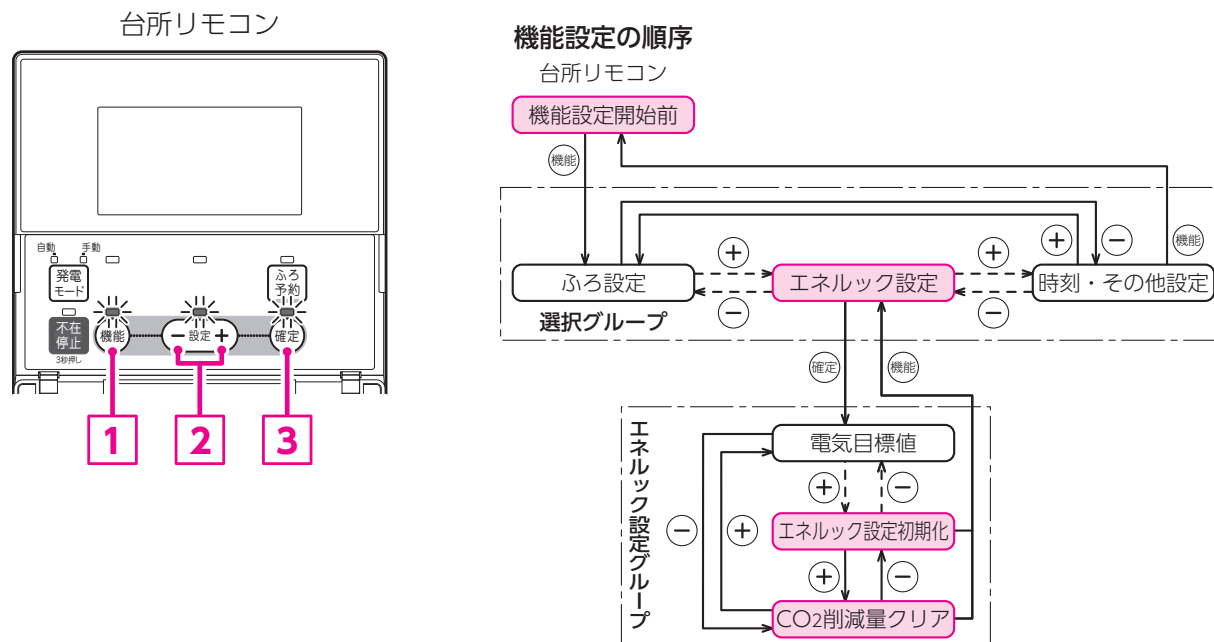
お買い求め時の設定

項 目		お買い求め時の設定 (太字)	
表示有無 削減率	太陽光発電システムを 設置していない場合	する	しない
	太陽光発電システムを 設置している場合	エネファーム しない エネファーム+太陽光	
表示有無エネルギーモニタ(※2)		エネルギーロック+待機 エネルギーロック なし	
表示有無今日の情報		する	しない
表示有無エネファーム発電量		する	しない
表示有無太陽光発電量(※1)		する	しない
表示有無電気使用量		する	しない
表示有無購入電気		する	しない
表示有無販売電気(※1)		する	しない
表示有無ガス		する	しない
表示有無お湯(※1)		する	しない
表示有無水道(※1)		する	しない
表示有無光熱費		する	しない
表示有無排熱利用量		する	しない
表示有無BU熱利用量		する	しない
表示有無CO ₂ 削減量		する	しない
表示有無発電予定		する	しない
エネルギー金額表示		する	しない

エネルギー表示の設定

エネルギー設定初期化・CO₂削減量クリアの設定

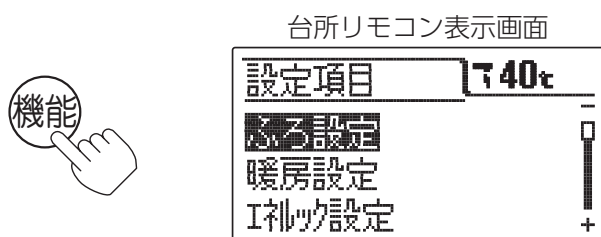
- 「エネルギー設定初期化」とは「エネルギー設定」の設定内容をお買い求め時の状態に戻したいときに設定します。
- 「CO₂削減クリア」とはCO₂削減クリアの「最高」をリセットします。



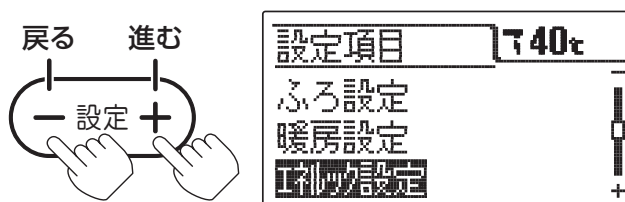
- 「CO₂削減量クリア」を設定する場合は **8** の操作は不要です。

1 ふたを開く

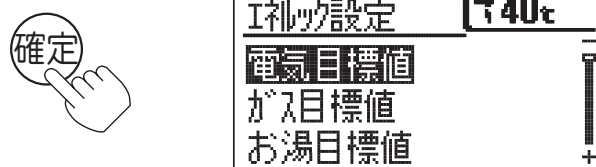
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

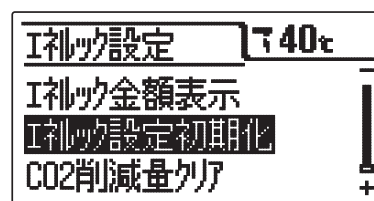


4 確定スイッチ③を押す

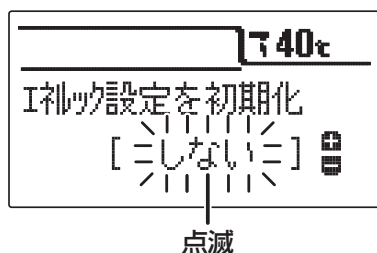


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「エネルギー設定初期化」 「CO2削減量クリア」の いずれかを選択する

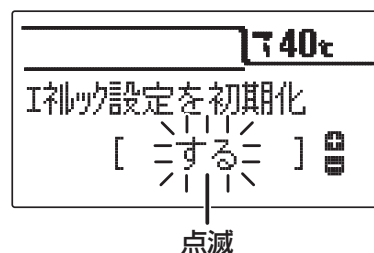
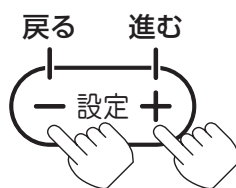


6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。
イラストは「エネルギー設定初期化」を選択した場合で
す。

7 設定スイッチ②を押して 初期化またはクリアを設定する



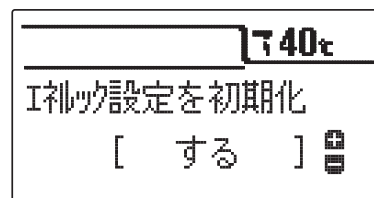
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰
り返します。

8 確定スイッチ③を押す



設定をやめる場合はふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

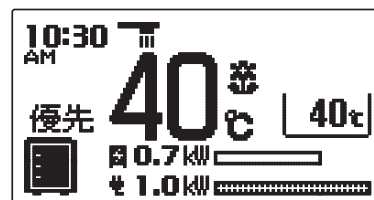
9 再度確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知
らせし初期化またはクリアします。
初期化後は自動的に設定が「しない」に戻ります。

10 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。



お知らせ

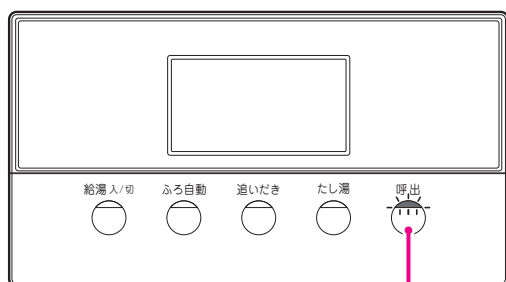
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「しない」に設定されています。
- 「9」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて
設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- エネルギー設定の初期化を行っても積算されたエネルギーデータは消去されません。

呼び出し・インターホン

呼び出し

リモコンセットのみ呼び出しができます。

浴室リモコン



呼出スイッチ①を押す



台所リモコンから音声で「お風呂で呼んでいます」とお知らせします。

お知らせ

- 浴室で何か必要な物があつたり、気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、呼出スイッチで台所リモコンから「呼び出し」を報知させることができます。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく呼び出しできます。
また、台所リモコンの音声ガイドの音量設定が「0 (切)」または「00 (切)」でも呼び出しできます。
「00 (切)」の場合はブザーでお知らせします。

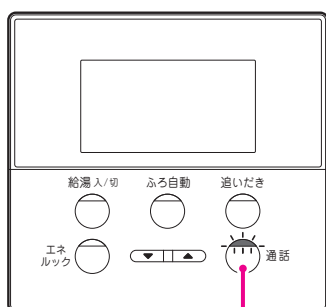
インターホンの使いかた

インターホンリモコンセットのみ通話操作ができます。

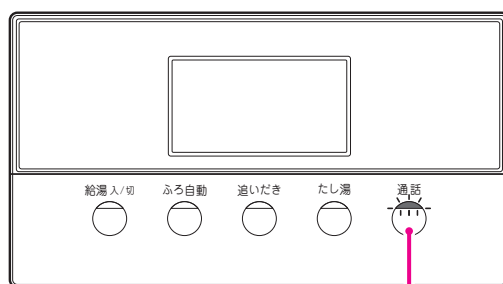
通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は通話スイッチから手を離れた状態で通話できます。(ハンズフリー方式です。)

通話は片方のリモコンからもう一方のリモコンへ話すことができる一方通話です。同時に両方の通話はできません。

台所リモコン



浴室リモコン



通話スイッチ①を押して通話を開始する



台所リモコンと浴室リモコンの呼び出し音が鳴って通話ランプが点灯します。
通話ランプによってリモコンの状態がわかります。

通話ランプ

リモコンの状態

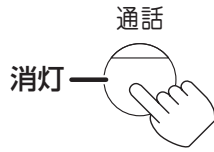


こちらの話が相手に聞こえます。



話を受けている状態です。
こちらの話は相手に聞こえません。

通話を終了するには



通話スイッチ①を押すと、通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。
話さなかったり、音がしない状態が約1分間続いた場合、または通話をはじめてから約30分間経過した場合も、通話ランプが消灯して通話状態が終了します。
自動的に通話状態が終了するときは「通話を終了します」と音声でお知らせします。

相手の話をさえぎって話をするときは…



通話スイッチ①を押しながら話します。

⚠ 注意

- リモコンに耳を近づけて使用しないでください。
大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

お願い

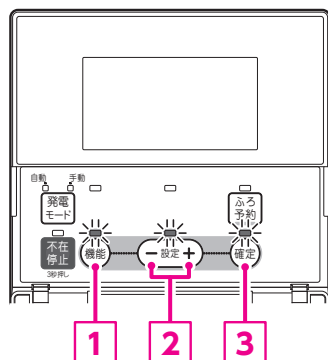
- 台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするとうハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は音量を下げてください。それでも直らない場合は担当のメンテナンス会社に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

お知らせ

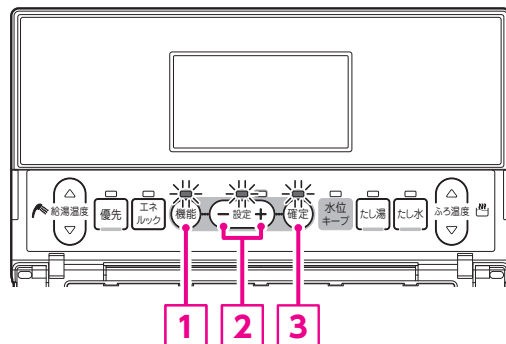
- 話をするときはリモコンから約20cm離れて話してください。
- 台所リモコンの周囲が騒々しいと台所リモコンからの通話モードとなり、浴室の音がモニターできないことがあります。
- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、浴室リモコンからの通話モードになっています。
- 通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
- 話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声途切れることがあります。
- 音声途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声聞きとりにくいことがあります。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
- 浴室のドアを開けたままインターホンを使用するとハウリングが発生することがあります。
その場合はドアを閉めて使用してください。

インターホン(通話)の音量の設定

台所リモコン

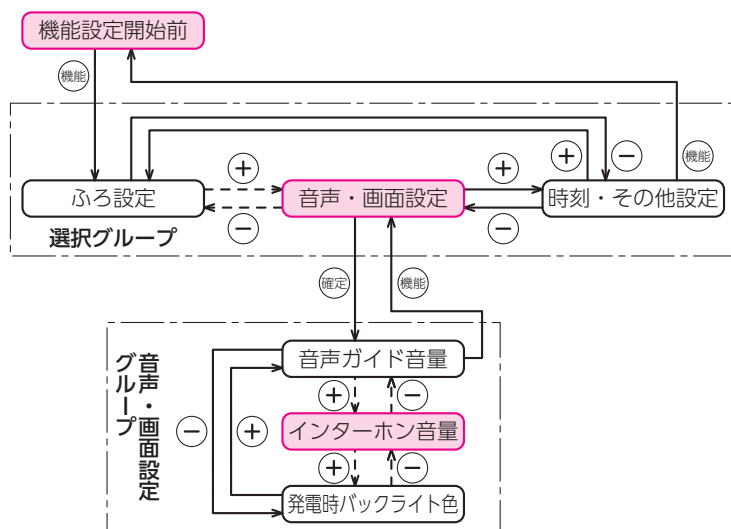


浴室リモコン

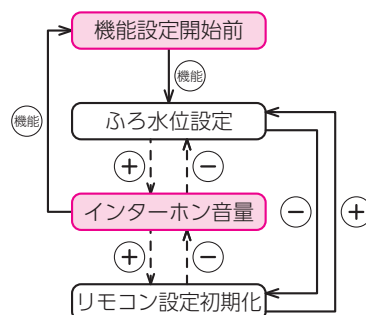


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

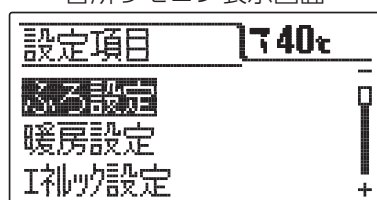


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

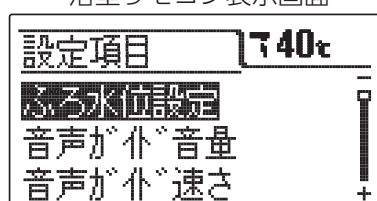
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

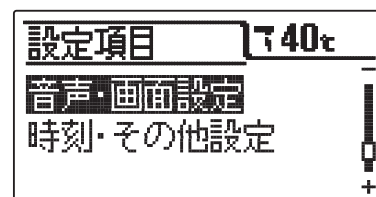
台所リモコン表示画面



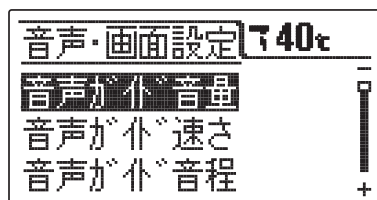
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

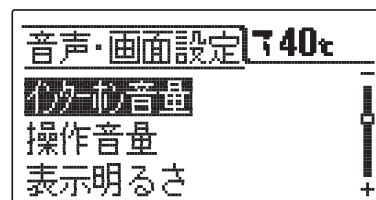
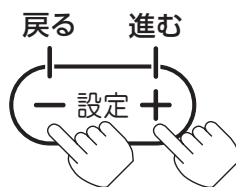


4 確定スイッチ^③を押す (台所リモコンのみ)



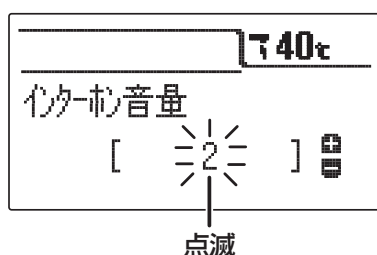
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ^②を押して 「インターホン音量」を選択する



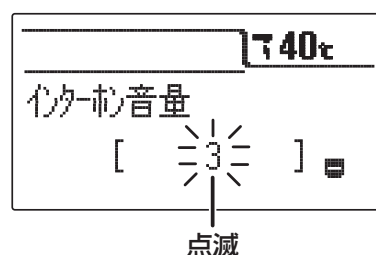
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ^③を押す



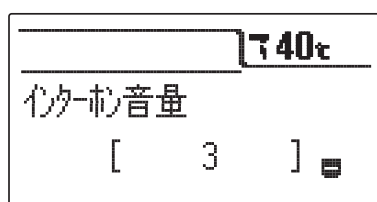
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ^②を押して インターホン音量を設定する



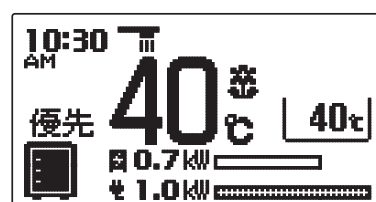
設定スイッチを押すごとに 1<=>2<=>3 の順で変更できます。
(小) (中) (大)

8 確定スイッチ^③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

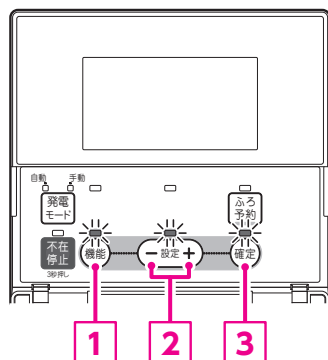
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

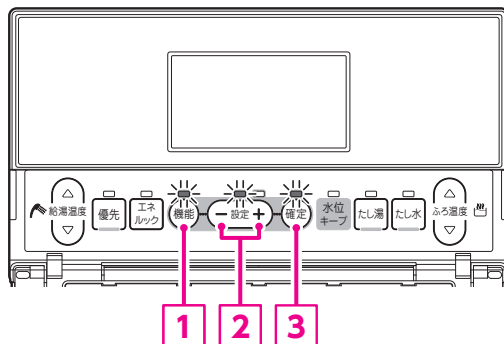
リモコンの設定

音声ガイドの音量の設定

台所リモコン

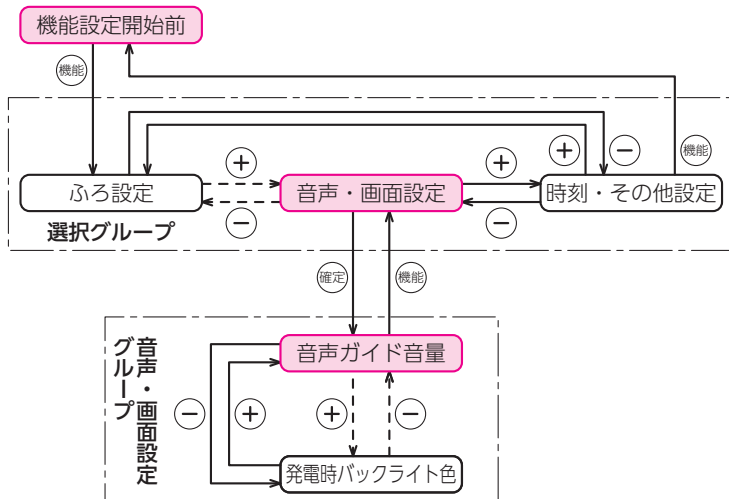


浴室リモコン

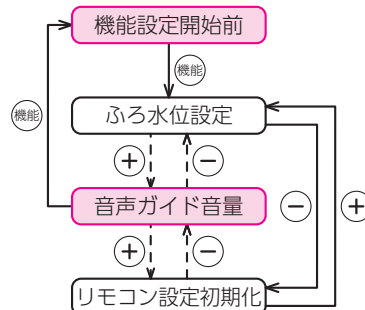


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン



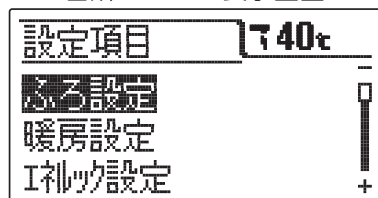
●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

1 ふたを開く

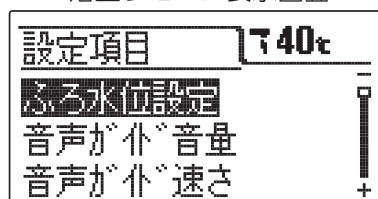
2 機能スイッチ①を押す



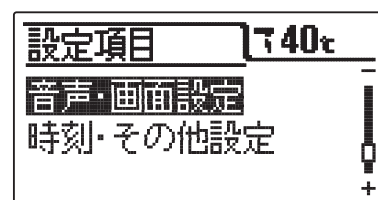
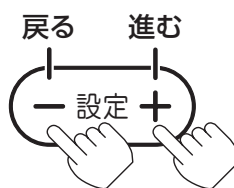
台所リモコン表示画面



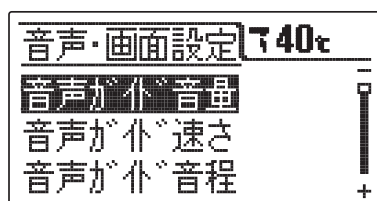
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

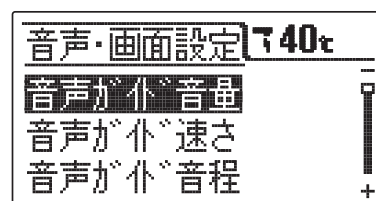
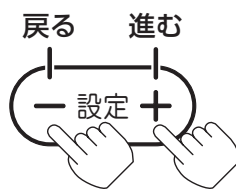


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



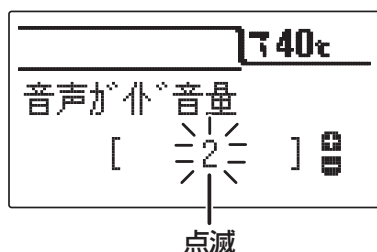
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド音量」を選択する



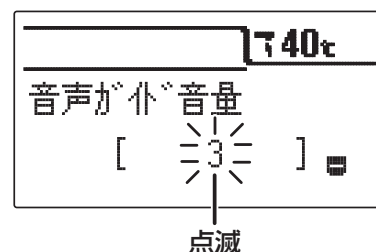
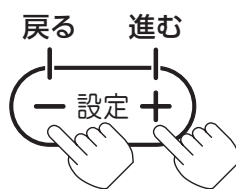
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

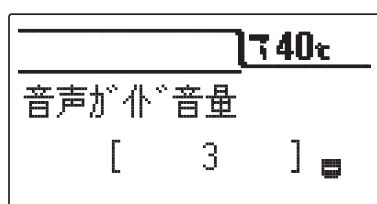
7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド音量を設定する



設定スイッチを押すごとに

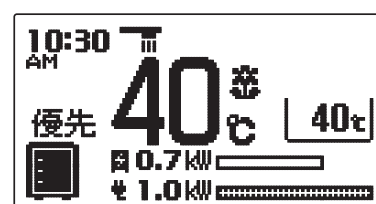
00<=>0<=>1<=>2<=>3 の順で変更できます。
(※1) (※2) (小) (中) (大)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

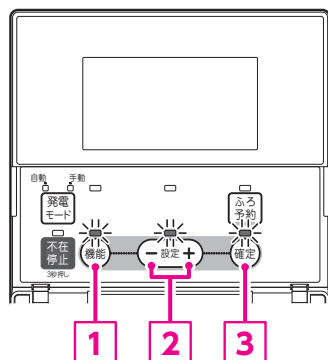
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- ※1……音量を「00 (切)」にすると音声ガイドは消えますが、呼び出しはブザー音でお知らせします。
- ※2……音量を「0 (切)」にすると音声ガイドは消えますが、エネルギー表示と呼び出しの音声ガイドは消えません。
- 音量「00 (切)」 「0 (切)」に設定しても、ブザー音でお知らせすることがあります。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

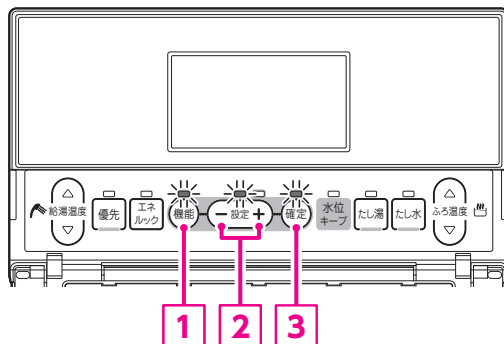
リモコンの設定

音声ガイドの速さの設定

台所リモコン

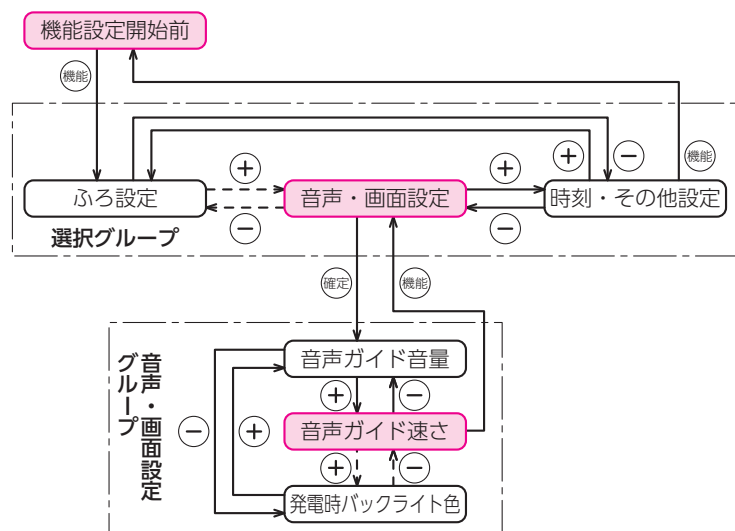


浴室リモコン

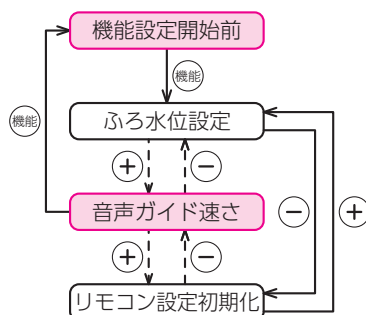


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

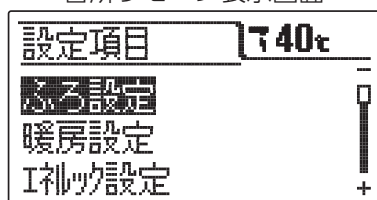


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

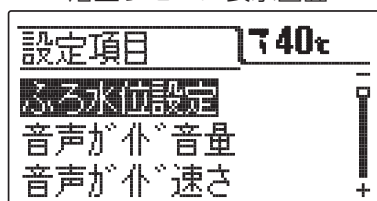
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

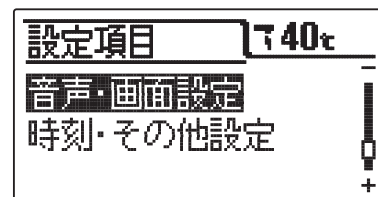
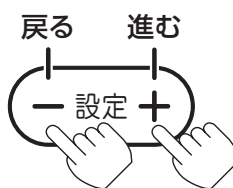
台所リモコン表示画面



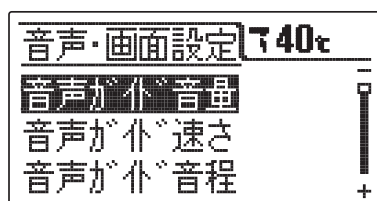
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)



4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



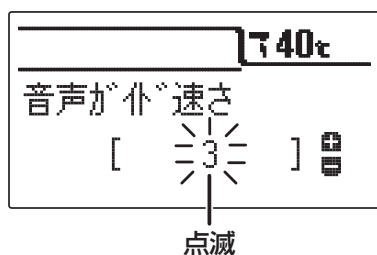
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド速さ」を選択する



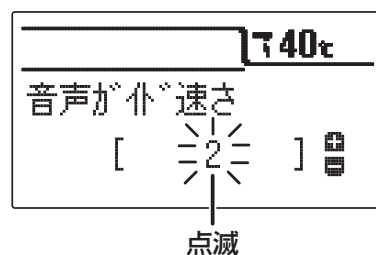
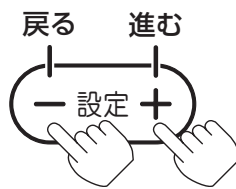
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

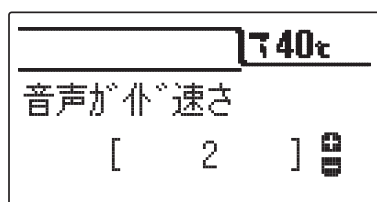
7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド速さを設定する



設定スイッチを押すごとに

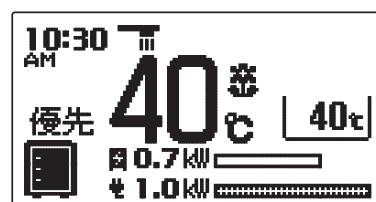
1 ← 2 ← 3 ← 4 ← 5 の順で
(遅い) (少し遅い) (普通) (少し速い) (速い)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

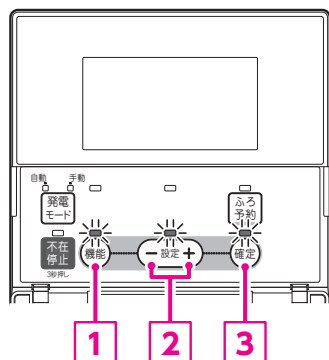
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に速さの設定をすることができます。
- お買い求め時は「3」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

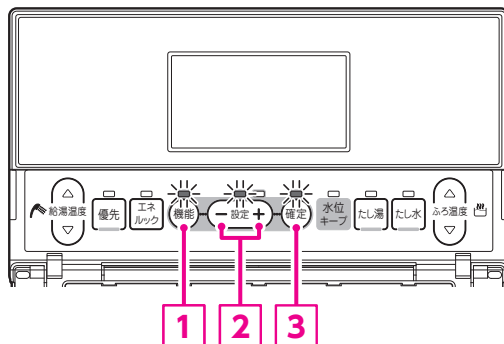
リモコンの設定

音声ガイドの音程の設定

台所リモコン

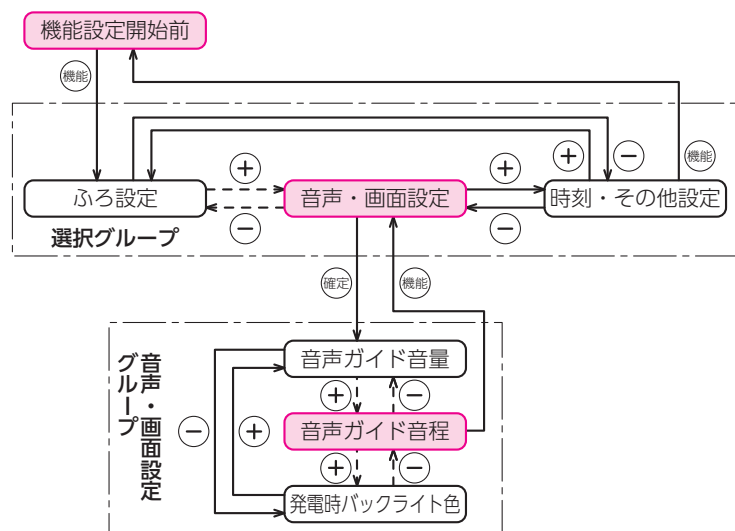


浴室リモコン

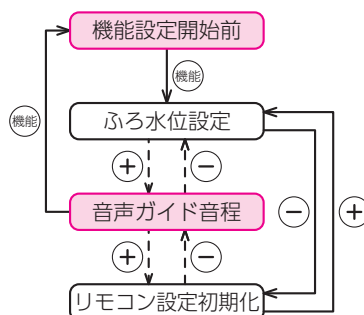


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

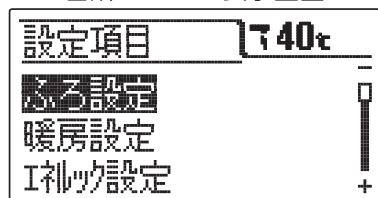


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

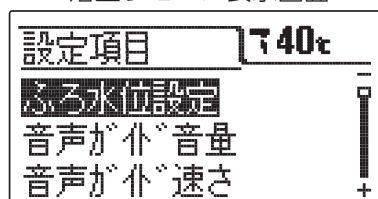
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

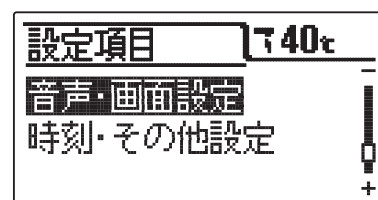
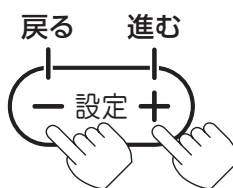
台所リモコン表示画面



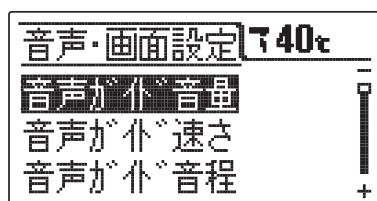
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

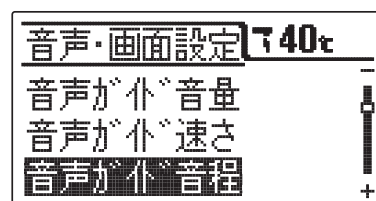
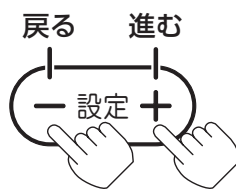


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド音程」を選択する



イラストは台所リモコンの場合です。

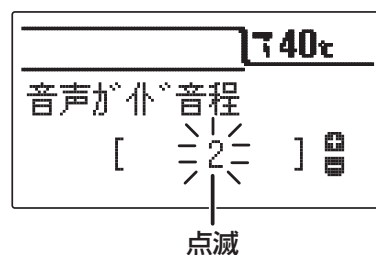
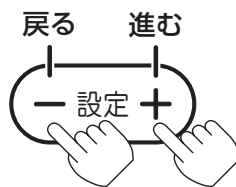
6 確定スイッチ③を押す



点滅

現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド音程を設定する

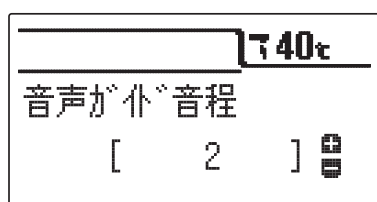


点滅

設定スイッチを押すごとに

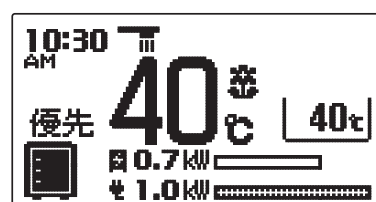
1 ← 2 ← 3 ← 4 ← 5 の順で
(低い) (少し低い) (普通) (少し高い) (高い)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

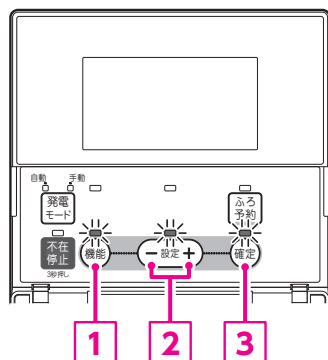
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音程の設定をすることができます。
- お買い求め時は「3」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

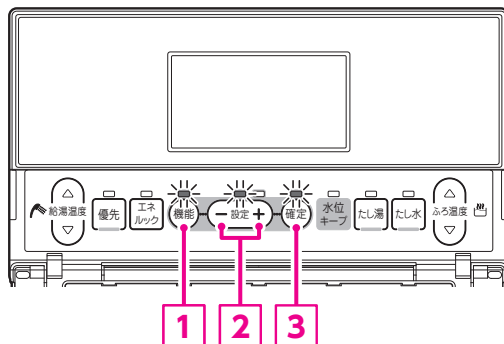
リモコンの設定

操作音量の設定

台所リモコン

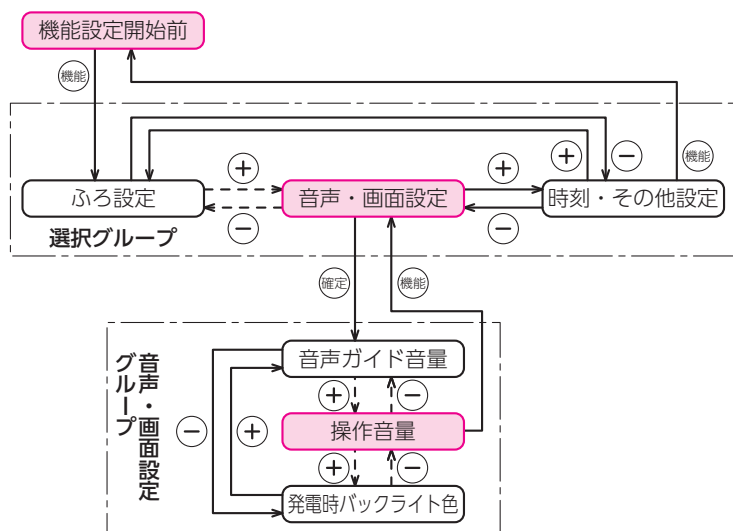


浴室リモコン

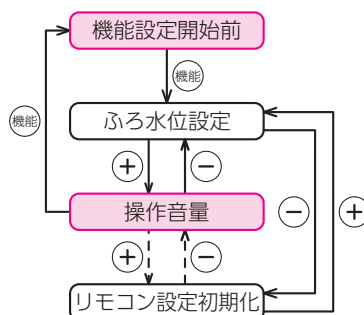


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

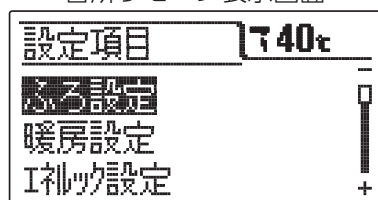


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

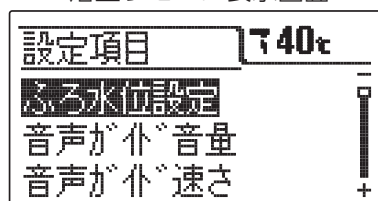
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

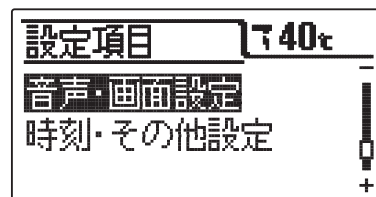
台所リモコン表示画面



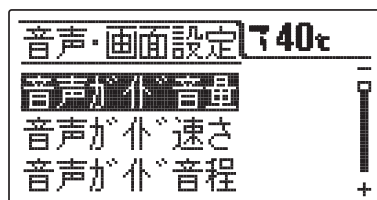
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

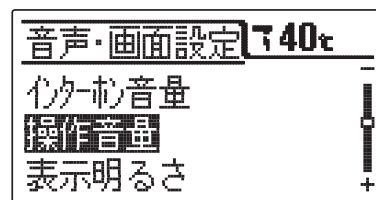


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「操作音量」を選択する



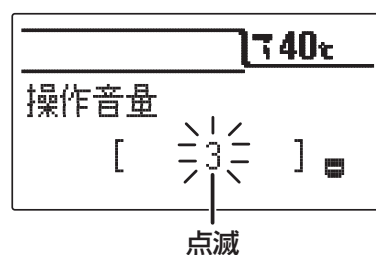
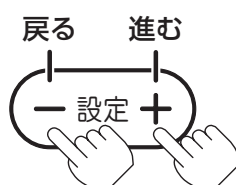
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



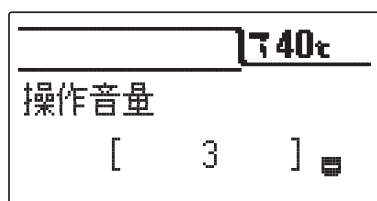
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 操作音量を設定する



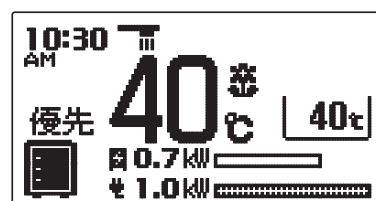
設定スイッチを押すごとに 0<=>1<=>2<=>3 の順で
(無) (小) (中) (大)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

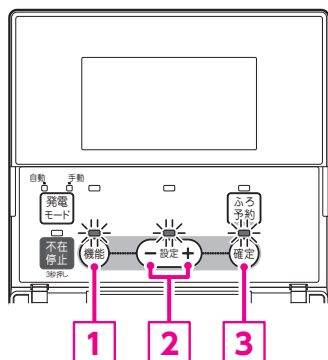
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

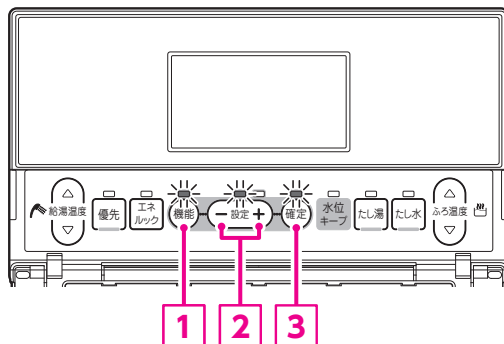
表示画面明るさの設定

表示画面の明るさを変更することができます。

台所リモコン

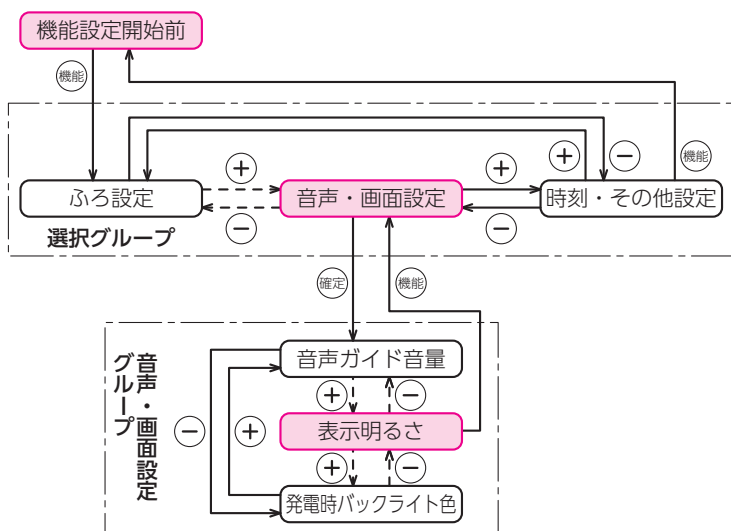


浴室リモコン

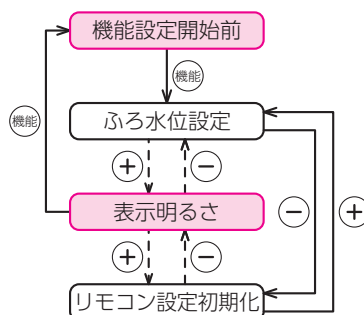


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン



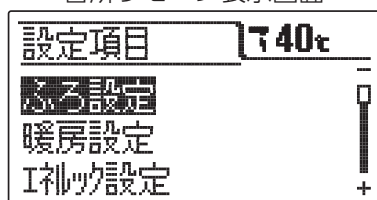
●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

1 ふたを開く

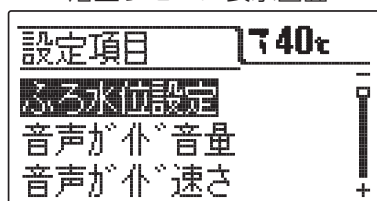
2 機能スイッチ①を押す



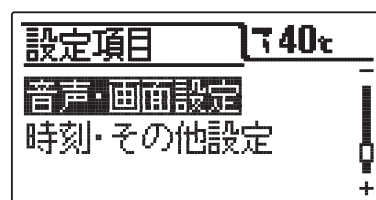
台所リモコン表示画面



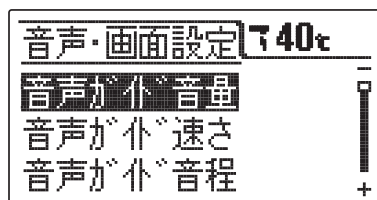
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

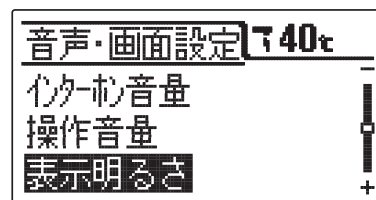


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



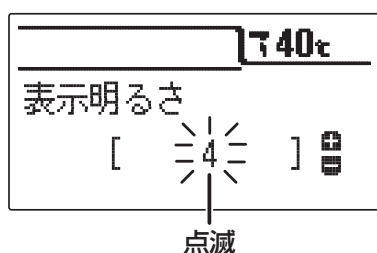
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示明るさ」を選択する



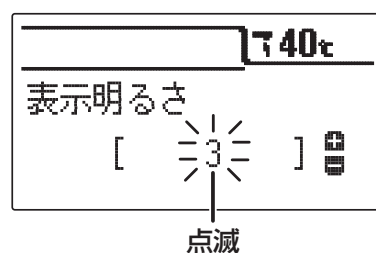
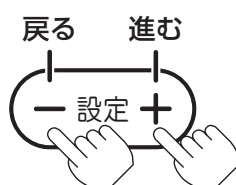
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



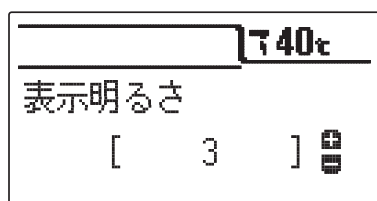
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 表示明るさを設定する



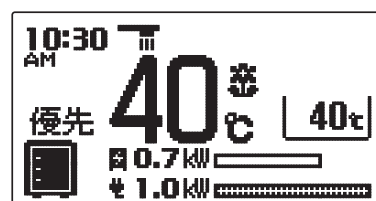
設定スイッチを押すごとに1<=>2...6<=>7の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

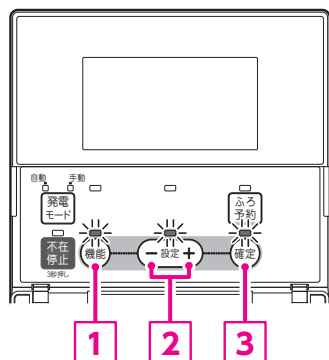
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に明るさの設定をすることができます。
- お買い求め時は「4」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

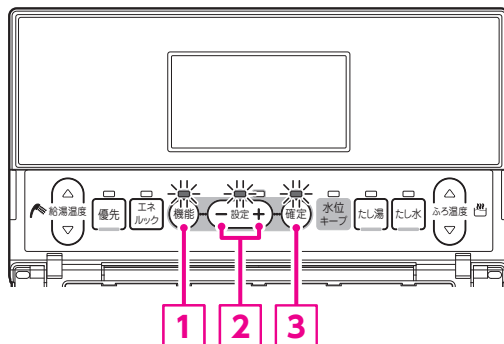
表示コントラストの設定

リモコン表示画面の液晶(LCD)のコントラスト(濃淡のバランス)を調節することができます。

台所リモコン

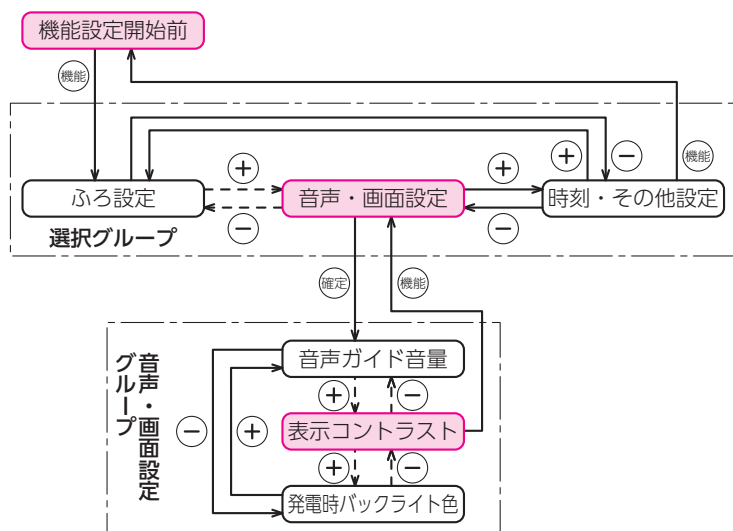


浴室リモコン

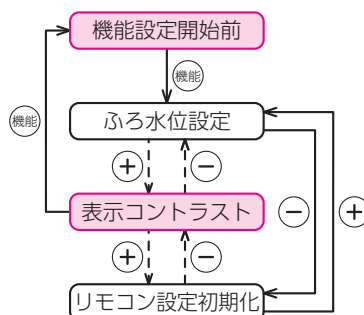


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

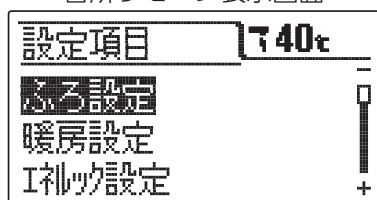


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

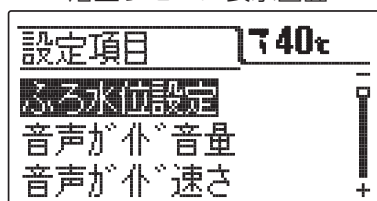
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

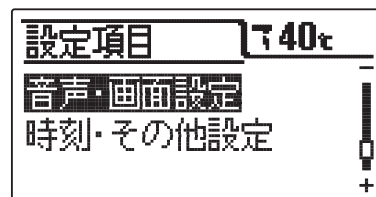
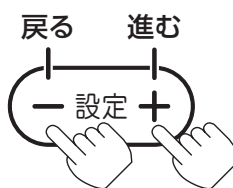
台所リモコン表示画面



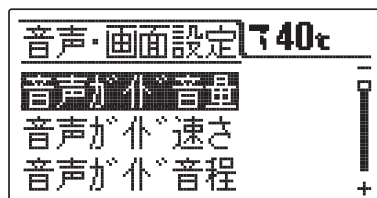
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

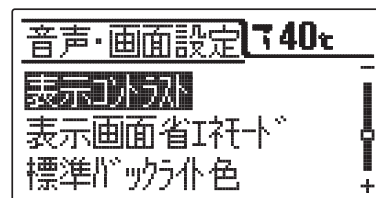
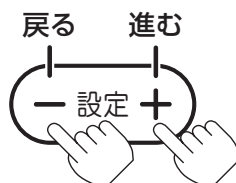


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



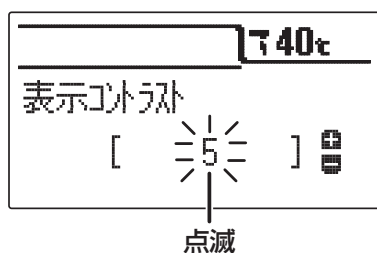
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示コントラスト」を選択する



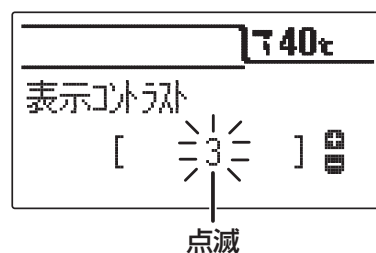
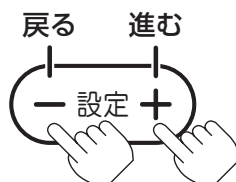
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



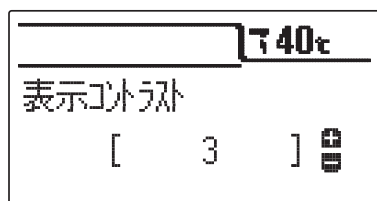
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 表示コントラストを設定する



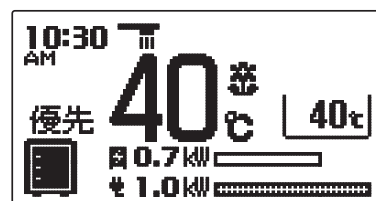
設定スイッチを押すごとに1<=>2...8<=>9の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

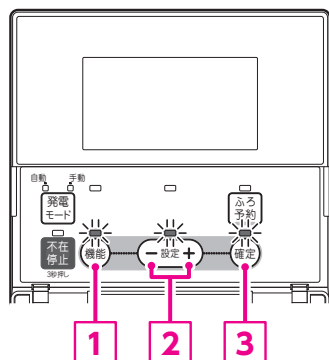
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々にコントラストの設定をすることができます。
- お買い求め時は「5」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

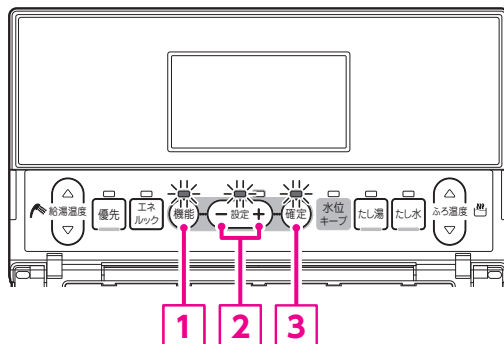
表示画面省エネモードの設定

表示画面のバックライトの点灯状態を変更することができます。

台所リモコン

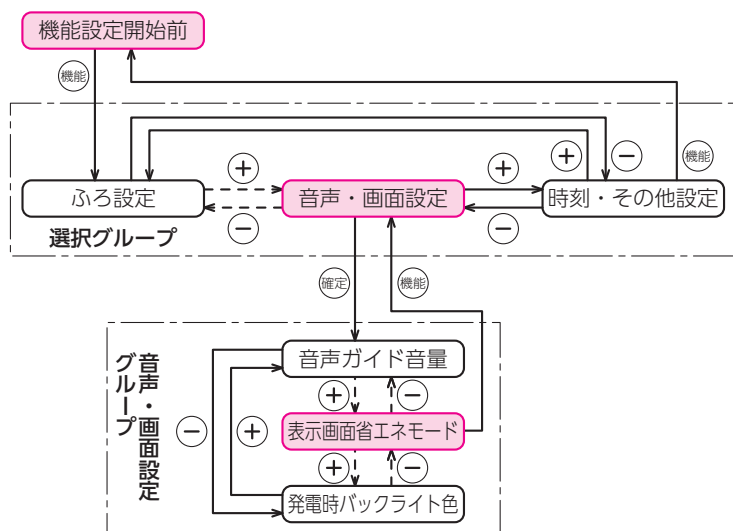


浴室リモコン

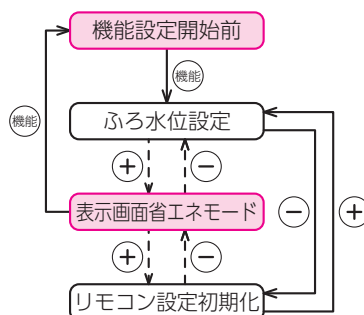


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

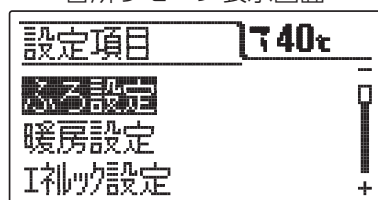


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

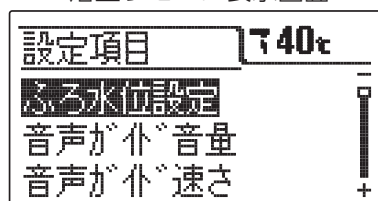
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

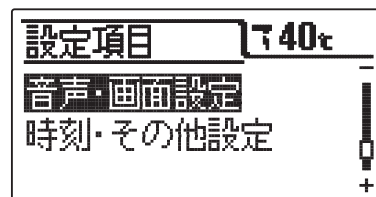
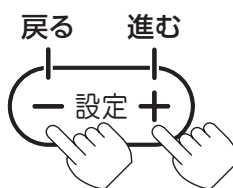
台所リモコン表示画面



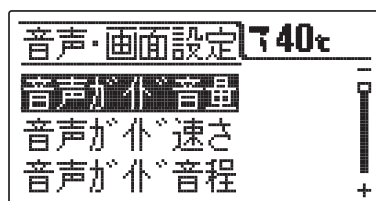
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

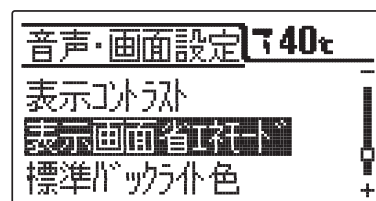
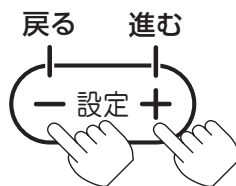


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



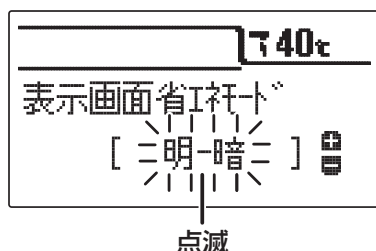
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示画面省エネモード」を 選択する



イラストは台所リモコンの場合です。

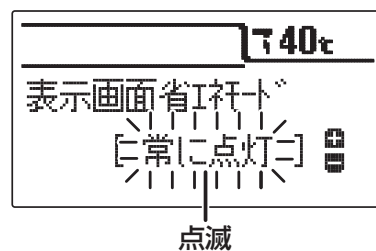
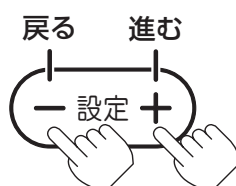
6 確定スイッチ③を押す



点滅

現在の設定が点滅します。

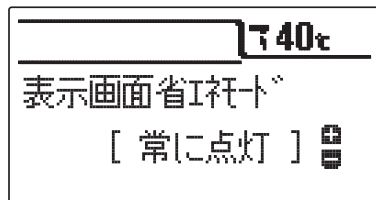
7 設定スイッチ②を押して表示 画面省エネモードを設定する



点滅

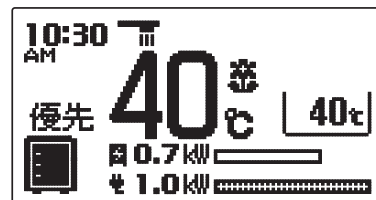
設定スイッチを押すごとに
明-暗 ↔ 明-消 ↔ 常に点灯 ↔ 常に消灯 の順で変更
できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に表示画面省エネモードの設定をすることができます。
- お買い求め時には「明-暗」に設定されています。
- 「明-暗」・「明-消」は給湯設定温度を 55°C 以上に設定している場合は表示画面省エネモードにはなりません。
- 表示画面省エネモードの設定内容は右記となります。
- 表示画面省エネモード中にリモコンを操作すると表示画面のバックライトは元の明るさに戻ります。排熱利用給湯暖房ユニットを使用しなければ約 10 秒後に再び表示画面省エネモードになります。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

モード設定	表示画面省エネモードの内容
明-暗	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約 5 分間続くと、表示画面のバックライトを暗くします。
明-消	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約 5 分間続くと、表示画面のバックライトを消灯します。
常に点灯	表示画面のバックライトを常に明るくします。
常に消灯	表示画面のバックライトを常に消灯します。

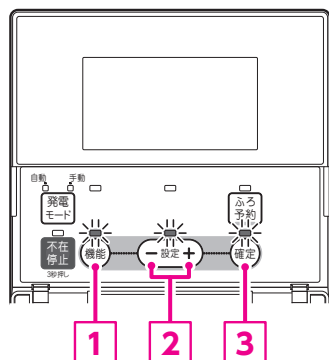
その他の機能

リモコンの設定

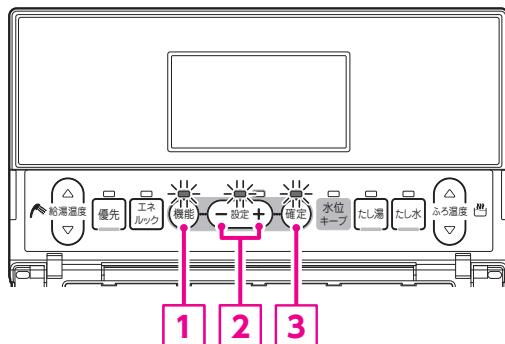
バックライトの設定

リモコン表示画面のバックライトの色を変更することができます。
また、通常時と発電時のバックライトの色を変えることができます。

台所リモコン

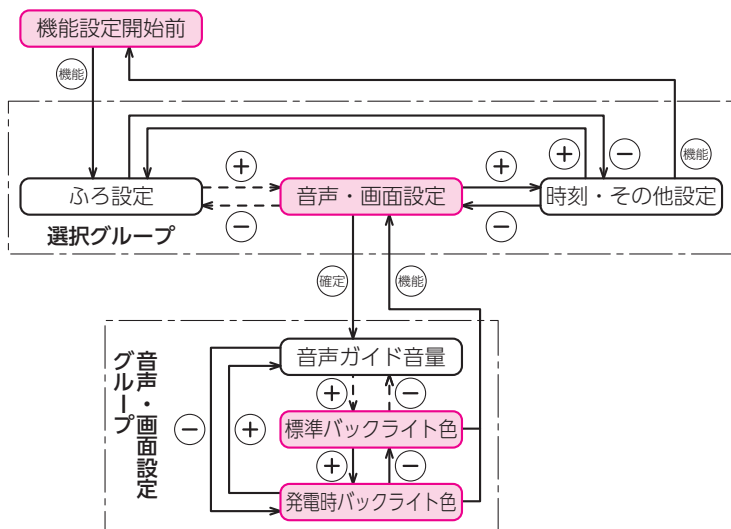


浴室リモコン

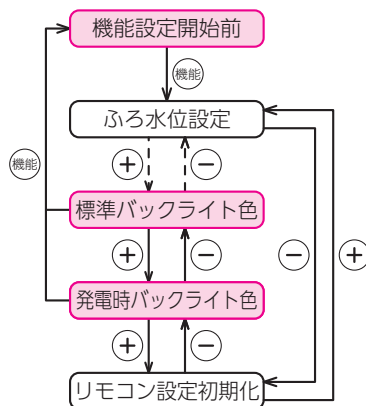


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

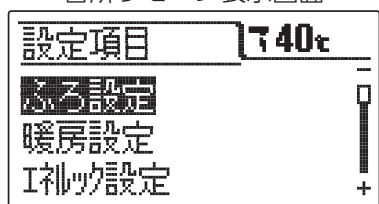


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

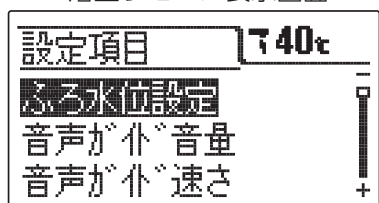
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

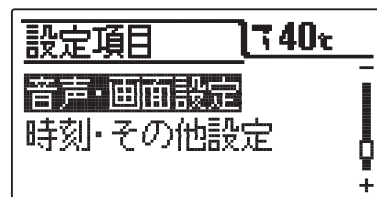
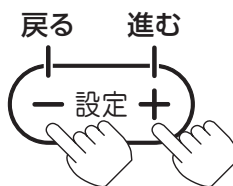
台所リモコン表示画面



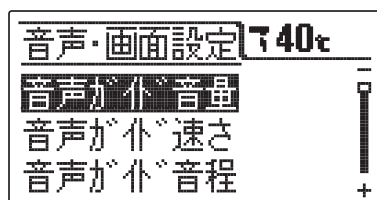
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

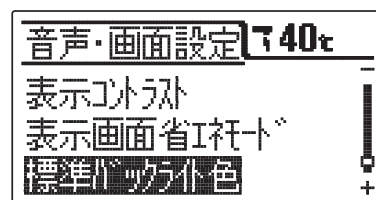
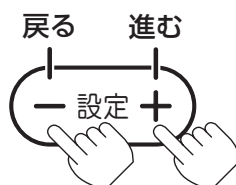


4 確定スイッチ^③を押す (台所リモコンのみ)



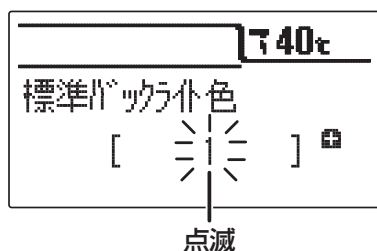
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ^②を押して 「標準バックライト色」 「発電時バックライト色」の いずれかを選択する



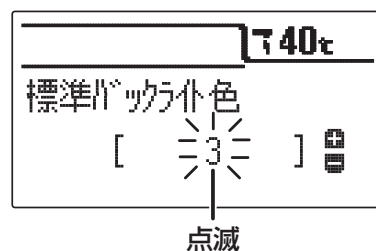
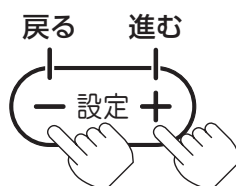
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ^③を押す



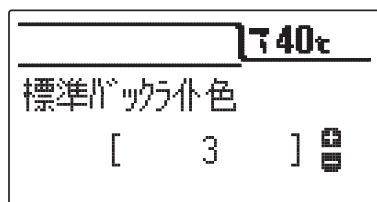
現在の設定が点滅します。
イラストは「標準バックライト色」を選択した場合です。

7 設定スイッチ^②を押して バックライト色を設定する



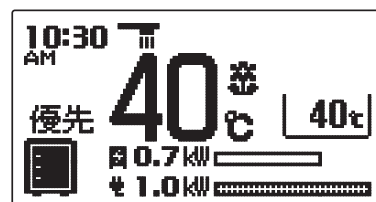
設定スイッチを押すごとに 1↔2...7↔8 の順で
(白) (薄い緑) (緑)
変更できます。

8 確定スイッチ^③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

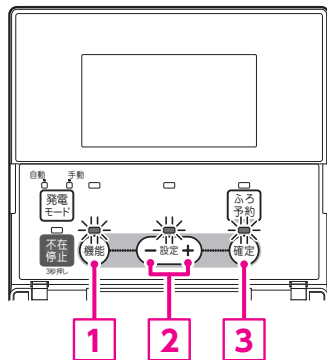
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々にバックライトの設定をすることができます。
- お買い求め時の設定は「標準バックライト色」と「発電時バックライト色」は「1」です。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります

リモコンの設定

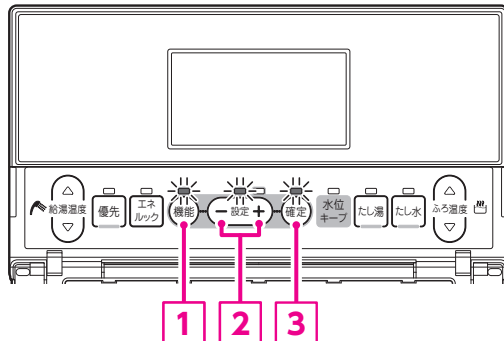
リモコン設定初期化

台所リモコンの場合は「機能設定」の「音声・画面設定」をお買い求め時の状態にします。
浴室リモコンの場合は「ふろ水位設定」以外の「機能設定」をお買い求め時の状態にします。

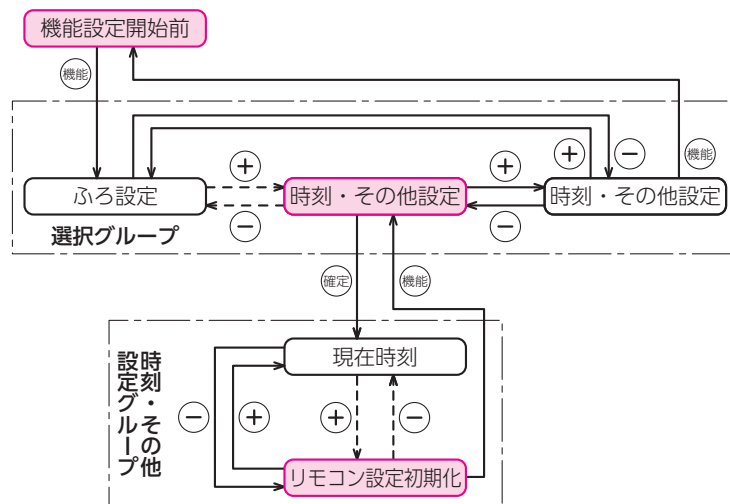
台所リモコン



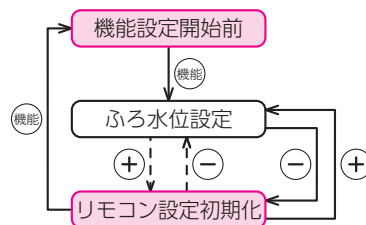
浴室リモコン



機能設定の順序



浴室リモコン

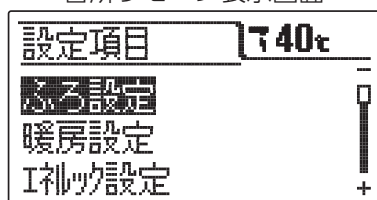


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

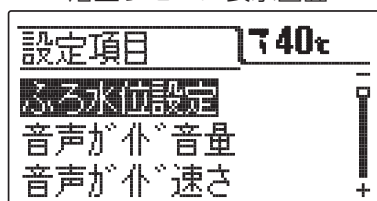
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

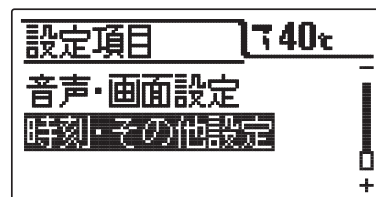
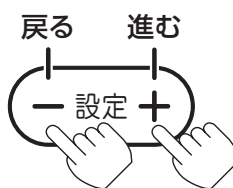
台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面

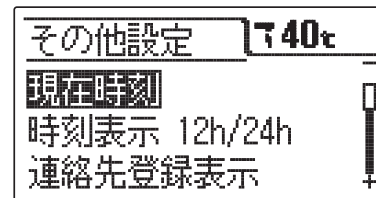


3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する (台所リモコンのみ)

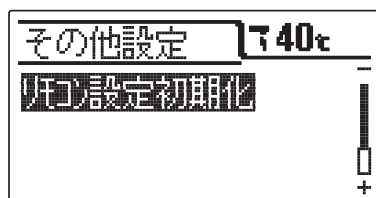
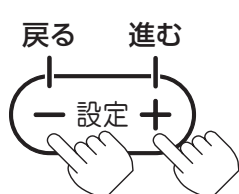


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)

時刻・その他設定グループの項目を表示します。

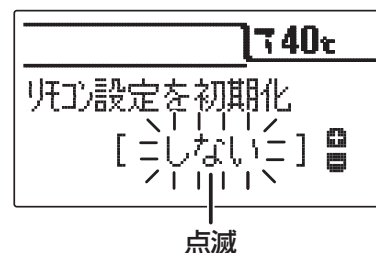


5 設定スイッチ②を押して 「リモコン設定初期化」を 選択する



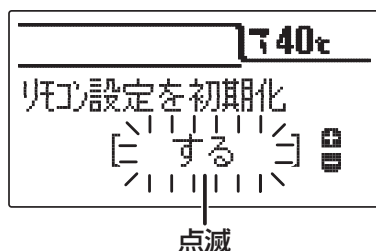
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



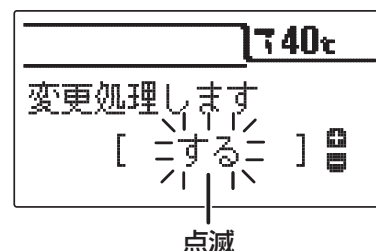
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して リモコン設定初期化を 設定する



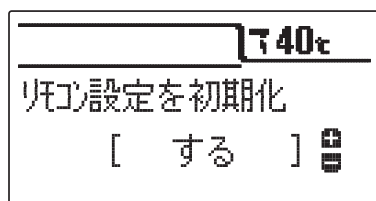
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

8 確定スイッチ③を押す



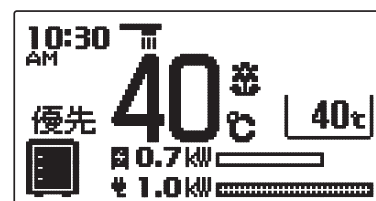
設定をやめる場合はふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

9 再度確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせし初期化します。
初期化後は自動的に設定が「しない」に戻ります。

10 ふたを閉じる



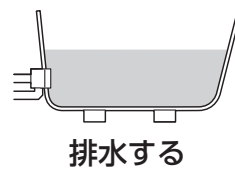
通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

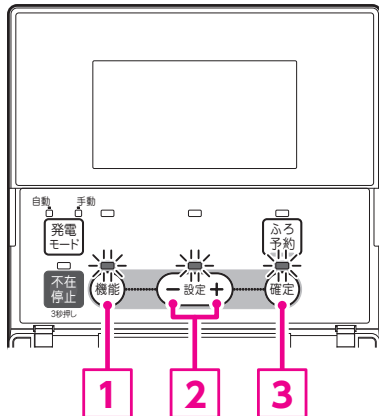
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「しない」に設定されています。
- 「9」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

配管クリーンの設定

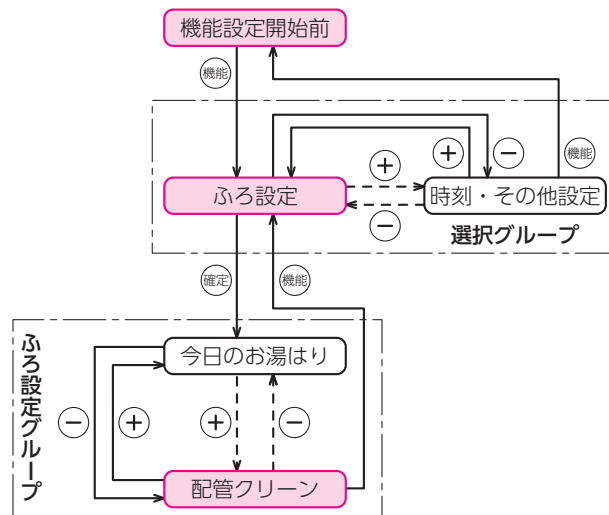
配管クリーンとはふろ自動運転終了(ふろ自動スイッチ「切」、またはふろ自動運転の保温時間経過)後、ふろ配管にきれいな水(約5リットル)を流し、ふろ配管内の残り湯を排出する機能です。浴そうのお湯が循環アダプターより低くなると作動します。



台所リモコン

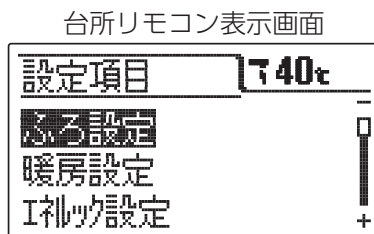


機能設定の順序

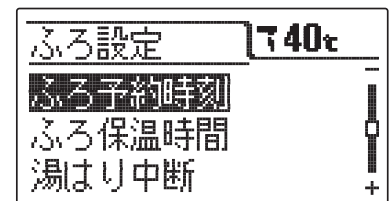


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す



3 確定スイッチ③を押す

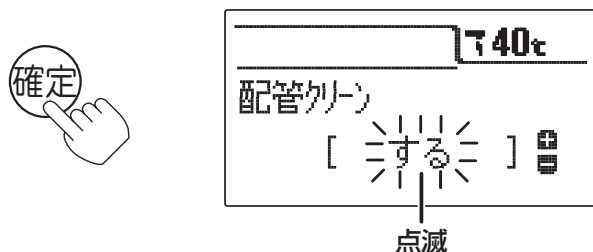


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「配管クリーン」を選択する

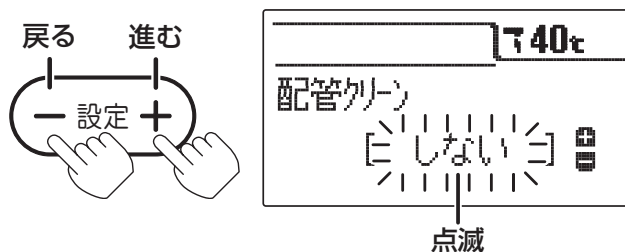


5 確定スイッチ③を押す



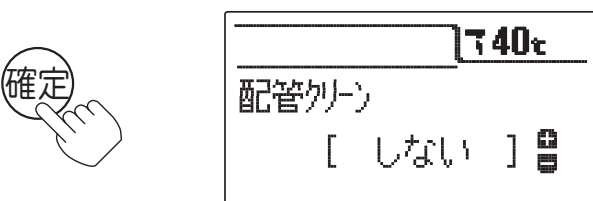
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して配管クリーンを設定する



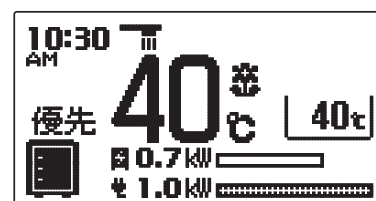
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

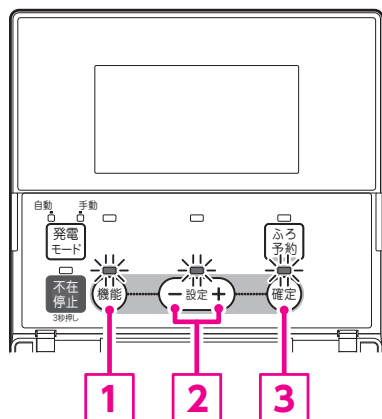
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「する」に設定されています。
- 下記の場合は配管クリーンを「する」に設定しても作動しません。
 - ・浴そうの排水栓を抜く前のお湯(水)の量が循環口より上約 10cm 未満の場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、給湯スイッチが「切」になっている場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、ふろ自動スイッチが「入」になっている場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、給湯を使用している場合
- 配管クリーンを中止する場合は給湯スイッチを「切」にしてください。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

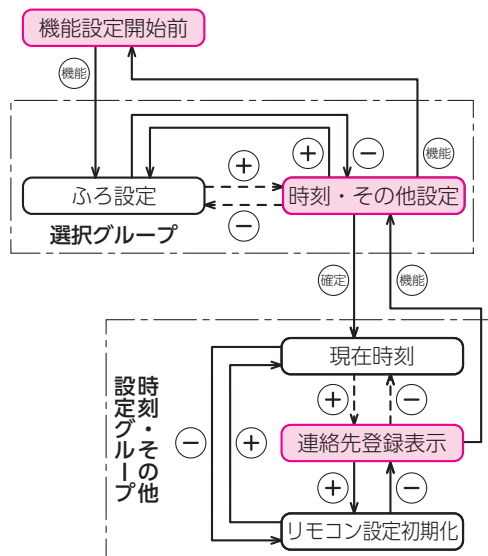
連絡先の登録・表示

●連絡先の電話番号を登録・表示することができます。メンテナンス会社の電話番号を登録してください。

台所リモコン

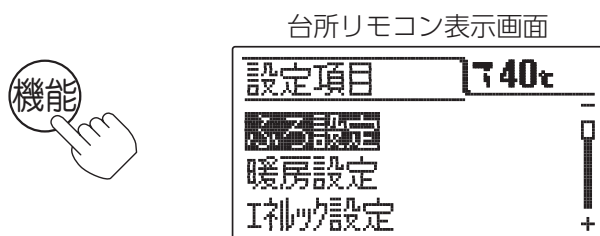


機能設定の順序

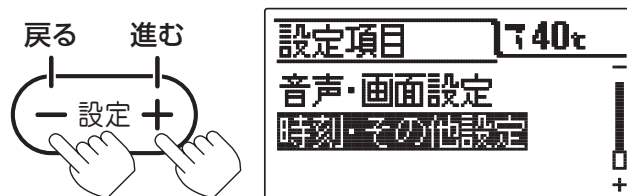


1 ふたを開く

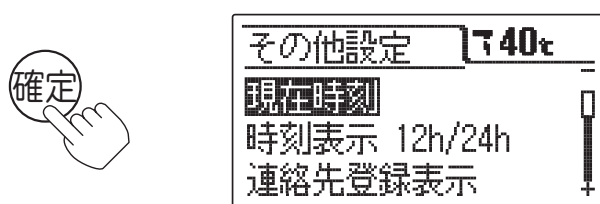
2 機能スイッチ①を押す



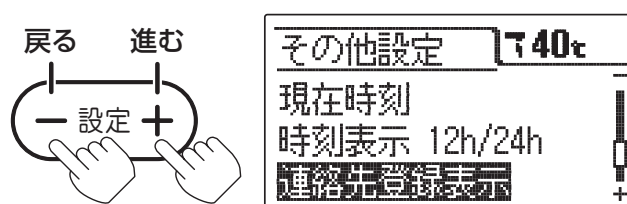
3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

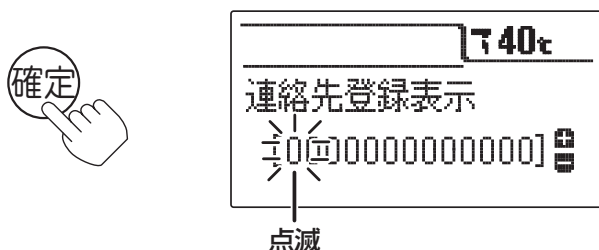


5 設定スイッチ②を押して「連絡先登録表示」を選択する



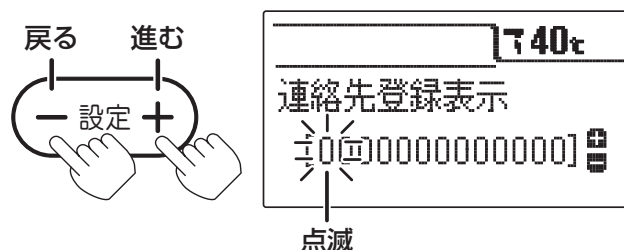
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



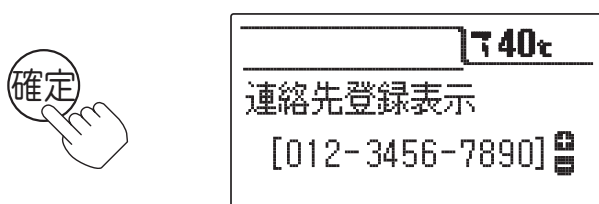
操作しても連絡先が表示されない場合は登録されていません。連絡先を登録する場合は7以下の操作を行ってください。
約40秒間放置またはふたを閉じると通常の表示に戻ります。

7 設定スイッチ②を押して連絡先を登録する



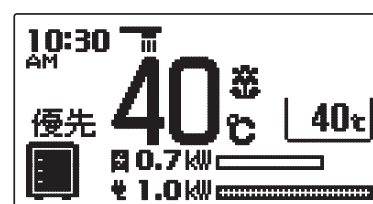
電話番号を1つずつ登録します。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせし、次の番号が点滅します。
7・8を繰り返し電話番号を登録します。
最後まで登録が済むと電話番号の点滅はなくなります。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には電話番号は設定されていません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

音声ガイド一覧

●操作の一例を表示しています。

台所リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			台所リモコンから出る音声ガイド	浴室リモコンから出る音声ガイド	音量「00(切)」[「0(切)」]のとき
給湯「入」		55℃以上	♪あついお湯が出ます	あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	♪	—	—
給湯「切」			♪	—	—
現在時刻が未設定	給湯(押す)		時計を合わせてください	—	—
台所リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	ピピッ (浴室リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (浴室リモコンのみ)
浴室リモコン 優先のとき	給湯温度 上下		変更できません 優先を確認してください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)
ふろ自動	「入」		ふろ温度〇〇℃でお湯はりをします	—	—
	お湯はり・沸き上げ後		♪おふろが沸きました	—	—
ふろ予約 「入」	現在時刻が設定済み		お湯はりが(午後・午前)〇〇時に予約 されました	—	—
	現在時刻が未設定		予約できません 時計を合わせてください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)
追いだき			追いだきをします	—	—
	沸き上げ後		♪おふろが沸きました	—	—
通話が自動的に終了するとき(※)			♪通話を終了します	♪通話を終了します	—
発電 モード	モードを切換えたとき		変更されました	—	—
	発電を停止するとき		変更されました	—	—
不在停止(約3秒間押す)			不在停止します	—	—
不在停止のとき		不在停止	不在停止を解除します	—	—
機能	設定	確定	変更されました	—	—
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)

※の音声ガイドはインターホン機能付のリモコンのみ発声します。

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

エネルギースイッチの音声ガイドは116ページを参照してください。

浴室リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			浴室リモコンから出る音声ガイド	台所リモコンから出る音声ガイド	音量「00(切)」[0(切)]のとき
給湯「入」		55℃以上	♪あつとお湯が出ます	あつとお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	♪	—	—
給湯「切」			♪	—	—
現在時刻が未設定		給湯(押す)	時計を合わせてください	—	—
浴室リモコン 優先のとき	優先「切」	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
	給湯温度 上下	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	ピピッ (台所リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコンのみ)
台所リモコン 優先のとき	優先「切」	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あつとお湯が出ます	ピピッ (台所リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコンのみ)
	給湯温度 上下		変更できません 優先を確認してください	—	ピピピピッ (浴室リモコンのみ)
ふろ自動	「入」		ふろ温度〇〇℃でお湯はりします	—	—
	お湯はり・沸き上げ後		♪おふろが沸きました	♪おふろが沸きました	—
ふろ温度 上下			ふろ温度が〇〇℃に変更されました	—	—
水位キープ「切」			水位キープを解除します	—	—
水位キープ「入」			水位キープを開始します	—	—
追いだき			追いだきをします	—	—
たし湯			たし湯をします	—	—
たし水			たし水をします	—	—
呼出(※1)			—	♪おふろで呼んでいます(2回)	ピーピーピーピーピーピー (2回) 音量「0(切)」のときは音声 ガイドでお知らせします。 (台所リモコンのみ)
通話が自動的に終了するとき(※2)			♪通話を終了します	♪通話を終了します	—
機能	設定	確定	変更されました	—	—
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	—	ピピピピッ (浴室リモコンのみ)

※1 の音声ガイドはインターホン機能が付かないリモコンのみ発声します。

※2 の音声ガイドはインターホン機能付のリモコンのみ発声します。

♪ はメロディーが鳴ることを表しています。

エネルギースイッチの音声ガイドは116ページを参照してください。

音声ガイド一覧

エネルギースイッチでの操作

項 目	音声ガイド	項 目	音声ガイド
エネルギーモニタ (削減率)	電気の情報を表示します	ガス	ガスの情報を表示します 目標を達成しています(※)
エネルギーモニタ	現在の電気と熱の利用状況を表示します	お湯	お湯の情報を表示します 目標を達成しています(※)
今日の情報	今日の情報を表示します	水道	水の情報を表示します 目標を達成しています(※)
エネファーム発電量	発電の情報を表示します	光熱費	光熱費の情報を表示します 目標を達成しています(※)
太陽光発電量	発電の情報を表示します	排熱利用量	熱の利用状況を表示します
電気使用量	電気の情報を表示します 目標を達成しています(※)	BU 熱利用量	熱の利用状況を表示します
購入電気	電気の情報を表示します	CO ₂ 削減量	CO ₂ 削減量の情報を表示します 今日の記録を表示します
販売電気	電気の情報を表示します	発電予定	発電ユニットの情報を表示します

※ の音声ガイドは目標を達成している場合のみお知らせします。
音声ガイドは操作したリモコンから発声します。

長く使っていただくために

点検・手入れの際のご注意

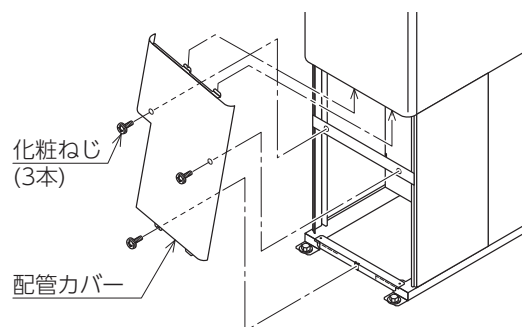
⚠ 注意

- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

点検・手入れ前の準備 (排熱利用給湯暖房ユニット)

配管カバー (別売) のはずしかた

配管カバーの化粧ねじ (3本) をはずして配管カバーを取りはずします。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。



イラストは配管カバーを右側に取付ける場合です。

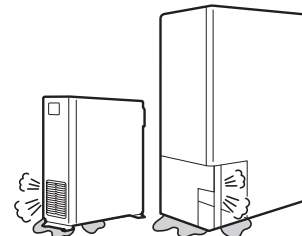
点検

(日常)

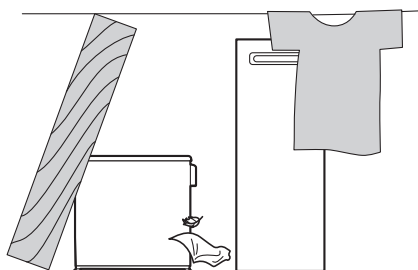
ガス漏れ・水漏れ

⚠ 警告

燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットや配管などからガス漏れしていないことや配管などから水漏れしていないことを確認してください。ガスが漏れていれば異臭がします。



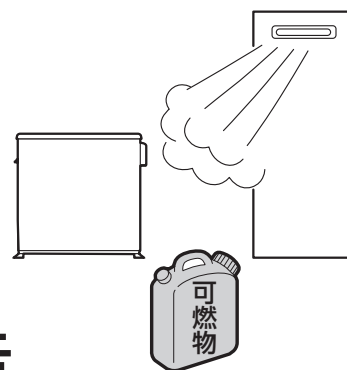
排気部およびその周囲



⚠ 警告

排気部がふさがれていないことを確認してください。

周囲の可燃物



⚠ 警告


燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットおよび排気部の周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

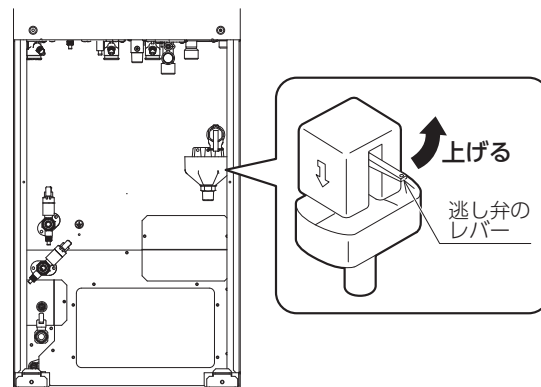
(1年に2～3回以上)

逃し弁の確認

⚠ 注意

排熱利用給湯暖房ユニットの逃し弁から熱いお湯が出ることがありますので手などにかからないように注意してください。また逃し弁のレバーが熱くなっていることがありますので注意してください。

1. 配管カバーをはずします。  116ページ
2. 逃し弁のレバーをゆっくり上げて、逃し弁から水が出てくるか確認してください。
3. 逃し弁のレバーを元の位置に戻します。



その他の機能

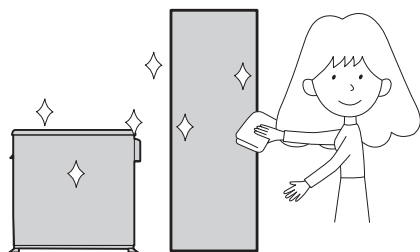
配管の点検

配管の水漏れ、保温材の破損がないか確認してください。

手入れ

(適時に)

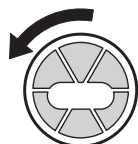
ほこり



外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

フィルターの掃除

左に回してはずす

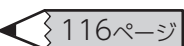


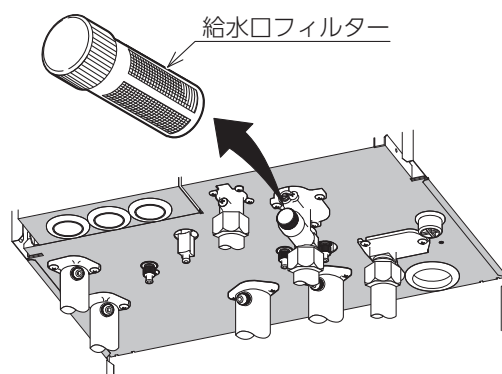
循環アダプター



浴そうを掃除するときは、必ず循環アダプターもはずして歯ブラシなどでフィルターの汚れを掃除してください。ご使用時には必ず取付けてください。

給水口フィルターの掃除

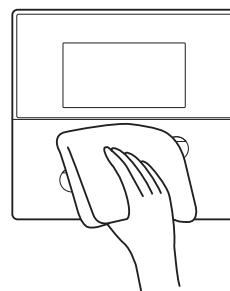
1. 給湯スイッチを「切」にします。
2. 配管カバーをはずします。  116ページ
3. 給水元栓を閉めます。
4. 給水水抜き栓をはずして給水口フィルターの掃除をしてください。
5. 元通りに給水水抜き栓を取付け、給水元栓を開け、配管カバーを取付けます。



底から見たイラストです。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因となります。

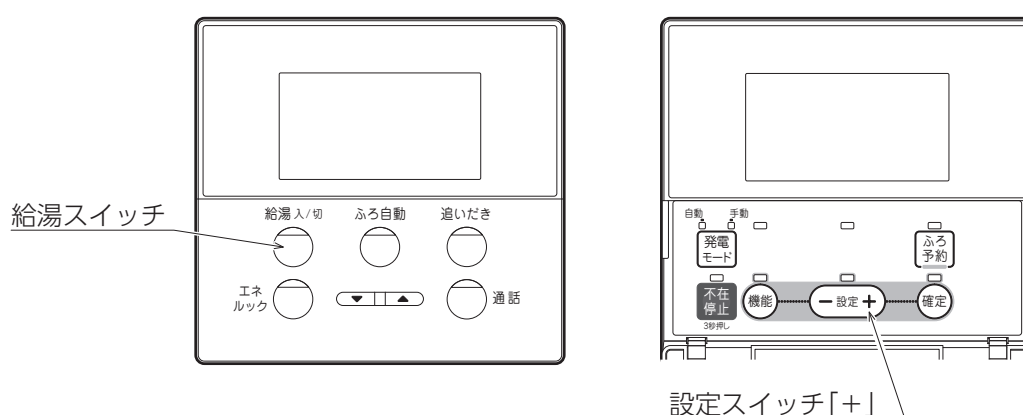


(1年に2～3回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)

貯湯タンクの水張りを行うことで給湯回路の洗浄が行えます。
貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

1. 浴そうの排水栓をはずします。
2. 循環アダプターのフィルターをはずします。
3. 台所リモコンの給湯スイッチを「切」にします。
4. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。
表示画面に「OOP」の点滅と「タンク水張り中」を表示します。
給湯スイッチが「切」でないと受け付けません。
また、台所リモコンの「暖房」表示中も受け付けません。
すべての暖房端末機の運転を停止してください。
この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
5. 「OOP」と「タンク水張り中」の表示が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
循環アダプターのフィルターを元通りに取付けます。



(1年に1回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(貯湯タンクの洗浄)

<水抜き>

貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

1. 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」に従って運転を停止してください。
2. 「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

<水張り>

1. 水抜き後、「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。
2. 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」の「再び使用するとき」に従って運転を再開します。

59ページ

121ページ

123ページ

59ページ

定期点検

- 学習制御機能で自動的に最適な発電運転を行いますので、不在停止以外の操作はしないでください。また、ひんぱんな起動、停止操作は機器の寿命を低下させる原因になりますので、行わないでください。
- 燃料電池発電ユニットの性能を維持し、安全にご使用いただくためにはフィルター交換などの定期点検(3.5年ごと)が必要です。
- 定期点検はお客さま自身で行わないでください。担当のメンテナンス会社に連絡してください。

定期点検項目

	項目	周期
1	パッケージ換気フィルタの交換	3.5年
2	空気フィルタエレメントの交換	3.5年
3	イオン交換樹脂ボトルの交換	3.5年

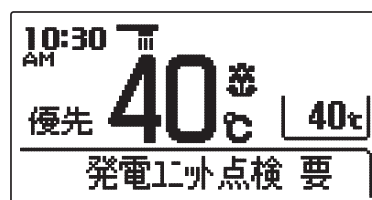
- 燃料電池発電ユニットの点検時期が超過すると、発電を停止します。
排熱利用給湯暖房ユニットのリモコンに「発電ユニット点検」を表示したときは、担当のメンテナンス会社に連絡してください。

- ・「発電ユニット点検」・「近」が点滅
もうすぐ点検時期であることのお知らせです。

台所リモコン表示画面



- ・「発電ユニット点検」・「要」が点滅
点検時期になったお知らせです。



- ・「発電ユニット点検」・「過」・「05F」が点滅
点検時期を超過したことのお知らせです。
燃料電池発電ユニットは運転しません。



- 定期点検のおすすめ(有料)
給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

部品交換について

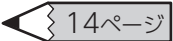
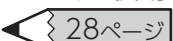
- 故障したままで使用しないでください。爆発・ガス漏れ・不完全燃焼の原因になります。
- 故障して修理や部品交換が必要なときは、担当のメンテナンス会社に依頼してください。

冬期の凍結による破損防止について

凍結予防

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

■燃料電池発電ユニット

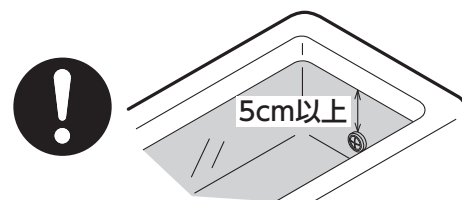
- 燃料電池発電ユニットの本体ブレーカ(電源：主回路漏電ブレーカ)を切らないでください。ブレーカの位置は「各部の名称とはたらき」を参照してください。  14ページ
- 発電設備専用と表示されたブレーカや、上位の基幹ブレーカを切らないでください。ブレーカの位置などは「ご使用前の準備と確認」を参照してください。  28ページ

■排熱利用給湯暖房ユニット

凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認

必ず循環アダプターより5cm以上給水してください。
浴そう内の水を循環させ、排熱利用給湯暖房ユニット内のふろ回路と追いだき配管の凍結を予防します。



- 停電した場合や電源プラグを抜くと「凍結予防装置による方法」では凍結予防装置が作動しないので効果がありません。「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」を行ってください。
- 凍結した場合はそのままでは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。再使用時はすべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開けて水が出ることや、燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットや配管から水漏れがないことを確認してください。

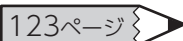
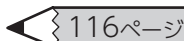
長期間使用しない場合

- しばらく使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。

燃料電池発電ユニットの水抜きについて

- 長期間燃料電池発電ユニットを使用しない場合は、水抜きが必要です。水抜きが必要なときは、担当のメンテナンス会社または大阪ガスへご連絡ください。

排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法

- 長期間にわたって排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない場合やブレーカを切る場合は水抜きを行ってください。
- 再使用時は「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従ってください。  123ページ
- 水抜きは配管カバーをはずして行い、終了後は取付けてください。  116ページ

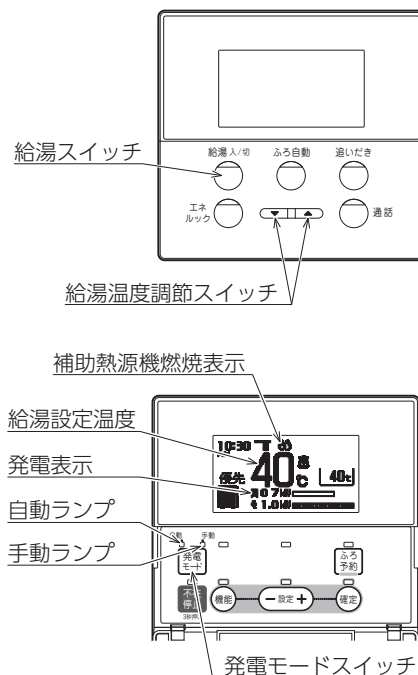
長期間使用しない場合

排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き

- 暖房回路に不凍液を使用している場合は10の作業は不要です。不凍液を使用している場合は不凍液注意シール「不凍液が入っています」が点検パネルの右下に貼られています。
- 水抜き中は他の運転操作をしないでください。
- 排水栓と水抜き栓の位置などは「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニット内の水張り)」のイラストを参照してください。

123ページ

1. 給湯設定温度を40℃に設定します。
2. 台所リモコンの貯湯量表示が点灯している場合は、すべての給湯栓を開けお湯を出します。
台所リモコンの貯湯量表示が消灯し、補助熱源機燃焼表示が点灯することを確認してから3以下を行ってください。
3. すべての給湯栓(シャワーなど含む)を閉めます。
4. 台所リモコンの発電モードスイッチを約5秒間押します。
音声で「変更されました」とお知らせします。
自動ランプ・手動ランプが消灯します。
発電していた場合は発電表示がしばらく点滅してから消灯します。
発電表示が消灯していることを確認してから5以下を行ってください。
5. 浴そうのお湯を排水します。
6. ガス栓①・給水元栓②を閉めます。
7. 給湯スイッチを「切」にしてから、すべての給湯栓(シャワーなど含む)・排水栓③を開けます。
このとき台所リモコンの表示画面に「260」を表示します。
8. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「-」を約3秒間押します。
表示画面に「00d」が点滅します。
1～7の操作を行わずに設定スイッチの「-」を押しても「00d」は表示しません。
この操作を行うと水抜きが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
9. 過圧逃し弁④・給水水抜き栓⑤をはずします。
10. 暖房「戻り」水抜き栓⑥・暖房「行き」水抜き栓⑦・暖房ポンプ水抜き栓⑧を緩めます。
暖房回路に不凍液を使用している場合は緩めないでください。
11. 追いだき「戻り」水抜き栓⑨・追いだき「行き」水抜き栓⑩・ふろポンプ水抜き栓⑪を緩めます。
12. 排熱水抜き栓⑫⑬・ラジエータ水抜き栓⑭・循環回路水抜き栓⑮・給湯水抜き栓⑯を緩めます。
13. 中和器水抜き栓⑰をはずします。
14. 排水栓③・過圧逃し弁④・水抜き栓⑤～⑰から水が出なくなる、または約1時間後に表示画面の「00d」の点滅が「260」の表示に変わると水抜きは完了です。
15. すべての水抜き栓を元通りに閉め、給湯栓(シャワーなど含む)と排水栓を閉めます。
16. 屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカを「OFF」にします。(排熱利用給湯暖房ユニットの電源が切れます)



警告

- やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。
給湯や暖房運転後、停電時などでも高温水が排水される場合があります。

お知らせ

- 給水元栓を閉めないで水抜きはできません。
台所リモコンの設定スイッチの「-」を押すと音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 停電時は5・6の操作を行った後、排水栓③を開け、過圧逃し弁④・すべての水抜き栓⑤～⑰を緩めてください。この作業で排熱利用給湯暖房ユニットすべての水は抜けません。凍結による破損を緩和させるための処置です。

燃料電池発電ユニット

●燃料電池発電ユニットを再使用する場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスへご連絡ください。

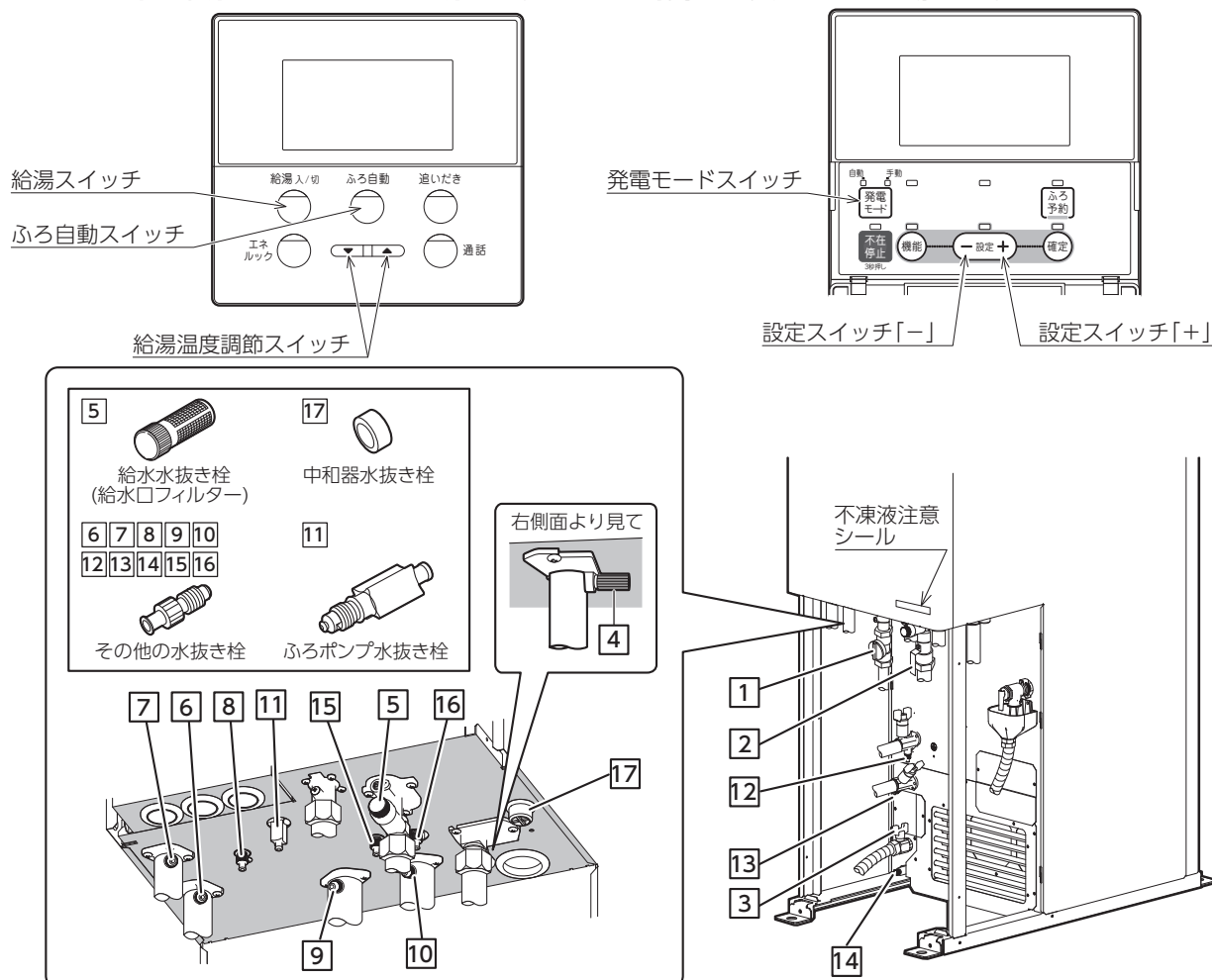
排熱利用給湯暖房ユニット

再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)

- 水張り時には浴そうの循環アダプターから水が出ますので、浴そうの排水栓をはずしてください。
 - 「排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き」を行っていない場合にリモコンの表示画面に「260」を表示した場合は、原因(断水など)が直った後に5・6の操作を行ってください。
 - 水張り時間は約20分かかります。
 - 水張り中は他の運転操作をしないでください。
1. 配管カバーをはずして排水栓③・過圧逃し弁④・すべての水抜き栓⑤～⑰・すべての給湯栓(シャワーなどを含む)が閉まっていることを確認してください。
 2. 屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカを「ON」にします。(排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入ります。)
 3. リモコンの表示画面に「260」が表示します。
 4. 給水元栓②を開けます。
 5. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。
表示画面に「00P」が点滅します。給水元栓②が充分開いていないと「00P」は点滅しません。
給湯スイッチが「入」、台所リモコンの「暖房」が表示中もこの操作は受け付けません。
すべての暖房端末機の運転を停止してください。
この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
 6. 「00P」が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
 7. 給湯栓を開け、水が出てくることを確認した後、給湯栓を閉めます。
 8. ガス栓①を開けます。
 9. 配管カバーを元通りに取付けます。
 10. 発電を再開する場合は発電モードスイッチを押します。ただし、自動電源切替器のブレーカを切った状態が24時間以上経過している場合は不要です。

116ページ

57ページ



その他の機能

災害時などにお湯を取出す方法

- 断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
ただし、停止の状態によってはお湯(水)が取り出せない場合があります。
- 燃料電池発電ユニットが自立運転を行っている場合は、運転を停止させる必要があります。
ただし、停電中に運転を停止させると停電が復旧するまで運転を再開することができません。

1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

◀ 49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

2 不在停止スイッチを約3秒間押す

不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。
発電はすぐに停止しません。

◀ 59ページ

停電時に自立運転を行っている場合はこの操作を行ってください。
緊急の場合はすぐに「3」以下を行ってください。

3 屋内分電盤の分岐ブレーカ(自動電源切替器用)を切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから抜いてください。

4 配管カバーをはずす

◀ 116ページ

5 給水元栓を閉める

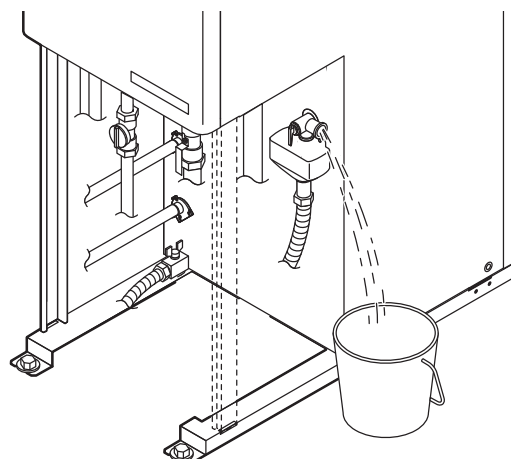
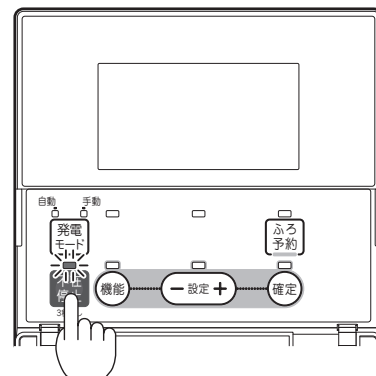
6 逃し弁の排水口を右に向ける

7 逃し弁のレバーを上げる

出てきたお湯(水)をバケツなどで受け、生活用水として使用してください。

初めに湯あかなどが出ることがありますので、少し捨ててから使用してください。

取水が終わったら逃し弁のレバーを下げてください。



配管カバーをはずしたイラストです。

再度使用するときは

- 「長期間使用しない場合」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。

◀ 123ページ

通電していない状態が24時間以上続いた場合は、「日付・現在時刻の設定」を行ってください。

また、暗証番号を入力する画面を表示した場合は暗証番号を入力してください。

◀ 30・31・62ページ

その後は通常通りに使用できます。



警告

- 取水中に熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

■燃料電池発電ユニット

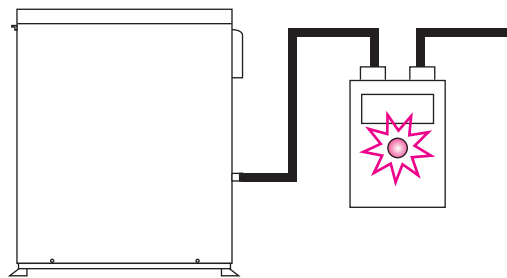
現 象	説 明
排気口から白煙が見える	●排気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
排気口から水が滴る	●排気に含まれる水分が凝縮し結露するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
連続的なうなり音がする	●機器内部の制御部品の運転音です。
連続的な機械音がする	●機器内部の制御部品の運転音です。
停止させたのに機械音が止まらない	●停止・冷却の過程でも制御部品が動作しています。また、換気のためファンも動作を継続しています。
発電していないのに機械音が聞こえるときがある	●排熱系の温度管理のために、制御部品が動作する音です。
27日に1度、停止する	●マイコンメータの誤検知防止のため、停止させています。
ドレンから水が排出される	●運転状況によって、微量の余剰水がドレンから排出されます。
給湯スイッチ「切」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	●「不在停止」を選択していない場合、発電・貯湯のため運転を継続しています。
操作していないのにリモコンの不在停止ランプが点灯している	●排熱利用給湯暖房ユニットを約48時間使用しなかった場合は、自動的に不在停止状態となります。
発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	●発電していなくても停止中の場合には、間欠的に運転ランプが点滅します。
発電していない	●過去のエネルギー使用実績から学習制御し、効率よく発電、停止を自動で行っています。ご家庭でのエネルギーの使用状況によっては、3日間ほど停止する場合があります。
自動電源切替器から動作音がする	●停電時に通常運転から自立運転に切り替わる際、または停電復旧時に自立運転から通常運転に切り替わる際に切替器の動作音がしますが、故障ではありません。

現 象
燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロや給湯、風呂、暖房が使用できない

●マイコンメータの保護装置が作動していませんか？

マイコンメータのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。

詳しくはマイコンメータの取扱説明書を参照してください。サービスを受けられるときは、担当のメンテナンス会社にガスメータ動作の状況を必ず連絡してください。



●リモコンの表示画面に何も表示されない

排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入っていることを確認してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■排熱利用給湯暖房ユニット

給湯(シャワー)・お風呂に関すること

現 象	説 明
初めて点火するとき、なかなか点火しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス配管内に空気が入っているためです。 ●給湯栓を閉め、再度開く操作を繰り返してください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 ●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。開けてください。 ●断水しているためです。 ●ガスメーターがガスを遮断しているためです。 ●給水水抜き栓の給水口フィルターにゴミなどがつまっているためです。  118ページ ●凍結しているためです。 ●給湯スイッチが「切」になっているためです。
お湯がぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ●先止め式の混合水栓の場合は、必ず逆止弁付のものを取付けてください。高圧力地域などで混合水栓の給水側から給湯側に逆流し、シャワーなど給湯使用時に快適性が確保できない場合があります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●排熱利用給湯暖房ユニットから給湯栓まで距離があり、配管内に水が残っているため多少時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開けて水と混ぜて使用してください。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていないためです。 ●給湯温度の設定が低いためです。 ●湯はり中断を「しない」にした場合、お湯はり中に給湯すると給湯温度はふろ温度になります。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作しているリモコンに「優先」を表示していない場合は調節できません。  35ページ
貯湯量表示が点灯しているのに、燃焼表示が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯量表示は約42℃以上のお湯の量を表示しています。 ●給湯設定温度によっては貯湯量表示が点灯していても、出湯すると補助熱源機が作動することがあります。
ふろ設定温度で設定した温度に沸き上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯はり中にふろ設定温度を低く設定すると、ふろ設定温度より高くなる場合があります。
ふろのお湯がぬるいまたはあつい	<ul style="list-style-type: none"> ●循環アダプターにゴミがつまっていたり、循環アダプターが確実に取付けられていないためです。
使用中に停電になり、再通電後もお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源が切れると、再通電後は自動的に点火しません。  34～48ページ 「給湯・ふろ運転」に従ってやり直してください。
出湯量・お湯はり量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯タンクのお湯がなくなったときに、暖房端末機の運転や追だし運転などと同時に給湯を行うと出湯量が減少することがありますが、故障ではありません。
お湯はり量が多い	<ul style="list-style-type: none"> ●残り湯が設定水量付近にある状態でふろ自動運転を行うと、設定水位より多くお湯をはりをする場合があります。 ●循環アダプターにゴミがつまっているためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	<ul style="list-style-type: none"> ●他の給湯栓を同時に使用すると湯温が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。 ●水道の圧力や配管条件によっては出湯量が減る場合があります。 ●湯はり中断を「しない」にした場合、お湯はり中に出湯量が減る場合があります。
お湯はりの始めに水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●給水温度が高い場合やふろ設定温度を低くしている場合は、お湯はりの始めに水が出る場合があります。
お湯が白く見える	<ul style="list-style-type: none"> ●水中に溶けていた空気が分離して、細かい泡となり白く見えるためです。
運転時に点火・消火を繰り返すことがある	<ul style="list-style-type: none"> ●補助熱源機がお湯の温度を調節するために点火・消火を繰り返します。
追だしができなかったり、追だしが途中で停止する	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの循環口上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ●循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 ●断水時は追だし運転できません。
ふろ運転するとき、浴そうの循環アダプターから泡が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●排熱利用給湯暖房ユニット内でお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。
断続的にたし湯運転する	<ul style="list-style-type: none"> ●たし湯中に給湯するとたし湯が中断されるためです。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。  44・45ページ
ふろ自動運転に通常より時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ●ふろ自動運転中に給湯するとお湯はりを一時中断するため時間がかかります。 また、お湯はりに使うお湯の一部を使うためお湯はりに時間がかかります。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。  44・45ページ
ふろ自動運転の途中でお湯はりが停止する 循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの残り湯を確認しているためです。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。

現 象	説 明
ふろアダプタから時々ポコポコと音がする	●気泡が抜けている音です。給湯および暖房使用中に発生することがありますが、異常ではありません。
ふろ自動運転や追いだきを始めると濁ったお湯が出る	●配管クリーンをしないと、配管内の残り湯が混入し濁ったお湯が出る場合があります。 ●特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。
追いだきができない	●浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(水)が入っていないためです。 ●循環アダプターにゴミがつまっているためです。
追いだき時間が長くなった	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯・暖房端末機の運転などと同時に追いだき運転を行うと追いだき時間が長くなる場合がありますが、故障ではありません。
ふろを使用していないのに循環アダプターから水が出る	●凍結予防のためにお湯を出しています。 ●配管クリーンを「する」にした場合は、配管内の水を排出するため水が出ます。
配管クリーンが作動しない	●配管クリーンの作動条件を満たしていないためです。 ●配管クリーンを「する」にしていないためです。 ●停電後は作動しません。

110・111ページ

暖房に関すること

現 象	説 明
暖房能力が低下した	●床暖房とその他の暖房端末機を同時に使用した場合に、暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。 ●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯や追いだき運転などと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。いずれかの運転を停止すると改善します。
床がなかなか暖まらない	●床材の種類・外気温度・住宅構造などによって、暖かくなるまでの時間が異なります。 (目安：1時間程度)
床や浴室がなかなか暖まらない 温度調節をしていないのに床暖房や浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化する	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯や追いだき運転などと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。いずれかの運転を停止すると改善します。
床の暖かさが場所によって異なる	●温水配管内に温水を循環させて床を暖めるしくみになっています。温水配管が通っているところと通っていないところでは、床の温度に若干の差が生じます。
床暖房の温度調節をしていないのに床の温度が下がる	●床暖房開始時は早く床を暖めるために高温の温水を流し、ある程度時間が経過すると、温水を一定の温度に下げます。故障ではありません。
床暖房中に音がする	●床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床材などが収縮や膨張する音、または温水の流れる音です。異常ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖かくなることがある	●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ヶ月に1回ポンプを自動的に回しています。このときに他の暖房端末機(浴室暖房など)を使用している場合は床の温度が一時的に少し上がる場合があります。
床の足ざわりが場所によって異なる	●温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
床に凹凸や段差がある	●温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合によっては目立つことがあります。
床の継ぎ目に隙間がある	●暖房すると床が乾燥して収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。
床が変色した	●床材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどで遮ってください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

排熱利用給湯暖房ユニット・リモコンに関すること

現 象	説 明
寒い日に排気部から湯気が出る	●排気ガスが水蒸気を多く含んでいて、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
給湯ランプが点灯しない	●停電しているためです。 ●漏電ブレーカが「切」になっているためです。 ●電源ブレーカを切っているためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示画面などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。リモコンの給湯スイッチを「切」にしても電子回路が作動していますので発熱があります。
時刻表示が「PM 0 : 00 (00 : 00)」で点滅している	●停電などで電源が切れた後(約 24 時間以上)は時刻を記憶していませんので、再度時刻を設定してください。  ●自立運転時に、自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を越えた状態がしばらく続くと、時刻がクリアされることがあります。再度時刻を設定してください。 ●現在時刻を設定しないと自動モードやふろ自動運転の予約などができません。
リモコン表示が表示画面省エネモードにならない	●表示画面省エネモードの設定が正しく設定されていないためです。 ●給湯温度設定が55℃以上になっているためです。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが運転しているためです。(待機状態になっていません。)
リモコンのバックライトが暗い、または消灯している	●表示画面省エネモードになっているためです。
使用中に消火した	●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。開けてください。 ●断水しているためです。 ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 ●ガスメータがガスを遮断しているためです。
使用していないのにポンプまたは補助熱源機が作動(補助熱源機燃焼表示が点灯)する 使用していないのに排熱利用給湯暖房ユニットや配管から伝わり音がする	●ふろ自動運転の保温中や追いだし終了後にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。 ●ポンプの凍結を予防するために、外気温が約 3℃になると凍結予防装置により、ポンプと補助熱源機が運転・停止を繰り返します。 ●一定期間お湯を使用しないと貯湯タンク内のお湯をあため直しします。そのとき補助熱源機が自動的に燃焼しているためです。 ●発電中は約 10 時間ごとに約 120 秒間補助熱源機が動作することがあります。発電に必要な動作で、故障ではありません。 ●ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを 48 時間に 1 回、約 1 秒間回しているためです。また給湯終了後は約 5 分間ポンプが動きます。 ●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1 ヶ月に 1 回自動的にポンプを回しているためです。
逃し弁から水が出る	●貯湯タンク内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。 ●運転中はポタポタと出ることがあります。
排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	●貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	●水中に溶けた微量の銅イオンが石けんや湯あかに含まれた脂肪分と反応して不溶性の生成物を生じ、青く見えることがありますが、健康上は支障ありません。浴そうや洗面台を中性洗剤で洗ってすすぎをよく行うことで発色しにくくなります。
運転を停止してもしばらくの間、排熱利用給湯暖房ユニットからファンの音がする	●燃焼室内の排気ガスを排出するためです。約 5 秒間で停止します。
給湯を止めた後しばらくポンプの音がする	●再出湯の待機をしています。約 5 分間で止まります。
リモコンの通話が途切れる	●マイクに水滴がつくと音が伝わらないことがあります。
自立運転中にリモコンの画面が表示しなくなった	●接続している電化製品の消費電力が発電量を越えている可能性があります。すみやかに接続した電化製品を取り外してください。取り外さない場合、電化製品の消費電力が発電量を越えた状態が続いたときに発電を停止します。停止すると停電中は再び発電を行うことができませんので、ご注意ください。  ●燃料電池発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は「故障表示」に従って処置を行ってください。 
自立運転中に暗証番号入力画面になった	●自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を越えた状態がしばらく続くと、暗証番号がクリアされることがありますので、暗証番号の入力を行ってください。その後、時刻の設定を行ってください。  ●暗証番号が入力されていないと停電が復旧した後に発電が停止します。(停電中は発電(自立運転)を継続します)

発電に関すること

現 象	説 明
貯湯タンクにお湯がたまらない、または少ない	●暖房の使用状況によっては、排熱が暖房に利用される量が多いため、貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。 ●電気やお湯の使用量が日々大きく異なる場合など、使用状況によって貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。

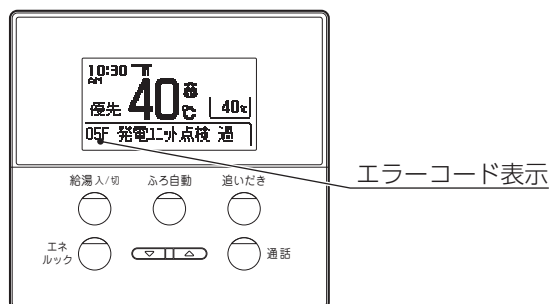
エネルギーに関すること

現 象		説 明
エネルギーモニター	電気使用量が燃料電池発電ユニットの定格発電量以下であっても購入電気が発生する	●電気量調整のために少量の購入電気が発生することがあります。
	太陽光発電に関する表示が消えた	●停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示なくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。
金額表示	金額表示が出ない	●エネルギー金額表示の設定が「しない」になっています。設定を変更して「する」にしてください。 <div>84・85ページ</div>
	表示された量と金額の計算が合わない	●金額を計算するときに、基にする量は表示桁数以上の細かい数値で精度よく行っています。そのため、掛算した数字と異なる場合があります。
量と金額	エネルギーの表示量・金額が請求書と合わない	●エネルギーの量や金額は目安です。標準仕様では、ガス量は燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニットで消費した量、水は排熱利用給湯暖房ユニットで使用した量を表示しています。また、金額は基本料金や使用量に応じた料金に対応していません。ご家庭で支払われる使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示される金額で請求されることはありません。
月積算値	今月の積算値が先月に切替わる時に数字が変化する	●今月のデータを先月に切替える際、内部処理するためにわずかな差を生じることがあります。
光熱費金額	目標に対して実績が異常に少ない金額になる	●太陽光発電システムとマルチ計測ユニットをご利用の場合は、販売電気量を光熱費から差し引きますので少ない値になります。計算上、マイナスになる場合は0円を表示します。
水道使用量	実際の水道使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、少ない	●パルス機能付水道メーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。担当のメンテナンス会社にお問合せください。長期ご利用後の変化の場合は、パルス機能付水道メーターのパルス出力が粗くなっている可能性があります。改善するにはメーター交換が必要となります。水道メーターを設置した会社にお問合せください。
ガス使用量	実際のガス使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、少ない	●パルス機能付ガスメーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。販売店またはもよりの大阪ガスにお問合せください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

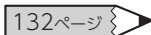
故障表示

- 台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に故障・異常箇所を表示します。

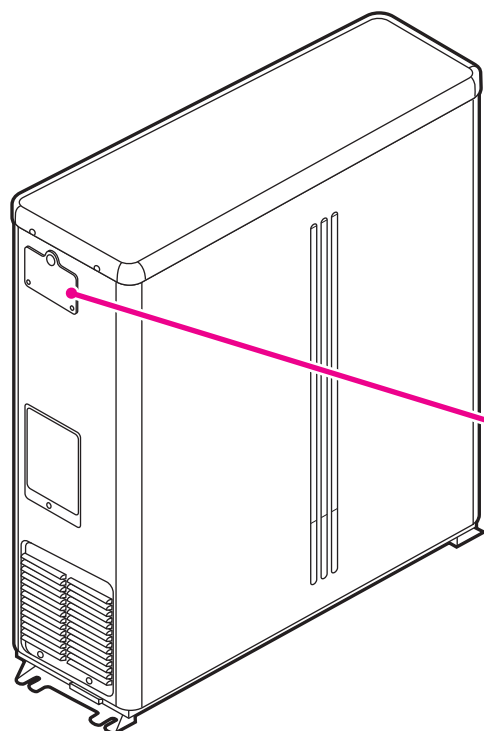


■燃料電池発電ユニット

- リモコンの表示画面に「* * F」(* * は数字またはアルファベットが表示されます)のエラーコードが表示されます。
- 「76F」「A0F」が表示された場合は、以下の確認と処置をしてください。

エラー表示	確認	処置
76F(*) (ユニット間 通信異常)	<ul style="list-style-type: none">●燃料電池発電ユニットの本体主回路漏電ブレーカが「入」になっているか確認してください。●ガス漏れがないことを確認し、異常がある場合はガスの元栓を閉じてください。	<ul style="list-style-type: none">●ブレーカの漏電表示が出ていた場合は、担当のメンテナンス会社に連絡してください。
A0F (燃料供給圧低)	<ul style="list-style-type: none">●ガスの元栓が閉まっていないか確認してください。●ガスメーターがガスを遮断していないか確認してください。	<ul style="list-style-type: none">●ガスが流れていることが確認できたら、リセットしてください。  132ページ●異常が回復しない場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡してください。

※「76F」ではなく「769 (燃料電池発電ユニット通信異常)」が表示された場合も同じです。



半透明カバーの中

主回路漏電ブレーカ



注意

カバーは開けずに外から
目視してください。

漏電時突出部

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
燃料電池発電ユニットに関するエラーコードの種類は、次のページを参照してください。
- 自立運転中に停止した場合は電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。(エラーコードは表示されません。)

燃料電池発電ユニットに関すること

エラー表示	故 障 内 容
(05F)※	メンテナンス時間経過
10F	可燃ガス検知
11F	改質器バーナ点火失敗
12F	改質器バーナ失火
15F	起動異常
(18F)※	メンテナンス時間経過(警報)
20F	換気フローズスイッチ低
30F	改質器温度異常
33F	脱硫器温度異常
35F	CO 変成器 1 温度異常
36F	CO 変成器 2 温度異常
37F	CO 除去器温度異常
38F	蒸気発生器温度異常
39F	燃料予熱器温度異常
42F	電池冷却水温度異常
43F	アノード入口温度異常
44F	パッケージ温度異常
45F	排熱回収水温度異常
47F	燃料予熱器温度低
48F	水処理装置温度異常
50F	原燃料流量センサ異常
51F	CO 除去空気流量センサ異常
52F	改質器バーナ空気流量センサ異常
53F	カソード空気流量センサ異常
55F	可燃性ガスセンサ異常
56F	改質器入口圧力センサ異常
57F	燃料ガス圧力センサ異常
59F	ヒータ加熱系センサ異常
60F	原燃料ガスブロー異常
61F	改質器バーナ空気ブロー異常
67F	改質水ポンプ異常
68F	原燃料入口電磁弁異常
69F	ヒータ系過熱異常
76F	ユニット間通信異常

エラー表示	故 障 内 容
77F	制御装置異常
80F	脱硫器温度センサ異常
81F	燃料予熱器温度センサ異常
82F	燃料器温度センサ異常
83F	改質器触媒温度センサ異常
84F	CO 変成器 1 温度センサ異常
85F	CO 変成器 2 温度センサ異常
86F	CO 除去器温度センサ異常
87F	蒸気発生器温度センサ異常
88F	電池冷却水温度センサ異常
89F	水処理装置温度センサ異常
90F	11F → 原燃料供給系異常
91F	C0F → 原燃料供給系異常
92F	バーナ空気供給系異常
93F	C0F → カソード空気供給系異常
94F	C0F → CO 除去空気供給系異常
95F	蒸気供給系異常
A0F	燃料供給圧低
A1F	改質系圧力高
A2F	改質器保圧異常
A4F	S / C 低
B0F	排熱回収温度センサ異常
B1F	アノード入口温度センサ異常
B3F	11F → 燃料改質装置ヒータ異常
B4F	59F → 燃料改質装置ヒータ異常
B5F	69F → 燃料改質装置ヒータ異常
C0F	電池電圧低
C4F	電池電流低
C5F	電池電圧低時間超過
C6F	インバータ異常
E0F	商用電流検出異常
E9F	余剰電力ヒータ異常
F9F	逆流検出

※リモコンには以下のように表示されます。

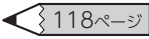
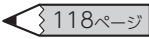
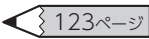
(05F)：「発電ユニット点検 過」



(18F)：「発電ユニット点検 近」、「発電ユニット点検 要」

故障・異常の見分けかたと処置方法

■排熱利用給湯暖房ユニット


- リモコンの表示画面に3ケタの数字でエラーコードを表示します。
- エラーコードが表示されたときは、下表の確認・処置を行ってください。
また、リモコンに処置方法を表示した場合はそれに従ってください。
- リセット(警報解除)の方法…リモコンの給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。
表示によってはリセットしても直らない場合があります。
直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

表示	内 容	確 認・処 置
—	リモコンの表示画面に何も表示しない	電源ブレーカは「ON」になっていますか。
002	残り湯検知異常	浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。 〔設置後最初に行うふろ自動運転は、浴そうにお湯(水)がない状態で行ってください。〕
011	給湯 / お湯はり時間超過	約1時間半連続して給湯・お湯はりを行いませんでしたか。 給湯・お湯はり中に補助熱源機が約1時間連続して燃焼しませんでしたか。 確認後リセットしてください。
012	ふろ追いだき時間超過	リセットしてください。
032	ふろ排水栓抜け検知	浴そうの排水栓を閉めていますか。 循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  お湯はり中または、追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだき運転できません。
043	暖房水湯水検知(自動試運転時)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
100	補助熱源機燃焼異常(排気閉塞警告)	
111	点火不良(給湯 / お湯はり時)	ガス栓は充分開いていますか。 マイコンメータがガスを遮断していないか確認してください。 リセットしてください。
112	点火不良(追いだき時)	
113	点火不良(暖房時)	
121	立消え安全装置作動(給湯 / お湯はり時)	
122	立消え安全装置作動(追いだき時)	
123	立消え安全装置作動(暖房時)	
141	残火安全装置作動(給湯 / お湯はり時)	リセットしてください。
142	残火安全装置作動(追いだき時)	
143	残火安全装置作動(暖房時)	
159	排熱回路温度異常	
161	給湯温度高温異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
173	暖房回路漏水検知(少量)	
180	200V誤配線	
193	E-CON地絡	リセットしてください。
252	ふろ水流スイッチ異常 (お湯はり / 追いだき時)	循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。 また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。 
260	断水検知(圧力スイッチ作動)	<p>給水元栓が閉まっていませんか。 断水していませんか。 リモコンの表示に従って復旧してください。 再度「260」を表示した場合は、「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」4～7に従って水張りを行ってください。 </p> <div> <div> リモコン表示画面 260 台所/元コンの 給湯スイッチを切にして 設定+スイッチを約3秒間 押してください → </div> <div>交互表示</div> <div> リモコン表示画面 水張り運転(OOP表示)を 開始しない場合は 断水していないか 確認してください </div> </div>

表示	内 容	確 認・処 置
290	中和器異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
300	外気温サーミスタ異常	リセットしてください。
309	排熱戻サーミスタ異常	
310	補助熱源機入サーミスタ異常	
311	給水サーミスタ異常	
312	ふろ戻サーミスタ異常	
313	暖房戻サーミスタ異常	
319	貯湯1サーミスタ異常	
320	BU出サーミスタ異常	
321	給湯サーミスタ異常	
322	ふろ往サーミスタ異常	
323	暖房往サーミスタ異常	
329	貯湯2サーミスタ異常	
332	お湯はり温度差異常	
339	貯湯3サーミスタ異常	
342	ふろ往戻温度差異常	
349	貯湯4サーミスタ異常	
359	排熱往サーミスタ異常	
369	ラジエータ入サーミスタ異常	
411	給水水量センサー異常	
412	お湯はり水量センサー異常	
419	循環回路異常(BU水量センサー)	
430	水位電極異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
432	水位センサー異常	
433	暖房水位電極異常	
510	元ガス電磁弁異常	
511	給湯ガス電磁弁異常(給湯/お湯はり時)	
512	給湯ガス電磁弁異常(追いだき時)	
513	給湯ガス電磁弁異常(暖房時)	リセットしてください。
543	暖房回路漏水検知(多量)	
560	お湯はり弁異常	浴そうの排水栓を閉めていますか。 循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  118ページ
562	お湯はり異常	
572	お湯はり高温異常	リセットしてください。
579	タンクリフレッシュ運転異常(開始30分後)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
589	タンクリフレッシュ運転異常(開始3時間後)	
593	暖房熱交換器漏水検知	
611	送風機異常(給湯/お湯はり時)	リセットしてください。
612	送風機異常(追いだき時)	
613	送風機異常(暖房時)	
632	ふろ循環異常	循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  118ページ また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。
642	ふろポンプ異常	リセットしてください。
643	暖房ポンプ異常	

故障・異常の見分けかたと処置方法

表示	内 容	確 認・処 置
651	湯比例弁異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
659	循環比例弁異常	
660	循環ポンプ異常	リセットしてください。
661	水比例弁異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
681	タンク閉止三方弁異常	リセットしてください。
691	貯湯三方弁異常	
700	制御基板異常	
710		
721	擬似炎検知 (給湯 / お湯はり時)	
722	擬似炎検知 (追いだき時)	
723	擬似炎検知 (暖房時)	
730	制御基板設定不良	
731	制御基板異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
733		
740	台所リモコン通信異常 (通信異常最大 5 分連続)	電源ブレーカを「OFF」→「ON」してください。
750	浴室リモコン通信異常 (通信異常最大 5 分連続)	
760	リモコン通信異常 (通信異常最大 5 分連続)	
763	インテリジェント通信異常 (暖房端末機通信異常 90 秒連続)	
769	燃料電池発電ユニット通信異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
920	中和器寿命 (警告表示)	
930	中和器寿命 (機能停止)	
969	空気抜き異常 (給湯回路の水張り異常)	リセットしてください。
990	補助熱源機燃焼異常 (排気閉塞警報)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
末尾がF	燃料電池発電ユニット故障	燃料電池発電ユニットの項を参照してください。

 130ページ

130ページ

※ 自立運転中に「769」が発生した場合、燃料電池発電ユニットは停止します。

運転動作モード一覧表

●台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に運転動作を示す表示が出ることがあります。

表示	内 容	確 認・処 置
00d	給湯回路水抜き中	運転動作を表示しています。 異常ではありません。
00P	給湯回路水張り中	

安全装置

安全装置	は た ら き
立 消 え 安 全 装 置	●使用中にバーナーの炎が消えた場合に自動的にガスを停止します。
残 火 安 全 装 置	●空だきなどにより熱交換器内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
空 だ き 防 止 装 置	●給湯回路に一定量の水が流れないと補助熱源機が燃焼しません。 ふろの循環を検知しないと追いかきません。 ●暖房水タンクに一定量の水または不凍液が入っていないと暖房運転しません。
停 電 安 全 装 置	●使用中に停電した場合に自動的にガスを停止します。 再通電後は自動的に点火しません。
補助熱源機過熱防止装置 (温度ヒューズ)	●排熱利用給湯暖房ユニット内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
過 電 流 防 止 装 置	●万一内部や送風機の配線のショートなどで過電流が流れたときにヒューズが切れて停止します。
過 圧 防 止 安 全 装 置	●熱交換器や貯湯タンク内の圧力が上昇した場合に圧力を逃がします。
ファン回転検出装置	●送風機の回転数が一定数以外の場合に補助熱源機を停止します。
漏 電 安 全 装 置	●万一漏電したときに作動して自動的に運転を停止します。
沸 騰 防 止 装 置	●高温のお湯が排熱利用給湯暖房ユニットに給水された場合に補助熱源機を燃焼しないようにします。
負 圧 防 止 安 全 装 置	●断水したときに自動的に運転を停止します。 ●貯湯タンクが負圧になることを防ぎます。
高 温 出 湯 回 避 装 置	●給湯温度が設定温度より高温の場合に高温で給湯しないように水を混ぜます。 ●停電中または運転していないときに高温で給湯しないように水を混ぜます。
凍 結 予 防 装 置	●ポンプが排熱利用給湯暖房ユニット内の水を循環させ、給湯・ふろ・暖房回路および配管の凍結を予防します。

運転中に誤動作したときは

●万一運転中に雷や自動車無線などで誤動作したり、動かなくなったりしたときは電源ブレーカを「OFF」し数秒後に再度「ON」します。再度運転して異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

故障かな？

故障・異常の見分けかたと処置方法

異常時の処置方法

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。

なお、この処置を行った場合は燃料電池発電ユニットおよび排熱利用給湯暖房ユニットは使用できません。

ガス漏れの場合は絶対に火をつけたり、ブレーカの「入・切」、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 換気をする

ガス漏れの場合はすぐに使用を中止して、換気してください。ただし、換気扇は回さないでください。十分に換気してから「2」以下を行ってください。

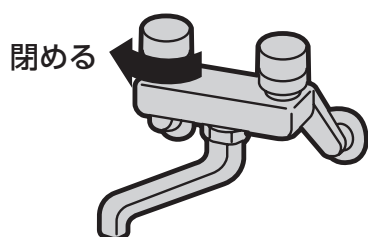
2 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

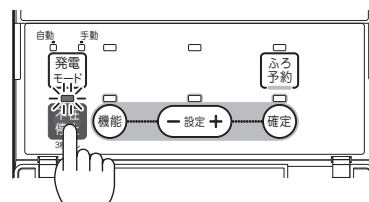
49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

3 給湯栓を閉める



4 不在停止スイッチを約3秒間押す 〔ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)〕



台所リモコンの不在停止スイッチを約3秒間押してください。不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。

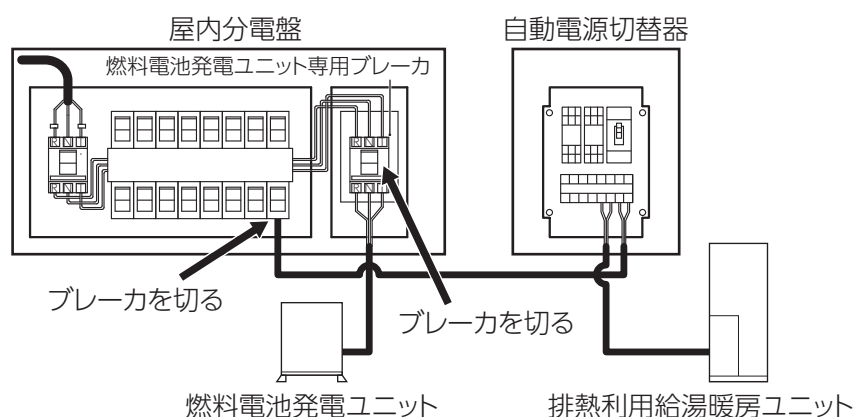
発電はすぐに停止しません。

緊急の場合はすぐに「5」以下を行ってください。

59ページ

5 ブレーカを切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから行ってください。



6 ガス栓や給水元栓を閉める



7 担当のメンテナンス会社に連絡する

■燃料電池発電ユニット

項	目	記 入 内 容
品	名	191-TB03 [燃料電池発電ユニット]
型	式	TM1-AD-NP (都市ガス 13A)
設	置	屋外式据置形・壁面近接設置形
ガ	ス	都市ガス 13A
電	気	単相三線式 AC 100V/200V 60Hz
外	形	高さ 1,000mm 幅 780mm 奥行 300mm (高さは脚を含む)
重	量	94kg (満水時 100kg)
消	費	1.1kW (起動時) 0.25kW (待機時凍結防止運転時)
ガ	ス	2.0kW (定格運転時)
定	格	700W
最	低	250W
発	電	38.5% (都市ガス 13A) ※1
総	合	94% (都市ガス 13A) ※1
騒	音	38dB (A) 以下 (無響室内、全面 1m)
起	動	約 50 分 (発電まで)
運	転	全自動
系	統	逆潮なし系統連系ガイドライン準拠 (無償逆潮なし)
自 立 運 転 機 能	電	単相二線 AC100V 60Hz
	最 大 出 力	350VA
接続排熱利用給湯暖房ユニット品名		136-CF02

※1 低位発熱量基準 (LHV) による。

■排熱利用給湯暖房ユニット

項 目		記 入 内 容
名 称	品 名	136-CF02 (排熱利用給湯暖房ユニット)
	型 式	FCG-202-DR
	設 置 方 式	屋外式据置形・壁面近接設置形
	給 排 気 方 式	強制排気式
	外 形 寸 法	高さ 1,760mm 幅 750mm 奥行き 440mm
	重 量	100kg (満水時約 304kg)
	接 続	ガ ス R1/2 (15A)
		給 水 R3/4 (20A)
		給 湯 R3/4 (20A)
		ふ ろ (往・戻) QF16 ジョイント
		暖 房 (往・戻) QF16 ジョイント
		排 熱 (高・低) R1/2 (15A)
		排 水 R1/2 (15A)
		オ ー バ ー フ ロ ー R1/2 (15A)
		電 源 AC100V 60Hz
		信 号 線 2 芯
	消費電力	最 大 時 239W (給湯+ふろ+暖房)
		凍 結 予 防 ヒ ー タ ー 124W
		待 機 時 給湯スイッチ「切」: 3W 給湯スイッチ「入」: 5W (台所・浴室リモコン取付時)
運 転 制 御 仕 様	点 火 方 式	連続スパーク点火式
	給湯・お湯はり	能 力 システム給湯能力: 1.22~41.9kW (0.7~24号) 補助熱源機能力: 4.36~41.9kW (2.5~24号)
		給 湯 時 最 大 出 湯 量 24L/min (貯湯タンク含む)
		最 低 作 動 流 量 ON: 2.7L/min OFF: 1.5L/min
		最 低 作 動 水 圧 9.8kPa (0.1kgf/cm ²)
		減 圧 弁 圧 力 370kPa (3.78kgf/cm ²)
	追 っ だ き	能 力 12.0kW (10,300kcal/h)
		方 式 強制循環式
安 全 装 置	暖 房	能 力 17.4kW (15,000kcal/h) [75℃時]
	立消え安全装置・残火安全装置・空だき防止装置・停電安全装置 補助熱源機過熱防止装置 (温度ヒューズ)・過電流防止装置・過圧防止安全装置 ファン回転検出装置・漏電安全装置・沸騰防止装置・負圧防止安全装置 高温出湯回避装置・凍結予防装置	
付 属 品		コネクタ (コード) 一式

接続燃料電池発電ユニット品名	191-TB03
----------------	----------

使 用 ガ ス	都市ガス (13A)	
ガ ス 消 費 量	最大	最小 (参考値)
	44.1kW (37,900kcal/h)	4.5kW (3,900kcal/h)

※ガス消費量は補助熱源機の消費量です。

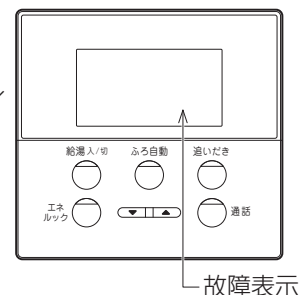
アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に125～135ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………191-TB03型〔燃料電池発電ユニット〕／
136-CF02型〔排熱利用給湯暖房ユニット〕
2. 型 式 名……………TM1-AD-NP (都市ガス 13A)〔燃料電池発電ユニット〕／
FCG-202-DR〔排熱利用給湯暖房ユニット〕
3. ガ ス 種……………都市ガス(13A)
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況……………できるだけ詳しく(故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日



保証について

- この機器には保証書がついています。
必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などが記入されていることを確認してください。
- 保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

転居または機器を移設・廃棄するとき

- 転居するときは担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- 移設・廃棄するときはお客さま自身で行わず、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご相談ください。
- 移設先のガス種によっては使用できない場合があります。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品について

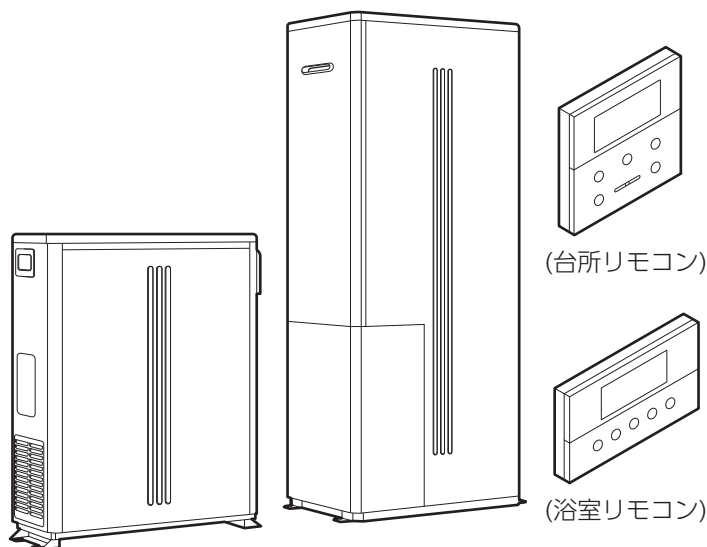
補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

⚠ 危険



ガスくさいときは、ガス栓を閉め
窓を全開にして(火気に注意して)
大阪ガスにご連絡ください。



(P)191-TB03 型 (自立運転機能付き)

型式名 TM1-AD-LP (LP ガス)

136-CF02 型

型式名 FCG-202-DR

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証登録カードは販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、メンテナンス会社または大阪ガスにご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

UM-FCQ12-026-c

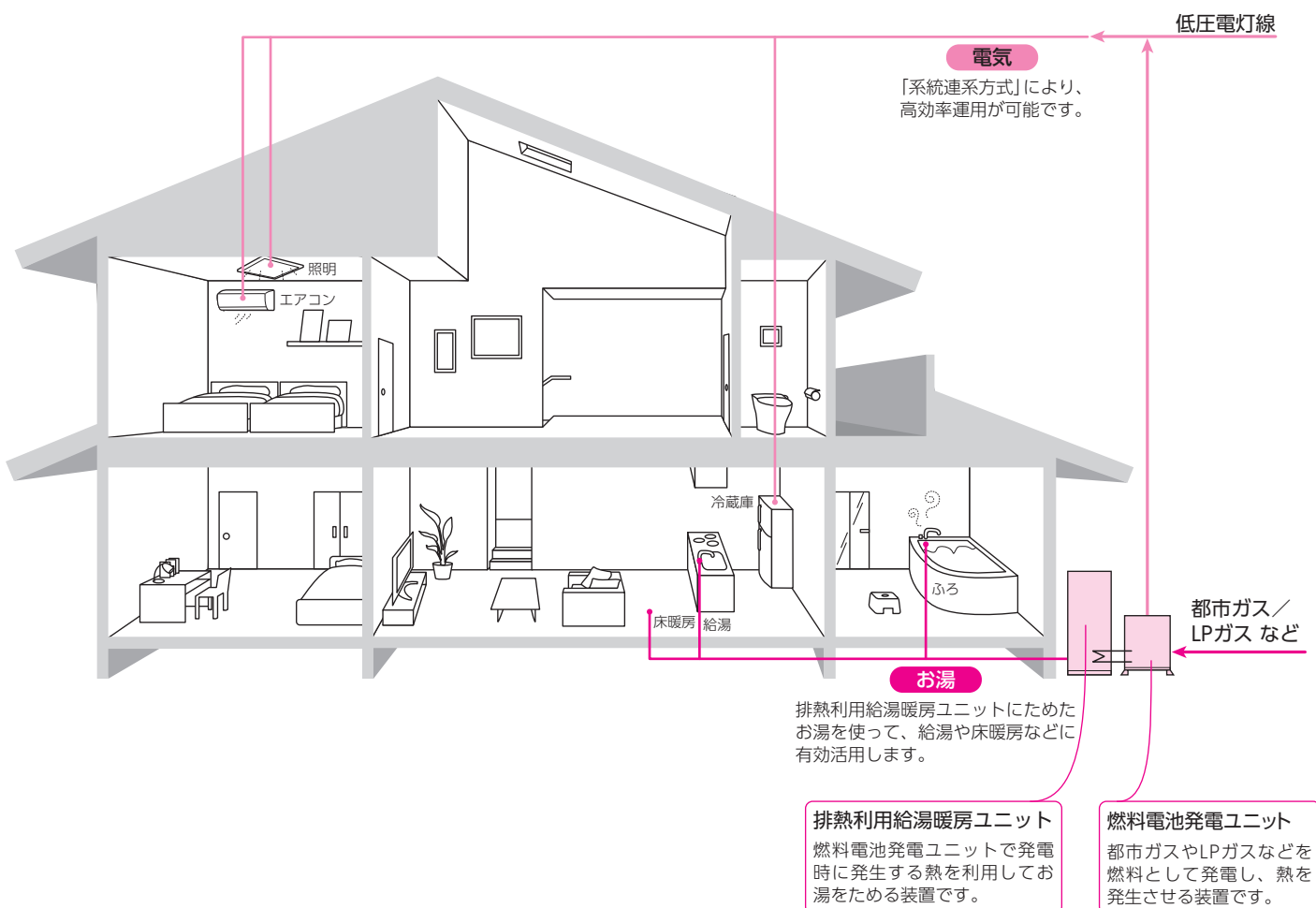
も く じ

ページ

ごま ずは じめ に さ い	特 長	1
	エネファーム (家庭用燃料電池システム) とは	2
	安全に正しく使用していただくために	4
	使用上のお願い	12
	各部の名称とはたらき	
	燃料電池発電ユニット	14
	排熱利用給湯暖房ユニット	15
	リモコンセット	16
の使 用 準 備	インターホンリモコンセット	20
	機能設定について	24
	表示について	26
給 湯 ・ ふ ろ 運 転	設置状態の確認	27
	ご使用前の準備と確認	28
	日付・時刻の設定	30
	給 湯	34
	ふろ自動運転	36
	ふろ自動運転の予約時刻の設定	38
	ふろ自動運転の予約	40
	ふろ水位の設定	41
	保温時間の設定	42
	湯はり中断の設定	44
暖 房 運 転	追いだし運転	46
	たし湯運転	47
	たし水運転	48
	ふろ温度の設定	48
	浴室暖房運転と予約運転	49
発 電 運 転	浴室暖房運転の予約時刻の設定	51
	暖房静音時間の設定	53
	暖房運転の設定	55
	発電モードの設定	57
	ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)	59
ル エ ネ ッ ク	経済的な運転をしたい場合	60
	暗証番号について	62
	停電時に電気をを使う	63
そ の 他 の 機 能	エネック表示について	67
	エネック表示	70
	エネック表示の設定	74
	呼び出し・インターホン	88
	リモコンの設定	92
	配管クリーンの設定	110
	連絡先の登録・表示	112
	音声ガイド一覧	114
	長く使っていただくために	116
	冬期の凍結による破損防止について	121
故 障 か な ?	長期間使用しない場合	121
	災害時などにお湯を取出す方法	124
	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	修理を依頼する前に	125
	故障表示	130
仕 様	運転動作モード一覧表	135
	安全装置	135
	異常時の処置方法	136
	アフターサービス	139
	保証書	巻末

特 長

- 燃料電池発電ユニットで発電したお得な電気が使用できます。
 - 貯湯タンクに貯めた水を燃料電池発電ユニットで発電したときに発生する排熱を利用して沸かし、給湯に利用します。
 - 各家庭の電気の利用状況を判断し、自動的に燃料電池発電ユニットで発電を行います。＜省エネ運転＞
 - リモコンの表示と音声で電気と熱の利用状況をお知らせします。＜エネルギー機能＞
 - 台所リモコンと浴室リモコンで通話ができます。(インターホン機能付リモコンのみ)
 - お湯が足りないときは補助熱源機でお湯を沸かすことができます。
 - 断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。124ページ
 - 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、燃料電池発電ユニットは発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使うことができます。63ページ
- ※ 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 自立運転機能で使える電気の量は約350Wです。
 - ※ 排熱利用給湯暖房ユニットで使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は350Wよりも少なくなります。
 - 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
 - 自立運転専用コンセントには「エネファーム自立運転専用」と表示されています。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。



ごま
ずは
じめ
に
い

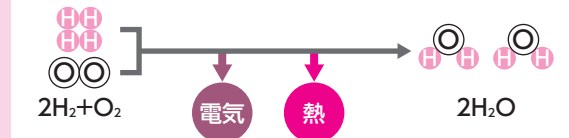
エネファーム(家庭用燃料電池システム)とは

発電のしくみ

都市ガスやLPガスから水素を取り出し、酸素と反応させて発電します。同時に発生する熱でお湯も沸かして給湯できるので、効率的です。

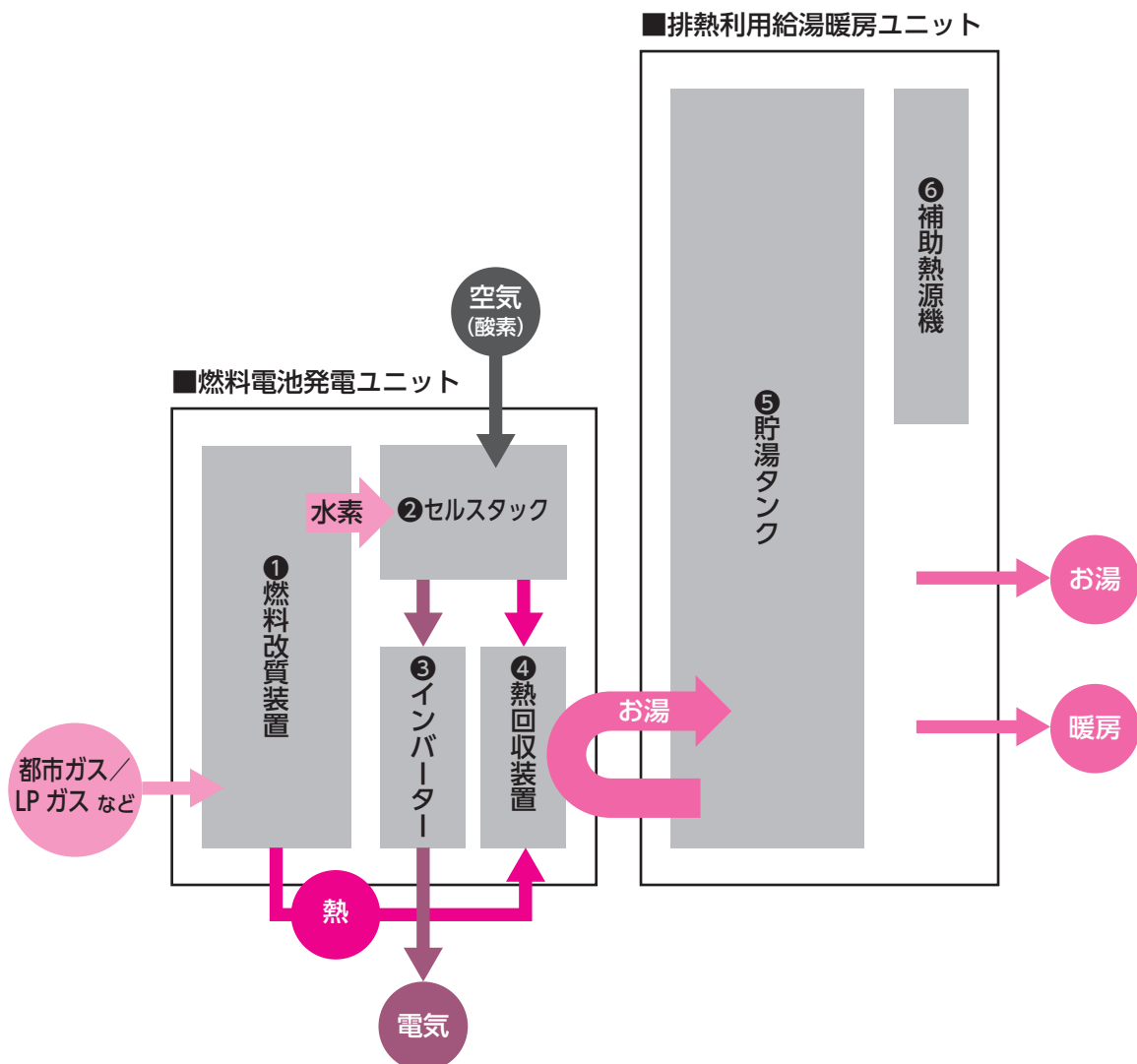
電気化学反応のイメージ

- セルスタックの中で水素と空気中の酸素を反応させて、直流電気を発生します。



システムの構成

創り出した電気と熱をご家庭の電気機器や給湯などに利用することができます。



①燃料改質装置

都市ガス／LPガスなどから水素を取り出します。

②セルスタック

水素と空気中の酸素を使って直流電気を発生させます。

③インバーター

発生した直流電気を交流に変換します。

④熱回収装置

セルスタックや燃料改質装置から熱を回収し、温水を作ります。

⑤貯湯タンク

回収したお湯をためておき、給湯需要がある時に供給します。

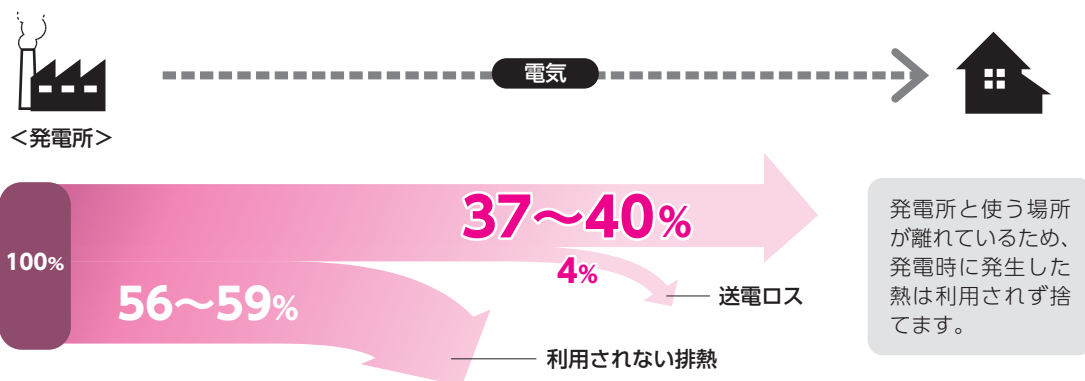
⑥補助熱源機

貯湯タンク内の温水で足りない場合、ガスでお湯を沸かします。

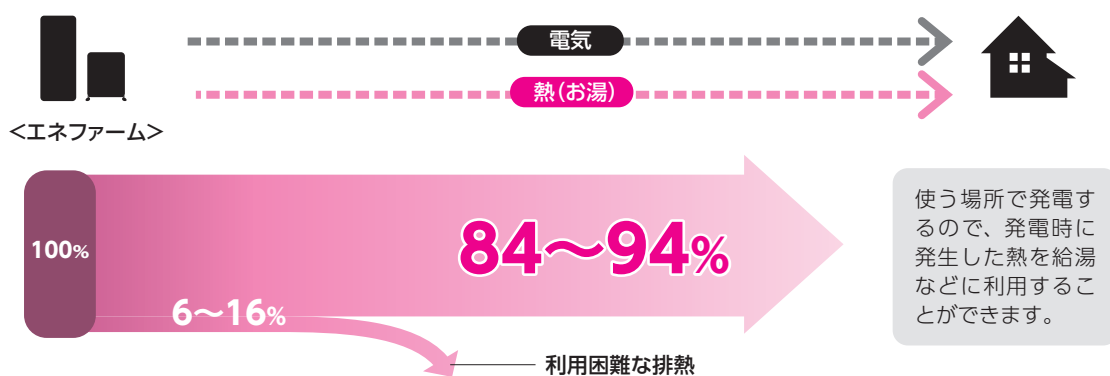
エネルギーの利用効率

- 電気を使う場所で発電するので、送電ロスがありません。また、従来の発電方式では捨てていた、発電の際に発生する熱もお湯として利用できるので、エネルギーを効率よく使えます。
- 同じ量の電気と熱を使う場合、これまでよりCO₂の排出が少なくなります。

従来のシステム






エネファーム



まずはじめに
ご確認ください

安全に正しく使用していただくために

- ご使用の前に、この「安全に正しく使用していただくために」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		一般的な禁止	注 意		一般的な危険・警告・注意	指 示		必ず行うこと
		接触禁止			火災注意			アースを接続すること
		分解禁止			感電注意			電源プラグを抜くこと
		火気禁止			高温注意			
		濡れ手禁止						

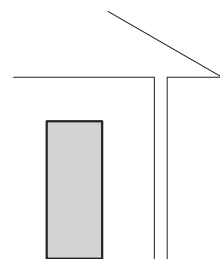
 は参考になるページです。

設置について

危険 (DANGER)

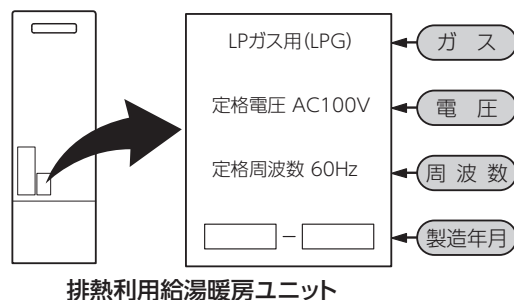
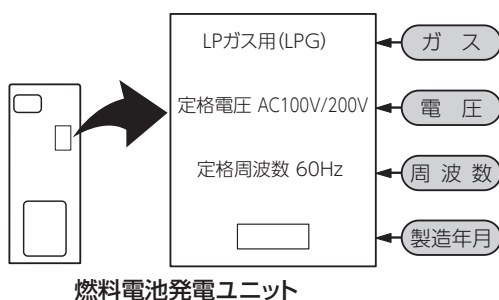
屋内や浴室内への設置禁止

屋外設置型ですので、絶対に屋内や浴室内には設置しないでください。
不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因になります。



警告 (WARNING)

ガスの種類・電源の確認 (不完全燃焼・爆発着火・火災・故障の原因)



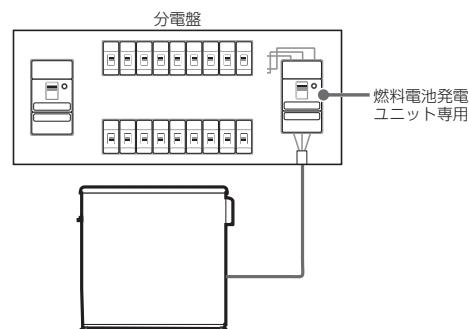
必ず機器の銘版に表示してあるガスの種類(ガス種・ガスグループの区分)、電圧、周波数で使用してください。
銘版は図の位置に貼ってあります。

警告(WARNING)

燃料電池発電ユニット専用のブレーカが 設けられていることを確認する

事故の原因になります。

- 分電盤に「発電設備専用」と、表示されていることをご確認ください。

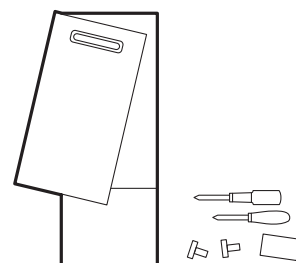


設置・移設・修理の注意

機器やリモコンの設置・移設・付帯工事・修理をする場合は、必ず担当のメンテナンス会社に依頼してください。また、分解や改造を行わないでください。

火災・感電・事故の原因になります。

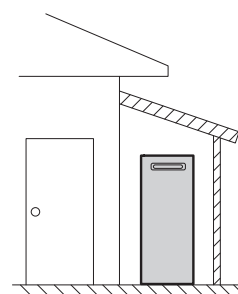
移設など	必要な電力会社への手続き
増改築による移設の場合 (電気の使用場所に変更のない場合)	変更手続き
引っ越しによる移設 (電気の使用場所に変更のある場合)	引っ越し前：連系廃止手続き 引っ越し後：連系申請手続き
引っ越しなどによる廃止	連系廃止手続き



囲い禁止

設置後、機器や排気部を波板やビニルなどで囲んで屋内状態にしないでください。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



ガス配管の接続

この機器のガス配管はねじ接続です。ガス配管の接続工事には専門の資格、技術が必要ですので、メンテナンス会社または大阪ガスに依頼してください。

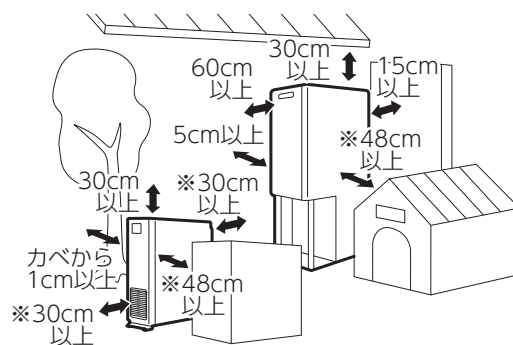
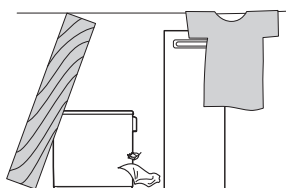


可燃物に注意

機器や排気部の周囲に紙や木材など燃えやすい物を置かないでください。

また、スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。火災の原因になります。

(※はサービススペースとして必要な距離です。)



引火のおそれがあるものの使用禁止

機器や排気部の周囲ではスプレー・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがあるものを置いたり、使用したりしないでください。火災の原因になります。



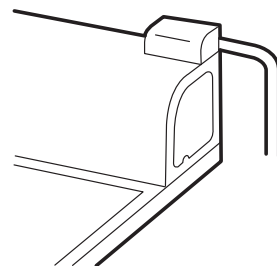
まずはじめに
ご確認ください

安全に正しく使用していただくために

⚠ 警告 (WARNING)

太陽熱温水器との接続禁止

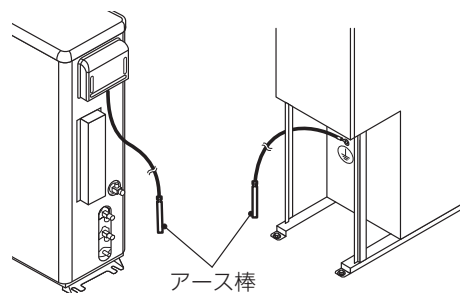
太陽熱温水器と接続することはできません。



⚠ 注意 (CAUTION)

アースの確認

この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。(D種接地工事)



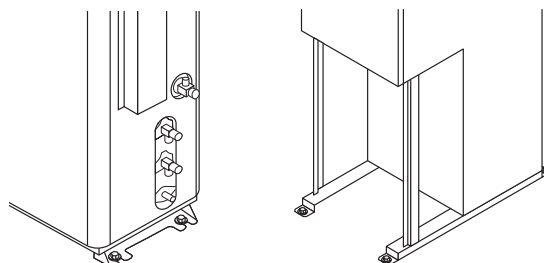
指定の機器と接続すること

指定の燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニット以外の機器は、接続しないでください。故障・やけどの原因になります。



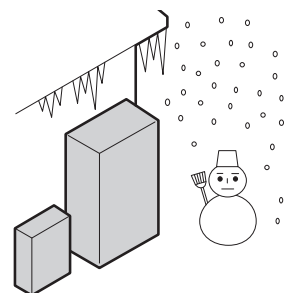
機器の固定確認 (事故の原因)

機器がアンカーで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。



凍結予防について

冬季には凍結に充分注意し、凍結予防の処置を行ってください。



自立運転出力のコンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用のコンセントが必要です。自立運転専用コンセントには「エネファーム自立運転専用」「最大電流 3.5A」と表示されていることを確認してください。

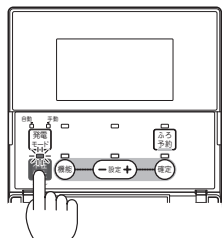


エネファーム自立運転専用
最大電流3.5A

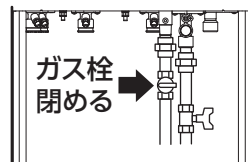
使用について

⚠ 危険 (DANGER)

ガス漏れに注意



燃料電池発電ユニット



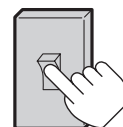
排熱利用給湯暖房ユニット



ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用を中止して、換気をしてください。不在停止スイッチを約3秒間押してガス発電・給湯暖房機を停止し、ガス栓を閉め、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご連絡ください。

絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇・電灯など)の「入・切」はしないでください。
また長期間使用しない場合は、必ず「長期間使用しない場合」に従ってください。

121ページ



まずはじめに
ご確認ください

⚠ 警告 (WARNING)

吸排気口をふさがない

不完全燃焼や火災の原因になります。

●積雪時には、吸排気口がふさがれていないことをご確認ください。



やけどに注意



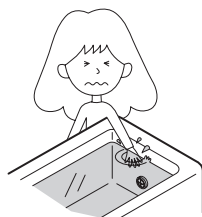
シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。



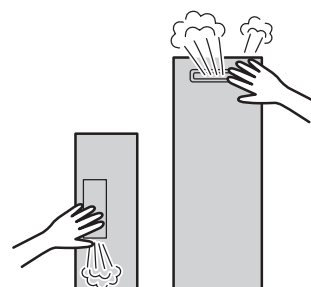
床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間、座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こすおそれがあります。

特に次のようなかたが使用する場合はまわりのかたが注意してください。

(乳幼児や自分の意志で体を動かせないかた
疲労の激しいとき・お酒や睡眠薬を飲まれたかた
皮膚や皮膚感覚の弱いかなど)



沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱い湯が出ますので、注意してください。
また、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合がありますので、充分にかき混ぜてから手で湯温を確認してください。



使用中や消火直後は機器の排気部が高温になっています。
絶対に手を触れないでください。

安全に正しく使用していただくために

⚠ 警告 (WARNING)

排気口などの開口部に金属類や
燃えやすいものを入れない

感電、火災の原因になります。



機器の排気に顔を近づけたりしない

一酸化炭素中毒の原因になります。

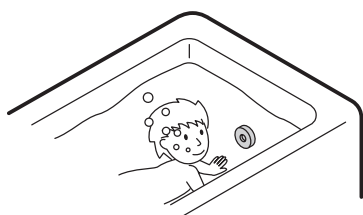


給湯中の外出や就寝禁止 (火災の原因)



お湯を出したまま外出や就寝は絶対にしないでください。

子どもに注意



循環口付近でもぐらないでください。髪の毛などが吸い込まれて事故やけがをするおそれがあります。特に小さなお子様には注意してください。

機器に無理な力を加えない



機器の上に乗ったり、植木鉢などを置いたりしないでください。また、配管・配線に無理な力を加えないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

排熱利用給湯暖房ユニット内のお湯を排水するときはやけどに注意

やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。
冷めていないと高温水が排水される場合があります。



自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器



自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの大事故になるおそれがあります。



自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電気が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリットが損なわれます。



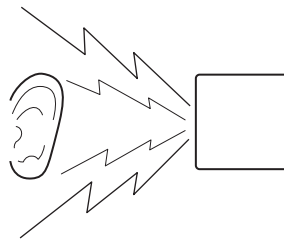
⚠ 注意 (CAUTION)

不凍液に注意



不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、すみやかに医師の診断を受けてください。

リモコンに耳を近づけて使用しない



大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

用途に注意

一般家庭の給湯・シャワー・追いだき・暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。



パネルヒーターに注意

パネルヒーターの表面は高温になるので触らないでください。やけどのおそれがあります。特に小さなお子様のいる家庭では注意してください。



床暖房の使用について

床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ・そり・すき間の原因になります。またカーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



まずはお読みください
ご確認ください

その他

⚠ 警告 (WARNING)

異常時の処置

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。

この処置を行った場合は使用できません。

ガス漏れの場合は、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差し、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 換気をする

ガス漏れの場合はすぐに使用を中止して、換気してください。ただし、換気扇は回さないでください。

十分に換気してから「2」以下を行ってください。

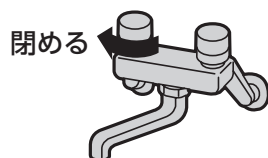
2 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

3 給湯栓を閉める

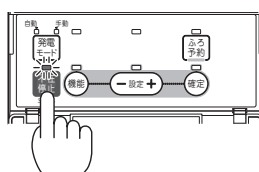


4 不在停止スイッチを約3秒間押す (ガス発電・給湯暖房機の全停止)

不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。

発電はすぐに停止しません。

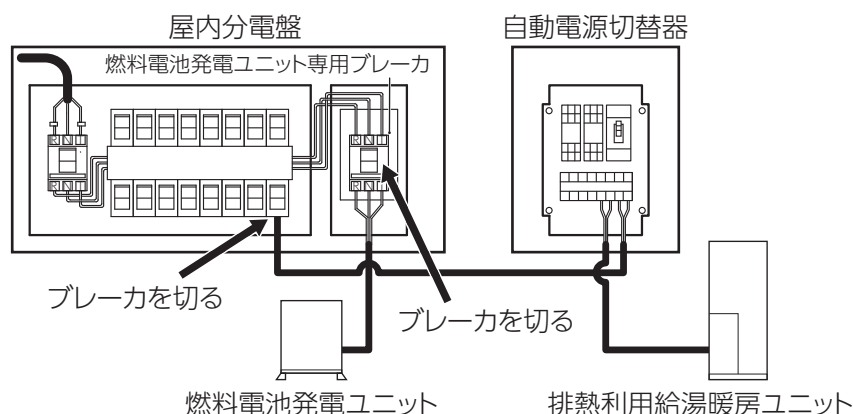
緊急の場合はすぐに「5」以下を行ってください。



59ページ

5 ブレーカを切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから行ってください。



6 ガス栓や給水元栓を閉める



7 担当のメンテナンス会社に連絡する

警告 (WARNING)

定期点検を実施する

事故・故障の原因となります。

●定期点検は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご依頼ください。



機器の廃棄に関する注意

事故の原因になります。

●廃棄する場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡してください。



循環アダプターのフィルターは必ずつける

循環アダプターのフィルターをはずして使用しないでください。ふろポンプに髪の毛やゴミがつまり故障の原因になります。



注意 (CAUTION)

配管カバーをはずした際の注意


配管カバーをはずした場合、作業終了後には、化粧ねじをしっかりと締めてください。思わぬ事故の原因になります。



逃し弁の確認

排熱利用給湯暖房ユニットの逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。「長く使っていただくために」に従って作動テストを行ってください。



116ページ 

機器取換え時の注意

機器を取換えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。



必ず
ご確認
ください

お願い (NOTICE)

指定された別売部品以外は使用しない

(故障の原因)

必ず指定された別売部品を使用してください。

点火・着火・消火の確認

リモコンの補助熱源機燃焼表示で点火・着火・消火を確認してください。

落雷のおそれがあるときの処置 (故障の原因)

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに「**ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)**」を行い、燃料電池発電ユニット専用ブレーカ および 自動電源切替器のブレーカを切ってください。雷がやんだ後は、ブレーカをもとに戻してください。

59ページ

リモコンの設置場所について

インターホン機能付のリモコンは台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするとうハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、担当のメンテナンス会社に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

電源について

凍結予防運転のために電気を使用しています。緊急の場合以外はブレーカーを切らないでください。

石けんの使用禁止

浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

125～136ページ

長期間使用しない場合の処置

しばらく使用しない場合は「**ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)**」を行ってください。長期間(1ヶ月以上)使用しない場合、または電源を切る場合は必ず水抜きを行ってください。

59・121ページ

リモコンについて

リモコンに故意に水やシャンプーなどをかけないでください。またお子様がいたずらしないように注意してください。故障・作動不良・音声異常の原因になります。

リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

リモコンを掃除するときはシンナー・ベンジン・酸性洗剤などを使用しないでください。変色や変形の原因になります。

リモコンの使用環境温度は-10～60℃の範囲です。

機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用しないで、雑用水として使用してください。

●飲用する場合は下記の点に注意し、必ず沸騰させてから使用してください。

・必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。

・熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。

・固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しないですぐに担当のメンテナンス会社や販売店、またはもよりの大阪ガスへ点検を依頼してください。

停電時の注意

燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気を使うことができます。

63ページ

燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合、停電中は発電することができませんが、停電復帰後は自動で運転を再開します。なお、約24時間以上停電した場合は、暗証番号の入力、日付・時刻の設定を行ってください。また、冬期の場合は凍結予防のため水抜きを行ってください。

121ページ

自立運転の状況によっては、暗証番号の入力、日付・時刻の設定が必要となる場合があります。

配管バルブを閉じない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉じないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

ドレン配管のつまりに注意

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などで詰まらせないでください。故障の原因になります。

吸気口の近くで薬剤散布や塗装作業をしない

故障の原因になります。

ごま
ずは
じめ
に
い
ご
確
認
く
だ
さ
い

各部の名称とはたらき

燃料電池発電ユニット

●吸気口は左側面にあります。内部の換気と発電に必要な空気はここから取り入れます。

●排気口は右側面にあります。排気は下方方向に排出されます。

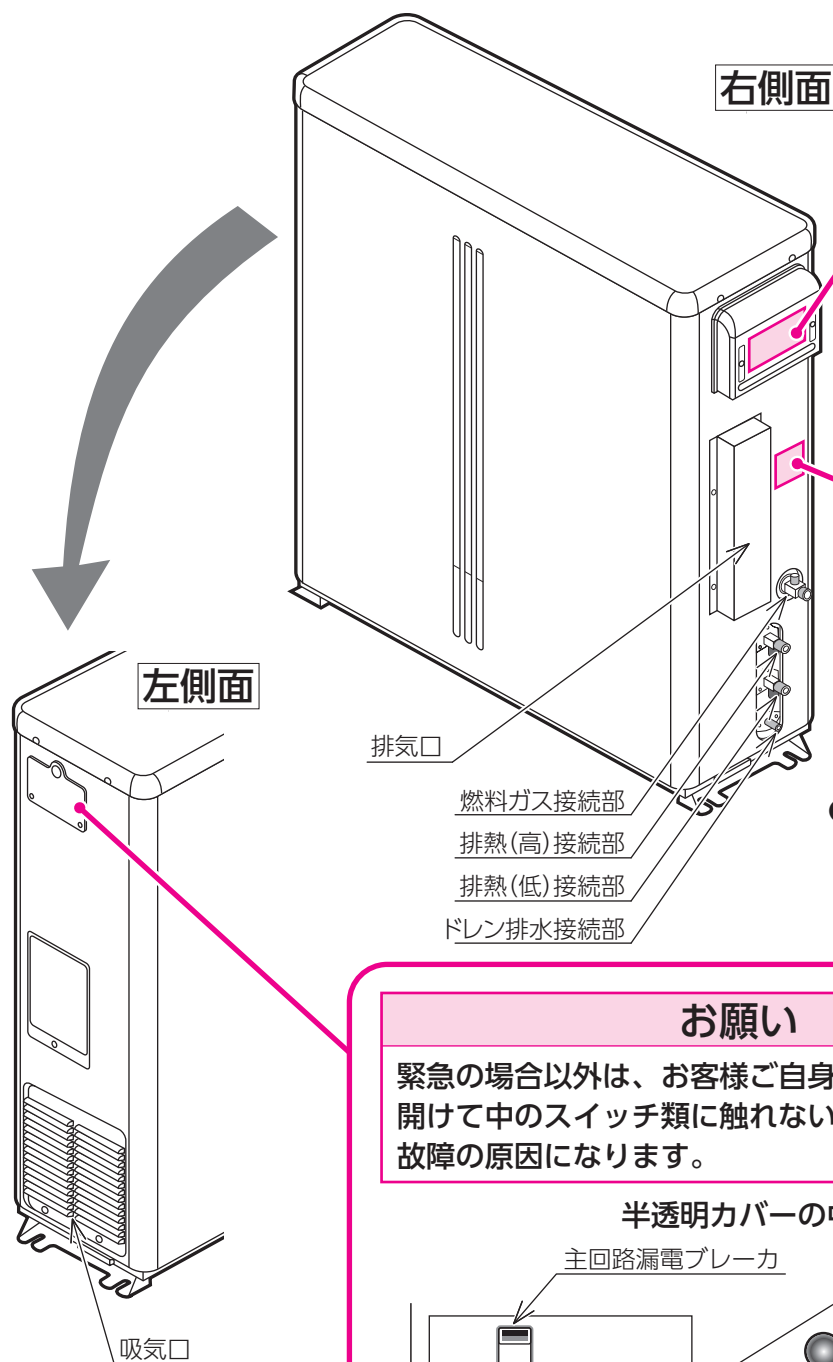
●本体ブレーカ(電源：主回路漏電ブレーカ)は、左側面の半透明カバーの中にあります。

●発電している時は、半透明カバーの中の運転表示ランプが緑色に点灯します。

なお、自立運転中は以下のように点滅します。



●起動中、または停止中のときは、運転表示ランプがゆっくり点滅(3秒ごと)します。



安全ラベル「警告」

警告



感電のおそれあり
開放する際は停電確認のこと
自立運転機能付き燃料電池発電ユニットは、停電時も発電しています
開放する際は停電確認および運転停止していることを確認してください

安全ラベル「危険」

危険

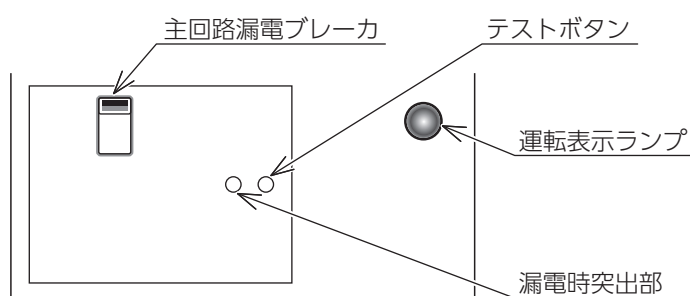
- 全体を覆わないこと
周囲を板などで覆わないでください。換気不良による異常な温度上昇により、火災のおそれがあります。
- 吸排気口を塞がないこと
吸排気口を塞がないでください。正常な運転が継続できず、火災のおそれがあります。

●この機器に貼ってあるラベルが汚れや破れ、紛失などで読めなくなった場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡して新しいラベルに貼り換えてください。

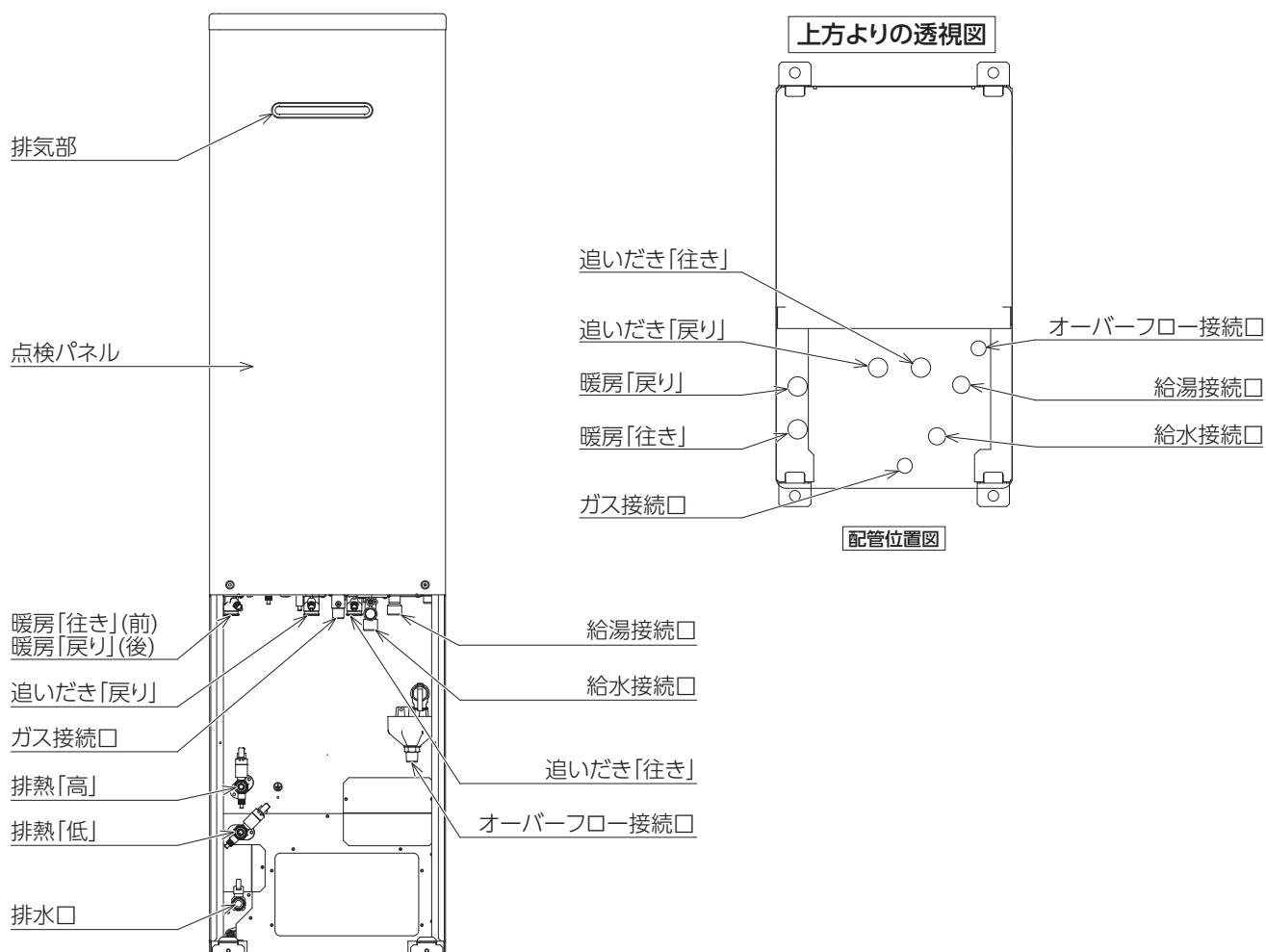
お願い

緊急の場合以外は、お客様ご自身で半透明カバーを開けて中のスイッチ類に触れないでください。故障の原因になります。

半透明カバーの中



排熱利用給湯暖房ユニット



まずはじめに
ご確認ください

各部の名称とはたらき

リモコンセット(138-C370)

●台所リモコン

①ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。

点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。

点灯…保温運転中です。

②給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

③エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

④給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。

「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度を高くする。

▼…温度を低くする。

温度調節範囲…約32～60℃

32℃・35℃・37～48℃

(1℃ごと)・55℃・60℃

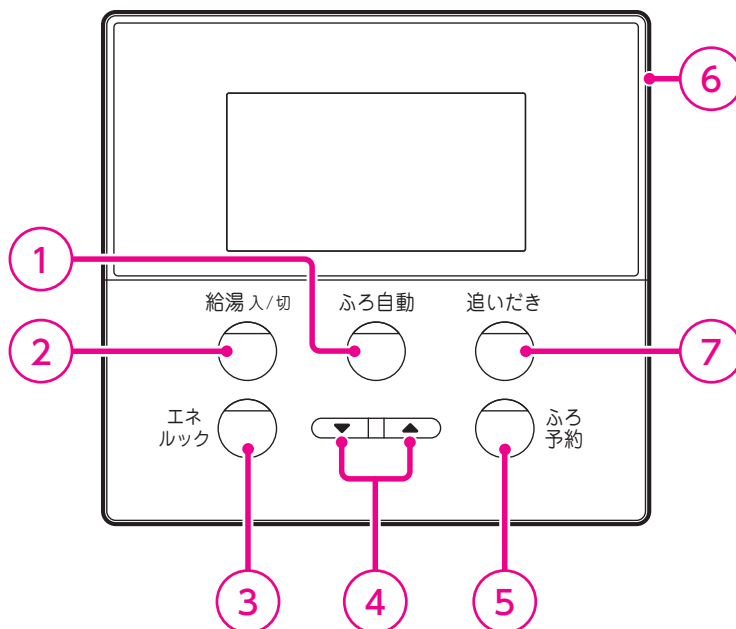
に設定できます。

⑤ふろ予約スイッチ (ふろ予約ランプ)

ふろ自動運転を予約するときに押します。

点灯…ふろ自動運転を予約中です。

ふたを閉じた状態です。



⑥スピーカー

ここから音声や音が出ます。

⑦追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

⑧発電モードスイッチ

発電モードを切換えるときに押します。

自動…自動モード中です。

通常はこの状態でご使用ください。

手動…手動モード中です。

57 ページ

⑨不在停止スイッチ (不在停止ランプ)

ガス発電・給湯暖房機の全停止をするときに押します。

⑩機能スイッチ

予約時刻・現在時刻・保温時間・単価などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑪設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。

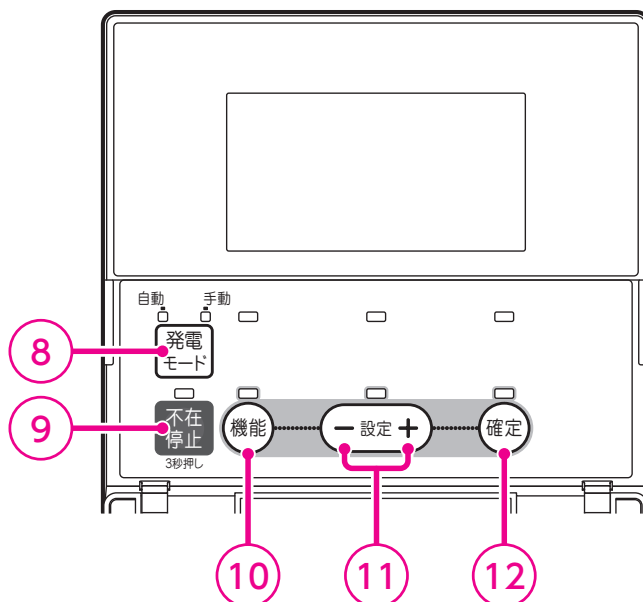
+…進む。

-…戻る。

⑫確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

ふたを開いた状態です。



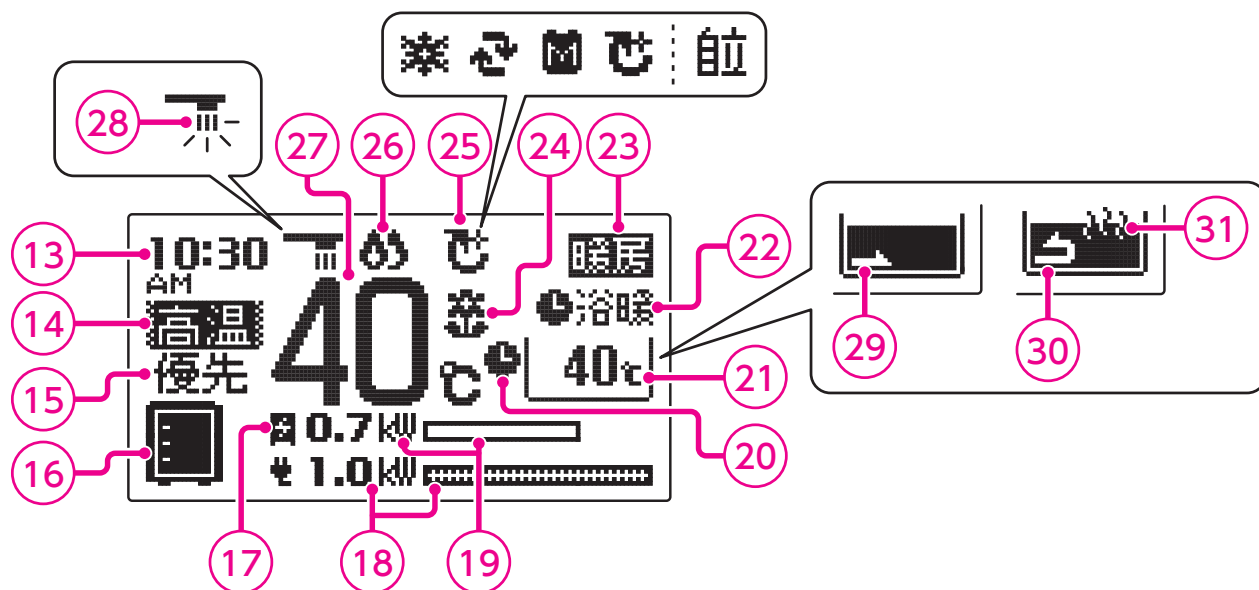
音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

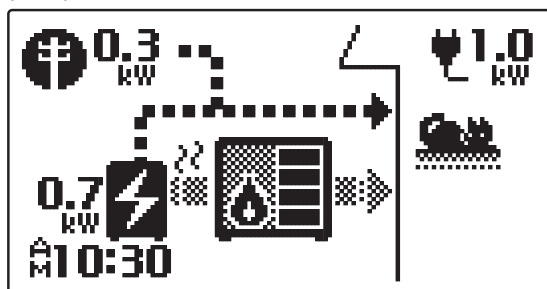
表示画面

●給湯スイッチを「入」にしたときの表示

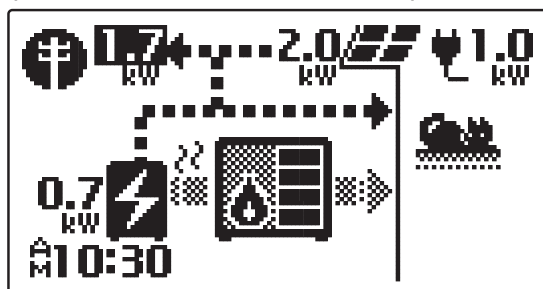


●給湯スイッチを「切」にしたときの表示 84・85ページ

エネルギーモニタの表示を「エネルギー+待機」にしたとき
(通常)



(太陽光発電システムを接続したとき)



一部異なりますが、エネルギー表示のエネルギーモニタと同じ表示画面になります。 69ページ

⑬現在時刻表示 現在時刻を表示します。	⑱電気使用量表示 ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。	㉓暖房表示 点灯…暖房中です。	㉗給湯温度表示 給湯設定温度を表示します。
⑭高温表示 給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。	⑲発電量表示 発電量を表示します。	㉔達成マーク表示 エネルックで設定した目標値の達成度を表示します。 26ページ	㉘給湯中表示 点滅…給湯中です。
⑮優先表示 「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。	㉚ふろ予約表示 ふろ自動運転の予約中に表示します。	㉕排熱利用給湯暖房ユニット状態表示 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。 26ページ	㉙お湯はり表示 ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。
⑯貯湯量表示 貯湯量を表示します。 26ページ	㉛ふろ温度表示 ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。 お湯はり表示・追いだし表示中・保温表示中は表示しません。	また自立運転中に「自立」を表示します。 66ページ	㉚循環表示 追いだし中です。
⑰発電表示 発電状態を表示します。 26ページ	㉜浴室暖房表示 浴暖…浴室暖房乾燥機の運転中に表示します。 浴暖…浴室暖房乾燥機の予約中に表示します。	㉞補助熱源機燃焼表示 点灯…補助熱源機が燃焼しています。	㉛保温表示 保温運転・追いだし中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
 発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

まずはじめに
ご確認ください

各部の名称とはたらき

●浴室リモコン

①給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。

点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。
点灯…保温運転中です。

③追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

④たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯をするときに押します。
たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

⑤呼出スイッチ (呼出ランプ)

台所リモコンを呼び出すときに押します。
呼出ランプが約3秒間点灯し、台所リモコンから音声が出ます。

⑥スピーカー

ここから音声や音が出ます。

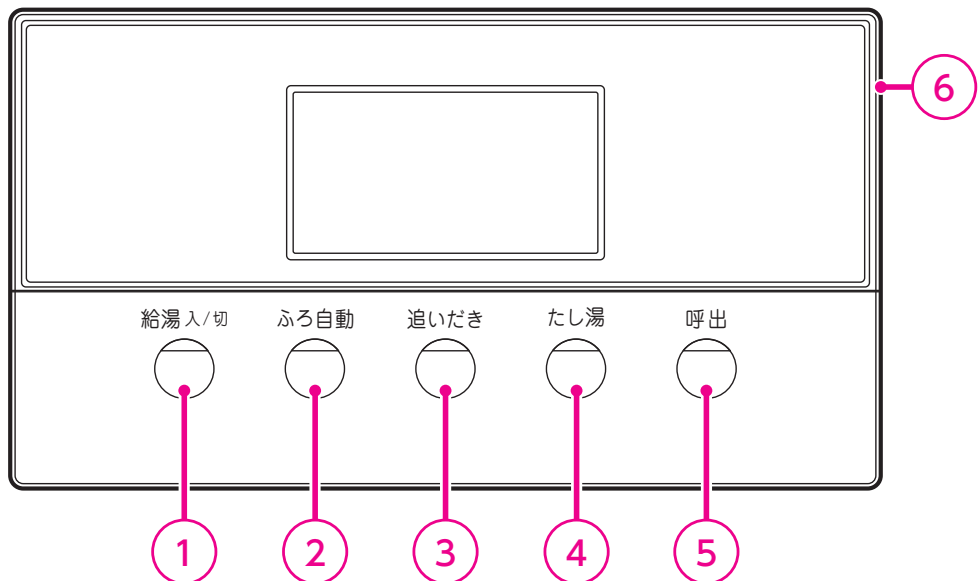
⑦給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。
「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。

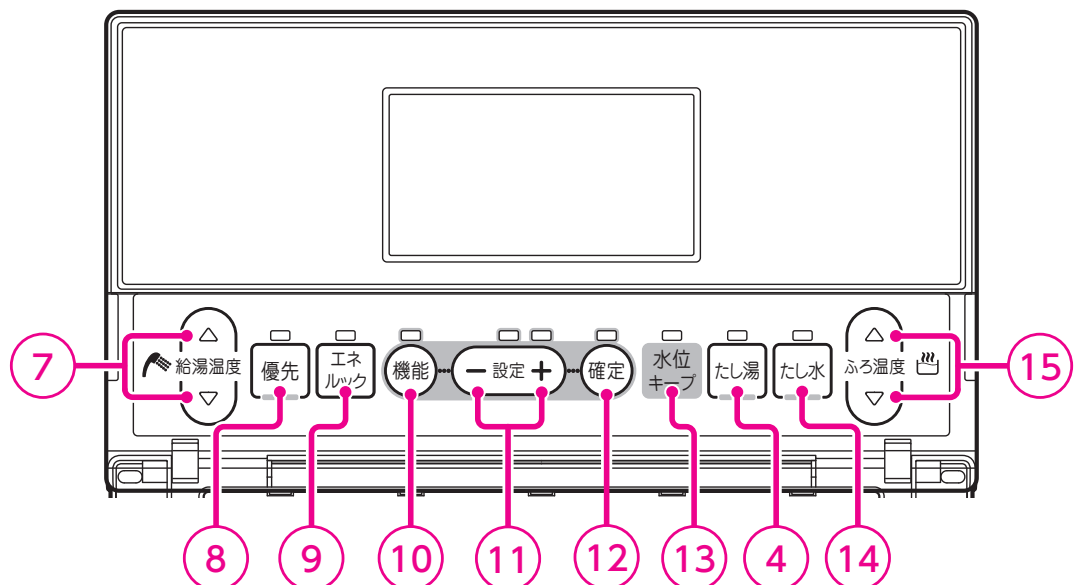
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。

温度調節範囲…約32～60℃
32℃・35℃・37～48℃
(1℃ごと)・55℃・60℃
に設定できます。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。

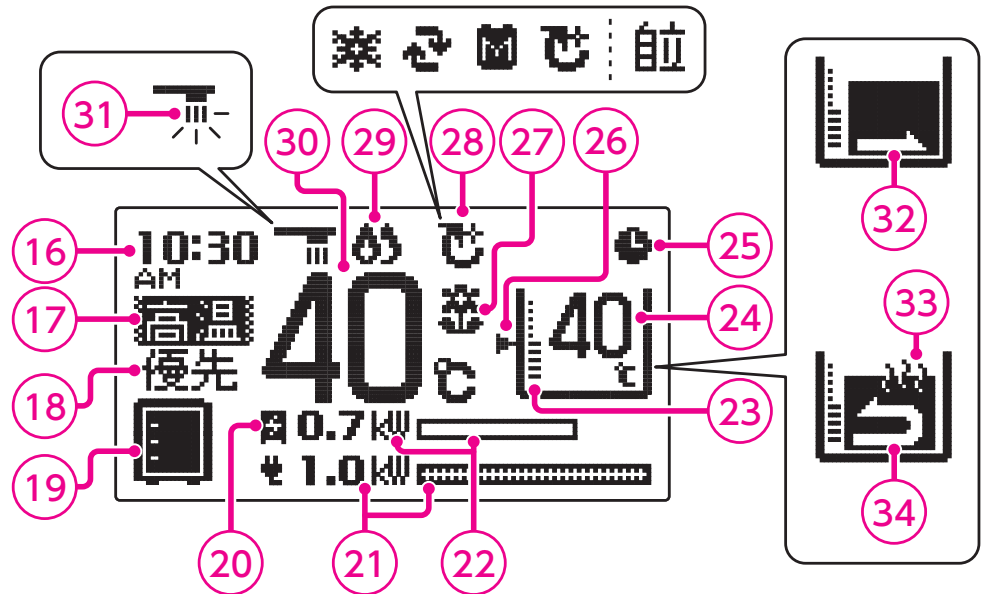


音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

表示画面



まずはじめに
ご確認ください

⑧優先スイッチ (優先ランプ)

浴室リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑨エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

⑩機能スイッチ

音量・水位などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑪設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。
+…進む。
-…戻る。

⑫確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

⑬水位キープスイッチ (水位キープランプ)

自動たし湯を解除したいときに押します。水位キープランプが消灯します。

⑭たし水スイッチ (たし水ランプ)

浴そうにたし水をするときに押します。たし水スイッチが「入」のときに点灯します。

⑮ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転・追いだし運転・たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。
温度調節範囲…約33~48℃
1℃ごとに設定できます。

⑬現在時刻表示

現在時刻を表示します。

⑭高温表示

給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

⑮優先表示

「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑯貯湯量表示

貯湯量を表示します。

26 ページ

⑰発電表示

発電状態を表示します。

26 ページ

⑱電気使用量表示

ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。

⑲発電量表示

発電量を表示します。

⑳水位表示

ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉑ふろ温度表示

ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。表示位置は運転状態によって変わります。

㉒ふろ予約表示

ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉓水位キープ表示

点灯…ふろ自動運転中に自動的にたし湯をし、水位を一定に保ちます。

㉔達成マーク表示

エネルギーで設定した目標値の達成度を表示します。

26 ページ

㉕排熱利用給湯暖房 ユニット状態表示

凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

26 ページ

また自立運転中に「自立」を表示します。

66 ページ

㉖補助熱源機燃焼表示

点灯…補助熱源機が燃焼しています。

㉗給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

㉘給湯中表示

点滅…給湯中です。

㉙お湯はり表示

ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。

㉚保温表示

保温運転・追いだし中です。

㉛循環表示

追いだし中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

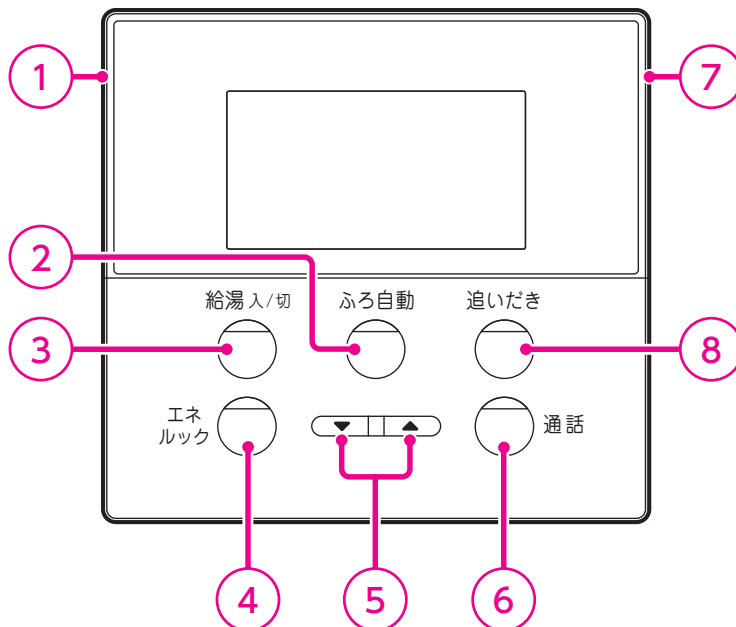
各部の名称とはたらき

インターホンリモコンセット (138-C372)

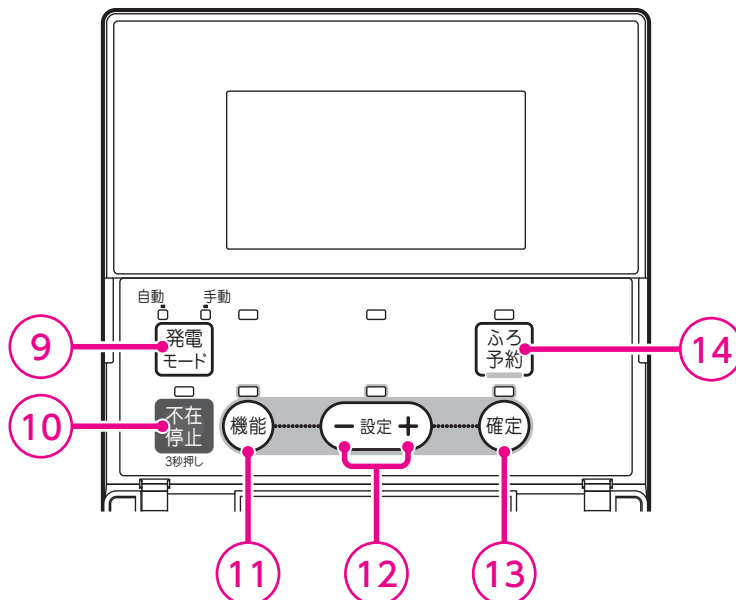
●台所リモコン

①マイク
浴室にいる人と通話するときに使います。
②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)
ふろ自動運転をするときに押します。 点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。 点灯…保温運転中です。
③給湯スイッチ (給湯ランプ)
給湯・停止・リセットするときに押します。 給湯スイッチが「入」のときに点灯します。
リセット(警報解除)の方法 給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。
④エネルギースイッチ (エネルギーランプ)
発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。
⑤給湯温度調節スイッチ
給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。 「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。 ▲…温度を高くする。 ▼…温度を低くする。 温度調節範囲…約32～60℃ 32℃・35℃・37～48℃ (1℃ごと)・55℃・60℃ に設定できます。
⑥通話スイッチ (通話ランプ)
浴室リモコンと通話するときに使います。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



⑦スピーカー
ここから音声や音が出ます。
⑧追いだきスイッチ (追いだきランプ)
追いだきするときに押します。 追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。
⑨発電モードスイッチ
発電モードを切換えるときに押します。 自動…自動モード中です。 通常はこの状態で使用ください。 手動…手動モード中です。 57 ページ
⑩不在停止スイッチ (不在停止ランプ)
ガス発電・給湯暖房機の全停止をするときに押します。
⑪機能スイッチ
予約時刻・現在時刻・保温時間・単価などを設定するときに押します。 24・25 ページ
⑫設定スイッチ
選択した機能の設定を変更するときに押します。 +…進む。 -…戻る。
⑬確定スイッチ
機能設定の内容を確定するときに押します。
⑭ふろ予約スイッチ (ふろ予約ランプ)
ふろ自動運転を予約するときに押します。 点灯…ふろ自動運転を予約中です。

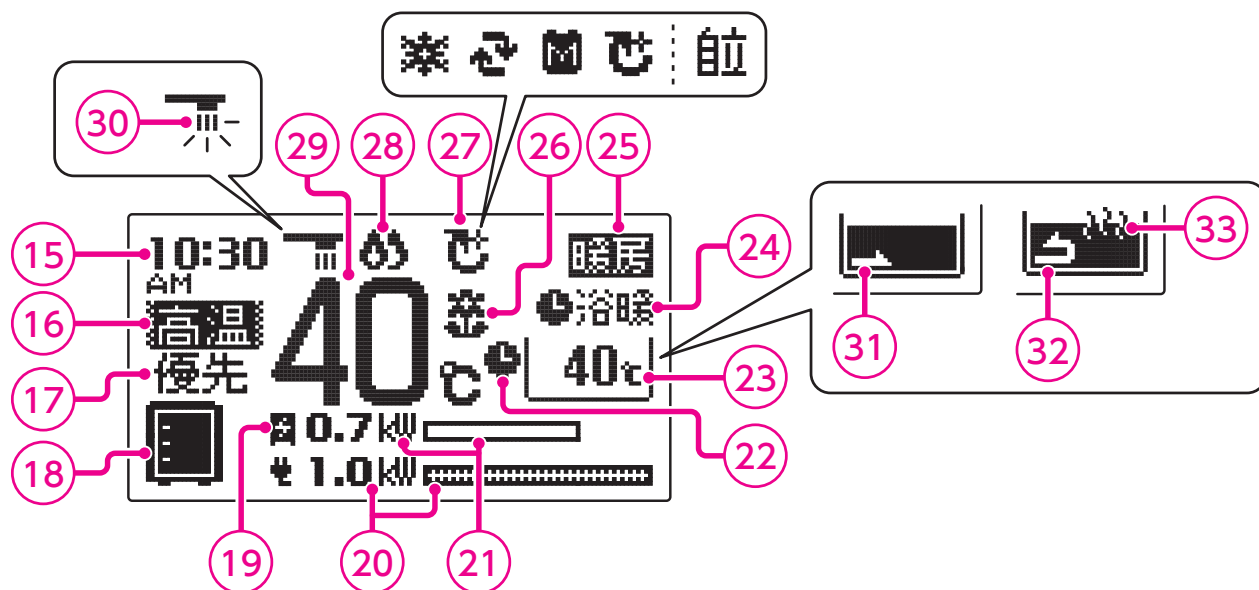
音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

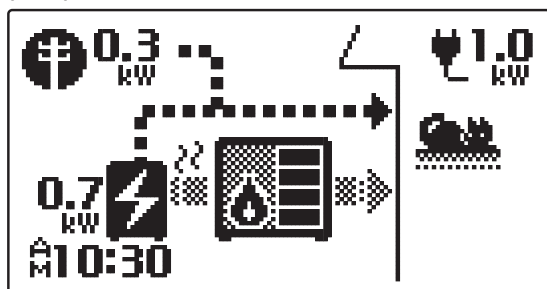
表示画面

●給湯スイッチを「入」にしたときの表示

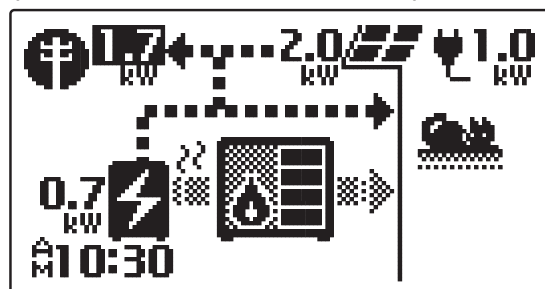


●給湯スイッチを「切」にしたときの表示 84・85ページ

エネルギーモニタの表示を「エネルギー+待機」にしたとき
(通常)



(太陽光発電システムを接続したとき)



一部異なりますが、エネルギー表示のエネルギーモニタと同じ表示画面になります。 69ページ

⑮現在時刻表示 現在時刻を表示します。	⑳電気使用量表示 ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。	㉕暖房表示 点灯…暖房中です。	㉘補助熱源機燃焼表示 点灯…補助熱源機が燃焼しています。
⑯高温表示 給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。	㉑発電量表示 発電量を表示します。	㉖達成マーク表示 エネルックで設定した目標値の達成度を表示します。 26ページ	㉙給湯温度表示 給湯設定温度を表示します。
⑰優先表示 「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。	㉒ふろ予約表示 ふろ自動運転の予約中に表示します。	㉗排熱利用給湯暖房ユニット状態表示 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。 26ページ	㉚給湯中表示 点滅…給湯中です。
⑱貯湯量表示 貯湯量を表示します。 26ページ	㉓ふろ温度表示 ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。 お湯はり表示・追いだき表示中・保温表示中は表示しません。	また自立運転中に「自立」を表示します。 66ページ	㉛お湯はり表示 ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。
⑲発電表示 発電状態を表示します。 26ページ	㉔浴室暖房表示 浴暖…浴室暖房乾燥機の運転中に表示します。 浴暖…浴室暖房乾燥機の予約中に表示します。		㉜循環表示 追いだき中です。
			㉝保温表示 保温運転・追いだき中です。

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
 発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

まずはじめに
ご確認ください

各部の名称とはたらき

●浴室リモコン

①マイク

台所リモコンと通話するときに使います。

②給湯スイッチ (給湯ランプ)

給湯・停止・リセットするときに押します。
給湯スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

③ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。
点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。
点灯…保温運転中です。

④追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

⑤たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯をするときに押します。
たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

⑥通話スイッチ (通話ランプ)

台所リモコンと通話するときに使います。

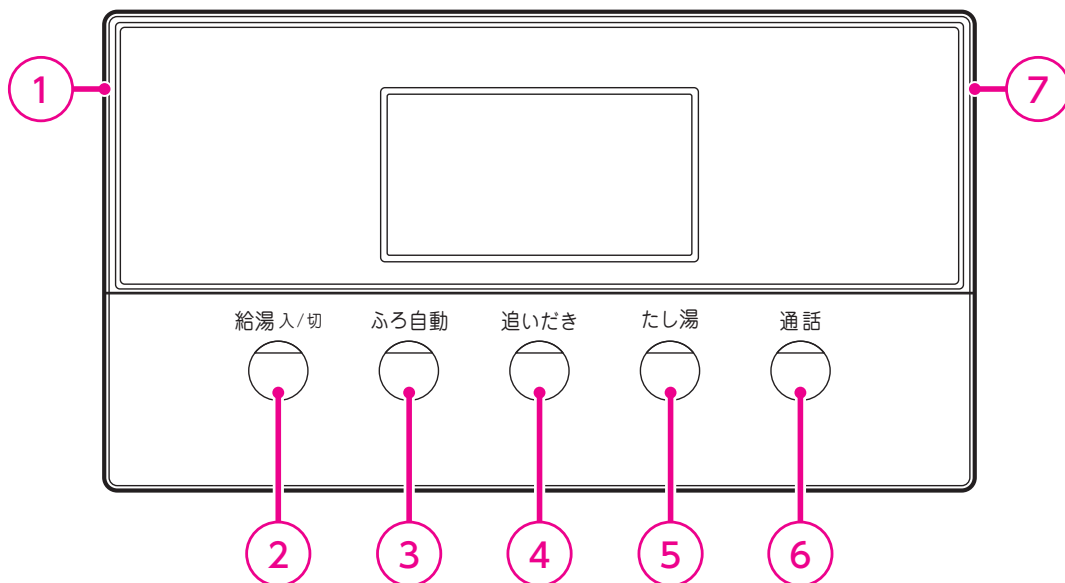
⑦スピーカー

ここから音声や音が出ます。

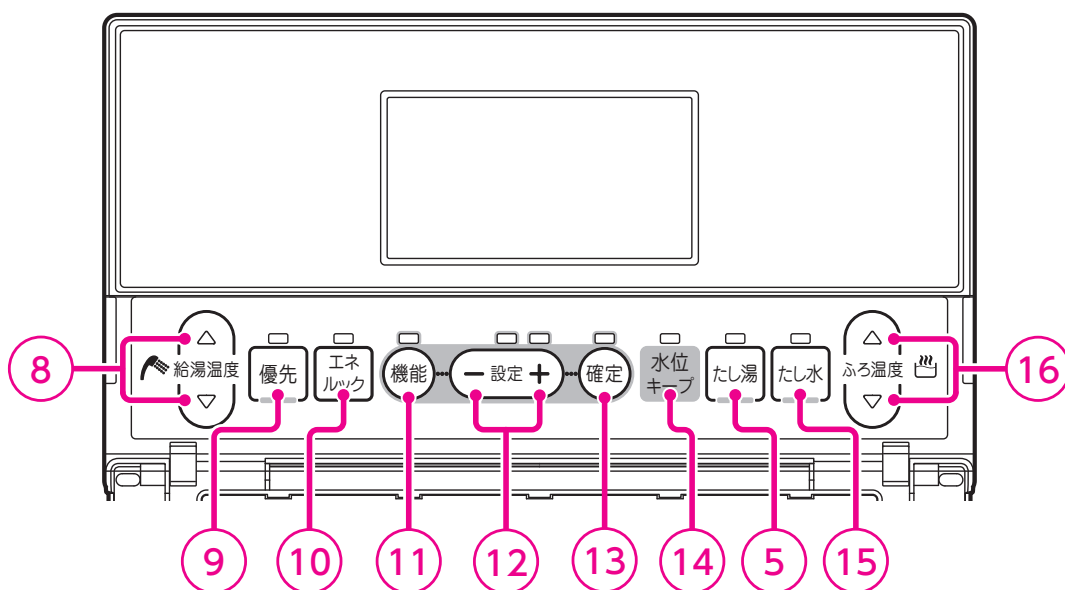
⑧給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、エネルギー表示を切換えるときに押します。
「優先」を表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。
温度調節範囲…約32～60℃
32℃・35℃・37～48℃
(1℃ごと)・55℃・60℃
に設定できます。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。

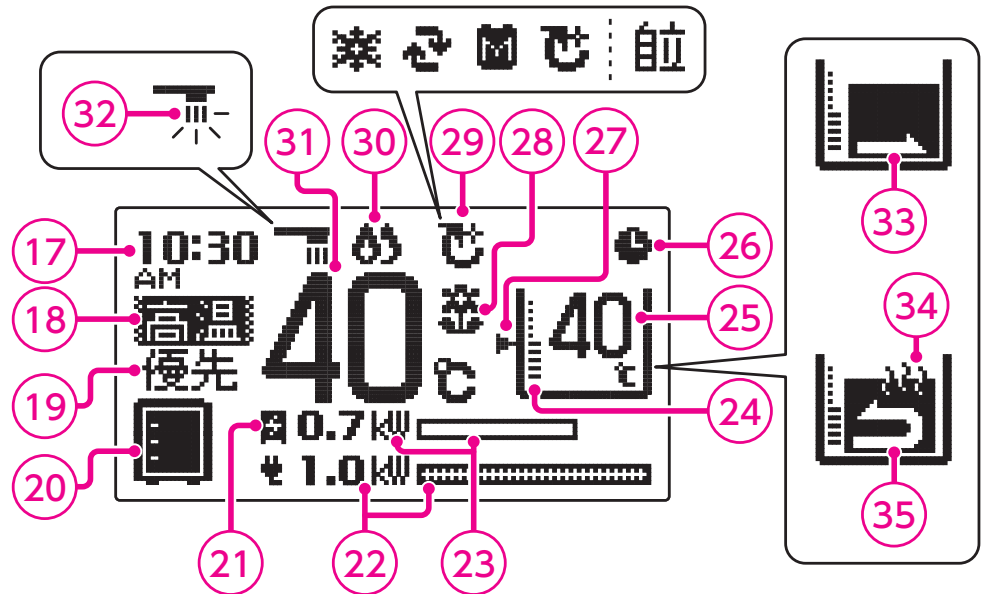


音声ガイドの種類は114～116ページを参照してください。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

表示画面



まずはじめに
ご確認ください

⑨優先スイッチ (優先ランプ)

浴室リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑩エネルギースイッチ (エネルギーランプ)

発電・電気・お湯などの利用状況をお知らせします。

⑪機能スイッチ

音量・水位などを設定するときに押します。

24・25 ページ

⑫設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。
+…進む。
-…戻す。

⑬確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

⑭水位キープスイッチ (水位キープランプ)

自動たし湯を解除したいときに押します。水位キープランプが消灯します。

⑮たし水スイッチ (たし水ランプ)

浴そうにたし水をするときに押します。たし水スイッチが「入」のときに点灯します。

⑯ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転・追いだし運転・たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度を高くする。
▼…温度を低くする。
温度調節範囲…約33~48℃
1℃ごとに設定できます。

⑰現在時刻表示

現在時刻を表示します。

⑱高温表示

給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

⑲優先表示

「優先」を表示しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑳貯湯量表示

貯湯量を表示します。

26 ページ

㉑発電表示

発電状態を表示します。

26 ページ

㉒電気使用量表示

ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。

㉓発電量表示

発電量を表示します。

㉔水位表示

ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉕ふろ温度表示

ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。表示位置は運転状態によって変わります。

㉖ふろ予約表示

ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉗水位キープ表示

点灯…ふろ自動運転中に自動的にたし湯をし、水位を一定に保ちます。

㉘達成マーク表示

エネルギーで設定した目標値の達成度を表示します。

26 ページ

㉙排熱利用給湯暖房 ユニット状態表示

凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

26 ページ

また自立運転中に「自立」を表示します。

66 ページ

㉚補助熱源機燃焼表示

点灯…補助熱源機が燃焼しています。

㉛給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

㉜給湯中表示

点滅…給湯中です。

㉝お湯はり表示

ふろ自動運転・たし湯運転・たし水運転で浴そうにお湯(水)を入れているときに点滅します。

㉞保温表示

保温運転・追いだし中です。

㉟循環表示

追いだし中です。

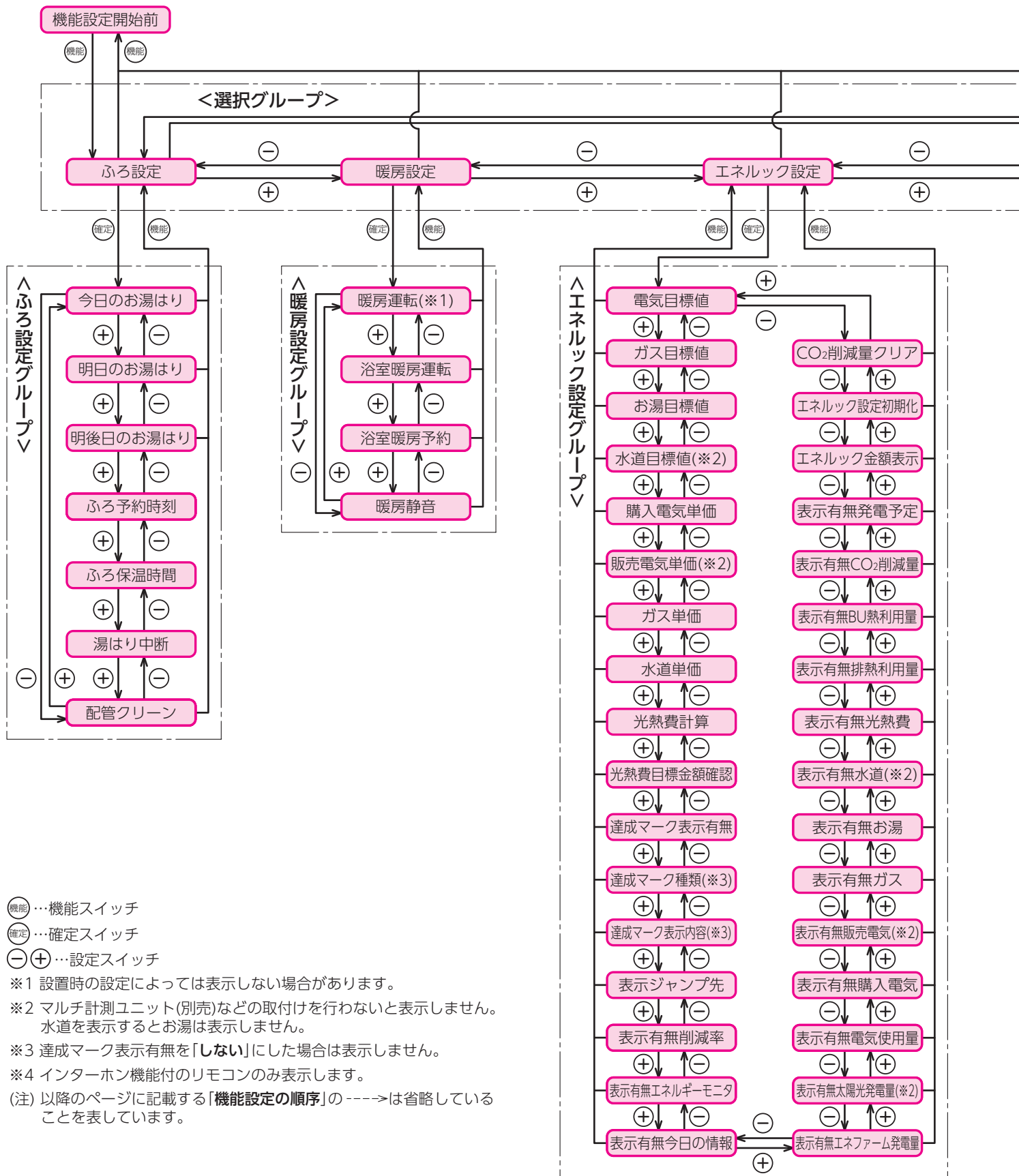
表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

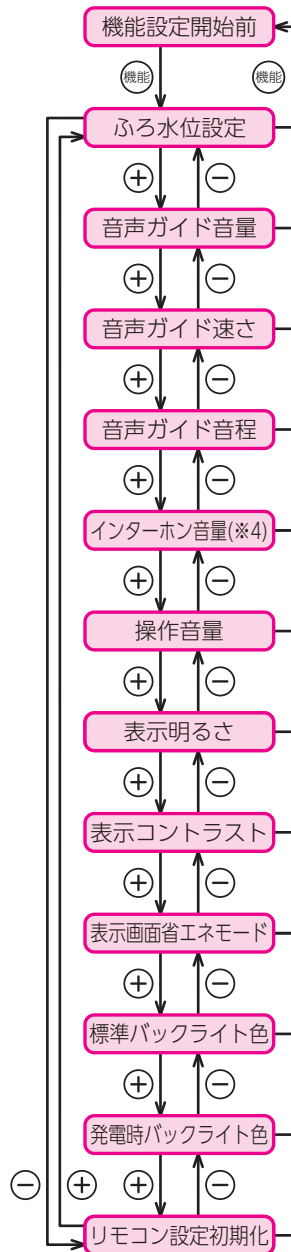
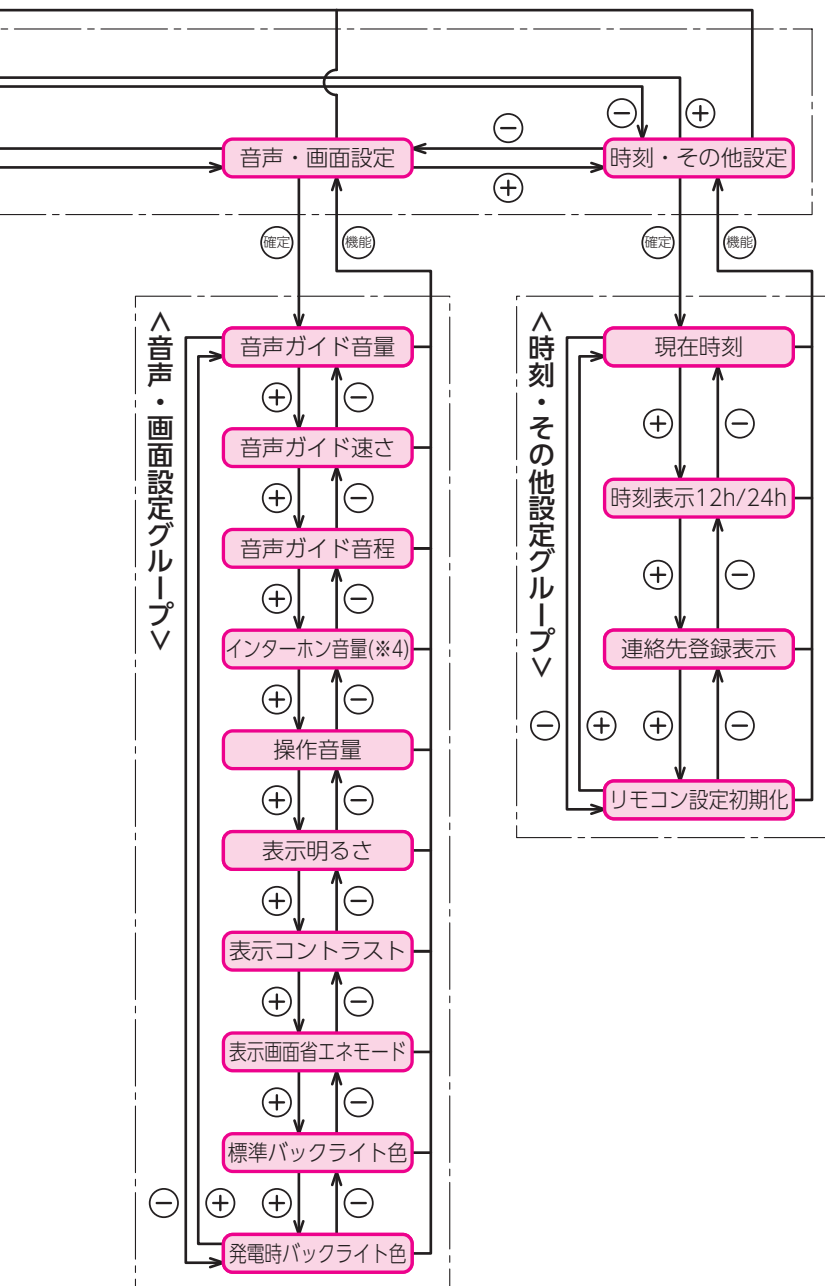
機能設定について

●機能スイッチ・設定スイッチ・確定スイッチを操作することにより、下記の機能設定ができます。

台所リモコンの場合



浴室リモコンの場合



お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 日付・現在時刻の設定を行っていない場合は、機能スイッチを押すと「**現在時刻**」の設定画面を表示します。
- 機能設定中に約10秒間操作をしないと操作ガイドが表示されます。
- 機能設定を確定後に続けて他の機能を設定する場合は、リモコンのふたを閉じる前に機能スイッチを押してください。次の項目に移動して続けて設定することができます。

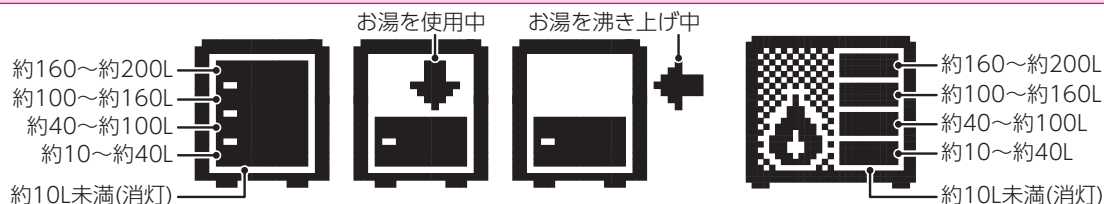
各部の名称とはたらき

表示について

貯湯量表示

- 貯湯タンク内の「お湯(約42℃以上)の量」を表示します。
- 約42℃以上のお湯を元に表示していますが、季節や貯湯状態により変動します。
- 貯湯量表示を表示している場合でも、給湯設定温度によっては補助熱源機が作動する場合があります。お湯の出を早くするためで、故障ではありません。
- 表示されたお湯の量以外は水です。

貯湯タンク内のお湯(約42℃以上)の量の目安



発電表示

- 発電状態を表示しています。

	発電	発電しています。 点灯…発電中です。 点滅(約2秒周期)…発電準備中です。 点滅(約6秒周期)…停止移行中です。 (連続で発電を行っているときでも、性能維持運転のため一時的に送電を中断する場合があります。その際にもこの表示になります。)
	自動発電停止	自動モード設定中に発電を停止しています。故障ではありません。 (学習機能が働いているためです。) 発電予定時刻はエネルギー表示で確認できます。
表示なし	停止中	手動モード停止中や不在停止中は発電表示されません。 その他ご使用状況により、貯湯タンクのお湯の入れ替えが必要な場合、燃料電池発電ユニットを一時停止させる場合があります。その場合、補助熱源機を経由してお湯を供給しますが、しばらく使用すると燃料電池発電ユニットは自動的に発電を開始します。 故障を表示している場合は「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってください。

排熱利用給湯暖房ユニット状態表示

- 凍結防止や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

	凍結防止運転	燃料電池発電ユニット停止中に排熱回路の凍結防止をしています。
	タンクリフレッシュ運転	お湯の利用が少なくなると貯湯タンク内の水質維持のため、お湯を高温にします。 (貯湯タンク内の水を沸き上げる場合は補助熱源機が作動します。)
	タンク長期滞留防止運転	貯湯タンクにお湯が長期間滞留することを防止する運転を行っています。
	マイコンメータの確認	マイコンメータの機能を確認するために燃料電池発電ユニットを約24時間停止させます。 ご家庭で使用するすべてのガスを使用しない時間が連続1時間以上必要です。 深夜などにガス機器の使用は控えてください。

- 「自立」の表示については66ページを参照してください。

達成マーク

- 「エネルギー表示の設定」で設定した目標値に対する達成度をお知らせします。80・81ページ

目標値を大きく達成しています。	目標値を達成しています。	ほぼ目標値通りです。	目標値を超えています。	目標値を大きく超えています。

設置状態の確認

1 設置場所

機器の設置場所は次のことを満たしていることを確認してください。

- 水平な場所
- 給気部や排気部の周囲に冷暖房装置や換気扇などの吹出口や吸込口がない場所
- 給気や排気が充分できる場所 (波板などで囲まないでください。)
- 落下物の危険がない場所
- 周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- 給気部や排気部に強い風が吹き込まない場所
- 足場などを組まなくてもメンテナンスができる場所
- 排気部からの吹き出し音が隣家の迷惑にならない場所
- 階段や避難口から離れた場所
- 排気部から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

2 周囲の防火処置

火災予防のため、図を参考に周囲の可燃物から防火上有効な距離をとってください。

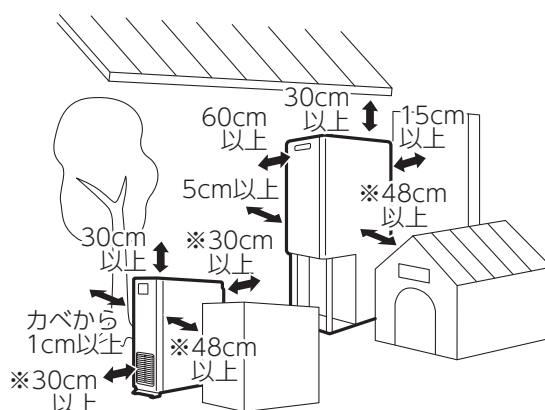
(※ はサービススペースとして必要な距離です。)

3 排気部の周囲

排気部から吹き出される排気ガスによって、加熱されると危険なものを機器の近くに置かないでください。

(ガソリン・ベンジン・灯油・スプレー缶など)

また窓などの建物開口部が近くにない場所に設置してください。



の使用
準備前

4 排気口の周囲

植物やペットなど、燃焼排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口の周囲には置かないでください。

また増築するときは、燃焼排気ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどにあたらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。

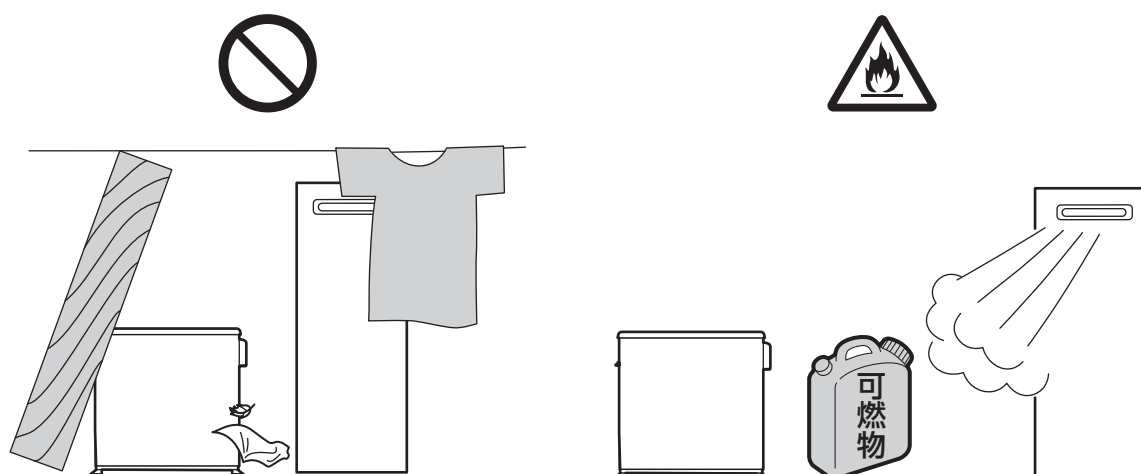


ご使用前の準備と確認

1 機器および周辺の確認

給気部や排気部がふさがれていないことを確認してください。

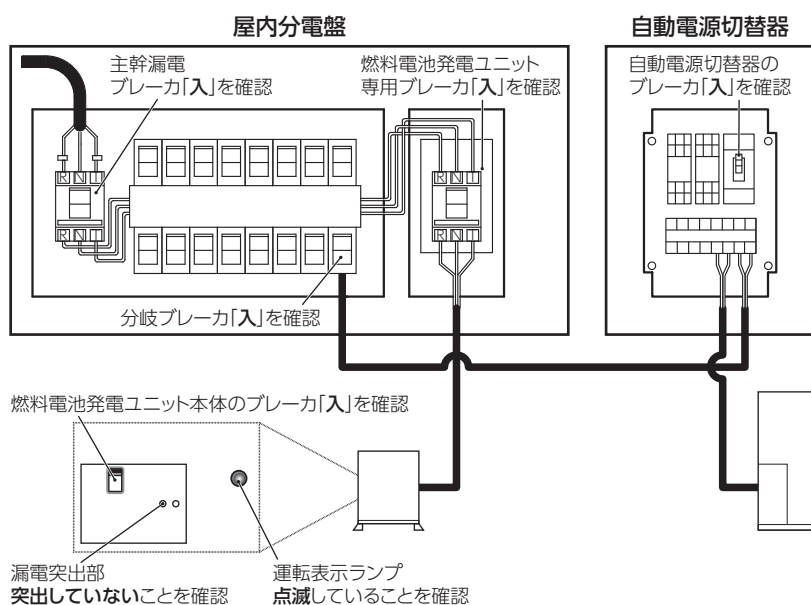
機器の近くにガソリン・ベンジンなど引火性のものや燃えやすいものを置かないでください。



2 電気の確認

- 屋内分電盤の主幹漏電ブレーカおよび燃料電池発電ユニット専用ブレーカが「入」であることを確認してください。
- 屋内分電盤の分岐ブレーカ（自動電源切替器用）が「入」であることを確認してください。
- 燃料電池発電ユニット本体のブレーカ（主回路漏電ブレーカ）が「入」であり、漏電表示が出ていないことを確認してください。また、運転表示ランプが点滅していることを確認してください。
- 自動電源切替器のブレーカが「入」であることを確認してください。

※ 自動電源切替器は屋外に設置されている場合もあります。

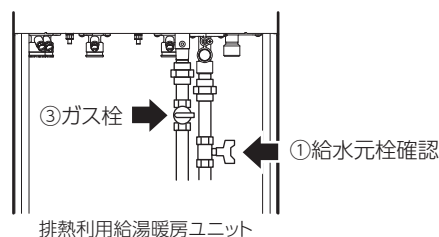
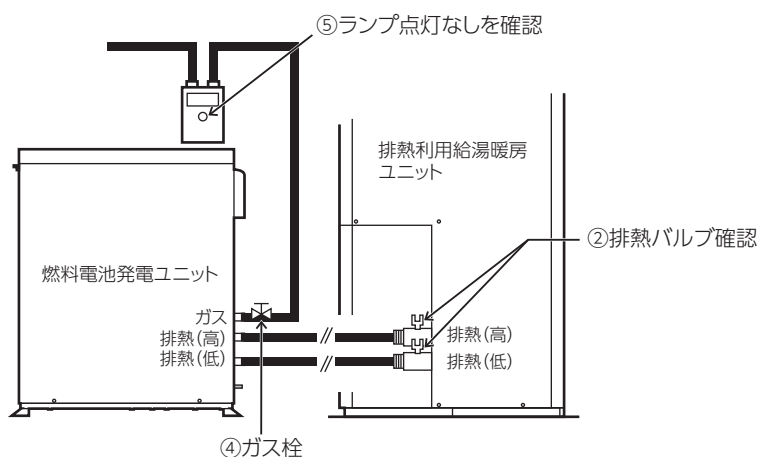


3 ガス・水道の確認

- 排熱利用給湯暖房ユニットの給水元栓が開いていることを確認してください。……………①
- 排熱配管のバルブが開いていることを確認してください。……………②
- ガス栓が開いていることを確認してください。……………③ ④
- ガスの臭いやガスメーター指針の異常回転など、ガス漏れの恐れが無いことを確認してください。
- ガスのマイコンメータのランプが点灯していないことを確認してください。……………⑤
- 機器および周囲の配管から水漏れなどの異常がないことを確認してください。

リモコンに「260」が点滅した場合は「長期間使用しない場合」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って通水を行ってください。

123ページ



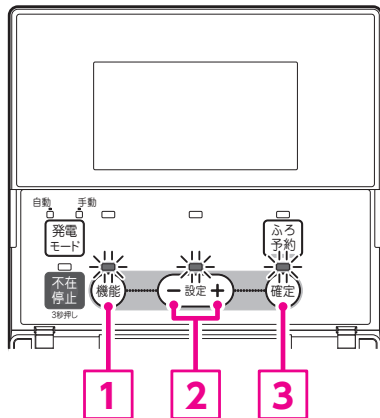
の使用
準備前

日付・時刻の設定

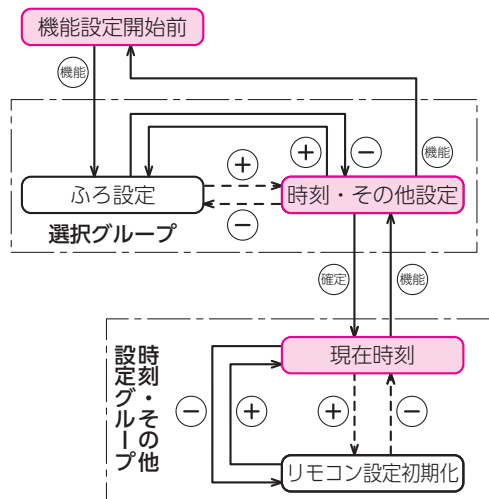
日付・現在時刻の設定

- 必ず日付と現在時刻の設定を行ってください。
- 日付と現在時刻の設定は台所リモコンで行います。

台所リモコン

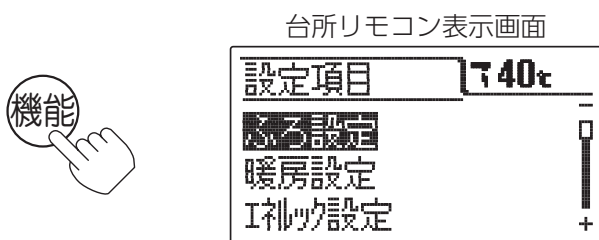


機能設定の順序



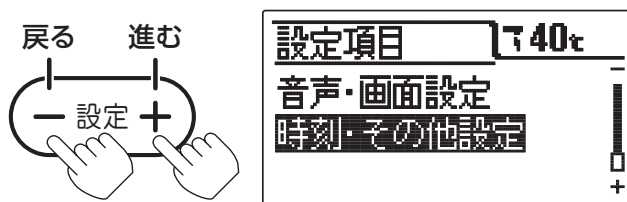
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

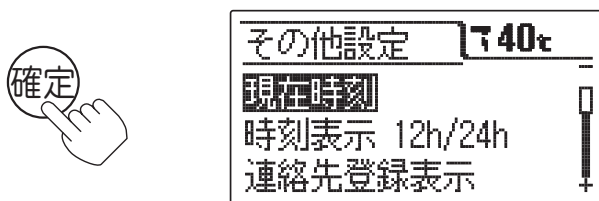


日付・現在時刻の設定を行っていない場合は、「現在時刻」の設定画面を表示します。

3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する

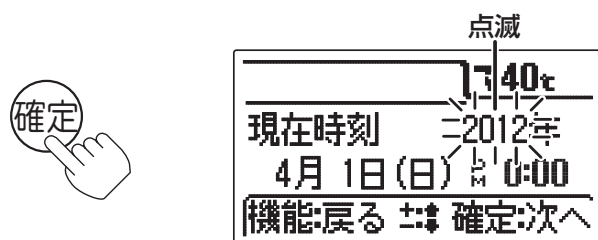


4 確定スイッチ③を押す



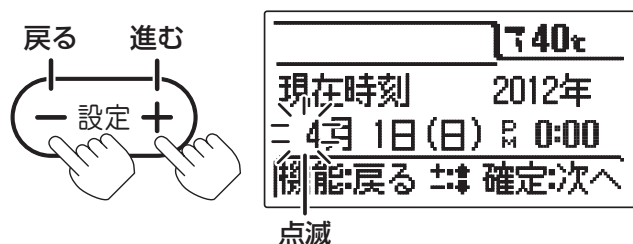
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 再度確定スイッチ③を押す



西暦が点滅します。

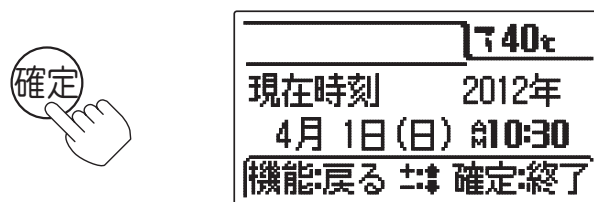
6 設定スイッチ②を押して 西暦・日付・現在時刻を設定する



現在時刻は1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

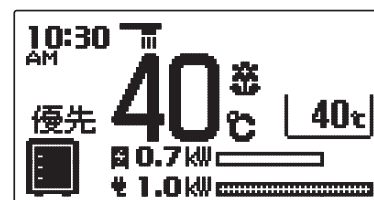
5・6を繰り返し、日付と時刻を設定します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。

約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

の使用
準備前

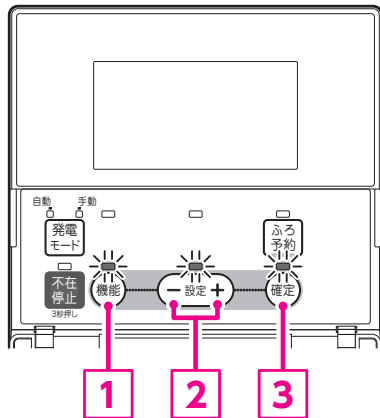
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電により「PM 0:00」が点滅しているときは現在時刻を設定し直してください。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

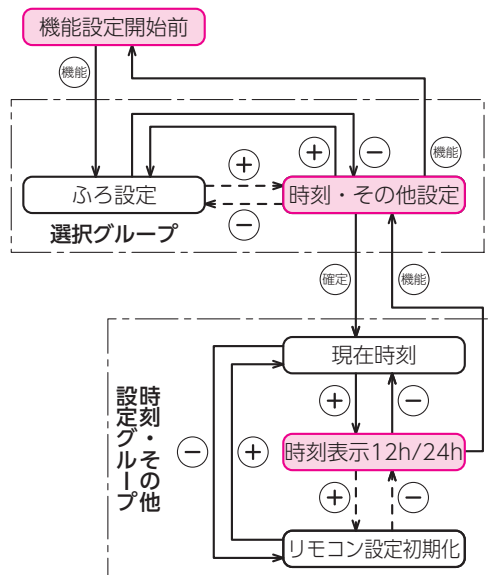
時刻の表示方法の設定

- 時刻の表示を「12h」(AM・PM表示)または「24h」(24時間表示)のどちらかに設定できます。
- 時刻の表示を変更すると現在時刻・設定時刻・音声などが変更されます。

台所リモコン

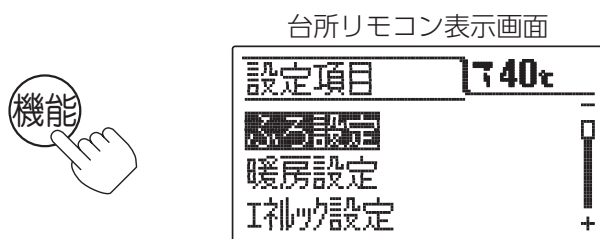


機能設定の順序

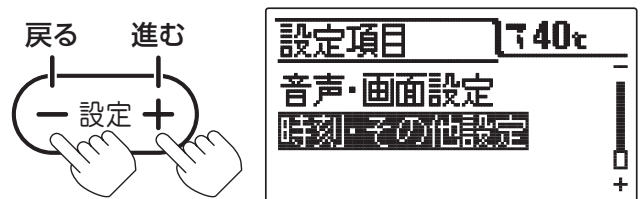


1 ふたを開く

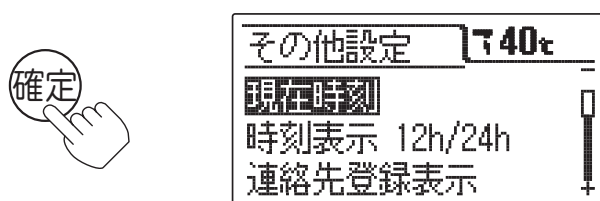
2 機能スイッチ①を押す



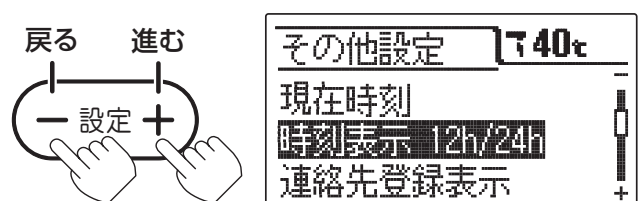
3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

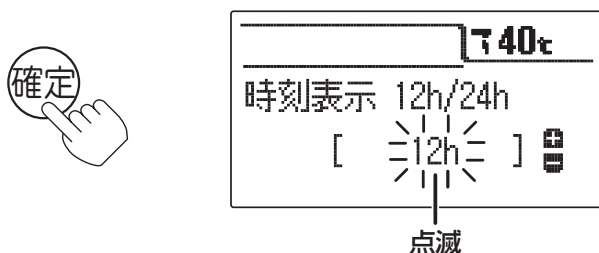


5 設定スイッチ②を押して「時刻表示 12h/24h」を選択する



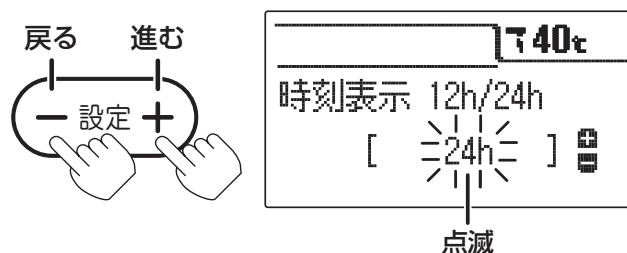
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

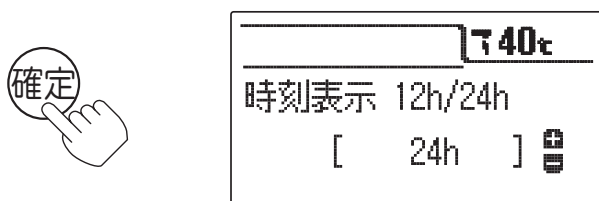
7 設定スイッチ②を押して時刻表示 12h/24h を設定する



設定スイッチを押すごとに

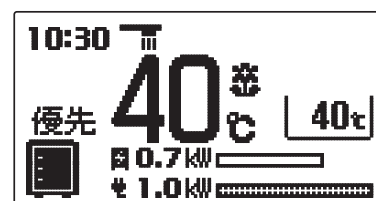
12h ← → 24h を交互に繰り返します。
(AM・PM表示) (24時間表示)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



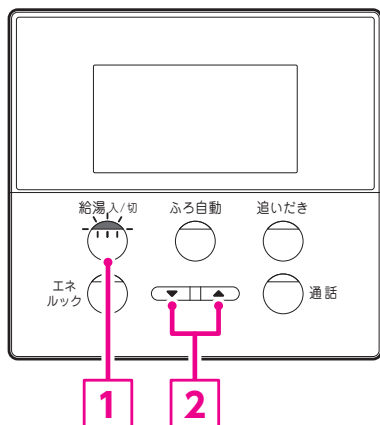
通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

お知らせ

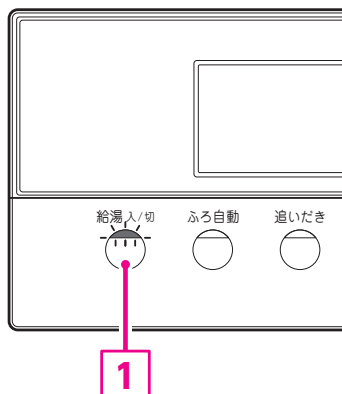
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「12h」(AM・PM表示)に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

給湯

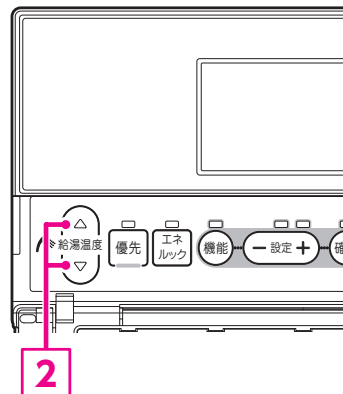
台所リモコン



浴室リモコン



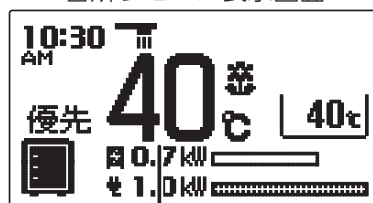
浴室リモコン



1 給湯スイッチ①を「入」にする

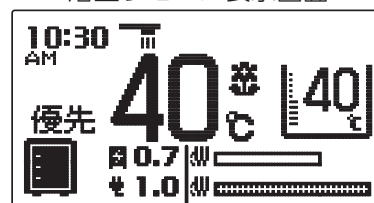


台所リモコン表示画面



前に設定した温度(例: 40°C)

浴室リモコン表示画面

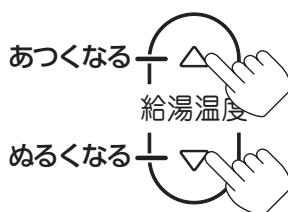
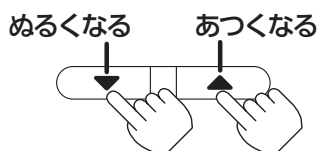


前に設定した温度(例: 40°C)

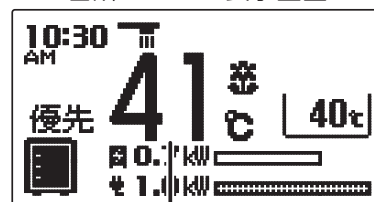
給湯スイッチを押したリモコンの「優先」(優先ランプ)が表示します。
給湯設定温度が55°C以上の場合は、表示(*)と音声で「あつのお湯が出ます」とお知らせします。
※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

2 給湯温度調節スイッチ②を押す

(一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

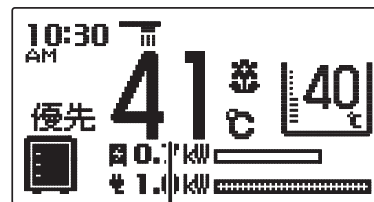


台所リモコン表示画面



給湯設定温度

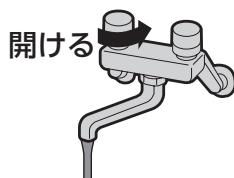
浴室リモコン表示画面



給湯設定温度

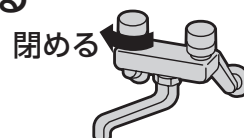
「優先」(優先ランプ)を表示しているリモコンで温度調節ができます。
設定温度は32°C・35°C・37~48°C(1°Cごと)・55°C・60°Cの範囲で調節できます。
設定温度が55°C以上の場合は「高温」を表示し、表示(*)で「お湯の温度が変更されました あつのお湯が出ます」、音声で「お湯の温度が〇〇°Cに変更されました あつのお湯が出ます」とお知らせします。48°C以下の場合は、表示(*)で「お湯の温度が変更されました」、音声で「お湯の温度が〇〇°Cに変更されました」とお知らせします。
※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

3 給湯栓を開ける



お湯が出ます。
お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

4 給湯栓を閉める

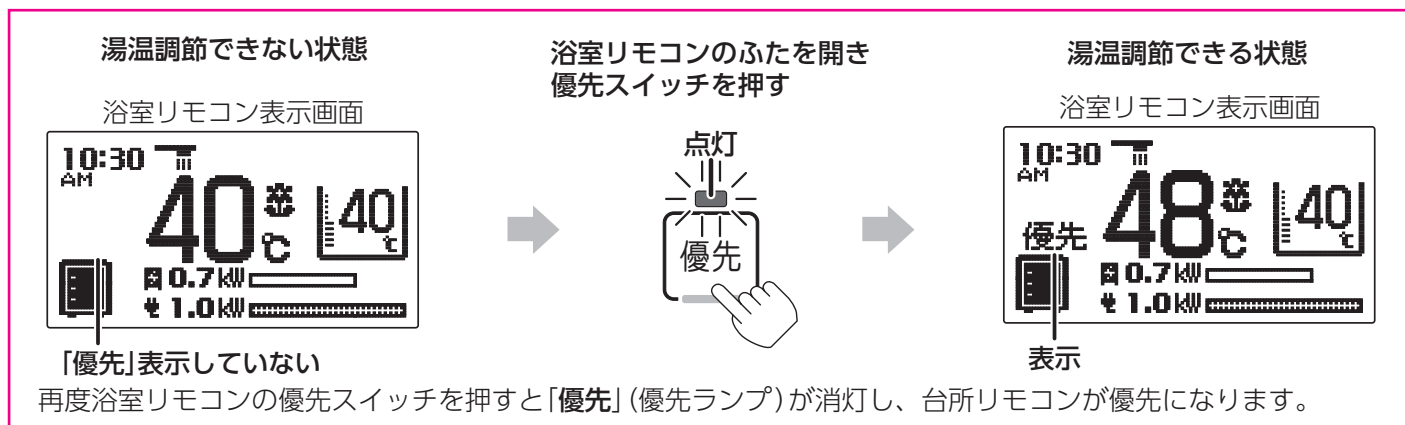


次回使用するときは、給湯栓を開けるだけで使用できます。長時間使用しないときはリモコンの給湯スイッチを「切」にしてください。

リモコンの優先について

台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯設定温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水による思わぬ事故につながる場合があります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先ランプの点灯と「優先」を表示しているリモコン以外は給湯設定温度の変更ができないようになっています。

(台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。)



警告

- シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
 - シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
 - 給湯設定温度を55℃以上に設定したときは、
 - ・表示(*)で「お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます」
 - ・音声で「お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます」
 - ・「高温」の表示でお知らせします。
- ※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。55℃以上の高温で使用了後、あらためて使用するときは特に注意してください。
 - 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- 給湯中に追いだき運転や暖房運転をすると給湯量が減ったり、給湯温度が変化することがあります。
- ふろ自動運転やたし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ運転は一時中断することがあります。ただし、ふろ運転を一時中断しないように設定することができます。
- じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。
点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。

44・45ページ

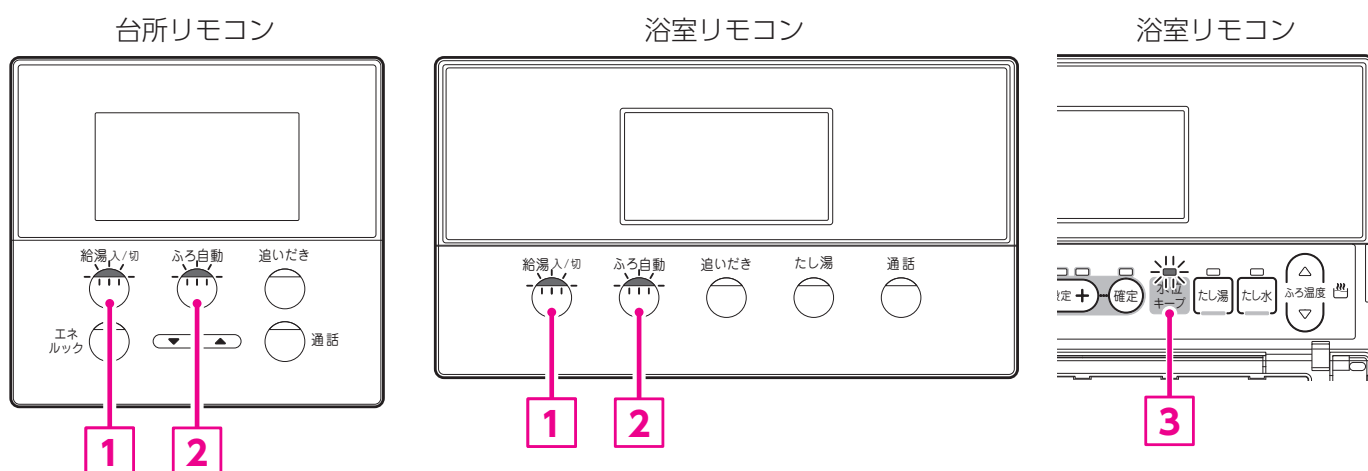
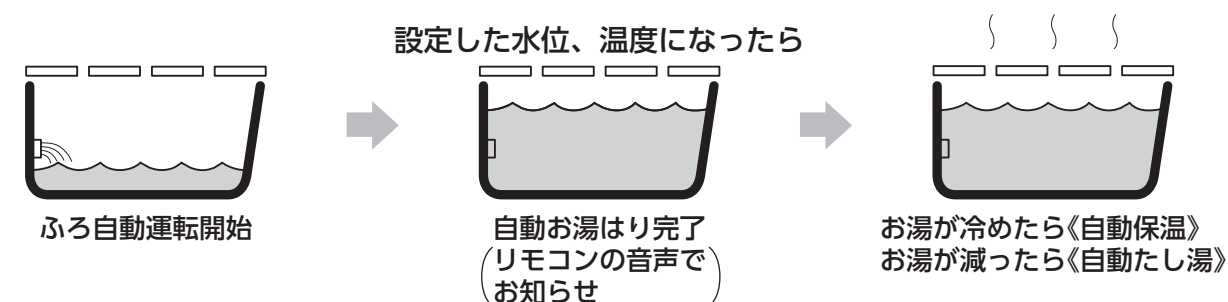
断水検知したときの処置方法

- 断水したときは台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に「260」を表示します。
表示している処置方法や「故障表示」に従って処置を行ってください。

132ページ

ふろ自動運転

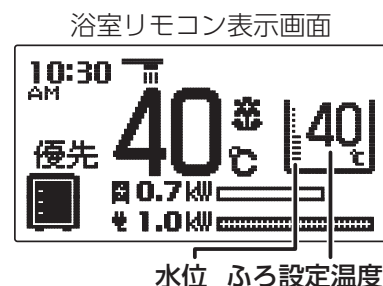
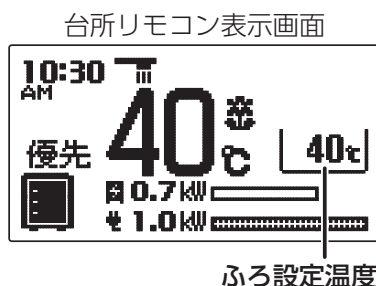
自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し《自動保温》、お湯が減ったらたし湯をして水位を保ちます《自動たし湯》。



運転前の準備

1. 浴そうに排水栓をする。
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
3. 浴そうにふたをする。

1 給湯スイッチ①を「入」にする



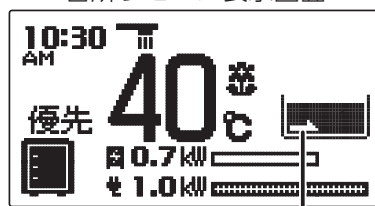
給湯スイッチを押したリモコンの「優先」(優先ランプ)が表示します。
ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認してください。

水位の調節は「ふろ水位の設定」(41 ページ)を参照してください。
ふろ設定温度の調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。

2 ふろ自動スイッチ②を「入」にする

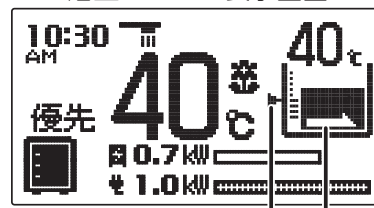


台所リモコン表示画面



点滅

浴室リモコン表示画面



水位キープ表示 点滅

表示(*)と音声で「ふろ温度〇〇℃でお湯はりをします」とお知らせし、お湯はりをはじめます。

(お湯はり表示点滅・水位キープ表示・水位キープランプ点灯)

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。



お湯はり終了後は……

設定した水位までお湯はりをするすると自動的に停止します。設定温度に沸き上げるとリモコンからメロディーと音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。その後お湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、お湯が減ったらたし湯をして水位を保ちます。保温中は保温表示とふろ自動ランプが点灯します。

保温の設定は「保温時間の設定」(42・43ページ)を参照してください。

ふろ自動をやめたいときは



ふろ自動スイッチ②を「切」にします。
(ふろ自動ランプ消灯)

自動たし湯をやめたいときは



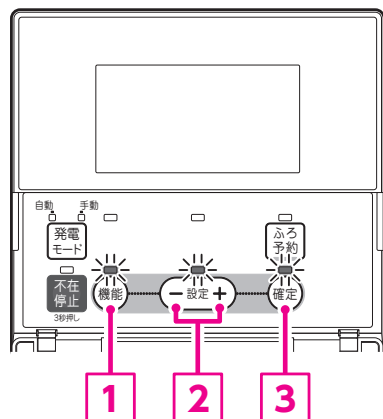
水位キープスイッチ③を「切」にします。
音声で「水位キープを解除します」とお知らせします。
(水位キープ表示・水位キープランプ消灯)

お知らせ

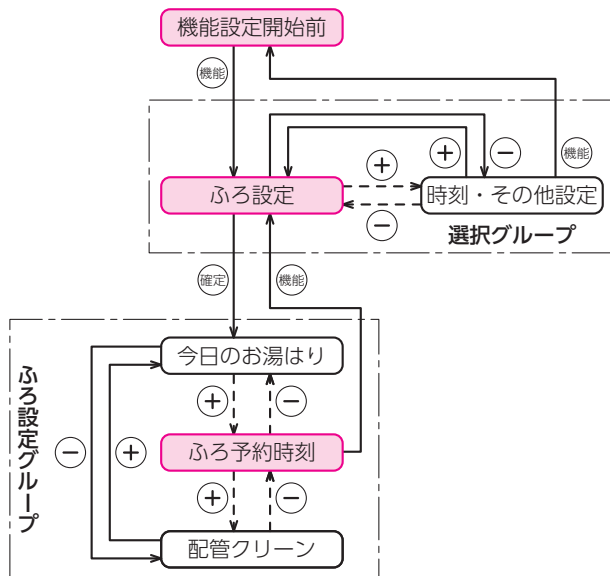
- やけど防止のためふろ設定温度を確認してください。48ページ
- ふろ自動運転のお湯はり時間は給水温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。
- 保温運転中は約20分に一度ふろポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで追っいただきます。
- ふろ自動運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ自動運転は一時中断することがあります。
ただし、ふろ自動運転を一時中断しないように設定することができます。44・45ページ
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯すると沸き上げ時間が長くなる場合があります。
- 残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。
- 設置後初めてお湯はりを行う場合は必ず浴そうを空にしてください。浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転を行うと故障表示「002」が出てお湯はりを停止します。
このときは、浴そうの水を一度全部抜いてふろ自動運転をやり直してください。
- 水位キープスイッチはふろ自動運転中しか受け付けません。
ふろ自動運転中以外で水位キープスイッチを押すと「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 水位キープは約4cm水位が下がるとたし湯をして水位を保ちます。
- 水位が低下し続けたり安定しないときは、水位キープは動作しません。

ふろ自動運転の予約時刻の設定

台所リモコン



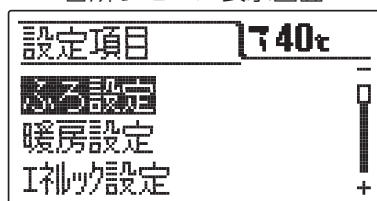
機能設定の順序



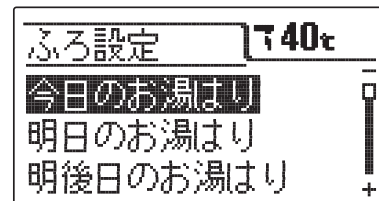
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

台所リモコン表示画面

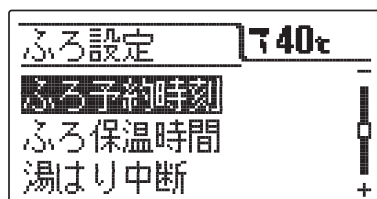
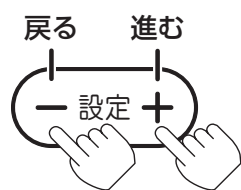


3 確定スイッチ③を押す



ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「ふろ予約時刻」を選択する



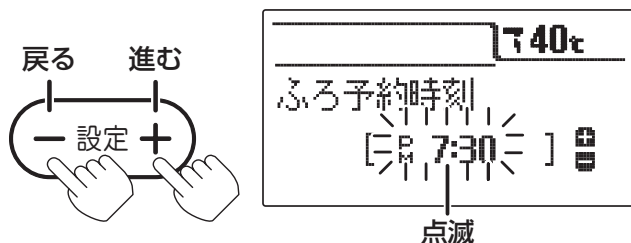
5 確定スイッチ③を押す



点滅

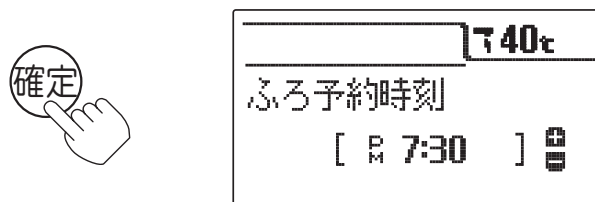
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ[2]を押して ふろ予約時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

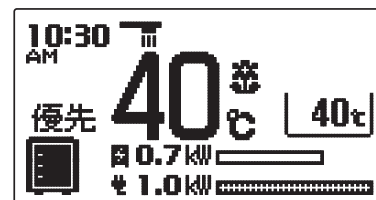
7 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

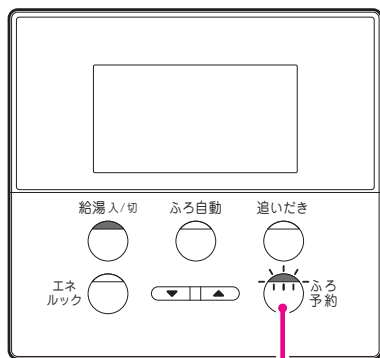


お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認して予約時刻を設定してください。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「PM5:00 (17:00)」に設定されています。
- 「6」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ[1]を押すと「3」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

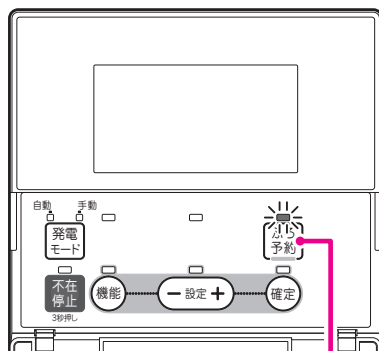
ふろ自動運転の予約

台所リモコン



1

台所リモコン



1

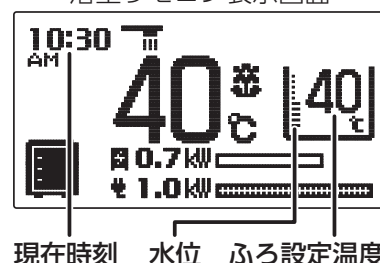
リモコンの種類によってふろ予約スイッチの位置は異なります。
(右はインターホンリモコンです。)

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

運転前の準備

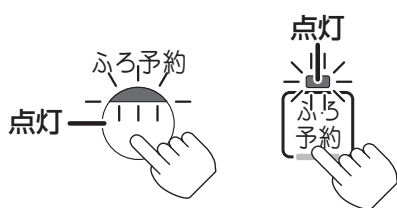
1. 浴そうに排水栓をする。
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
3. 浴そうにふたをする。
4. ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認する。(浴室リモコン)
5. 現在時刻が正しいか確認する。

浴室リモコン表示画面

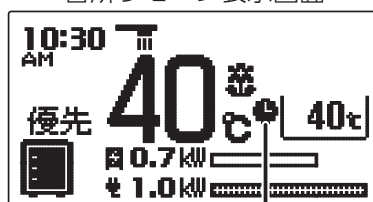


水位の調節は「ふろ水位の設定」(41 ページ)を参照してください。
ふろ設定温度の調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。
ふろ自動運転の予約時刻の設定は「ふろ自動運転の予約時刻の設定」(38・39 ページ)を参照してください。

1 ふろ予約スイッチ①を「入」にする

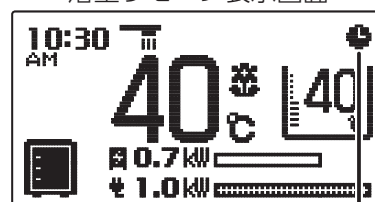


台所リモコン表示画面



点灯

浴室リモコン表示画面

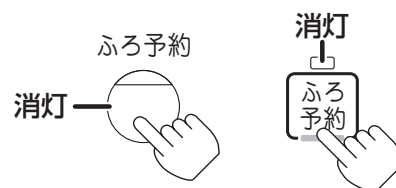


点灯

表示(*)と音声で「お湯はりが(午後・午前)〇〇時に予約されました」とお知らせします。
予約時刻に沸き上がるように約30分前にお湯はりを始めます。
※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

ふろ自動運転の予約をやめたいときは

ふろ予約スイッチ①を「切」にしてください。
(ふろ予約ランプとふろ予約表示消灯)



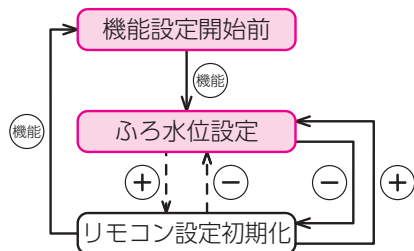
お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認してください。
また、現在時刻が未設定の場合は予約できません。
音声で「予約できません 時計を合わせてください」とお知らせします。
- 予約中に停電すると予約が解除されることがあります。
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯する場合は沸き上げ時刻が遅れることがあります。

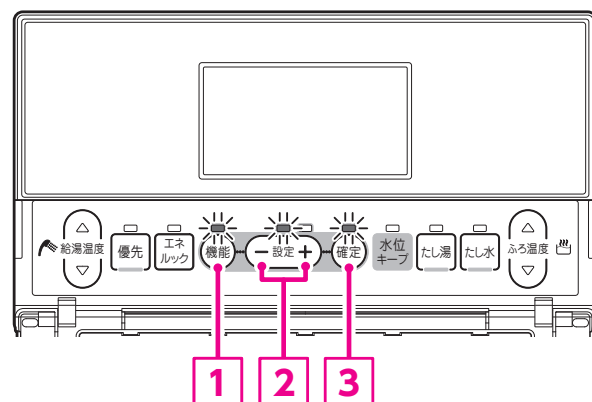
ふろ水位の設定

ふろ自動運転時のお湯はりの水位を設定します。
浴室リモコンのみ設定できます。

機能設定の順序

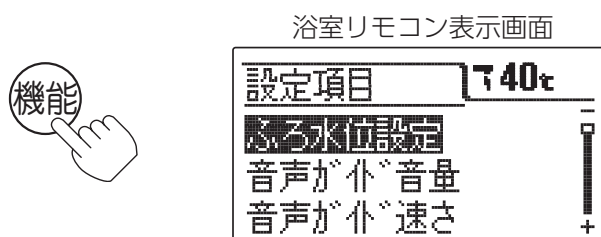


浴室リモコン

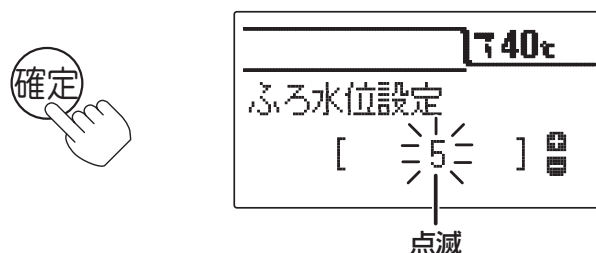


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

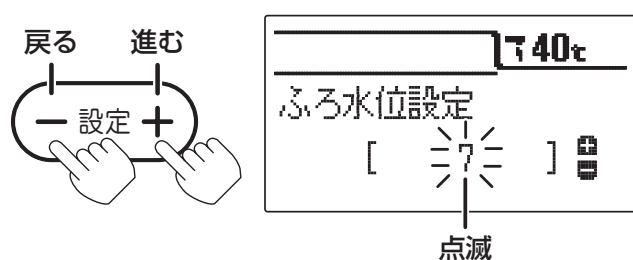


3 確定スイッチ③を押す



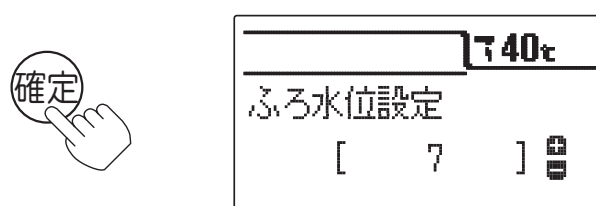
現在の設定が点滅します。

4 設定スイッチ②を押して ふろ水位を設定する



設定スイッチを押すごとに 1 ↔ 2...9 ↔ 10 の順で
変更できます。水位は 1 は循環アダプターから約 60
リットル、2 以上は約 4cm ずつ増えます。

5 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

6 ふたを閉じる

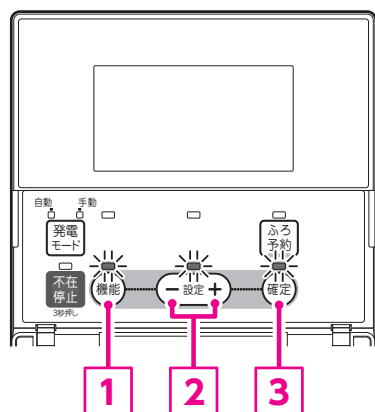
通常の表示に戻ります。約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

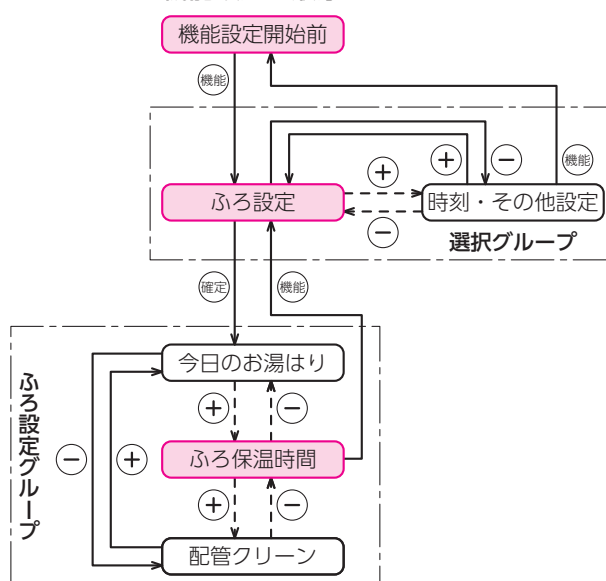
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環アダプターの位置によっては、ふろ水位設定を高めにするると浴
そうから湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場
合があります。
- お買い求め時は「5」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

保温時間の設定

台所リモコン

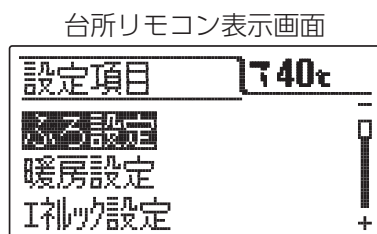


機能設定の順序

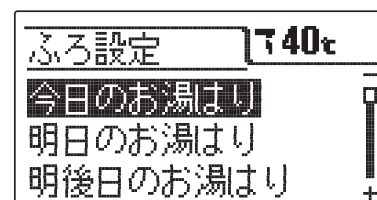


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

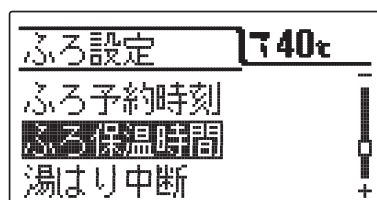


3 確定スイッチ③を押す

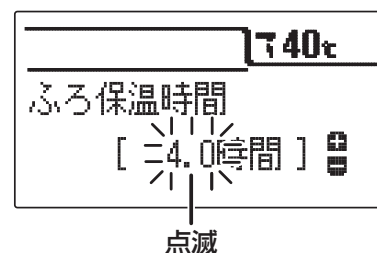


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「ふろ保温時間」を選択する

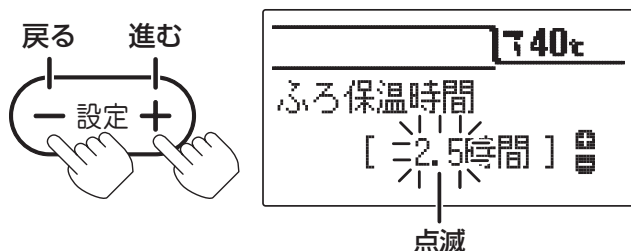


5 確定スイッチ③を押す



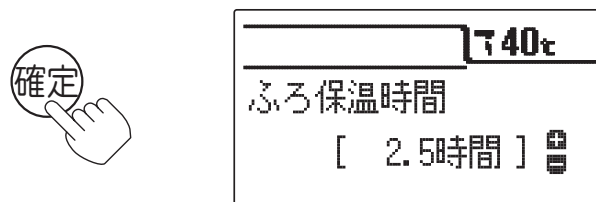
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して ふろ保温時間を設定する



設定スイッチでご希望の時間に設定します。設定時間は0～10時間までは30分単位、10時間以上は1時間単位で変わります。最大24時間まで設定できます。

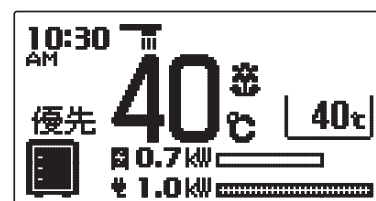
7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。



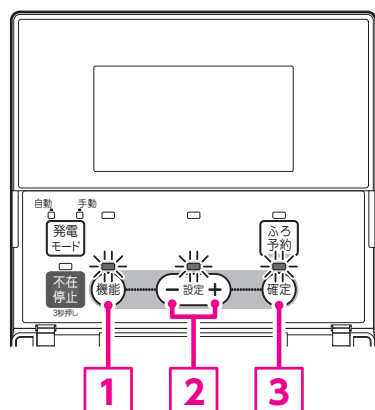
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「4.0時間」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

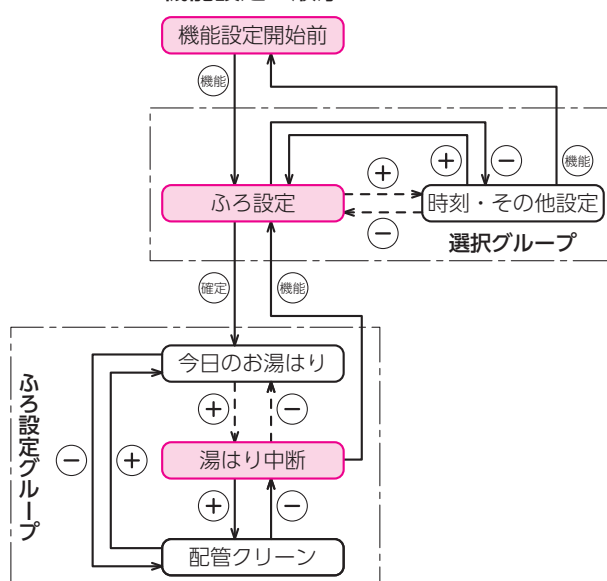
湯はり中断の設定

ふろ自動運転、たし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、ふろ運転は一時中断することがあります。
湯はり中断を「しない」に設定すると中断しません。

台所リモコン



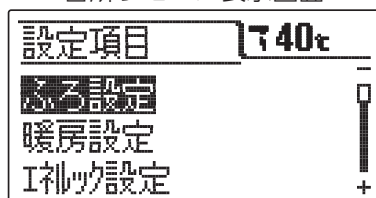
機能設定の順序



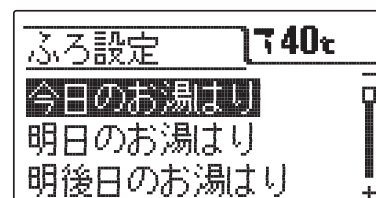
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

台所リモコン表示画面

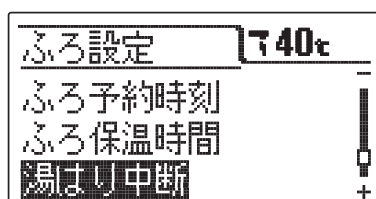


3 確定スイッチ③を押す

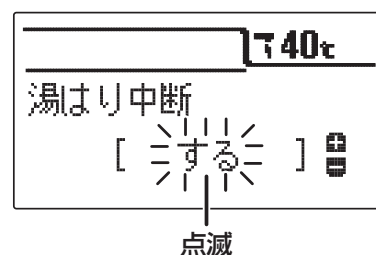


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「湯はり中断」を選択する

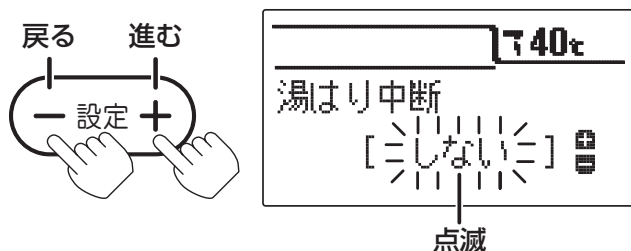


5 確定スイッチ③を押す



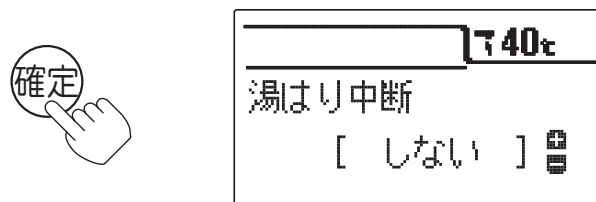
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して 湯はり中断を設定する



設定スイッチを押すごとに**する**↔**しない**を交互に繰り返します。

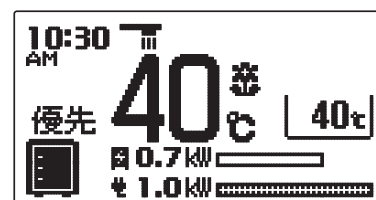
7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

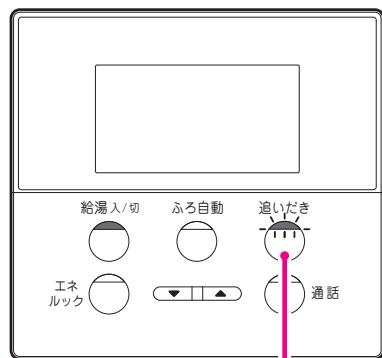


お知らせ

- 湯はり中断する……ふろ自動運転中やたし湯中に給湯すると、給湯が優先されお湯はりを中断することがあります。給湯が終わると再開します。中断するため沸き上がりが遅くなります。
湯はり中断しない…ふろ自動運転中やたし湯中に給湯しても、ふろ自動運転とたし湯は中断しません。給湯量が少なくなることがあります。給湯するとふろ設定温度より少し低い温度のお湯が出ます。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「する」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

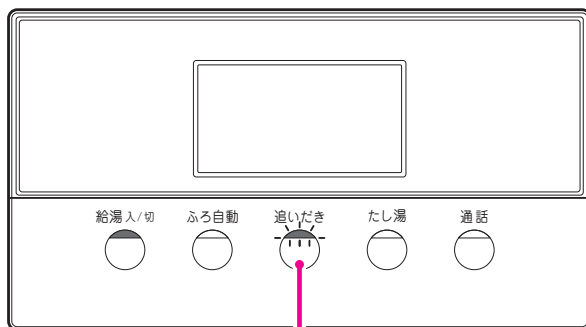
追いだき運転

台所リモコン



1

浴室リモコン



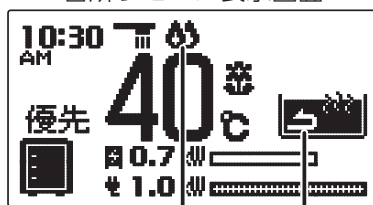
1

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

追いだきスイッチ①を「入」にする

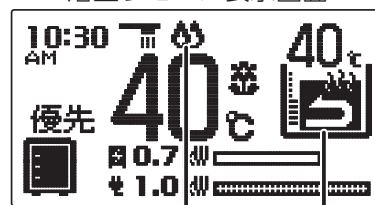


台所リモコン表示画面



点灯 点滅
(補助熱源機燃焼)

浴室リモコン表示画面



点灯 点滅
(補助熱源機燃焼)

表示(*)と音声で「追いだきをします」とお知らせします。

お湯の温度が設定温度より低い場合は、設定温度まで沸き上げます。

浴室リモコンで操作した場合のみお湯の温度が設定温度以上のときはお湯の温度+約1℃まで沸き上げます。

台所リモコンで操作した場合は、沸き上げるとリモコンからメロディーと音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

追いだきの温度調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。

追いだき運転をやめたいときは



追いだきスイッチ①を「切」にしてください。
(追いだきランプ消灯)

お願い

- 浴そうの水が循環アダプターから5cm以上ある状態で使用してください。

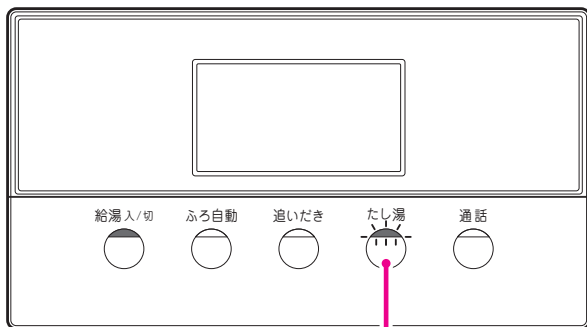
お知らせ

- 追いだき運転中に給湯すると給湯能力が低下することがあります。
- 追いだき運転中に補助熱源機燃焼表示が点灯・消灯を繰り返すことがあります。
- 断水のときは浴そうのお湯(水)が循環口上部から約5cm以上あっても追いだき運転はしないでください。故障の原因になります。

たし湯運転

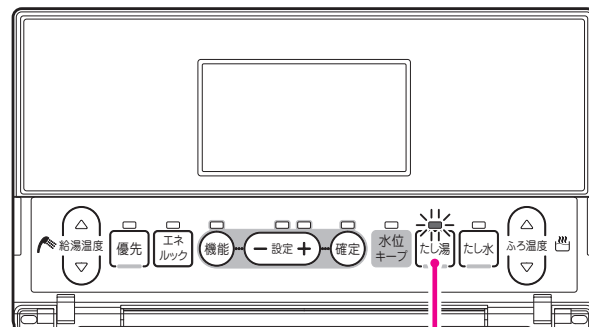
ふろ設定温度のお湯を約 20 リットルたし湯します。

浴室リモコン



1

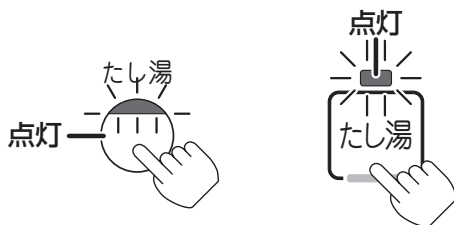
浴室リモコン



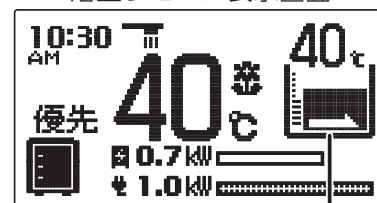
1

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし湯スイッチ①を「入」にする



浴室リモコン表示画面



点滅

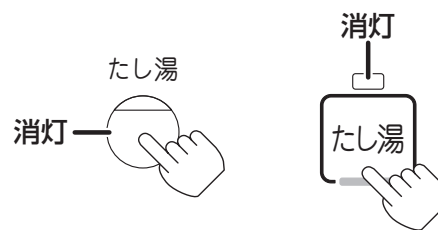
表示(*)と音声で「たし湯をします」とお知らせし、ふろ設定温度のお湯を約 20 リットルたし湯すると自動的に終了します。

※ エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

たし湯の温度調節は「ふろ温度の設定」(48 ページ)を参照してください。

給湯・ふろ運転

たし湯運転をやめたいときは



たし湯スイッチ①を「切」にしてください。
(たし湯ランプ消灯)

お知らせ

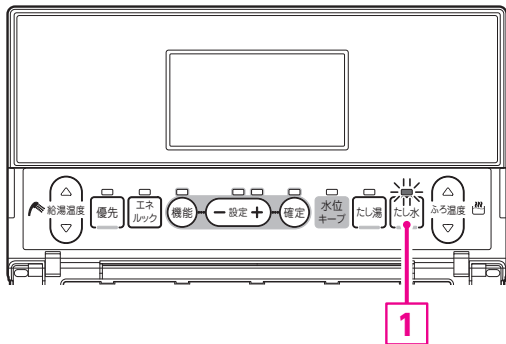
- たし湯運転中に給湯すると給湯を優先するため、たし湯運転は中断することがあります。ただし、たし湯運転を中断しないように設定することができます。
- たし湯運転中にたし水スイッチを押してもたし水運転を開始しません。たし湯運転を停止してから、たし水運転を行ってください。

44・45ページ

たし水運転

約10 リットルの水を給水して浴そうのお湯の温度を下げます。

浴室リモコン

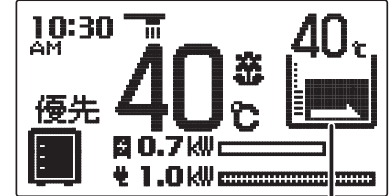


給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし水スイッチ①を「入」にする



浴室リモコン表示画面



点滅

表示(*)と音声で「たし水をします」とお知らせし、約10リットルの水を給水すると自動的に終了します。
※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

お知らせ

- たし水運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。
- たし水運転中に給湯やたし湯運転をするとたし水運転を中止します。

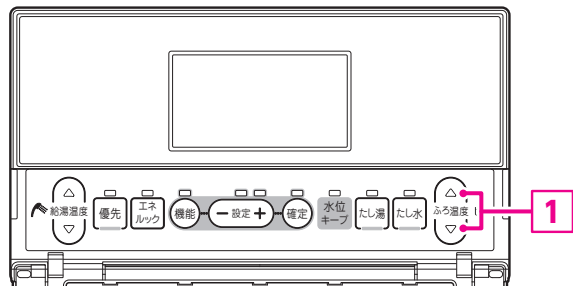
たし水をやめたいときは



たし水スイッチ①を「切」にしてください。
(たし水ランプ消灯)

ふろ温度の設定

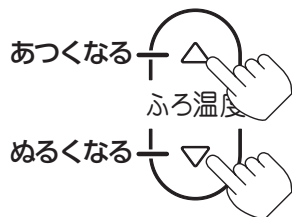
浴室リモコン



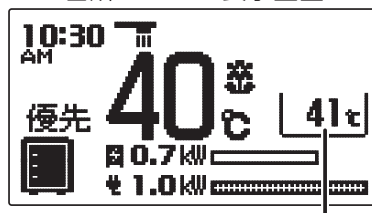
浴室リモコンで設定します。

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

ふろ温度調節スイッチ①を押す (一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

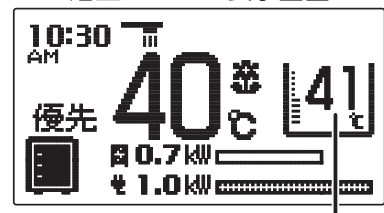


台所リモコン表示画面



数字が変わる

浴室リモコン表示画面



数字が変わる

設定温度は33～48℃(1℃ごと)の範囲で調節できます。

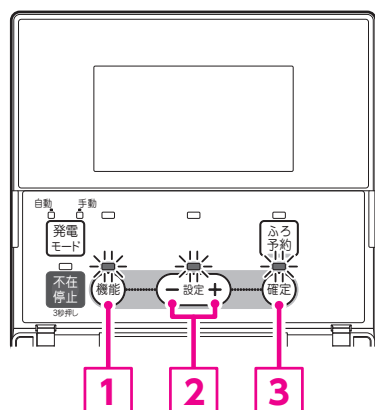
設定温度を変えると、表示(*)で「ふろ温度が変更されました」、音声で「ふろ温度が〇〇℃に変更されました」とお知らせします。

※エラーが表示されている場合は音声のみでお知らせします。

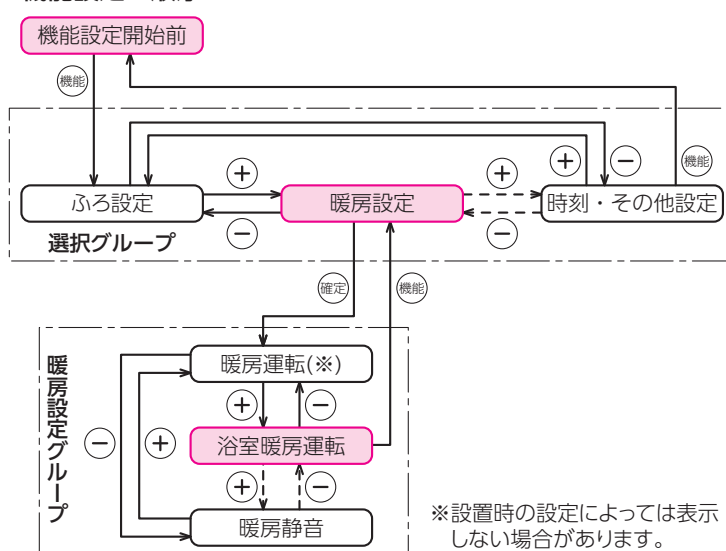
浴室暖房運転と予約運転

浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

台所リモコン

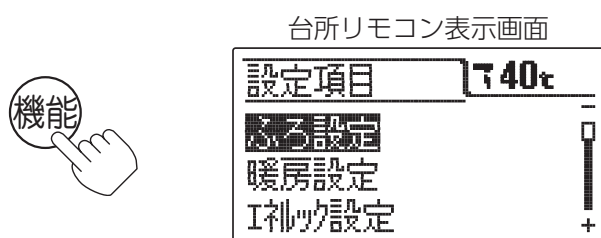


機能設定の順序

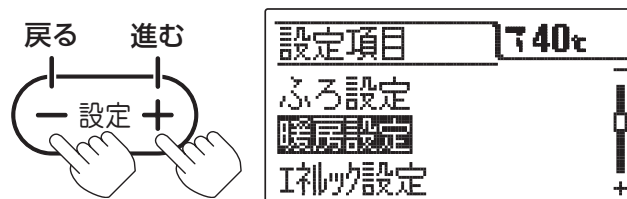


1 ふたを開く

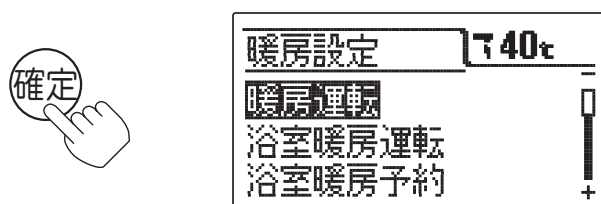
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す



暖房設定グループの項目を表示します。

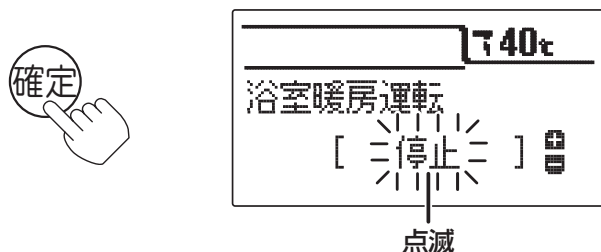
5 設定スイッチ②を押して「浴室暖房運転」を選択する



現在の設定が点滅します。

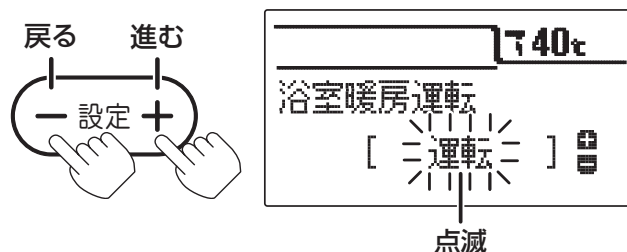
浴室暖房運転と予約運転

6 確定スイッチ③を押す



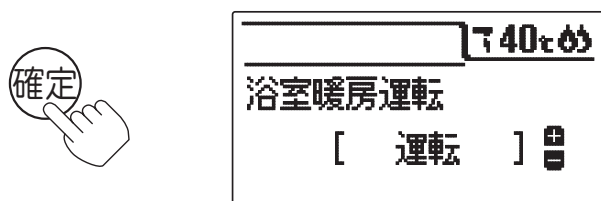
暖房設定グループの項目を表示します。

7 設定スイッチ②を押して浴室暖房運転を設定する



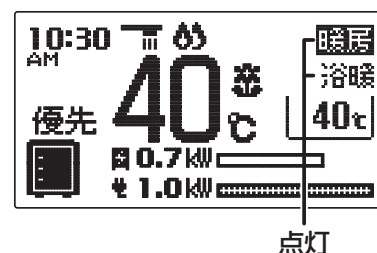
設定スイッチを押すごとに **運転<=>予約<=>停止** の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

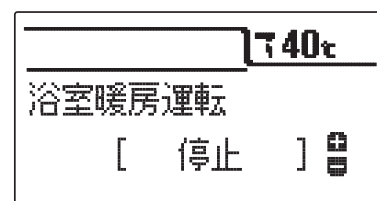
9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

浴室暖房運転をやめたいときは

「7」で設定を「停止」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても浴室暖房運転は停止しません。



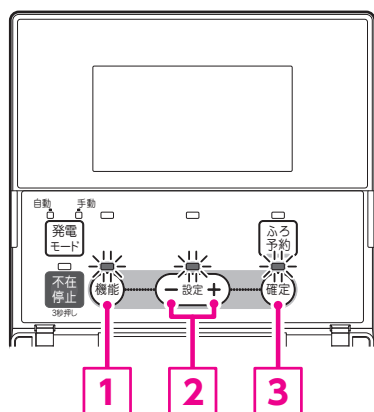
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「停止」に設定されています。
- 浴室暖房乾燥機と接続していない場合は「受付できません」と表示します。
- 「8」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

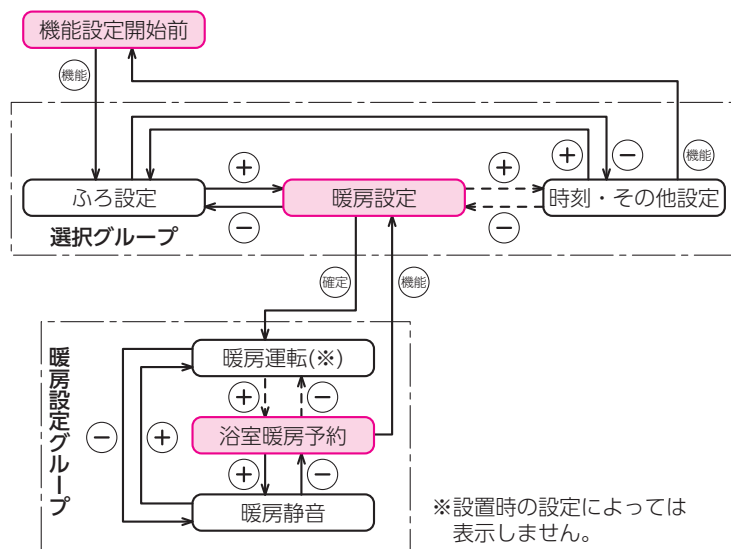
浴室暖房運転の予約時刻の設定

浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

台所リモコン



機能設定の順序

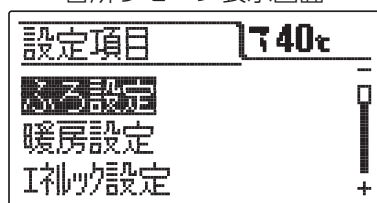


※設置時の設定によっては表示しません。

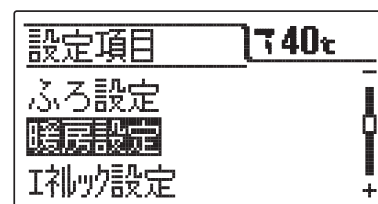
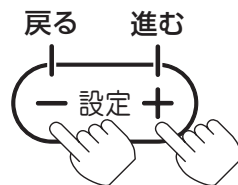
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

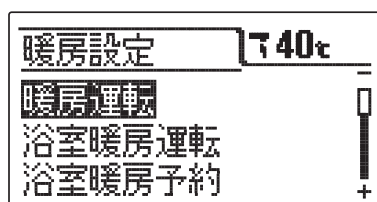
台所リモコン表示画面



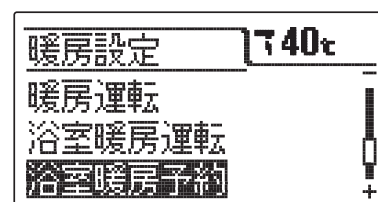
3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す



5 設定スイッチ②を押して「浴室暖房予約」を選択する

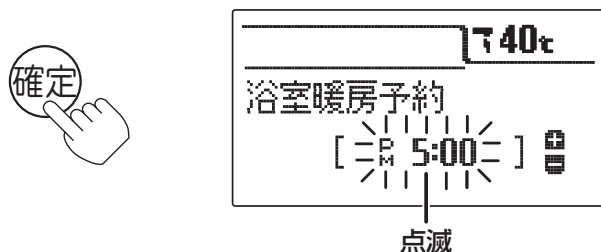


暖房設定グループの項目を表示します。

現在の設定が点滅します。

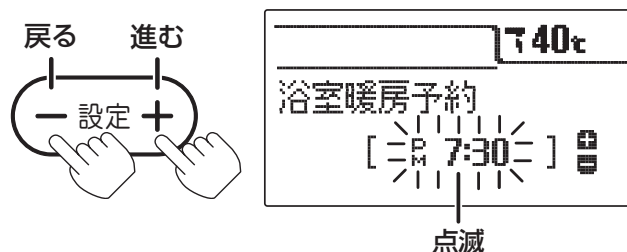
浴室暖房運転の予約時刻の設定

6 確定スイッチ③を押す



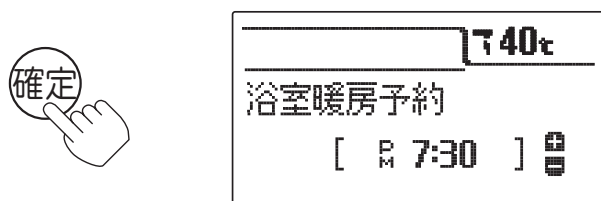
暖房設定グループの項目を表示します。

7 設定スイッチ②を押して浴室暖房予約を設定する



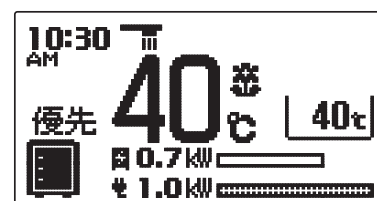
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

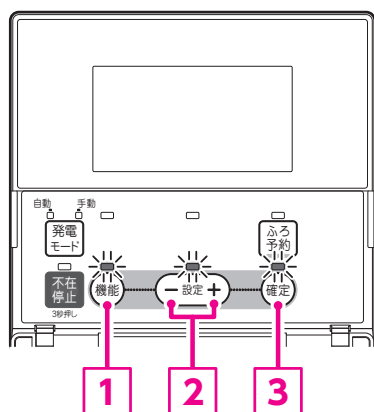
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には設定されていません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

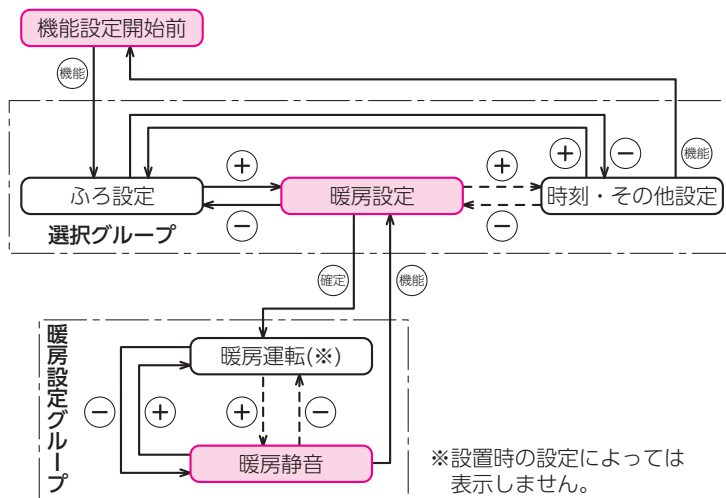
暖房静音時間の設定

暖房静音を設定した時間に暖房すると暖房能力をおさえた暖房静音モードになります。

台所リモコン



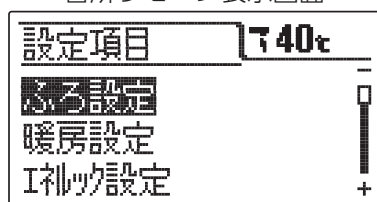
機能設定の順序



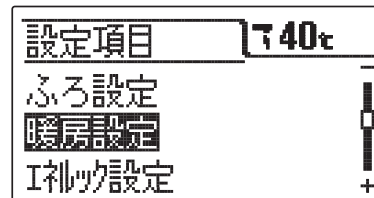
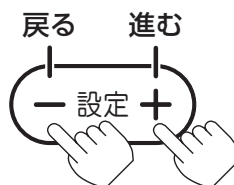
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

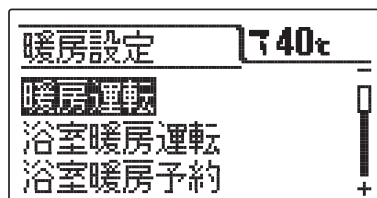
台所リモコン表示画面



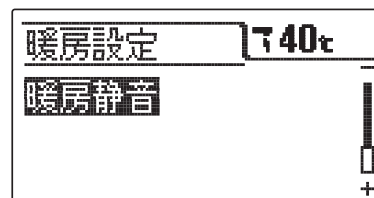
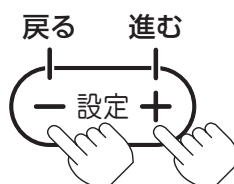
3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

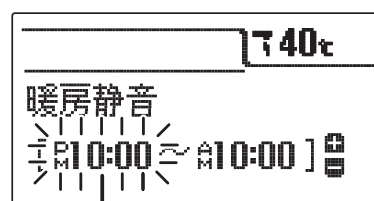


5 設定スイッチ②を押して「暖房静音」を選択する



暖房設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



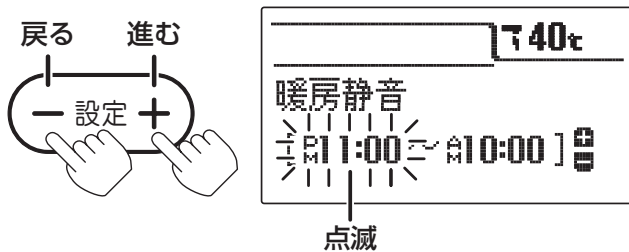
現在の設定 (開始時刻) が点滅します。

点滅

暖房運転

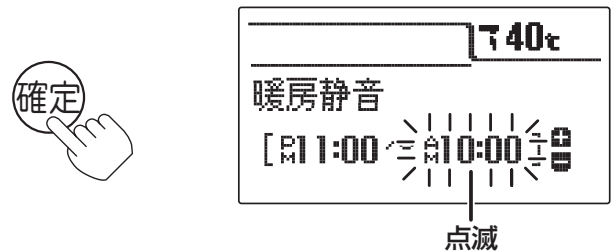
暖房静音時間の設定

7 設定スイッチ②を押して 開始時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



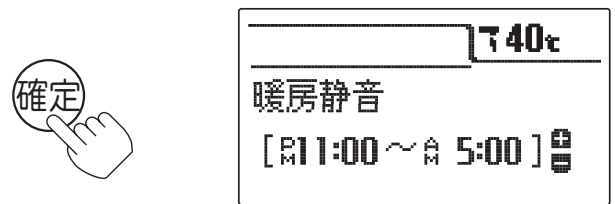
音声で「変更されました」とお知らせし、終了時刻が点滅します。

9 設定スイッチ②を押して 終了時刻を設定する



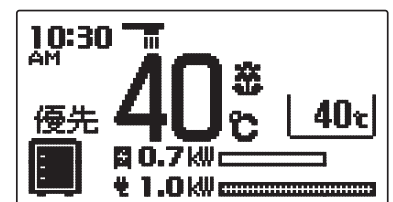
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

10 確定スイッチ③を押す



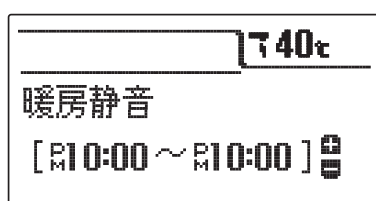
設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

11 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

暖房静音時間をやめたいときは



開始時刻と終了時刻を同じ時刻にしてください。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には設定されていません。
- 「10」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

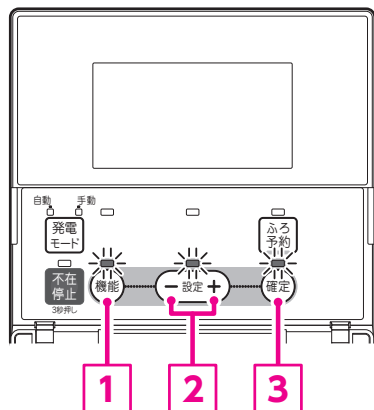
暖房運転の設定

運転スイッチがない暖房端末機（パネルヒーターなど）を台所リモコンで運転する場合に設定します。

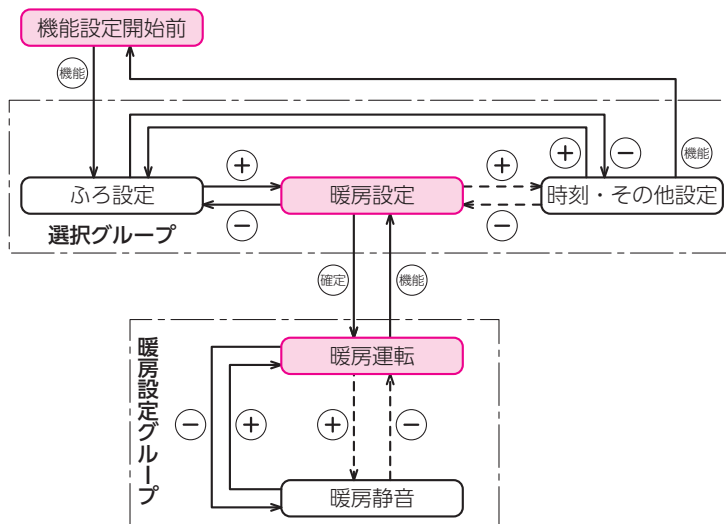
運転スイッチがある暖房端末機（浴室暖房乾燥機・ファンコンベクター・ルームヒーター・床暖房など）を運転する場合は設定する必要はありません。ただし、運転スイッチの操作だけでは暖房運転できない暖房端末機の場合は、設定を行ってください。

設置時の設定によってはこの機能は使用できません。（その場合は暖房設定グループの「暖房運転」表示はありません。）

台所リモコン

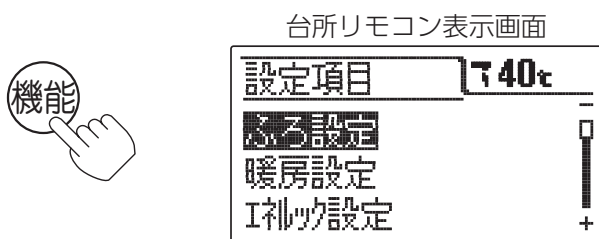


機能設定の順序

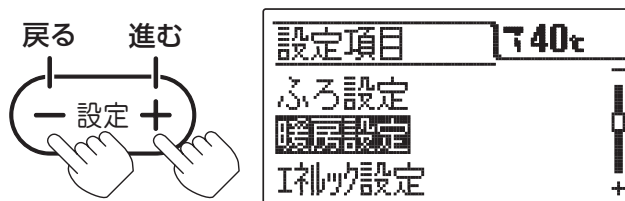


1 ふたを開く

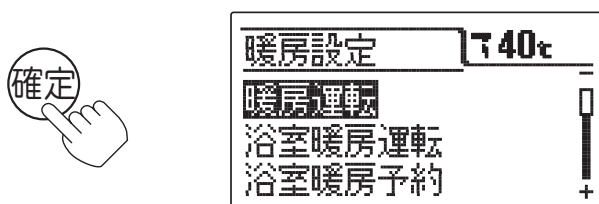
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する

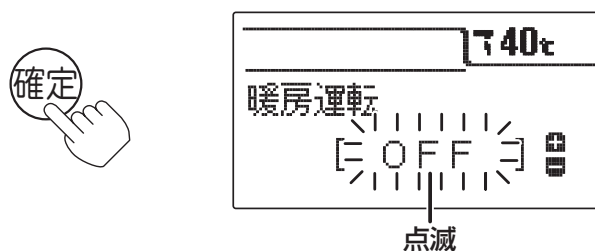


4 確定スイッチ③を押す



暖房設定グループの項目を表示します。

5 再度確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

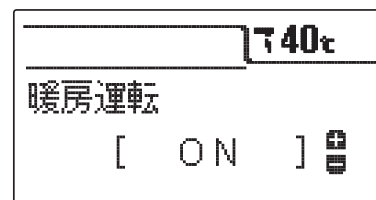
暖房運転の設定

6 設定スイッチ②を押して暖房運転を設定する



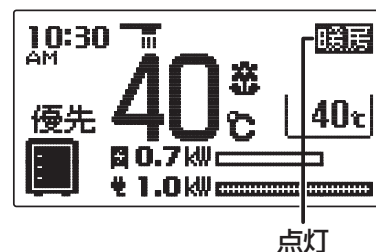
設定スイッチを押すごとに ON ↔ OFF を交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

暖房運転をやめたいときは

「6」で設定を「OFF」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても暖房運転は停止しません。



お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「OFF」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

発電モードの設定

学習機能によって自動的に発電する自動モードと、電気使用量に応じて発電量を調節する手動モードが選択できます。

58ページ

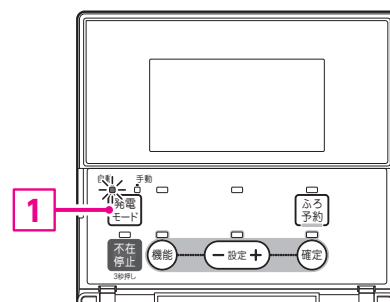
通常は自動モードに設定してください。

燃料電池発電ユニットで発電した電力を販売することはできません。

日付・現在時刻・暗証番号の設定が行われていないと発電できません。

30・31ページ 62ページ

台所リモコン

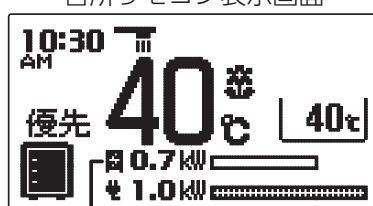


1

発電モードスイッチ①を押して自動ランプまたは手動ランプを点灯させる

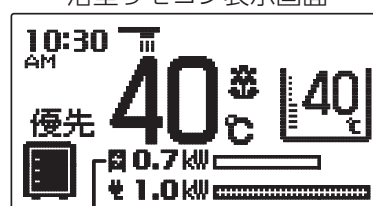


台所リモコン表示画面



点灯(発電中のみ)

浴室リモコン表示画面



点灯(発電中のみ)

音声で「変更されました」とお知らせします。

発電すると発電表示でお知らせします。

26ページ

お知らせ

- 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気を使うことができます。＜自立運転機能＞ 63ページ
- 燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合、停電中は発電することができませんが、停電復帰後は自動で運転を再開します。なお、約24時間以上停電した場合は、再通電後に日付・時刻の入力、暗証番号を入力する画面を表示することがあります。入力をしないと発電はできません。 30・31ページ 62ページ
- 約24時間以上停電すると学習機能の記憶は失われることがあります。
- 貯湯タンク内のお湯が沸き上がっている場合は発電しないことがあります。
- 現在時刻が未設定の場合は自動的に発電しません。 30・31ページ
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 給湯スイッチが「切」でも発電中は発電表示が点灯します。
- 学習機能をより効果的に利用するためお湯はりの設定を行ってください。 60・61ページ
- 旅行などで48時間以上ご不在になる場合は、「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」で発電を停止させてください。 59ページ

発電モードの設定

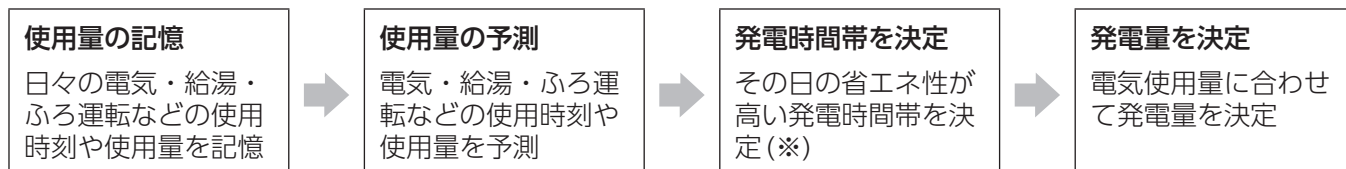
発電の学習機能について

学習機能とは電気・給湯の使用・ふろ運転などの使用時刻や使用量を記憶し、これに基づいてその日の最適な発電運転を決定する機能です。給湯の使用量によっては発電運転を停止することもあります。

学習機能を元に運転するので、お湯の使用量が不規則な場合は最適な発電運転が行えないことがあります。

なお、自立運転時は学習機能は働きません。

●学習機能の流れ

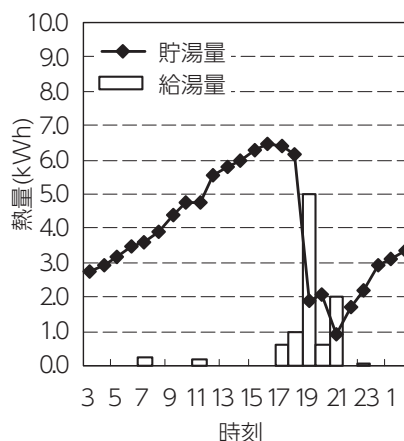
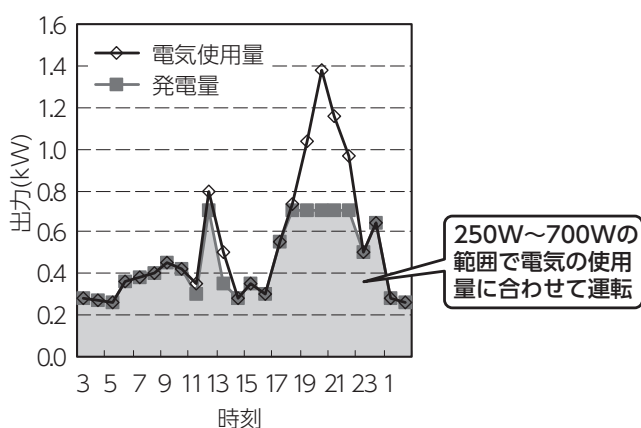


※ 予測と異なる使用状況の場合は使用状況に応じて変動します。

●使用状況に応じて運転を自動的に切替えます。

連続運転

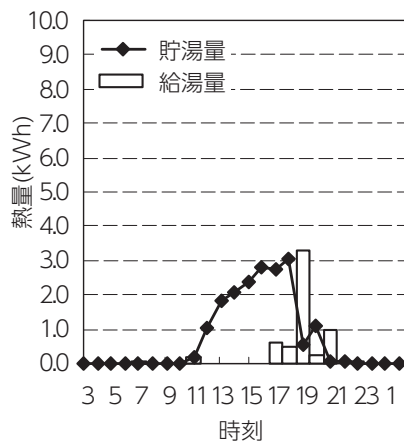
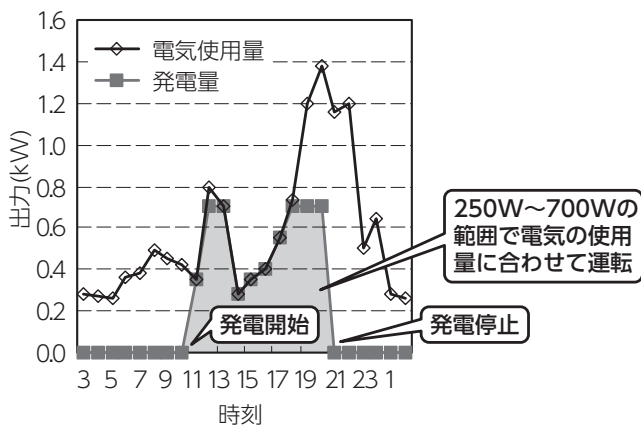
標準的な量でほぼ毎日お湯を使う場合(毎日お湯はりする場合など)、燃料電池発電ユニットを連続して運転させます。手動モードはお湯の使用量に関係なくこの運転を行います。



お湯の貯まり具合により発電量を調節することがあります。

起動・停止運転

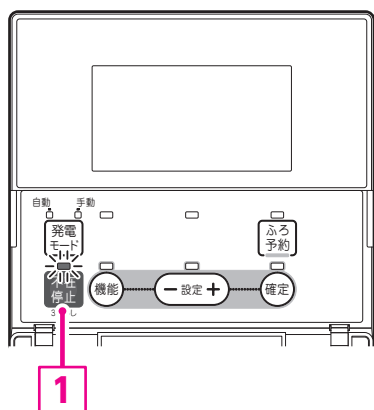
お湯の使用量が少ない場合、燃料電池発電ユニットを起動・停止させる運転です。



ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)

旅行などで48時間以上不在になったり使用しない場合にご利用ください。
凍結予防運転以外のすべての運転(発電・給湯・暖房など)を停止します。

台所リモコン



1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

暖房運転の予約中に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を設定しても、予約時刻になると暖房運転を開始し、「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」が解除されます。必ず暖房運転の予約を解除してください。

再び使用するときは



不在停止スイッチ①を押してください。
音声で「不在停止を解除します」とお知らせします。
給湯スイッチ、接続している暖房端末機の運転スイッチを押すことでも解除できます。
このときは音声でお知らせしません。

2 不在停止スイッチ①を約3秒間押す



音声で「不在停止します」とお知らせします。
運転が停止するとすべての表示が消灯します。
暖房運転中は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を受け付けません。音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。

お知らせ

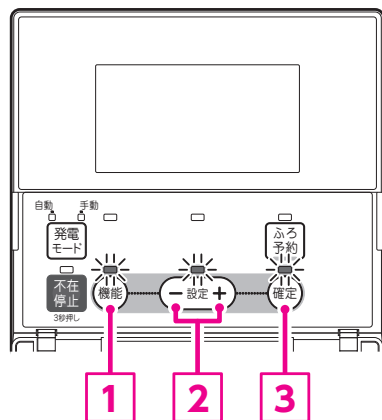
- 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を設定しないとリモコンの給湯スイッチを「切」にしても発電を行います。
- 排熱利用給湯暖房ユニットを48時間以上使用しない場合は自動的に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」になります。このとき不在停止ランプが点灯します。
- 落雷のおそれがある場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってから、ブレーカを切ってください。
- 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行っても凍結予防運転をするために補助熱源機が燃焼することがあります。電源・ガスを切らないでください。
- 発電中に「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を頻繁に行うと機器の寿命低下の原因になります。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)することはできません。

経済的な運転をしたい場合

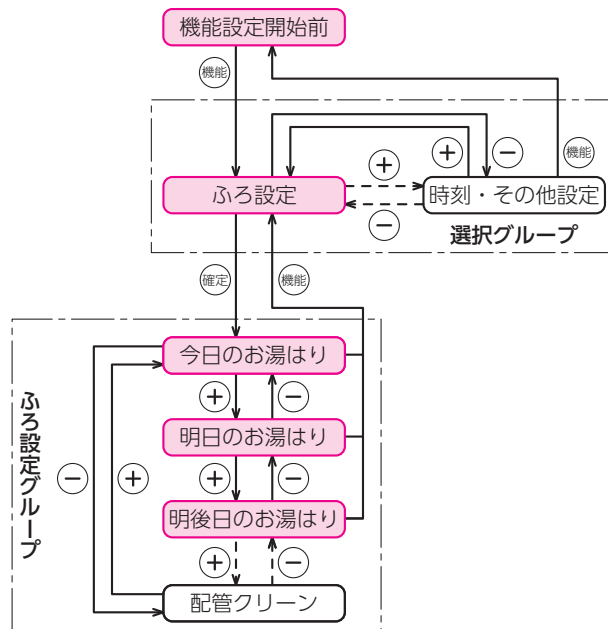
お湯はりの設定

旅行などでお風呂に入らない日に、お湯はり用のお湯を貯めないように発電運転をさせることができます。お湯はりを「なし」に設定した日には貯湯量を調節することにより経済的な運転を行います。今日・明日・明後日の3日間の設定ができます。(設定を変えなければお湯はりは「あり」になります。)

台所リモコン

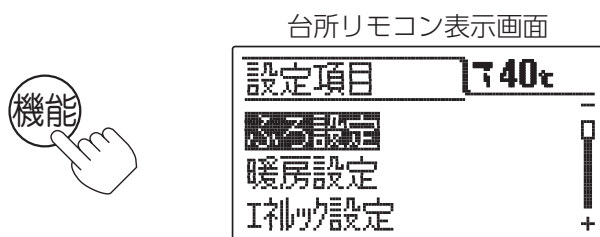


機能設定の順序

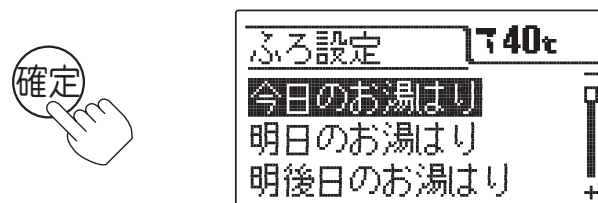


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

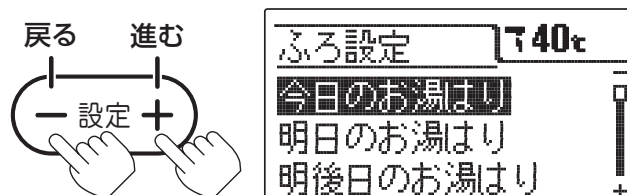


3 確定スイッチ③を押す

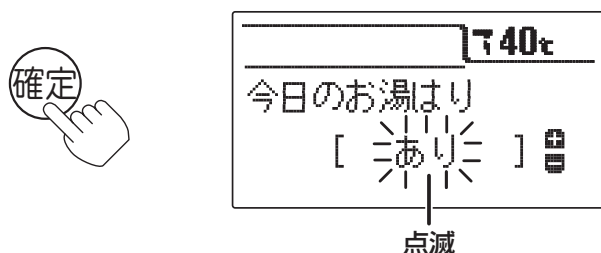


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して 「今日のお湯はり」 「明日のお湯はり」 「明後日のお湯はり」の いずれかを選択する



5 確定スイッチ③を押す



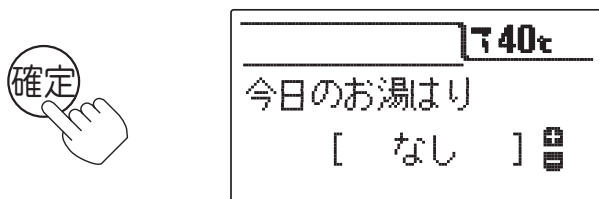
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して お湯ほりを設定する



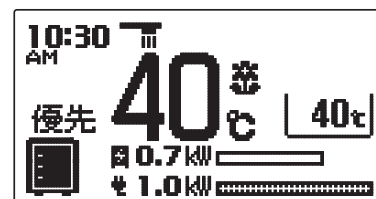
設定スイッチを押すごとにあり<=>なしを交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

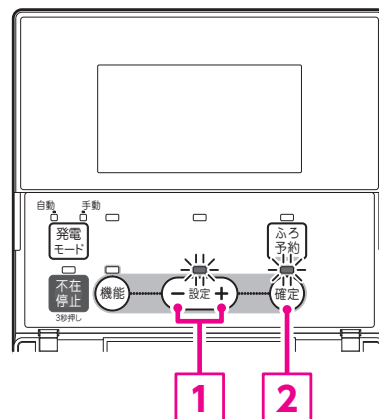
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- ふろ予約スイッチを「入」にすると、「なし」に設定した日でも学習機能に基づいた貯湯量の調節を行います。
- 午前0時を過ぎると「明後日」の設定内容は「明日」の設定に、「明日」の設定内容は「今日」になります。
「明後日」の設定内容は「あり」になります。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

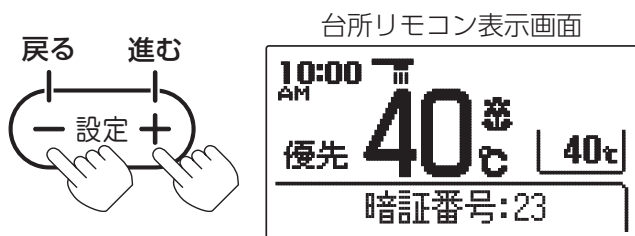
暗証番号について

停電やブレーカを切った状態が約24時間以上続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。

台所リモコン



1 設定スイッチ①を押して暗証番号を選択する



1回ずつ押すと1単位、押し続けると早く変わります。

2 確定スイッチ②を押す



暗証番号があれば発電ができるようになります。
暗証番号を間違えている場合は「発電要手続き」・「メン
テ会社へ連絡」を交互に表示します。


お知らせ

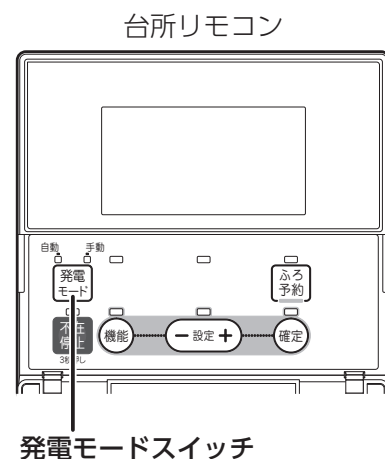
- 暗証番号とは機器を設置業者からお客様に引き渡される際に、お客様に登録していただく数字です。
暗証番号を登録することで燃料電池発電ユニットが運転できる状態になります。
- 暗証番号を登録していない場合は2桁の数字を入力してください。
登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。
電話番号の下2桁など覚えやすい数字をおすすめします。
- 既に登録している場合は登録した暗証番号を入力してください。運転できるようになります。
- 暗証番号を忘れた場合は担当のメンテナンス会社にご相談ください。
- 暗証番号を入力しない状態でも発電以外の操作は行えます。

停電時に電気を使う

- 燃料電池発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使うことができます。＜自立運転機能＞
 - ※ 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 燃料電池発電ユニットが発電を停止しているとき
 - ・マイコンメーターの安全機能確認により、運転を停止しているとき（26日間連続で運転した場合、1日停止）
 - ・学習機能により、省エネのため運転を停止させているとき
 - ・お客さまのリモコン操作（不在停止・手動停止）により運転を停止させているとき
- 自立運転機能で利用できる電気の量は約350Wです。
 - ※ 排熱利用給湯暖房ユニットで使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は350Wよりも少なくなります。
- 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
自立運転専用コンセントには「**エネファーム自立運転専用**」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧して5分経過すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 自立運転機能は停電時のみ、お使いください。本来の機能、メリットを損なってしまいます。

1. 停電前に

- 計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - ・マイコンメーターの安全機能確認により発電が停止することを避けるため、停電予定期間の2～3日前に「**発電モードスイッチ**」を5秒間押して、あらかじめ発電を連続24時間以上停止させる。
 - ・学習機能による省エネ運転のために発電が停止することを避けるため、停電予定時間の2時間以上前に「**発電モードスイッチ**」を押して、発電モードを「**手動**」にし、連続発電をさせる。
- 自立運転が行えない場合でも、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。  124ページ

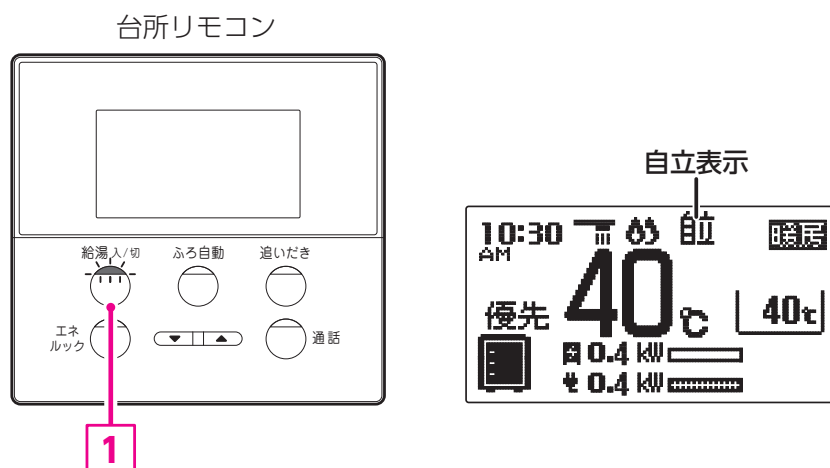


2. 停電時の対応

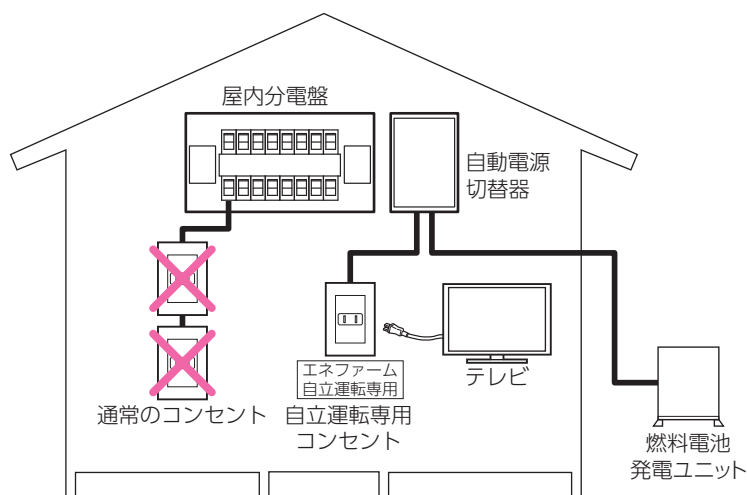
- 停電時に電気を使う場合は下記の手順を参照してください。お湯の使い方は通常の操作方法と変わりません。
- 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

136ページ

1 給湯スイッチ①を「入」にして、「自立」の表示がされていることを確認する



2 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- 自立運転専用コンセントには使用したい電化製品を一つずつ接続してください。もし消費電力が発電量を超えた場合、一時的に電気が使えなくなります。すぐに接続した電化製品を取り外してください。
- 消費電力が350Wを大きく上回る場合は約50秒後に発電を停止します。350Wを少し(5%程度)上回る場合は約300秒後に発電を停止します。
- 停電中に発電を停止すると、停電が復旧するまで発電を行うことができませんので、ご注意ください。
- 接続した電化製品の消費電力が発電量を超えないよう、運転状態をこまめに確認してください。

66ページ

警告

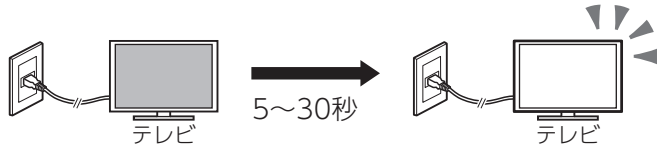
自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受ける恐れがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受ける恐れのある機器

お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は、排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力(数十W(※))と合わせて最大で約350Wです。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
※ 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、台所リモコンで発電量を確認しながらご使用ください。
- 停電が発生すると発電量は250Wから上昇し始めます。350Wまで使用可能になるのは、おおよそ4分かかります。電気を使用する際には台所リモコンで発電量を確認しながら行ってください。
- 電化製品の電源を入れたとき、電化製品の種類によっては一時的に使用できないことがあります。その場合、5～30秒ほど待つと使用できるようになりますので、電化製品をつないだままにしてください。



30秒ほど待っても使用できない場合は、消費電力が発電量を超えています。すぐに、使用する電化製品の数を減らしてください。

この状態を10回繰り返すと燃料電池発電ユニットは発電を停止し、停電が復旧するまで発電を再開することができません。

また、この間に日付・時刻の入力、暗証番号を入力する画面が表示されることがあります。設定を行ってください。(自立運転には支障ありません。)

30・31・62ページ

- 自立運転中に発電を停止させたい場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。(リモコンの発電モードボタンを長押しすることでも停止させることができます。停電が復旧したときは、発電モードボタンを押すことで再び発電を行うことができます。)
ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)することはできません。

59ページ

主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に350Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません)

製品名	参考型番	消費電力の目安(W)
携帯の充電器	—	15
卓上LED照明	—	20
ラジカセ	—	20
ガスファンヒーター	—	30
扇風機	東芝製 F-DLN100 ※1	40(※1は20)
液晶テレビ	東芝製 32RE2(32型) ※2	150(※2は90)
保温ポット	東芝製 PLK-22DE(2L)	900(湯沸し時)
電気炊飯器	東芝製 RC-10FE(5合炊き)	1100
ヘアードライヤー	東芝製 HDH-PPR100	1200

ご使用できません

発電運転

注意

ガスファンヒーターの使用について

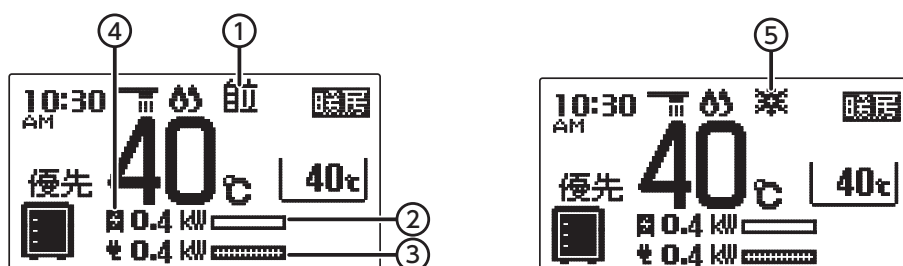
- ・ ガスファンヒーターをご使用中は部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1～2回(1分～2分)程度、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷で停電する場合は使用しないでください。
ガスファンヒーター運転中に停電が発生するとガスファンヒーターの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルター部や取っ手部分)が高温になり、手を触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合には、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

停電時に電気とお湯を使う

3. 停電中のリモコン表示

台所リモコンで給湯スイッチを「入」にしたときに、以下の表示がされます。

※ 停電中に燃料電池発電ユニットが停止している場合は電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
また、自立運転中に燃料電池発電ユニットが停止した場合も電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。(エラーコードは表示されません)

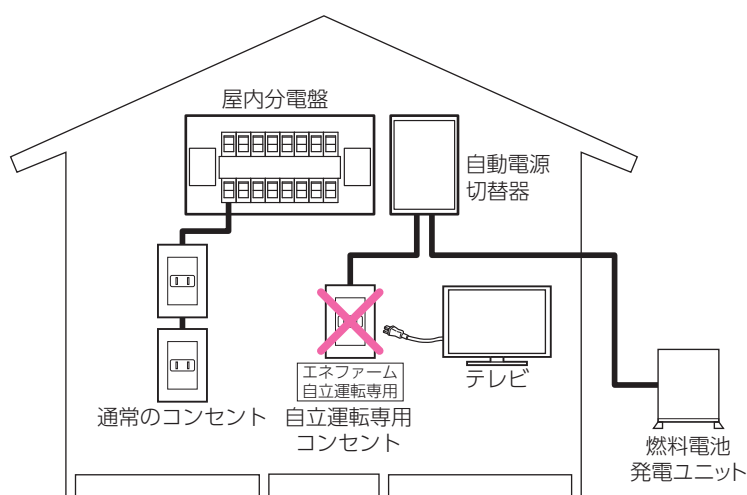


①自立運転表示	停電中に燃料電池発電ユニットが運転している場合、「自立」の文字が表示されます。
②発電量表示	発電量を表示します。なお、350Wの発電量は「0.4kW」と表示されます。
③電気使用量表示	ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。自立運転中はこの数値が発電量を超えないように注意してください。
④発電状態表示	発電状態を表示します。
⑤凍結防止運転表示	凍結防止運転に入ると、この表示になります。 排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力が増加するので、使用できる電力量にご注意ください。

※ 断水を検知してエラーコード「260」が発生したときは、①～⑤の表示は確認できませんが自立運転は続きます。

4. 停電が復旧したときの対応

自立運転専用コンセントから電化製品の電源プラグを抜く



- 停電が復旧して5分経過すると、自立運転専用コンセントへの電気の供給は自動的に止まります。(通常のコンセントに電気が供給されます)
- 停電復旧後、すみやかに電化製品の電源プラグを抜いてください。電化製品をつないだままにすると、次回の自立運転時に突然電気が流れ、機器の損傷や突然の動作による事故の原因になります。
- 停電が復旧したら、発電モードを「自動」に戻してください。(「自動」に設定後、学習制御機能により発電を行わない場合があります。)

エネルギー表示について

エネルギーとは

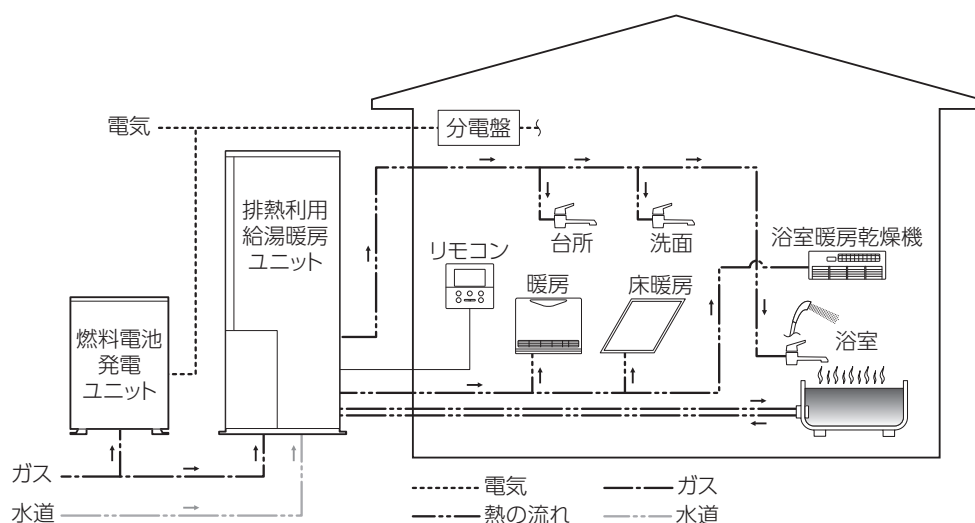
エネルギーとはエネファーム(排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット)で使用したガス・水道・電気の使用量・使用金額をリモコンに表示する機能です。また、使用量の目標を設定し実績と見比べることで日々のエネルギー消費状況をよりわかりやすく把握できます。

- ガス・水道・電気などの目安使用量や目安使用金額を表示しています。実際の使用量や使用金額とは異なります。
- 金額は設定した単価に使用量を掛けた値(従量料金)を表示しています。基本料金は含まれません。
- ご家庭で支払われる使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示される金額で請求されることはありません。
- エネルギーの機能をお使いいただくためには、「日付・時刻の設定」を行ってください。
- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには、「エネルギー表示の設定」でガス・水道・電気などの単価や目標値の設定を行ってください。データが表示されないなどの原因になります。
- 「エネルギー表示の設定」や別売のマルチ計測ユニットなどの取付けによって表示する項目や内容が異なります。
- 矢印の配管の使用分をデータとして積算しています。

30・31ページ

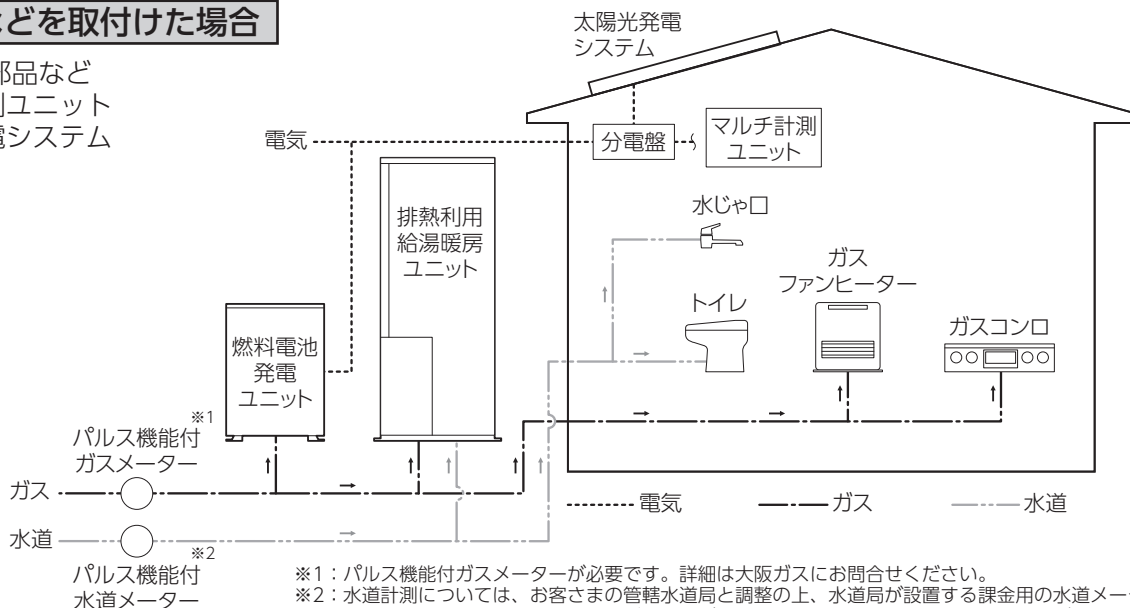
69ページ

標準



別売部品などを取付けた場合

- 必要な別売部品など
 - ・マルチ計測ユニット
 - ・太陽光発電システム



※1：パルス機能付ガスメーターが必要です。詳細は大阪ガスにお問合せください。

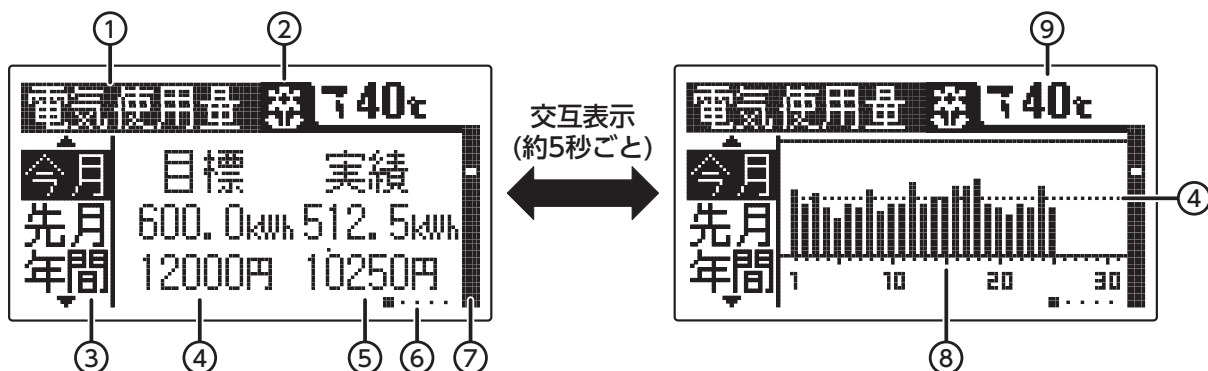
※2：水道計測については、お客さまの管轄水道局と調整の上、水道局が設置する課金用の水道メーターとは別に水量計測器を設置していただく必要があります。水道の計測については事前にご相談ください。

- マルチ計測ユニットと太陽光発電システムを取付けると太陽光発電の発電量・販売した電力量を表示します。
- 標準の表示では、排熱利用給湯暖房ユニットや燃料電池発電ユニットを通らないガスコンロ・ガスファンヒーターなどのガス使用量は含まれません。
マルチ計測ユニットとパルス機能付ガスメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します。
- マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

エネルギー表示について

電気・ガス・お湯・水道などの目安使用量・目安使用金額の実績を表示

例 今月の電気使用量



① 表示項目 {70 ページ}	④ 使用量や金額の目標値 (※1) {74~79・84・85 ページ}	⑥ 交互表示タイマー
② 達成マーク {80・81 ページ}	⑤ 期間中の量・金額・光熱費・一次エネルギー消費量の目安 {76~79・84・85 ページ}	⑦ 表示の順番
③ 期間 {82・83 ページ}		⑧ 1時間または1日の使用量 (※2)
		⑨ 給湯温度表示 (給湯「入」のときに表示します)

「エネルギー表示の順序」については70ページをご覧ください。

データを表示しないなどの場合は「エネルギー表示の設定」(上記表中の参照ページ)に従って設定を確認してください。

※1 目標値が中心になるように表示しています。

目標値を変更したときは、変更前のデータが正確に表現されない場合があります。

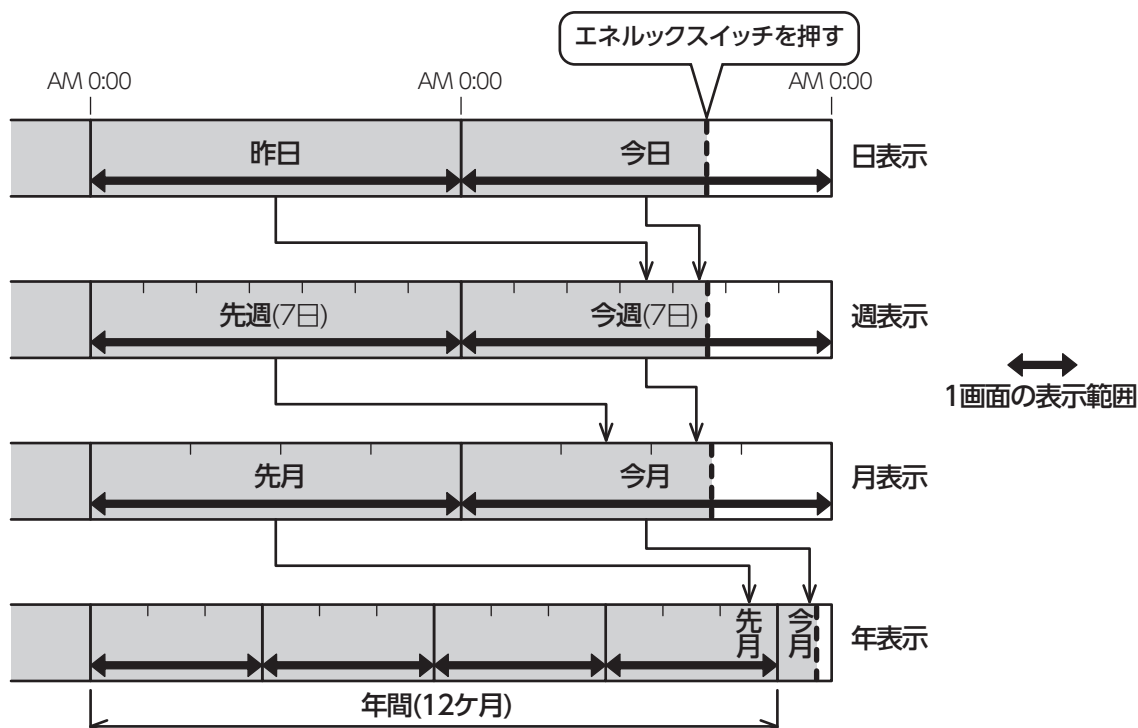
目標値が設定されていない場合は、最大値に合わせて表示します。

※2 年間データはグラフ表示されません。

●エネルギースイッチを押すと図のように一定期間ごとのデータを表示します。

●日付と現在時刻を設定するとエネルギーのデータの積算・保存を開始します。

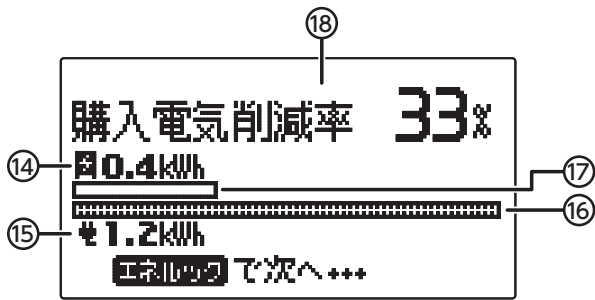
時刻を設定した日はPM11:59までのデータを一日分として保存します。



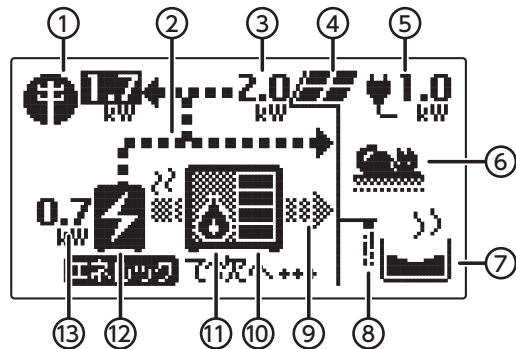
現在の電気・お湯などの利用状況を表示(エネルギーモニタ)

- 現在の電気やお湯の利用状況などがひと目でわかります。
 - エネルギースイッチを押すとエネルギーモニタ(削減率)を表示します。今日の発電による購入電気の削減率を表示します。
- 再度エネルギースイッチを押すとエネルギーモニタを表示します。

●エネルギーモニタ(削減率)



●エネルギーモニタ



① 購入電気量・販売電気量(※1・※2)	⑧ 給湯使用中	⑭ 今日の発電量
② 電気の流れ ▶…消費中、◀…販売中	⑨ 熱の流れ	⑮ 今日の電気使用量
③ 太陽光発電システムによる発電量(※1)	⑩ 貯湯量 {26 ページ}	⑯ 今日の電気使用量グラフ
④ 太陽光発電システム(※1)	⑪ 補助熱源機燃焼中	⑰ 今日の発電量グラフ
⑤ 電気使用量	⑫ 燃料電池発電ユニット ■…燃焼中	⑱ $\frac{\text{今日の発電量}}{\text{今日の電気使用量}} \times 100 (\%)$
⑥ 暖房使用中	⑬ 燃料電池発電ユニット ■…発電中、■…停止中	
⑦ ふろ使用中	⑭ 燃料電池発電ユニットによる発電量	

※1 太陽光発電システムを設置されている場合、別売のマルチ計測ユニットの取付け、「エネルギー表示の設定」などにより表示することができます。
「①購入電気量・販売電気量」の数字が購入電気量のときは黒字、販売電気量のときは白抜きになります。

※2 燃料電池発電ユニットは発電準備中・停止移行中・待機中(停止中)に電力を消費します。
購入電気量・電気使用量にはこの燃料電池発電ユニットの消費電力を含んでいます。

エネルギー表示を表示させるために

- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには「日付・時刻の設定」と表の「エネルギー表示の設定」を行ってください。

{30・31 ページ}

- 「エネルギー表示の設定」には表以外に下記の設定ができます。

「表示ジャンプ先の設定」

- ・エネルギースイッチを押して次の項目を表示させたときに、最初に表示する期間の設定

82・83 ページ

「エネルギー設定初期化・CO₂削減量クリアの設定」

- ・設定内容をお買い求め時の状態に戻す設定
- ・CO₂削減量の「最高」を消去する設定

86・87 ページ

●エネルギー表示の設定

目標値の設定

ひと月の使用量の目標値を設定

74・75 ページ

単価の設定

金額を求めるための単価を設定

76・77 ページ

光熱費計算の設定

光熱費として表示する項目を設定

78・79 ページ

達成マークの設定

80・81 ページ

表示有無の設定

エネルギー表示で表示する項目を設定

84・85 ページ

エネルギー金額表示の設定

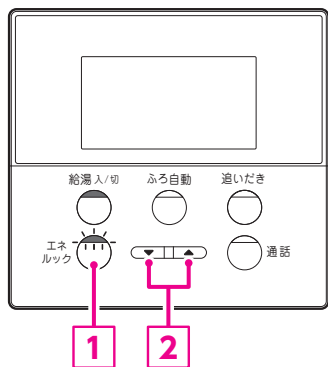
金額を表示させるかを設定
設定しないと単価を設定しても金額を表示しません。

84・85 ページ

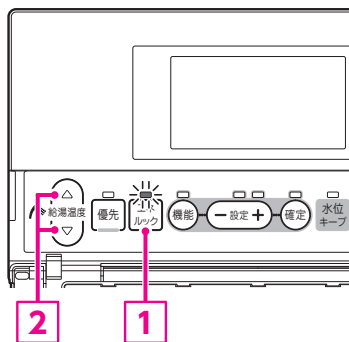
エネルギー

エネルギー表示

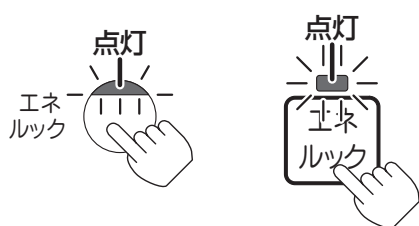
台所リモコン



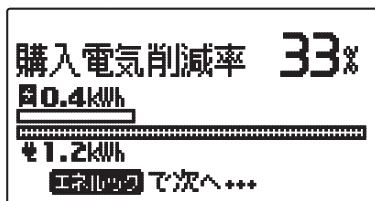
浴室リモコン



エネルギースイッチ①を押す

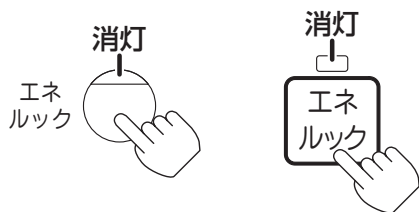


台所リモコン表示画面



以降はエネルギースイッチ①と給湯温度調節スイッチ②を押すごとに右の順序で表示します。

エネルギー表示をやめたいときは



エネルギースイッチを数回押すと通常の表示に戻ります。また、何も操作しない状態が約1分間続くと通常の表示に戻ります。

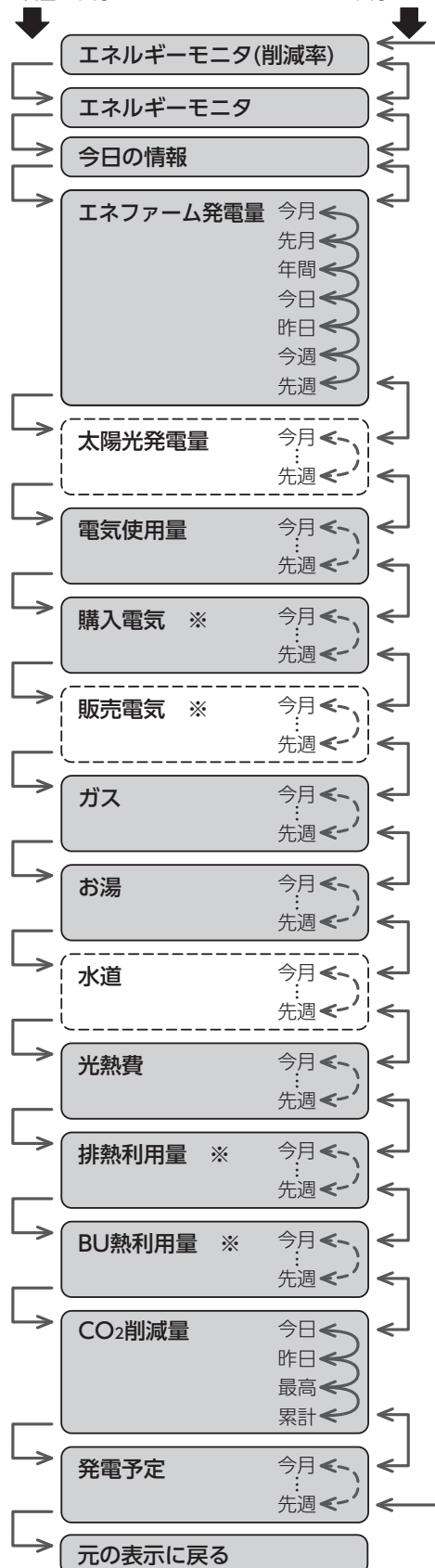
エネルギー表示の順序

①を押すごとに

次の項目を表示します。

②を押すごとに

ひとつずつ表示します。



※：お買い求め時は表示無しに設定されています。表示を行いたいときは「エネルギー表示の設定」で設定を行ってください。

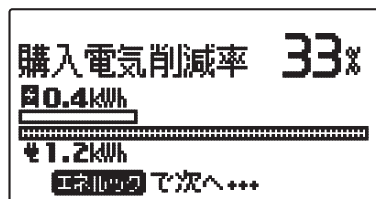
〔 〕：別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。水道を表示するとお湯は表示しません。

交互表示を一時的に停止したいときは

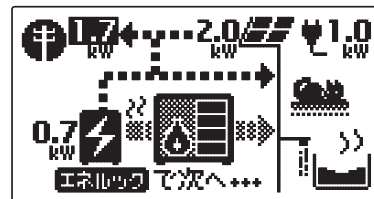
グラフ表示をする画面では数字とグラフを交互に表示します。
 確定スイッチを押すと確定ランプが点滅し、表示が停止します。
 再度確定スイッチを押すと交互表示に戻り、確定ランプが点灯します。
 また、何も操作しない状態が約2分間続くと通常表示に戻ります。



エネルギーモニタ (削減率) 69ページ

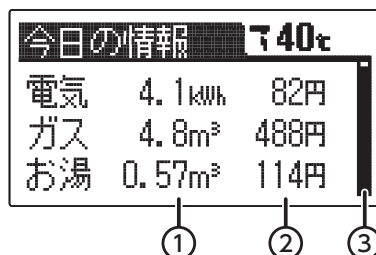


エネルギーモニタ 69ページ



今日の情報

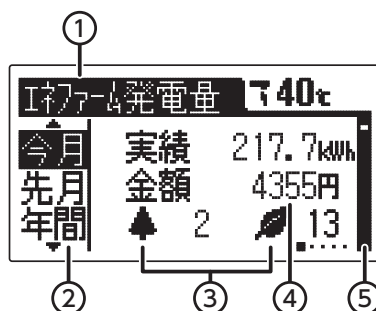
●今日の電気・ガス・お湯の使用量と金額を表示します。



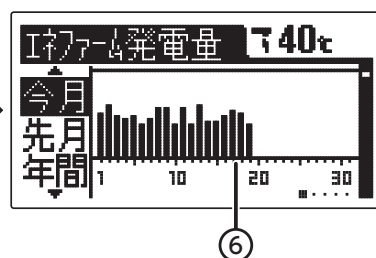
①	使用量の目安
②	使用金額の目安
③	表示の順番


エネファーム発電量・太陽光発電量・購入電気・販売電気

- エネファーム発電量は燃料電池発電ユニットで発電した電力量を表示します。
- 太陽光発電量は太陽光発電システムで発電した電力量を表示します。(※1)
- 購入電気は電力会社から購入した電力量を表示します。
- 販売電気は太陽光発電システムで発電した電力のうち電力会社に販売した電力量を表示します。(※1)



交互表示



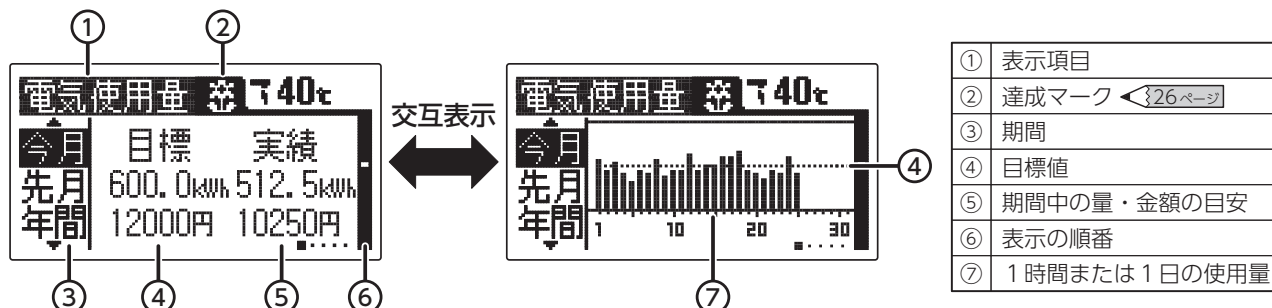
①	表示項目
②	期間
③	CO2削減量  73ページ
④	期間中の量・金額の目安
⑤	表示の順番
⑥	1時間または1日の使用量

※1 太陽光発電システムの設置、電力会社との販売契約、別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。

エネルギー表示

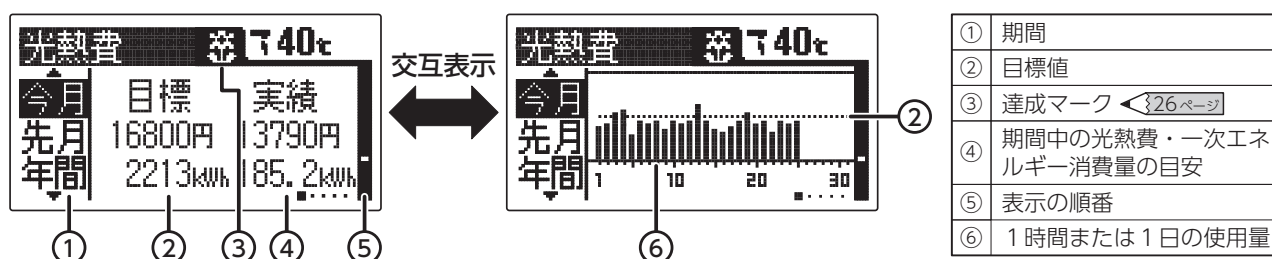
電気使用量・ガス・お湯・水道

- 電気使用量は家庭で使用したすべての電力量と目標値を表示します。
- ガス使用量は排熱利用給湯暖房ユニットと燃料電池発電ユニットで使用したガスの量と目標値を表示します。(※2)
- お湯使用量は排熱利用給湯暖房ユニットで使用したお湯の量と目標値を表示します。(※3)
- 水道使用量は家庭全体で使用したすべての水道量と目標値を表示します。(※3)



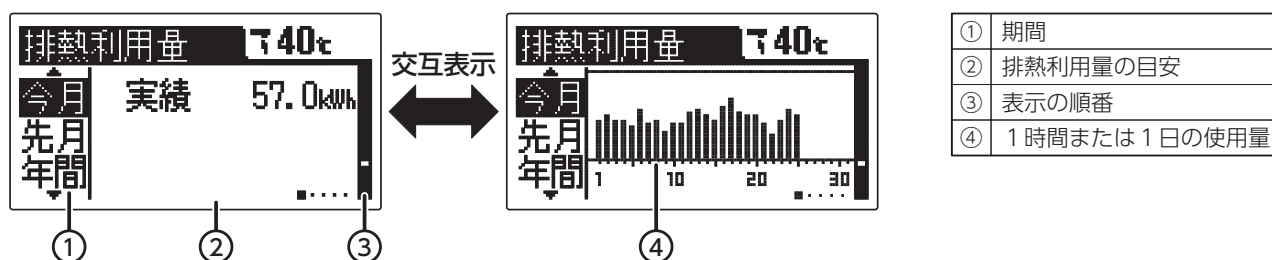
光熱費

- ガス・お湯(水道)・電気の目標値と一次エネルギー消費量を表示します。
- ガス・お湯(水道)・電気いずれか1つ、または合計して表示します。
- 「光熱費計算の設定」で「ガス+電気」を選択した場合のみ一次エネルギー消費量を表示します。(※4)



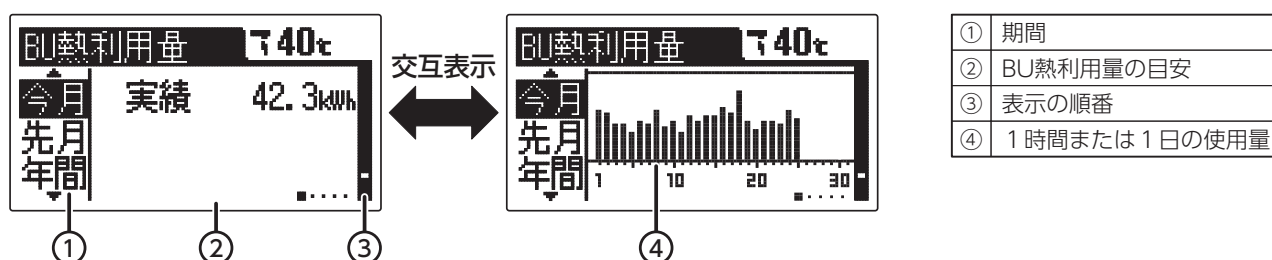
排熱利用量

- 燃料電池発電ユニットで生じた熱を排熱利用給湯暖房ユニットに貯湯して利用した熱量を表示します。



BU熱利用量

- 補助熱源を使って、給湯・ふろ自動・暖房に利用した熱量を表示します。



※2パルス機能付ガスメーターと別売のマルチ計測ユニットを取付けると排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット以外でのガスの使用(ガスファンヒーターやガスコンロなど)を含んだ家庭全体で使用したガス消費量を表示します。

※3パルス機能付水道メーターと別売のマルチ計測ユニットを取付けると水道の使用量を表示します。

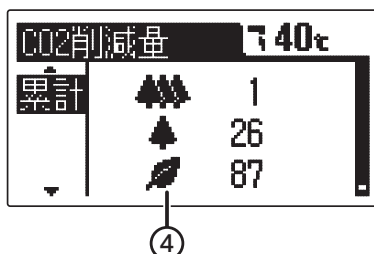
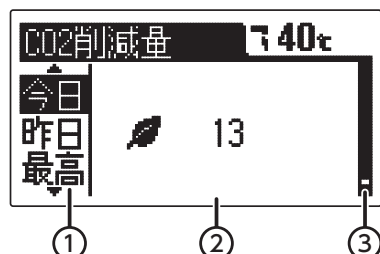
水道の使用量を表示するとお湯の使用量は表示しません。

※4エネルギー量表示は次の式にて算出しています。

$$\text{ガス量 (m}^3\text{)} \times \begin{cases} \text{都市ガスの場合: 12.5 (kWh/m}^3\text{)} \\ \text{LPガスの場合: 27.9 (kWh/m}^3\text{)} \end{cases} + \text{購入電気 (kWh)} / 0.369 \text{ (一次エネルギー換算量)}$$

CO₂削減量

- CO₂の削減量を杉の葉・木・森に置き換えて表示します。
- 杉の葉 1枚あたりのCO₂削減量は0.14kg
杉の木 1本あたりのCO₂削減量は14kg
杉の森 1つあたりのCO₂削減量は1400kgを表します。



①	期間
②	CO ₂ 削減量の目安
③	表示の順番
④	<p>…杉の森。杉の木100本分</p> <p>…杉の木。杉の葉100枚分</p> <p>…杉の葉。</p>

発電予定

- エネルギースイッチを押した時点での発電予定を表示します。
その後のお湯と電気の利用状況によっては予定通りに発電しないことがあります。



①	期間
②	発電予定(※)
③	表示の順番

※「連続運転」…一日中発電します。
「起動停止運転」…発電開始予定時刻と発電終了予定時刻を表示します。
「---:---~---:---」…発電予定はありません。

お知らせ

- 「表示有無の設定」で表示を「なし」または「しない」に設定した項目は表示しません。 84・85ページ
- 「単価の設定」で金額を設定していない場合や「表示有無の設定」でエネルギー金額表示を「しない」に設定した場合は金額の代わりに「ー」を表示します。 76・77・84・85ページ
- 一次エネルギー消費量とはガスのエネルギー量と電気を作るために必要なエネルギー量のことです。
- 停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示しなくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。
- 目標値および達成マークは設定しないと表示されません。 74・75・80・81ページ
- エネルギーの数値はエネルギー非表示状態からエネルギースイッチを押して表示させたときに、最新に更新されます。グラフは毎正時に更新されます。
- CO₂削減量は下記に基づいて算出しています。
CO₂削減量 = A + B - C (CO₂削減量がマイナスの場合はゼロとします。)
A: 燃料電池発電ユニットで発電したときに回収した熱を、一般的な給湯器でまかなった場合のCO₂排出量
[一般的な給湯器の効率(高位発熱量基準) 76%]
B: 発電した電気のうち家庭内で電気として利用された量を平均的な火力発電所でまかなった場合のCO₂排出量
[平均的な火力発電所のCO₂原単位 0.69kg-CO₂/kWh]
C: 発電のために消費した燃料のCO₂排出
[燃料のCO₂原単位 0.0586kg-CO₂/MJ]

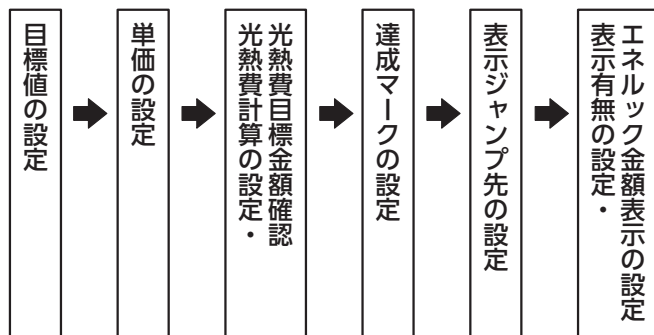
エネルギー表示の設定

- エネルギーの機能を充分お使いいただくためには右記設定と「日付・時刻の設定」を行ってください。

30・31ページ

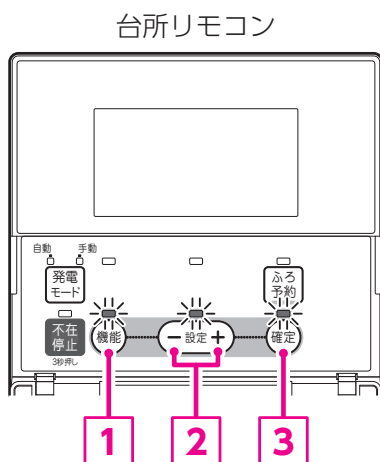
設定をしないとエネルギー表示のデータが一部表示されません。

- 別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しない項目があります。
- 停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示しなくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。

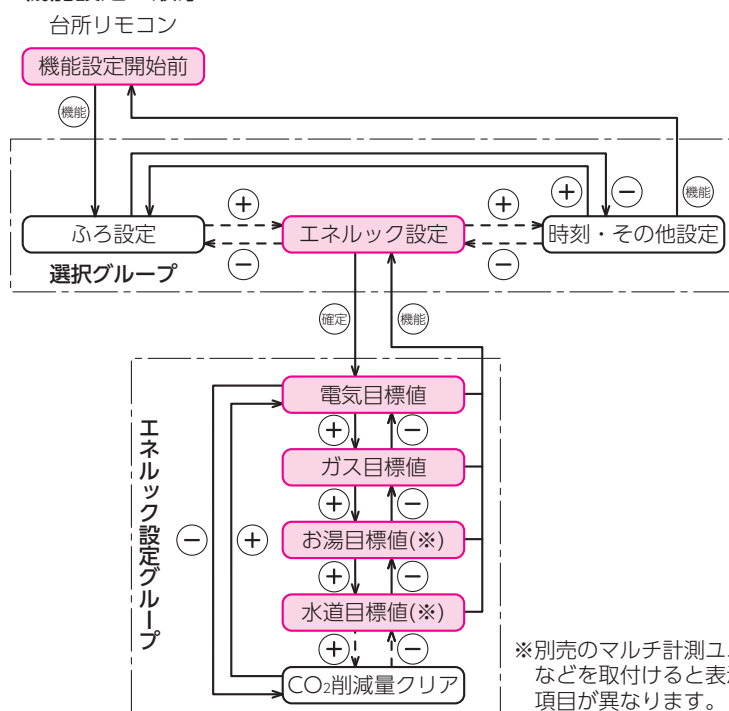


目標値の設定

- ひと月分の電気・ガス・お湯・水道の使用量の目標値を設定します。
目標値に対してどの程度達成できたかをエネルギー表示や達成マークでお知らせします。

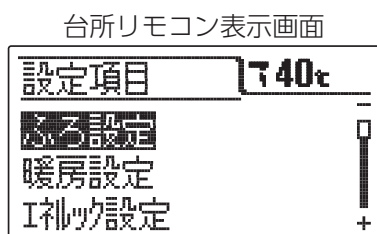


機能設定の順序

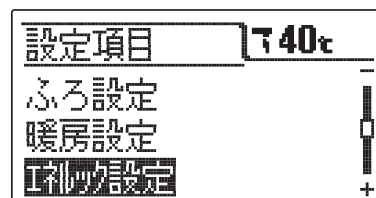
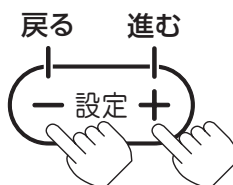


1 ふたを開く

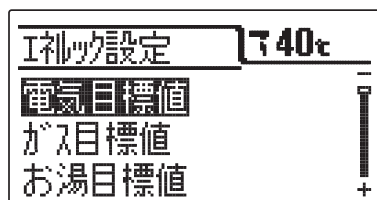
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

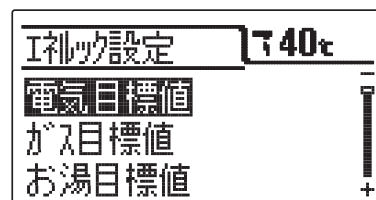
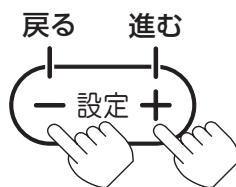


4 確定スイッチ③を押す

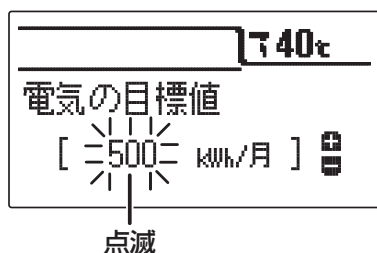


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して「電気目標値」「ガス目標値」「お湯目標値」「水道目標値」のいずれかを選択する

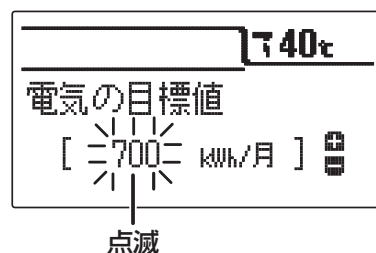
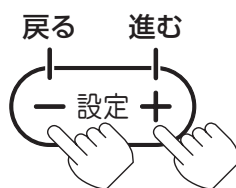


6 確定スイッチ③を押す



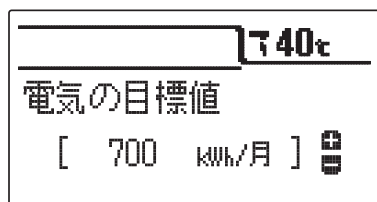
現在の設定が点滅します。
イラストは「電気目標値」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して目標値を設定する



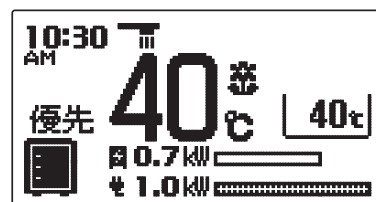
1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位、更に押し続けると100単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

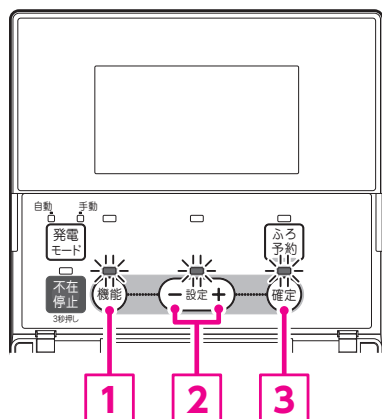
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は目標値の設定がされていません。
- 目標値を設定しないとエネルギー表示の目標値や達成マークを表示しません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

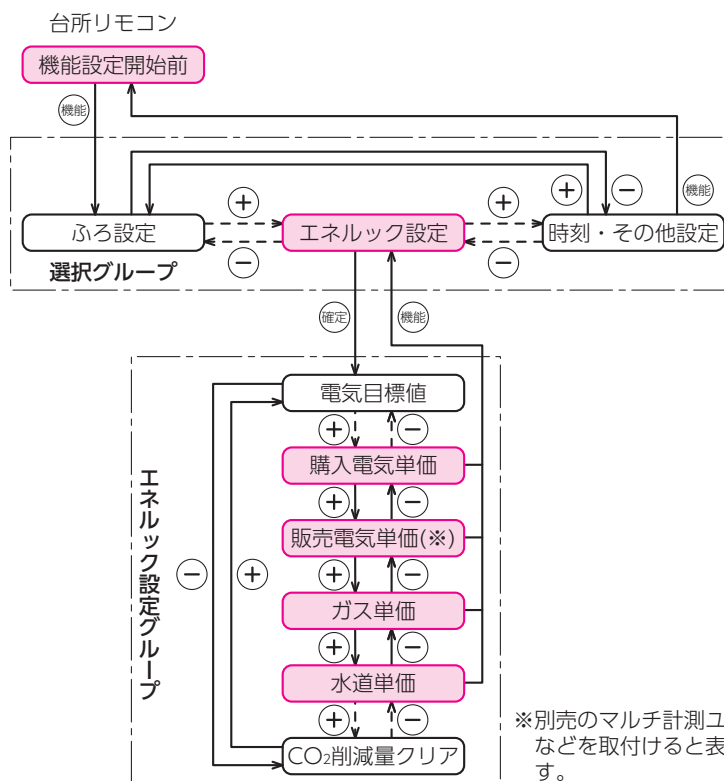
単価の設定

●お客様が契約している電力会社・ガス会社・水道局の「検針票」や「使用量のお知らせ」などを参考にして単価を設定します。

台所リモコン



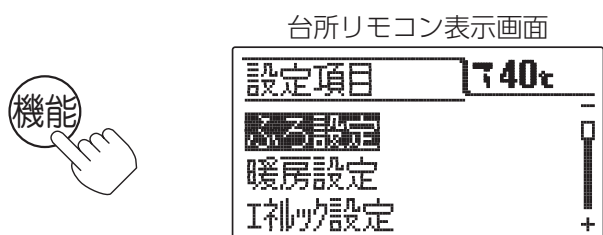
機能設定の順序



※別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると表示します。

1 ふたを開く

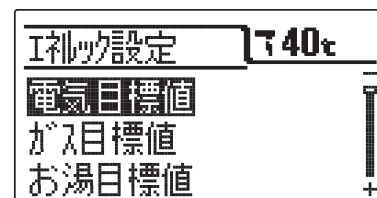
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

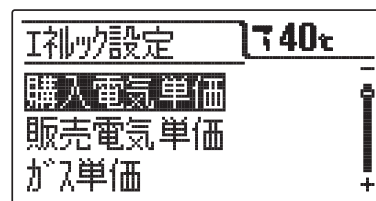


4 確定スイッチ③を押す

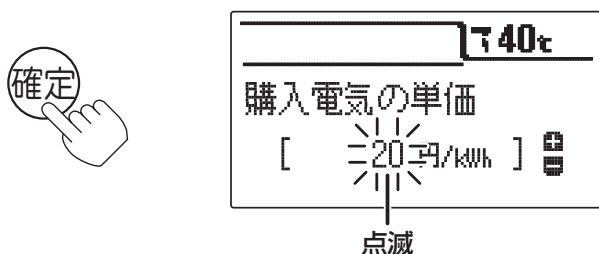


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「購入電気単価」 「販売電気単価」 「ガス単価」 「水道単価」の いずれかを選択する

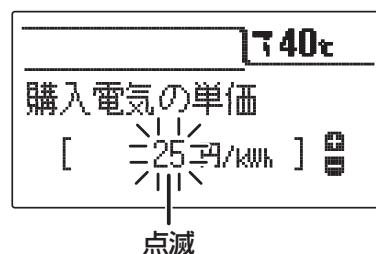
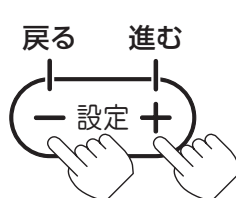


6 確定スイッチ③を押す



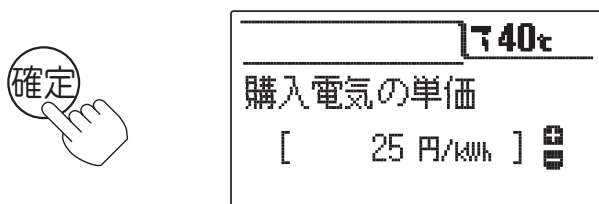
現在の設定が点滅します。
イラストは「購入電気単価」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 単価を設定する



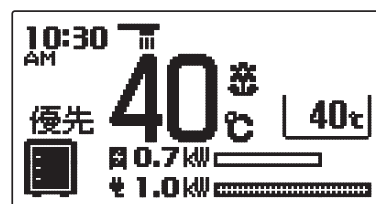
1 回ずつ押すと 1 単位、押し続けると 10 単位で変わります。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

ルエ
ツネ
ク

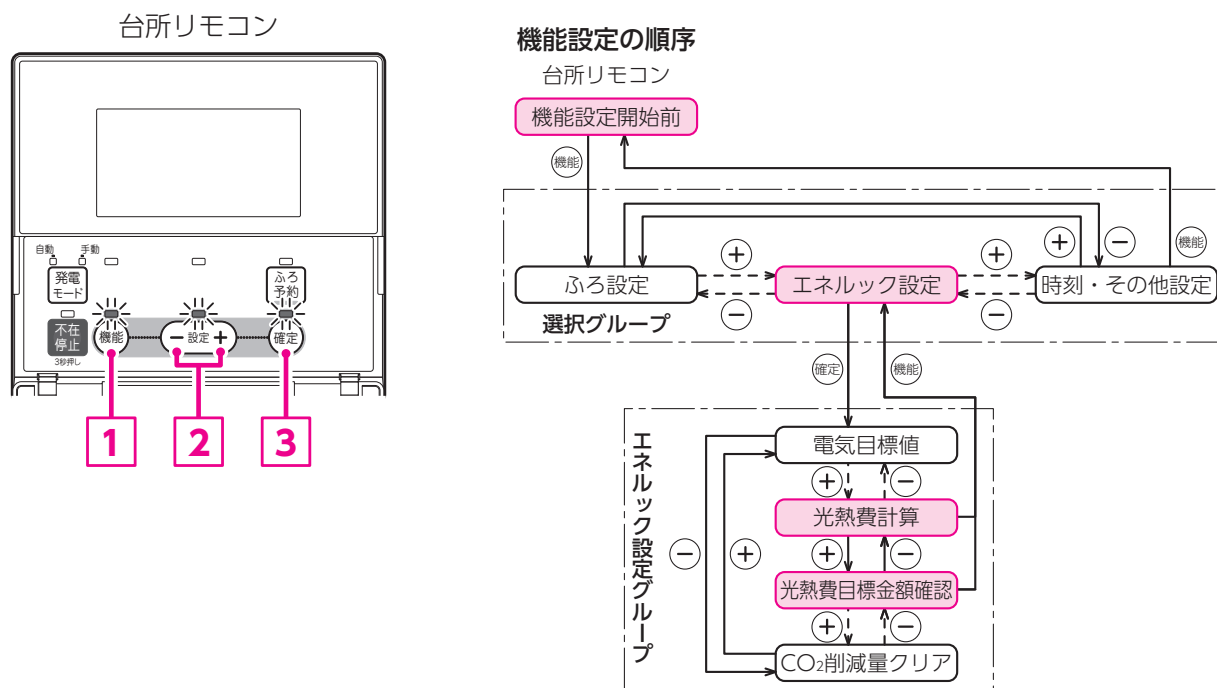
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「購入電気単価」・「販売電気単価」は「20 円」、「ガス単価」は「0 円」、「水道単価」は「200 円」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後（設定内容を表示中）、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

光熱費計算の設定・光熱費目標金額確認

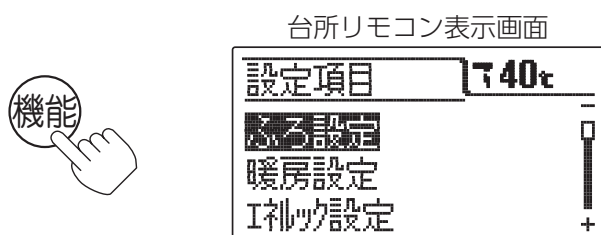
- 「光熱費計算」で「光熱費」の計算内容を設定します。計算内容はガス・電気・お湯の組み合わせにより決まります。
- 「光熱費目標金額確認」の光熱費計算で設定した内容の目標金額の合計を表示します。



- 「光熱費目標金額確認」の場合は**7・8**の操作は不要です。

1 ふたを開く

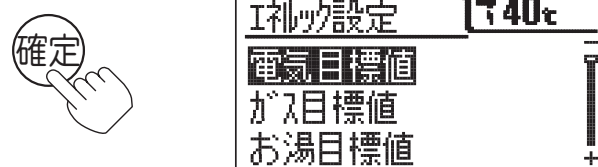
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

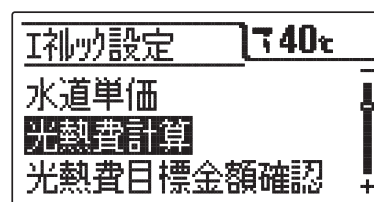


4 確定スイッチ③を押す



エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「光熱費計算」 「光熱費目標金額確認」の いずれかを選択する

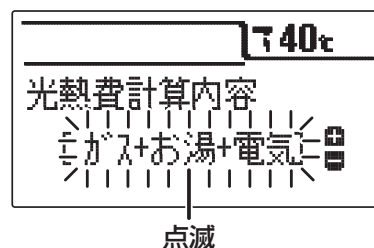


6 確定スイッチ③を押す



光熱費計算の場合は現在の設定が点滅します。
光熱費目標金額確認の場合は目標金額を表示します。
イラストは「光熱費計算」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 光熱費計算を設定する

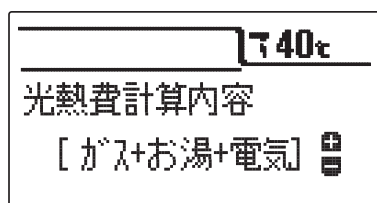


設定スイッチを押すごとに

ガス+電気 ↔ お湯+電気 ↔ ガス+お湯+電気
↑ ↓
ガス+お湯 ↔ 電気 ↔ お湯 ↔ ガス ↔ OFF

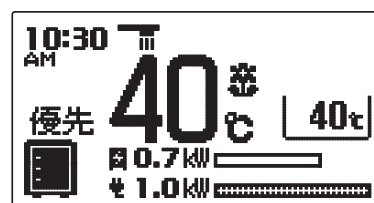
の順で変更できます。
(お湯表示は別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると水道表示になる場合があります。)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

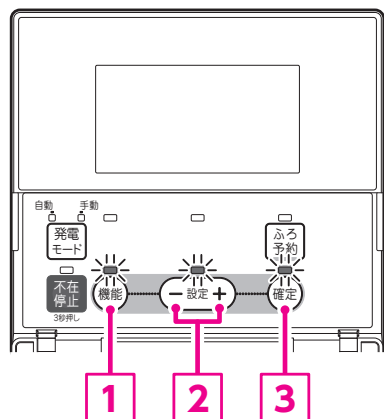
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 「光熱費計算」はお買い求め時に「ガス+電気」に設定されています。
- 「光熱費計算」を「OFF」に設定すると「光熱費目標金額確認」は「---円」を表示します。
- 「光熱費計算」の設定内容すべてに目標値を設定してください。設定していないと金額表示は「---円」を表示します。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネルギー表示の設定

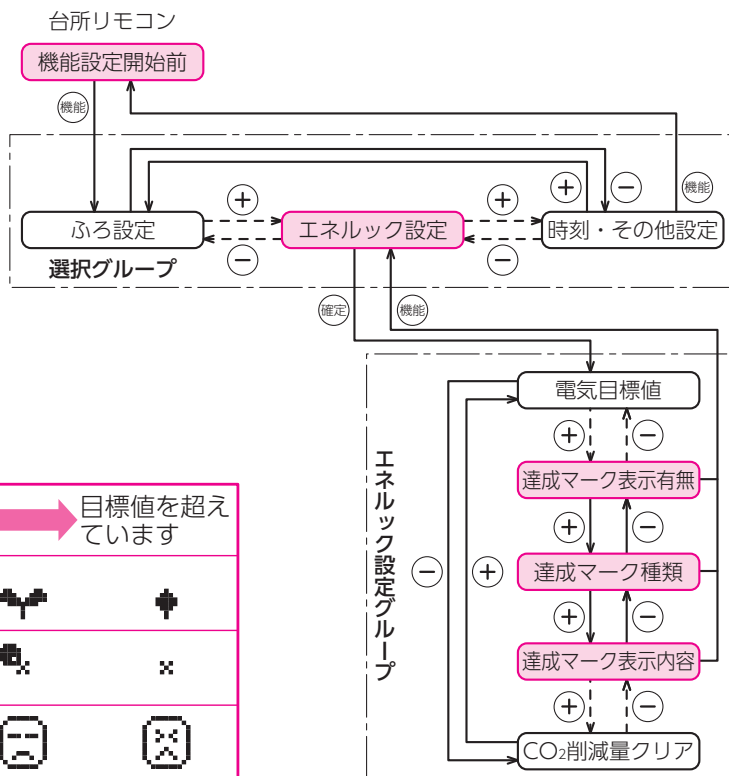
達成マークの設定

- 達成マークは目標を設定した項目の目標値に対する達成度合を各項目と通常画面（エネルギーモニタ表示を除く）に表示します。
- 「達成マーク表示有無」で達成マークを表示するかしないかを設定します。
- 「達成マーク種類」で3種類の達成マークのうちどれを表示させるかを設定します。
- 「達成マーク表示内容」でどの項目の今週の目標値達成状況を通常画面に表示するかを設定します。

台所リモコン



機能設定の順序

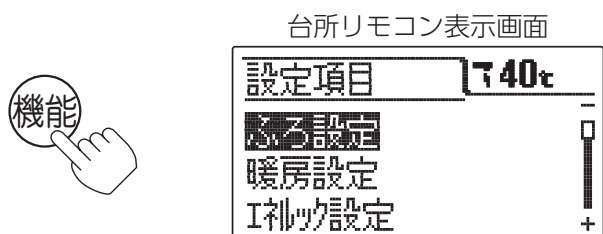


●達成マークの種類

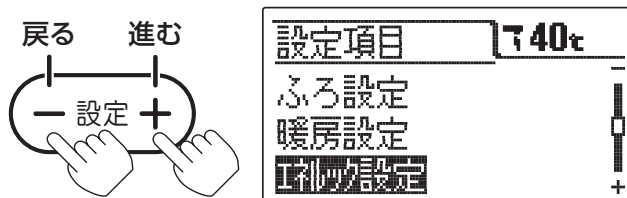
達成度	目標値を大きく達成しています	ほぼ目標値どおり	目標値を超えています
花			
クローバー			
顔			

1 ふたを開く

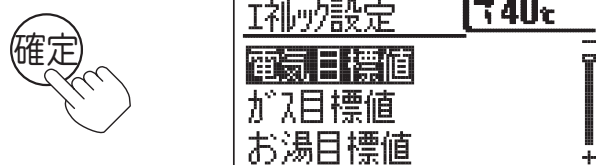
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

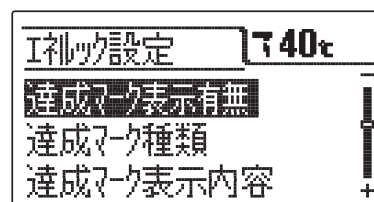
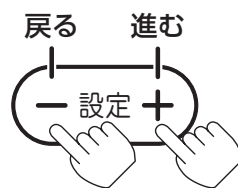


4 確定スイッチ③を押す

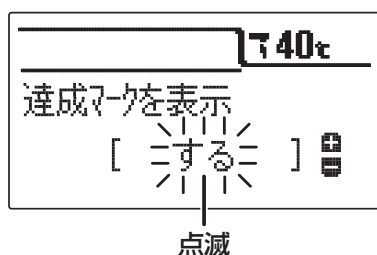


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「達成マーク表示有無」 「達成マーク種類」 「達成マーク表示内容」の いずれかを選択する

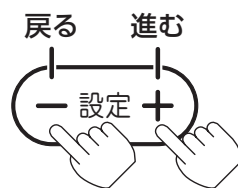


6 確定スイッチ③を押す



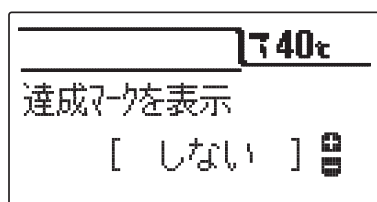
現在の設定が点滅します。
イラストは「達成マーク表示有無」を選択した場合です。

7 設定スイッチ②を押して 達成マークを設定する



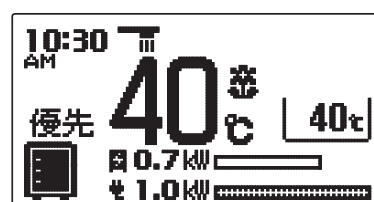
- 達成マーク表示有無の場合
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。
- 達成マーク種類の場合
設定スイッチを押すごとに花<=>クローバー<=>顔の順で変更できます。
- 達成マーク表示内容の場合
設定スイッチを押すごとに電気使用量<=>ガス<=>お湯<=>光熱費の順で変更できます。
(お湯表示は別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると水道表示になる場合があります。)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる

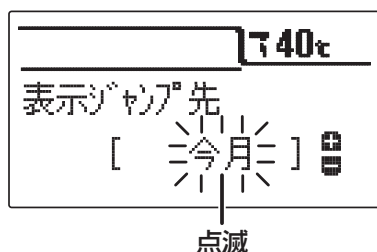


通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

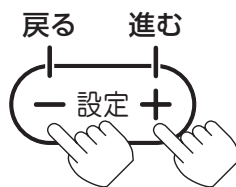
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 「達成マーク表示有無」を「する」に設定しても、「目標値の設定」を設定していない場合は表示しません。
- お買い求め時の設定は「達成マーク表示有無」は「する」、「達成マーク種類」は「花」、「達成マーク表示内容」は「電気使用量」です。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

6 確定スイッチ③を押す



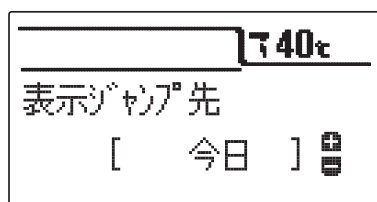
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して表示ジャンプ先を設定する



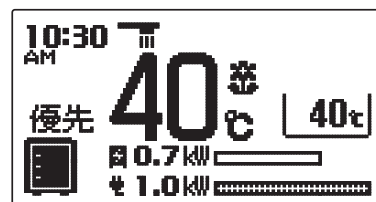
設定スイッチを押すごとに
 今月<=>先月<=>年間<=>今日の順で変更できます。
 ↑先週<=>今週<=>昨日↑

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常が表示に戻ります。
 約40秒間放置しても通常が表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「今月」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常が表示に戻ります。

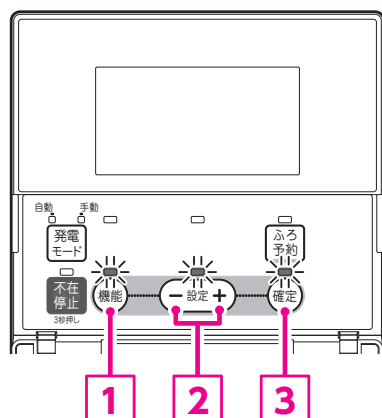
エネルギー表示の設定

表示有無・エネルギー金額表示の設定

- 「表示有無○○○○」でエネルギー表示の各項目を表示するかしないかを項目ごとに設定します。また、「エネルギーモニタ」は給湯スイッチを「切」にしたときに表示させることができます。
- 「エネルギー金額表示」でエネルギー表示の各項目に金額を表示するかしないかを設定します。「する」に設定すると「単価の設定」で設定した金額に基づいて金額を表示します。

76・77ページ

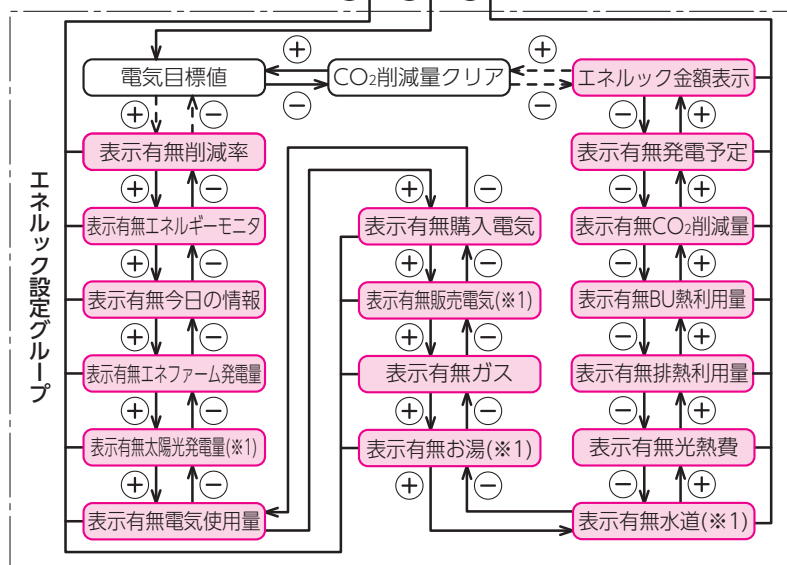
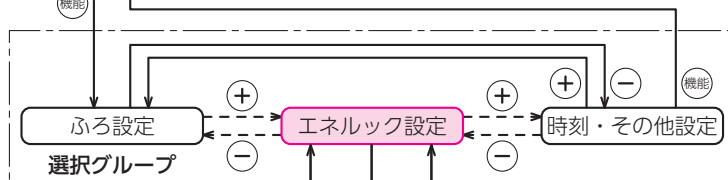
台所リモコン



機能設定の順序

台所リモコン

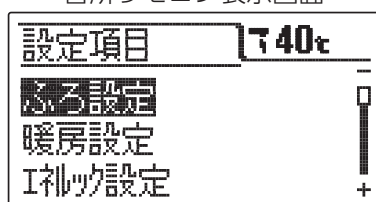
機能設定開始前



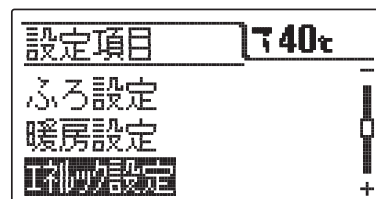
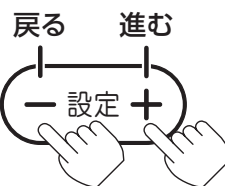
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

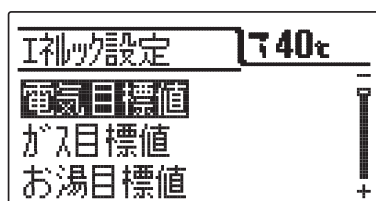
台所リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

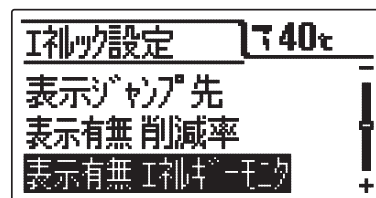
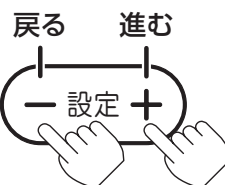


4 確定スイッチ③を押す

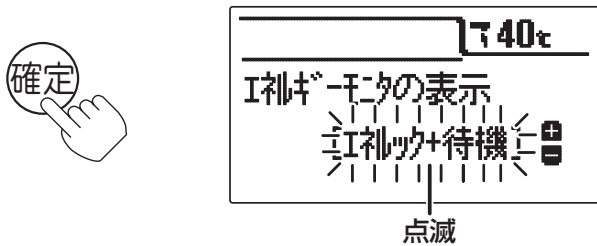


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して「表示有無○○○○」「エネルギー金額表示」のいずれかを選択する

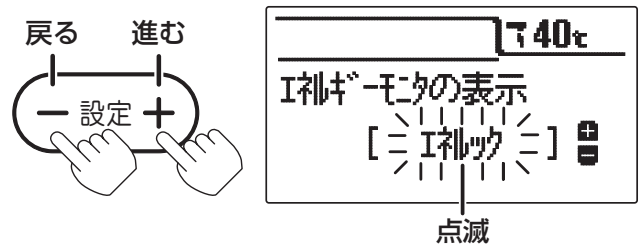


6 確定スイッチ^③を押す



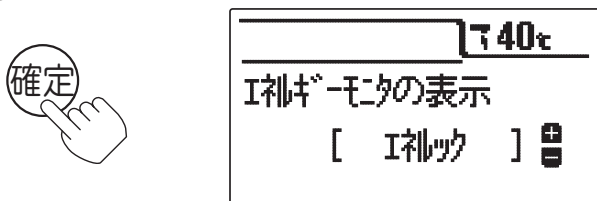
現在の設定が点滅します。
イラストは「表示有無エネルギーモニタ」を選択した場合です。

7 設定スイッチ^②を押して表示有無を設定する



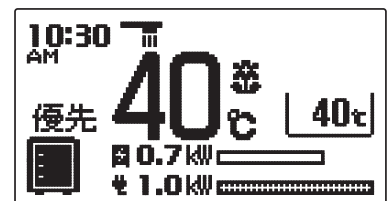
- 表示有無エネルギーモニタの場合(※2)
設定スイッチを押すごとに
エネルギー+待機<=>エネルギー<=>なしの順番で
変更できます。
- 表示有無エネルギーモニタ以外の場合
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

8 確定スイッチ^③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は表のように設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

※1 別売のマルチ計測ユニットなどを取付けると表示する項目が異なります。

※2 表示有無エネルギーモニタの設定について

「エネルギー+待機」を選択する…エネルギー表示の2番目と給湯スイッチを「切」にしたときに表示します。

「エネルギー」を選択する……………エネルギー表示の2番目に表示し、給湯スイッチを「切」にしたときは表示しません。

「なし」を選択する……………エネルギー表示で表示しません。給湯スイッチを「切」にしたときにも表示しません。

17・21ページ

お買い求め時の設定

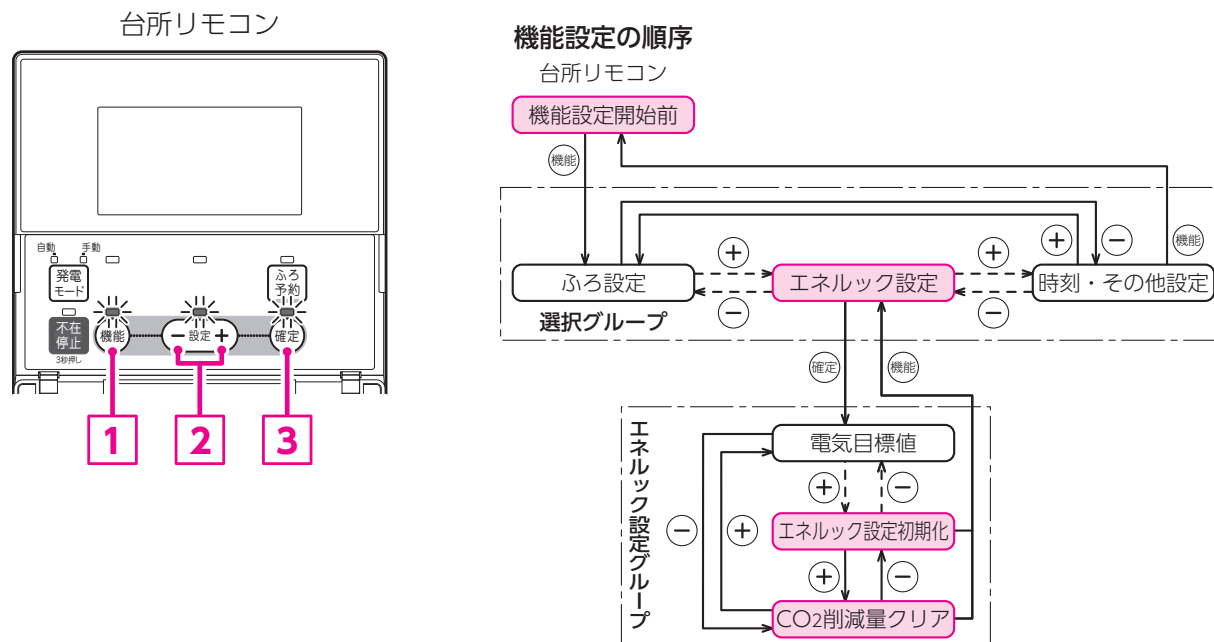
項 目		お買い求め時の設定 (太字)	
表示有無 削減率	太陽光発電システムを 設置していない場合	する	しない
	太陽光発電システムを 設置している場合	エネファーム しない エネファーム+太陽光	
表示有無エネルギーモニタ(※2)		エネルギー+待機 エネルギー なし	
表示有無今日の情報		する	しない
表示有無エネファーム発電量		する	しない
表示有無太陽光発電量(※1)		する	しない
表示有無電気使用量		する	しない
表示有無購入電気		する	しない
表示有無販売電気(※1)		する	しない
表示有無ガス		する	しない
表示有無お湯(※1)		する	しない
表示有無水道(※1)		する	しない
表示有無光熱費		する	しない
表示有無排熱利用量		する	しない
表示有無BU熱利用量		する	しない
表示有無CO ₂ 削減量		する	しない
表示有無発電予定		する	しない
エネルギー金額表示		する	しない

ル
エ
ツ
ネ
ク

エネルギー表示の設定

エネルギー設定初期化・CO₂削減量クリアの設定

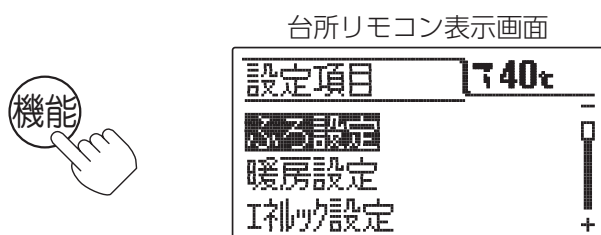
- 「エネルギー設定初期化」とは「エネルギー設定」の設定内容をお買い求め時の状態に戻したいときに設定します。
- 「CO₂削減クリア」とはCO₂削減クリアの「最高」をリセットします。



- 「CO₂削減量クリア」を設定する場合は **8** の操作は不要です。

1 ふたを開く

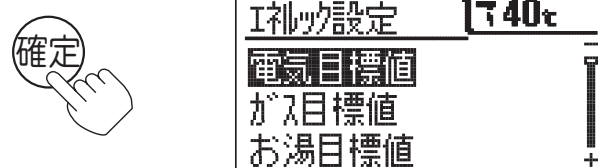
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「エネルギー設定」を選択する

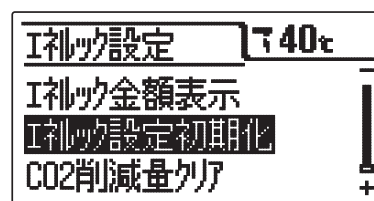


4 確定スイッチ③を押す

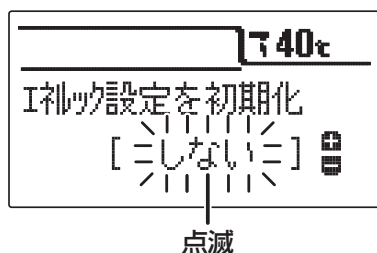


エネルギー設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「エネルギー設定初期化」 「CO2削減量クリア」の いずれかを選択する

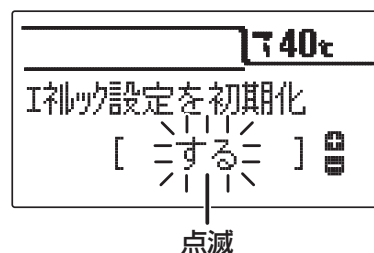
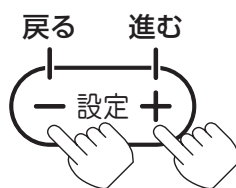


6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。
イラストは「エネルギー設定初期化」を選択した場合で
す。

7 設定スイッチ②を押して 初期化またはクリアを設定する



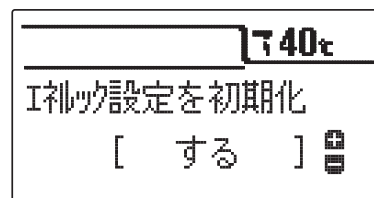
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰
り返します。

8 確定スイッチ③を押す



設定をやめる場合はふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

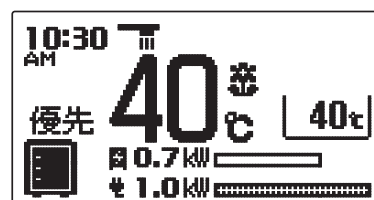
9 再度確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知
らせし初期化またはクリアします。
初期化後は自動的に設定が「しない」に戻ります。

10 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。



お知らせ

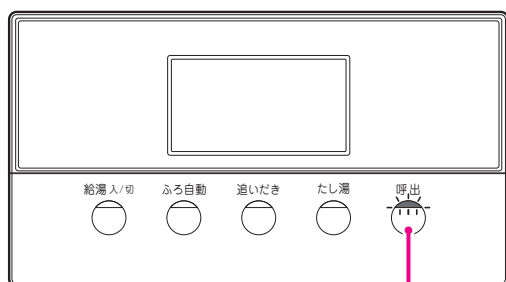
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「しない」に設定されています。
- 「9」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて
設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- エネルギー設定の初期化を行っても積算されたエネルギーデータは消去されません。

呼び出し・インターホン

呼び出し

リモコンセットのみ呼び出しができます。

浴室リモコン



呼出スイッチ①を押す



台所リモコンから音声で「お風呂で呼んでいます」とお知らせします。

お知らせ

- 浴室で何か必要な物があつたり、気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、呼出スイッチで台所リモコンから「呼び出し」を報知させることができます。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく呼び出しできます。
また、台所リモコンの音声ガイドの音量設定が「0 (切)」または「00 (切)」でも呼び出しできます。
「00 (切)」の場合はブザーでお知らせします。

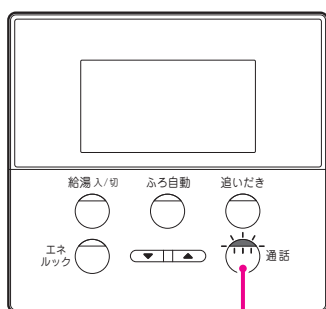
インターホンの使いかた

インターホンリモコンセットのみ通話操作ができます。

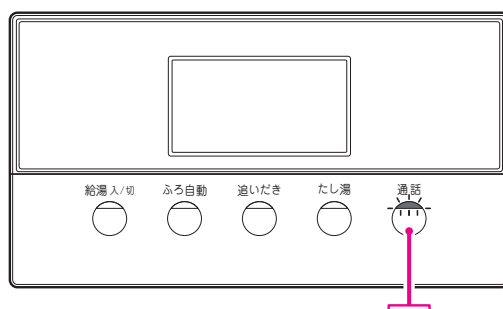
通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は通話スイッチから手を離した状態で通話できます。(ハンズフリー方式です。)

通話は片方のリモコンからもう一方のリモコンへ話すことができる一方通話です。同時に両方の通話はできません。

台所リモコン



浴室リモコン



通話スイッチ①を押して通話を開始する



台所リモコンと浴室リモコンの呼び出し音が鳴って通話ランプが点灯します。
通話ランプによってリモコンの状態がわかります。

通話ランプ

リモコンの状態

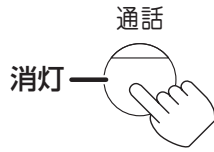


こちらの話が相手に聞こえます。



話を受けている状態です。
こちらの話は相手に聞こえません。

通話を終了するには



通話スイッチ①を押すと、通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。
話さなかったり、音がしない状態が約1分間続いた場合、または通話をはじめてから約30分間経過した場合も、通話ランプが消灯して通話状態が終了します。
自動的に通話状態が終了するときは「通話を終了します」と音声でお知らせします。

相手の話をさえぎって話をするときは…



通話スイッチ①を押しながら話します。

⚠ 注意

- リモコンに耳を近づけて使用しないでください。
大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

お願い

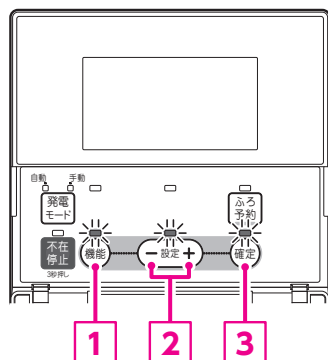
- 台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするとうハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は音量を下げてください。それでも直らない場合は担当のメンテナンス会社に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

お知らせ

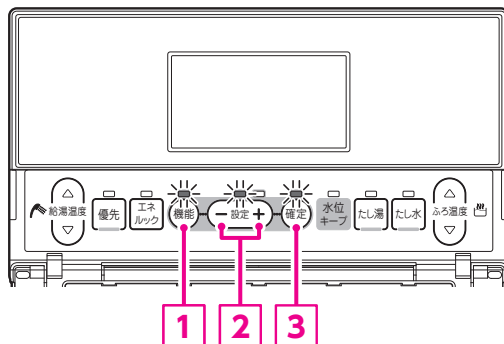
- 話をするときはリモコンから約20cm離れて話してください。
- 台所リモコンの周囲が騒々しいと台所リモコンからの通話モードとなり、浴室の音がモニターできないことがあります。
- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、浴室リモコンからの通話モードになっています。
- 通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
- 話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声途切れることがあります。
- 音声途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声聞きとりにくいことがあります。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
- 浴室のドアを開けたままインターホンを使用するとハウリングが発生することがあります。
その場合はドアを閉めて使用してください。

インターホン(通話)の音量の設定

台所リモコン

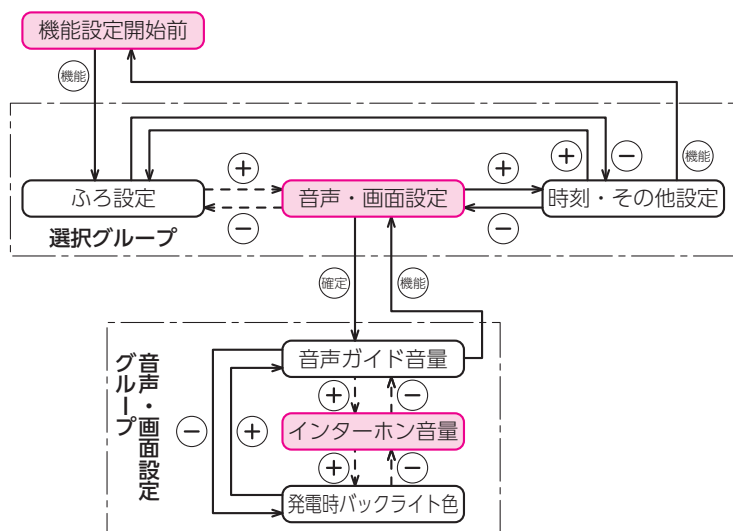


浴室リモコン

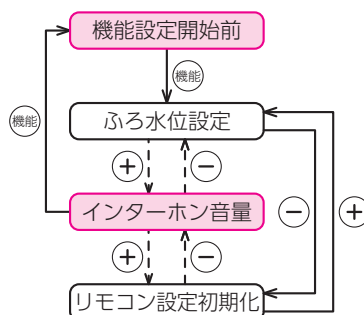


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

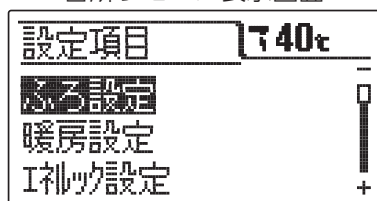


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

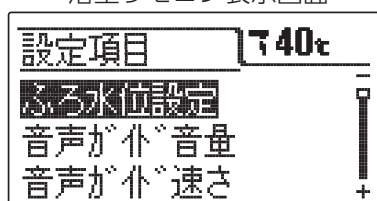
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

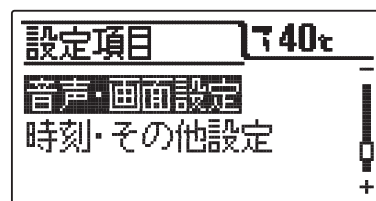
台所リモコン表示画面



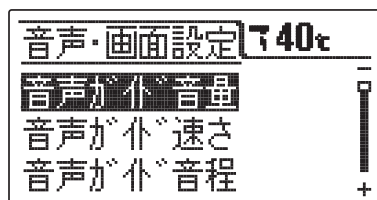
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

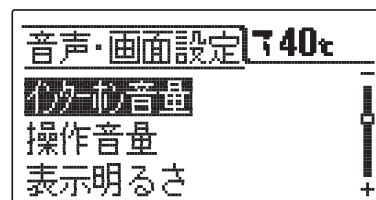
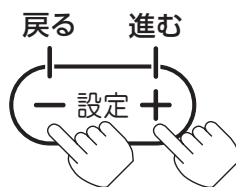


4 確定スイッチ^③を押す (台所リモコンのみ)



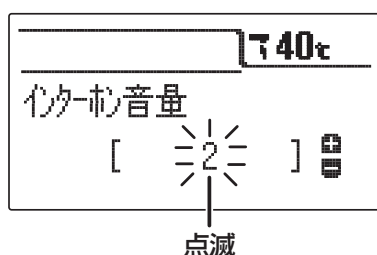
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ^②を押して 「インターホン音量」を選択する



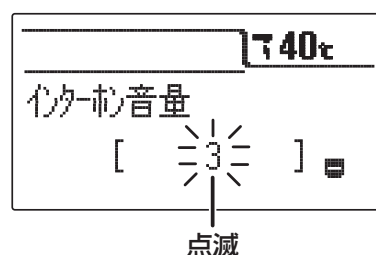
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ^③を押す



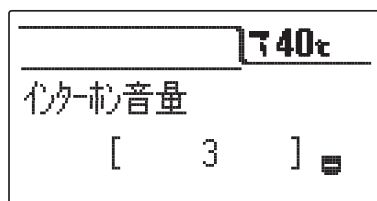
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ^②を押して インターホン音量を設定する



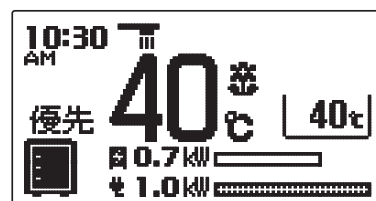
設定スイッチを押すごとに 1<=>2<=>3 の順で変更できます。
(小) (中) (大)

8 確定スイッチ^③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

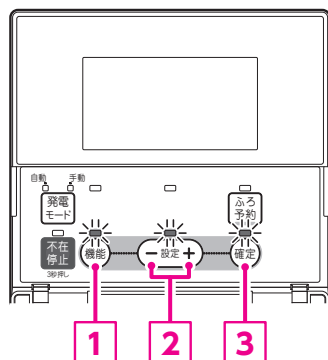
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

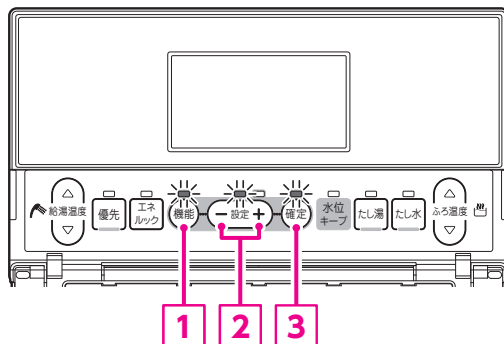
リモコンの設定

音声ガイドの音量の設定

台所リモコン

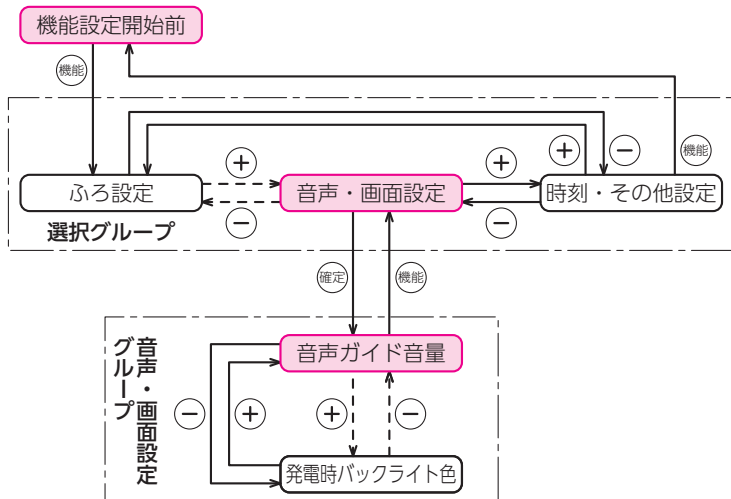


浴室リモコン

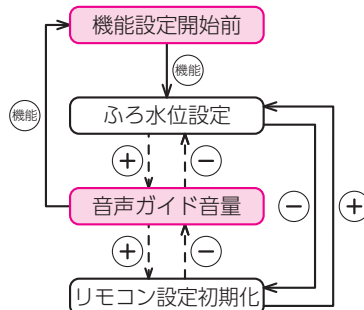


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン



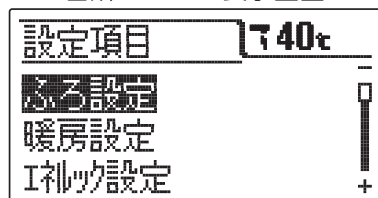
●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

1 ふたを開く

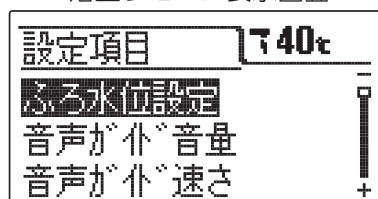
2 機能スイッチ①を押す



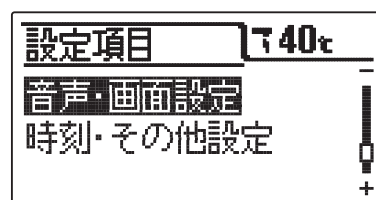
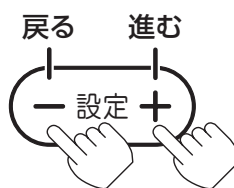
台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

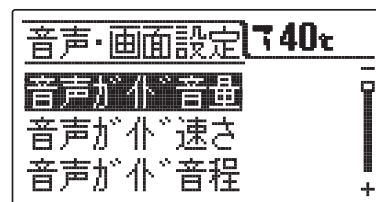
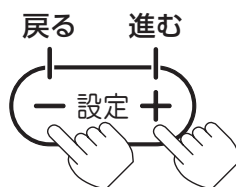


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



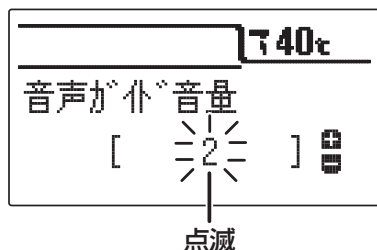
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド音量」を選択する



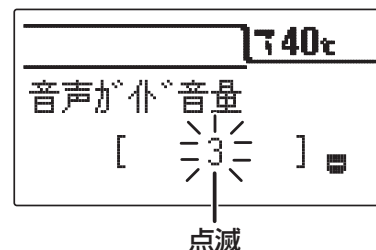
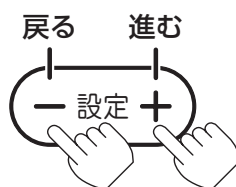
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

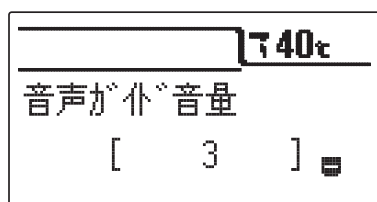
7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド音量を設定する



設定スイッチを押すごとに

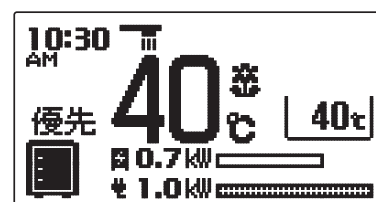
00<=>0<=>1<=>2<=>3 の順で変更できます。
(※1) (※2) (小) (中) (大)

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

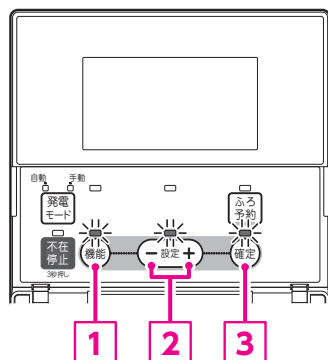
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- ※1……音量を「00 (切)」にすると音声ガイドは消えますが、呼び出しはブザー音でお知らせします。
- ※2……音量を「0 (切)」にすると音声ガイドは消えますが、エネルギー表示と呼び出しの音声ガイドは消えません。
- 音量「00 (切)」 「0 (切)」に設定しても、ブザー音でお知らせすることがあります。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

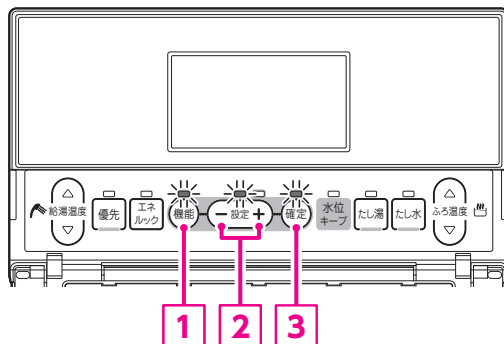
リモコンの設定

音声ガイドの速さの設定

台所リモコン

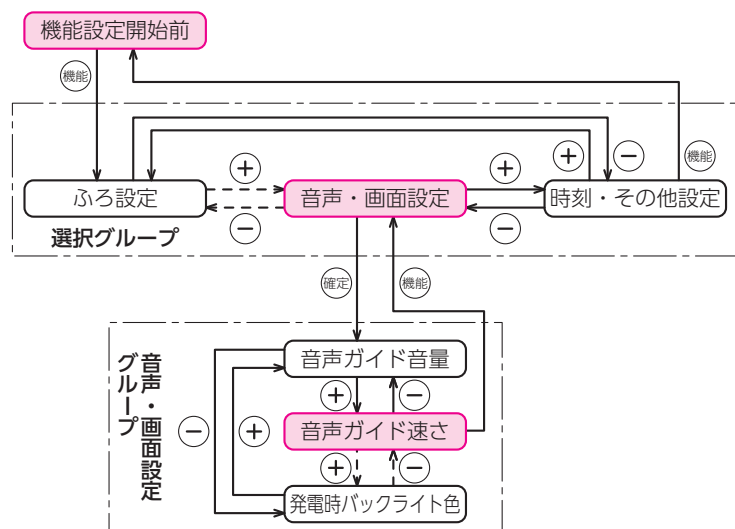


浴室リモコン

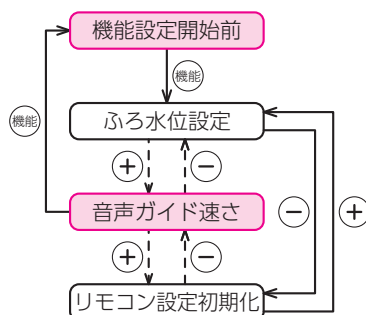


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

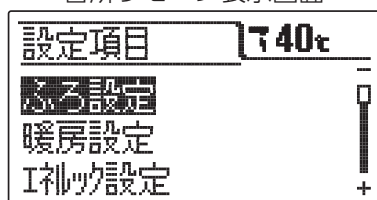


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

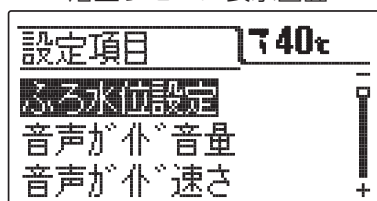
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

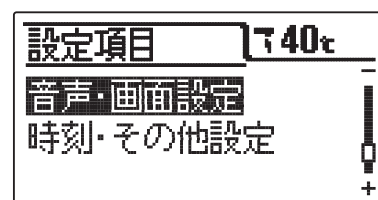
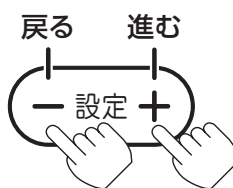
台所リモコン表示画面



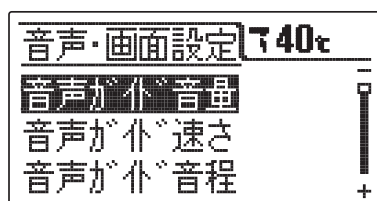
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)



4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



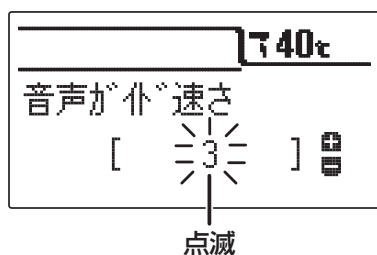
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド速さ」を選択する



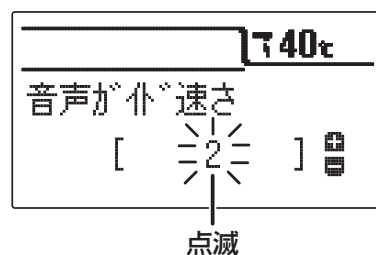
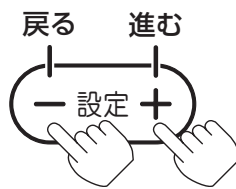
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



現在の設定が点滅します。

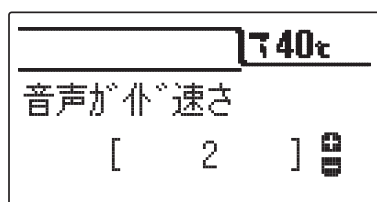
7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド速さを設定する



設定スイッチを押すごとに

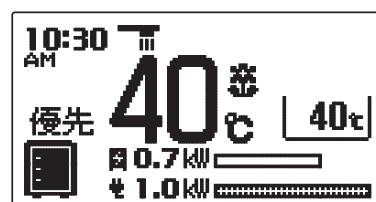
1 ← 2 ← 3 ← 4 ← 5 の順で
(遅い) (少し遅い) (普通) (少し速い) (速い)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常表示に戻ります。

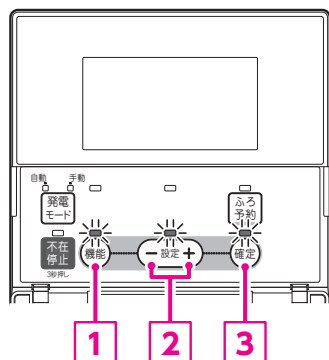
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に速さの設定をすることができます。
- お買い求め時は「3」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

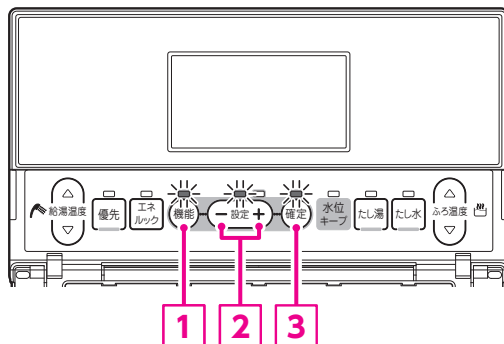
リモコンの設定

音声ガイドの音程の設定

台所リモコン

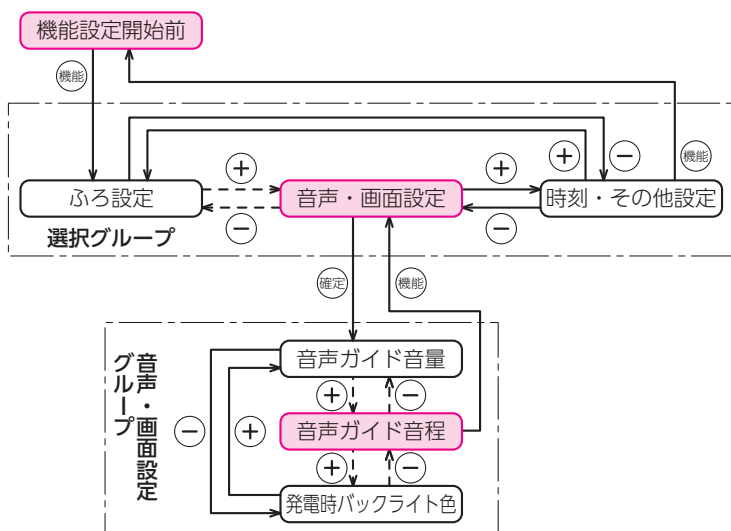


浴室リモコン

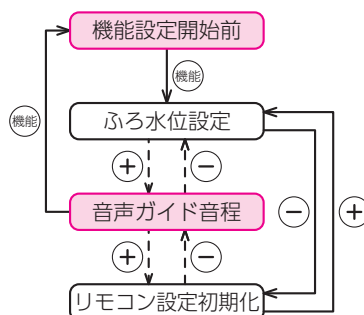


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

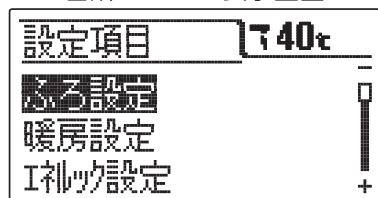


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

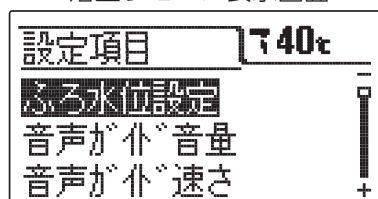
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

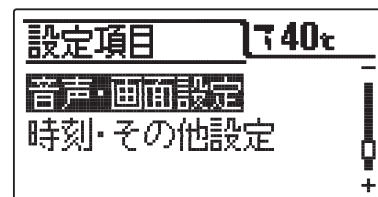
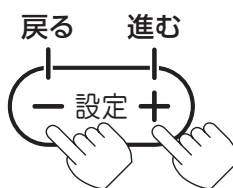
台所リモコン表示画面



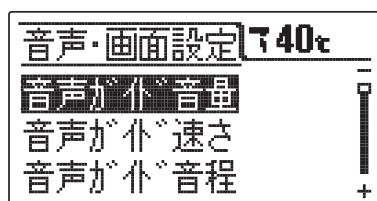
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

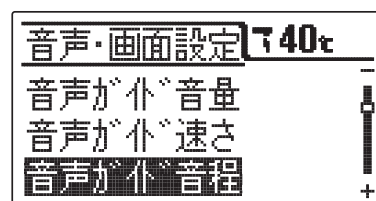
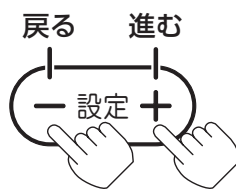


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「音声ガイド音程」を選択する



イラストは台所リモコンの場合です。

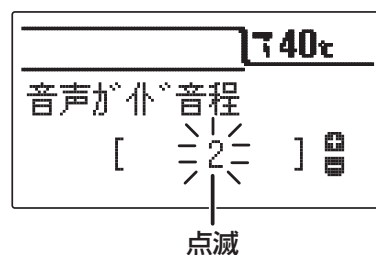
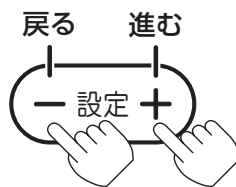
6 確定スイッチ③を押す



点滅

現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 音声ガイド音程を設定する

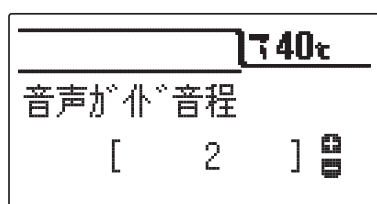


点滅

設定スイッチを押すごとに

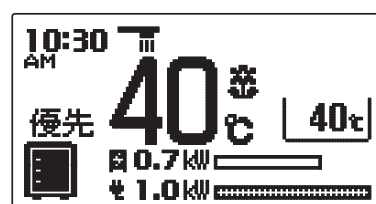
1 ← 2 ← 3 ← 4 ← 5 の順で
(低い) (少し低い) (普通) (少し高い) (高い)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

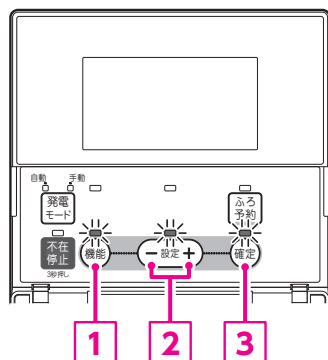
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音程の設定をすることができます。
- お買い求め時は「3」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

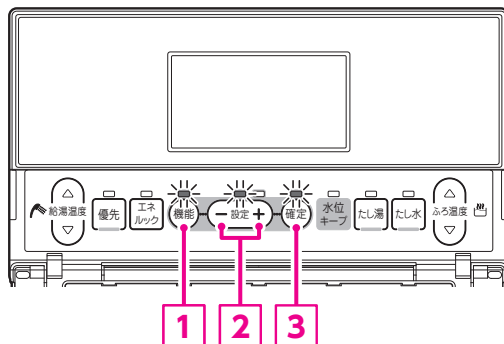
リモコンの設定

操作音量の設定

台所リモコン

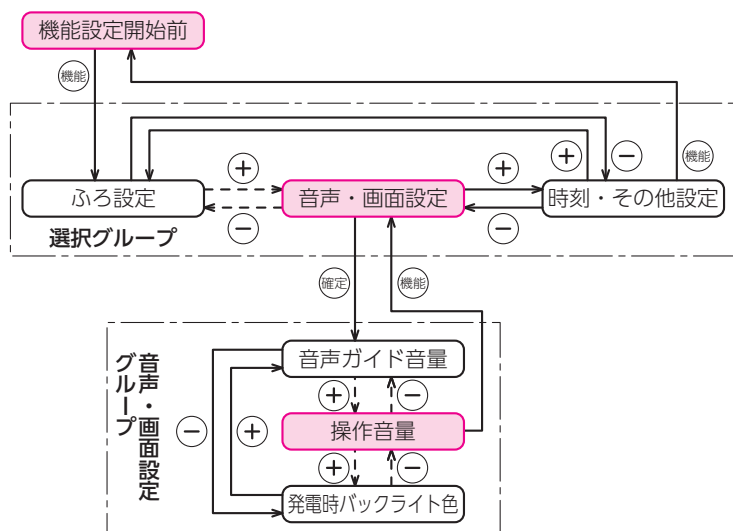


浴室リモコン

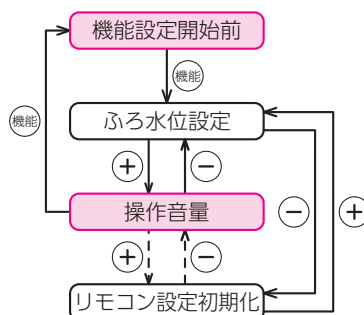


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

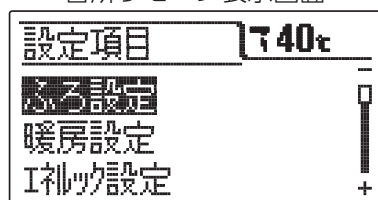


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

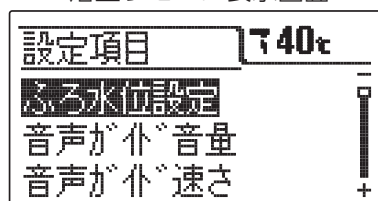
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

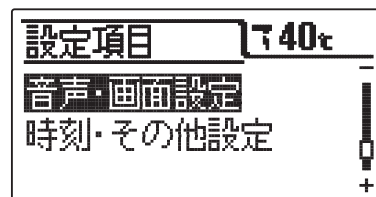
台所リモコン表示画面



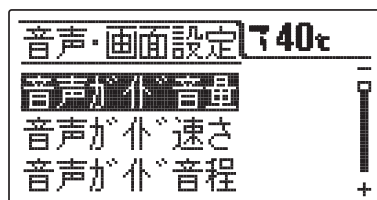
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

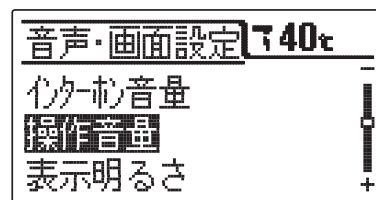


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「操作音量」を選択する



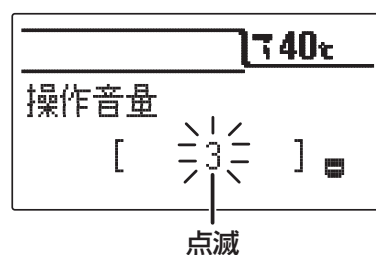
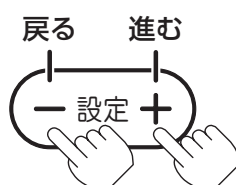
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



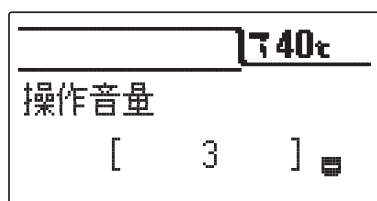
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 操作音量を設定する



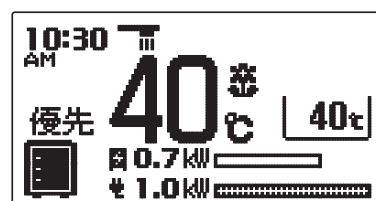
設定スイッチを押すごとに 0<=>1<=>2<=>3 の順で
(無) (小) (中) (大)
変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

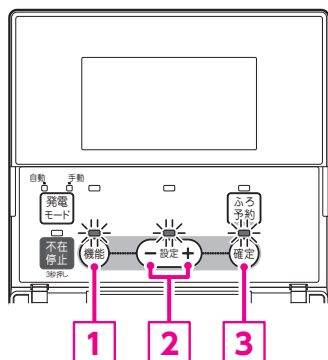
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

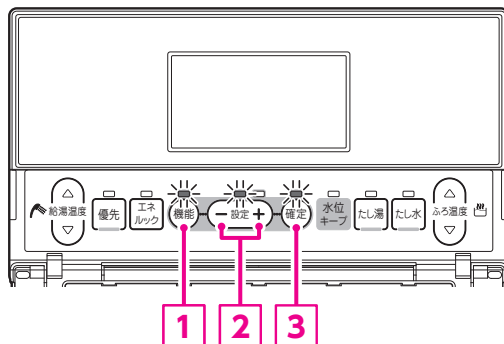
表示画面明るさの設定

表示画面の明るさを変更することができます。

台所リモコン

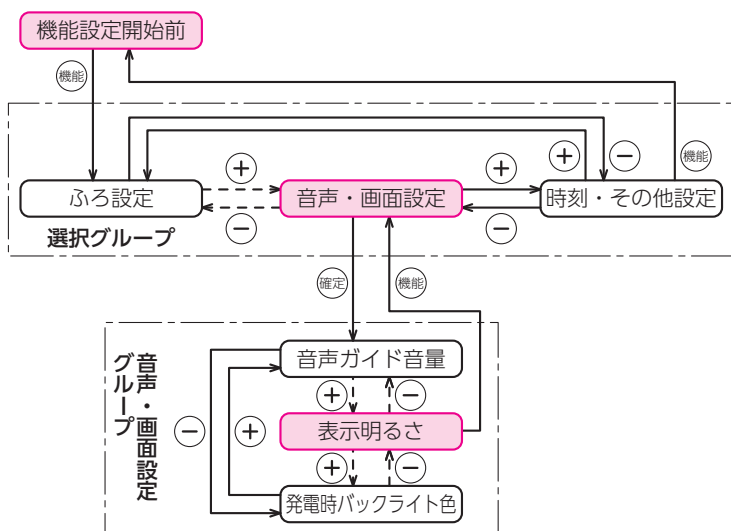


浴室リモコン

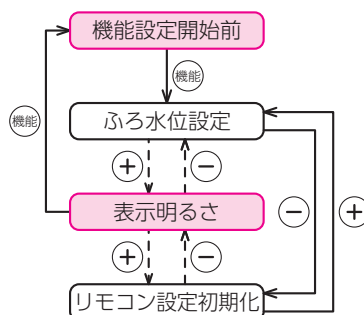


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

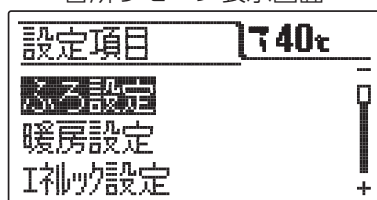


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

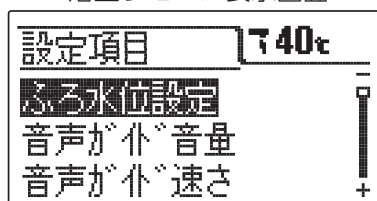
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

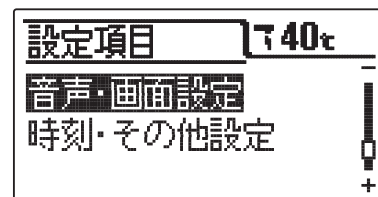
台所リモコン表示画面



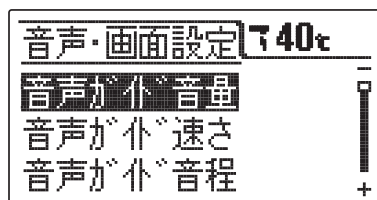
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

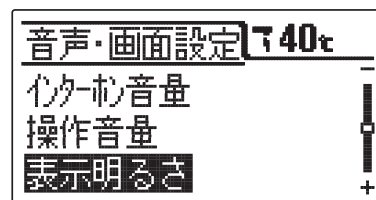


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



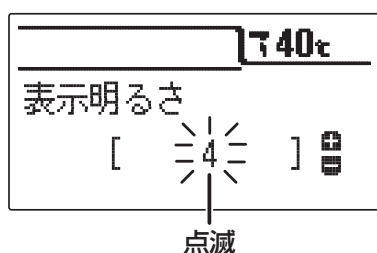
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示明るさ」を選択する



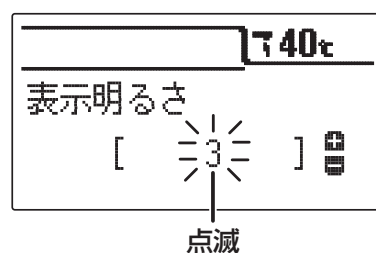
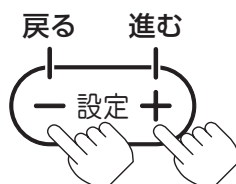
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



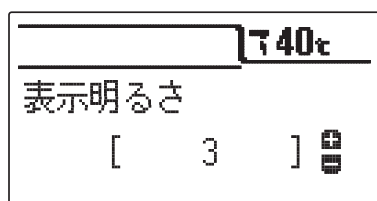
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 表示明るさを設定する



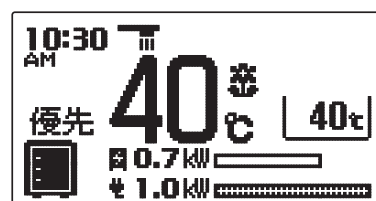
設定スイッチを押すごとに1<=>2...6<=>7の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

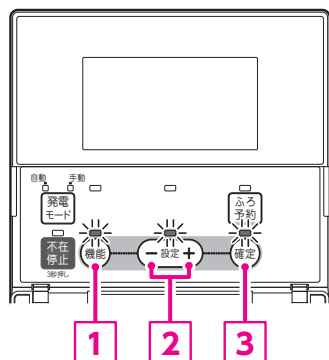
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に明るさの設定をすることができます。
- お買い求め時は「4」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

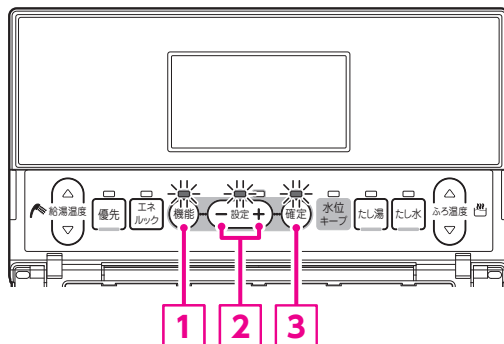
表示コントラストの設定

リモコン表示画面の液晶(LCD)のコントラスト(濃淡のバランス)を調節することができます。

台所リモコン

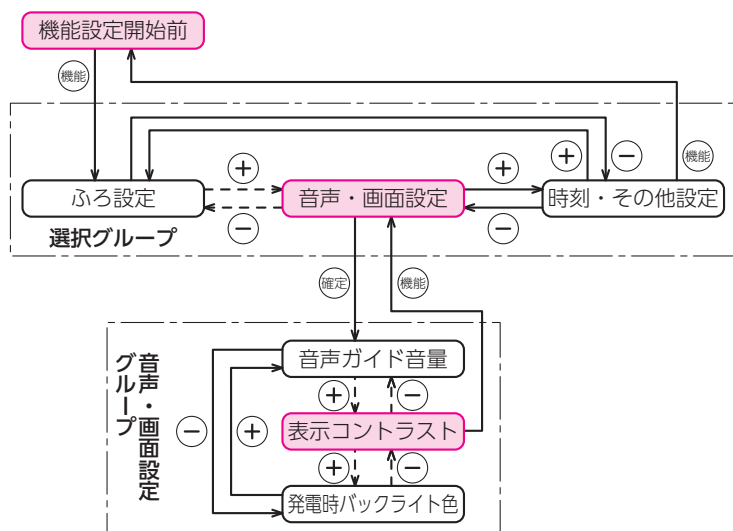


浴室リモコン

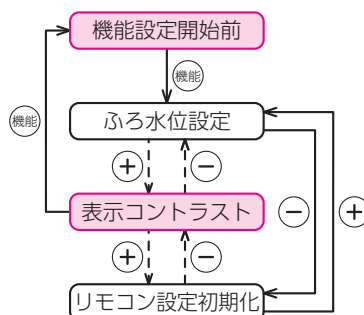


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

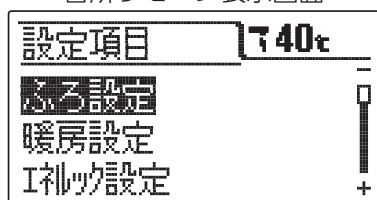


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

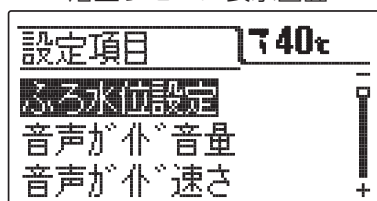
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

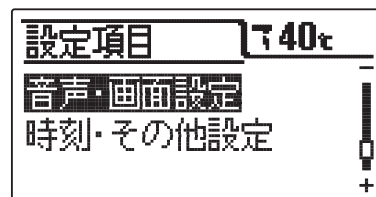
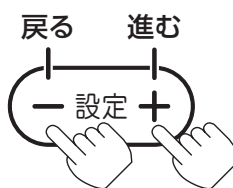
台所リモコン表示画面



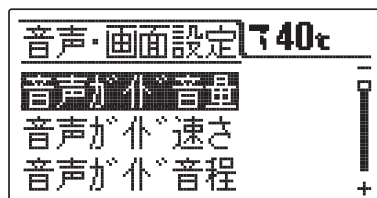
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

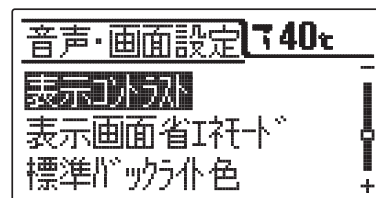
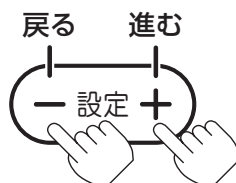


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



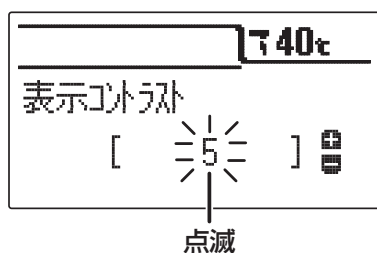
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示コントラスト」を選択する



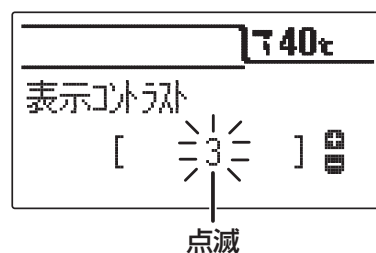
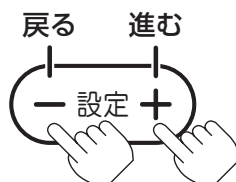
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



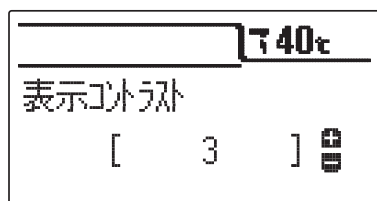
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して 表示コントラストを設定する



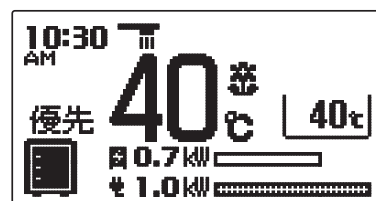
設定スイッチを押すごとに1<=>2...8<=>9の順で変更できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

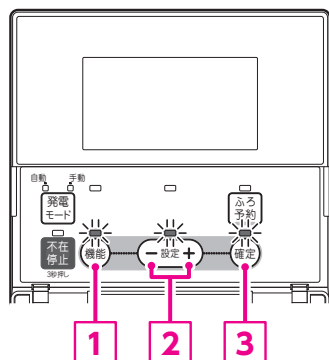
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々にコントラストの設定をすることができます。
- お買い求め時は「5」に設定されています。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

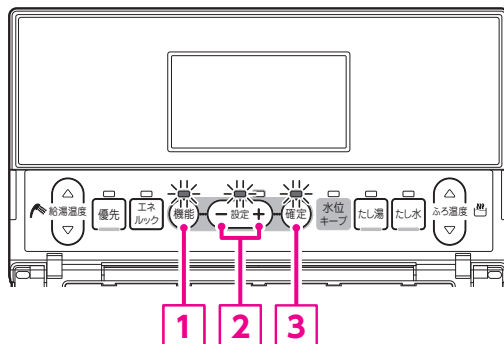
表示画面省エネモードの設定

表示画面のバックライトの点灯状態を変更することができます。

台所リモコン

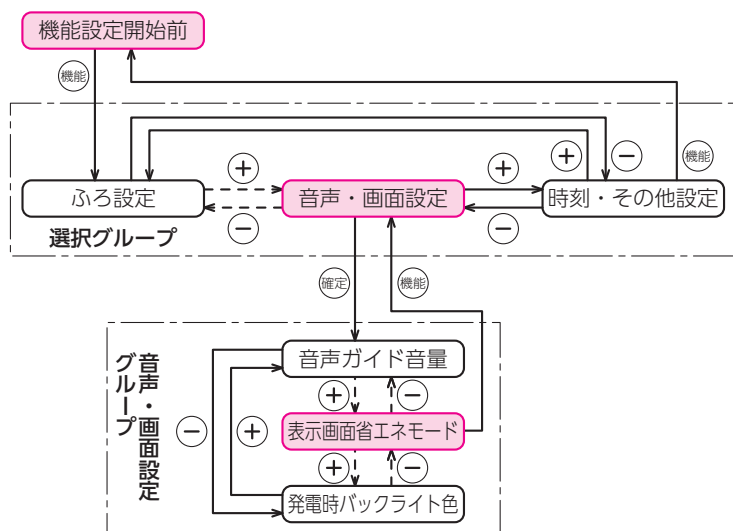


浴室リモコン

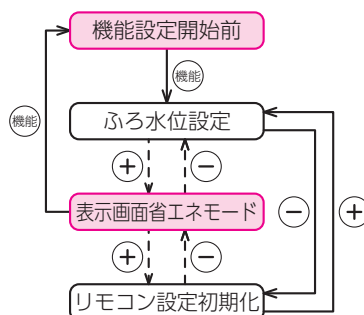


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

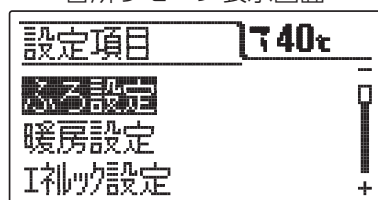


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

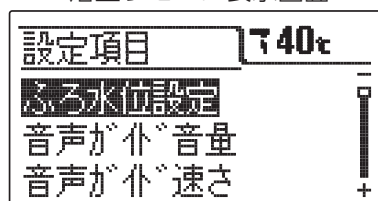
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

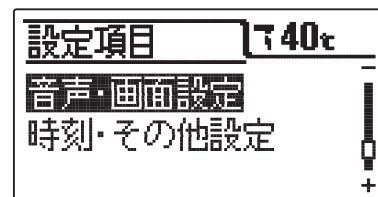
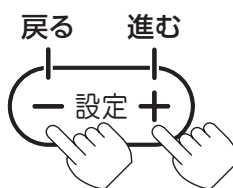
台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

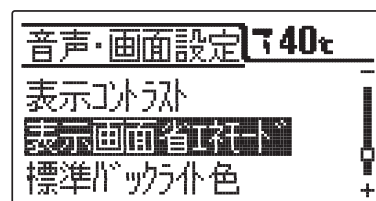
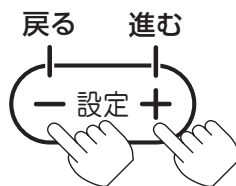


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)



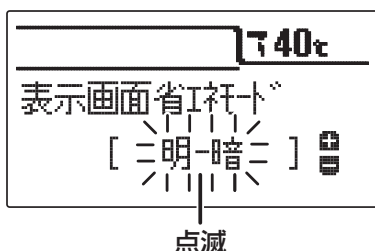
音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ②を押して 「表示画面省エネモード」を 選択する



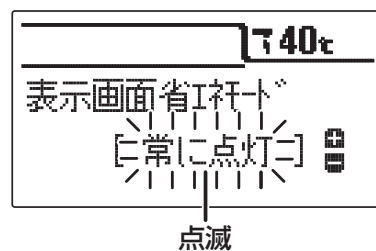
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



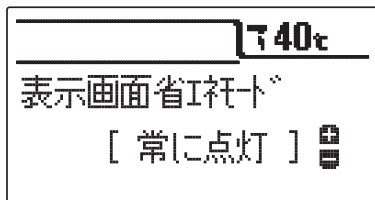
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して表示 画面省エネモードを設定する



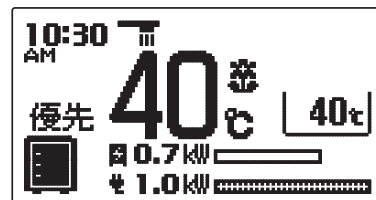
設定スイッチを押すごとに
明-暗 ⇔ 明-消 ⇔ 常に点灯 ⇔ 常に消灯 の順で変更
できます。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々に表示画面省エネモードの設定をすることができます。
- お買い求め時には「明-暗」に設定されています。
- 「明-暗」・「明-消」は給湯設定温度を 55°C 以上に設定している場合は表示画面省エネモードにはなりません。
- 表示画面省エネモードの設定内容は右記となります。
- 表示画面省エネモード中にリモコンを操作すると表示画面のバックライトは元の明るさに戻ります。排熱利用給湯暖房ユニットを使用しなければ約 10 秒後に再び表示画面省エネモードになります。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

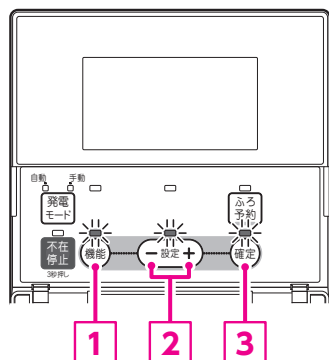
モード設定	表示画面省エネモードの内容
明-暗	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約 5 分間続くと、表示画面のバックライトを暗くします。
明-消	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約 5 分間続くと、表示画面のバックライトを消灯します。
常に点灯	表示画面のバックライトを常に明るくします。
常に消灯	表示画面のバックライトを常に消灯します。

リモコンの設定

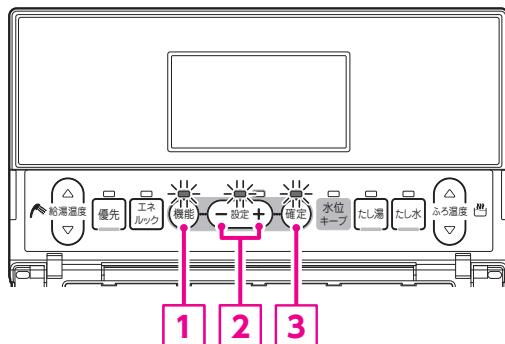
バックライトの設定

リモコン表示画面のバックライトの色を変更することができます。
また、通常時と発電時のバックライトの色を変えることができます。

台所リモコン

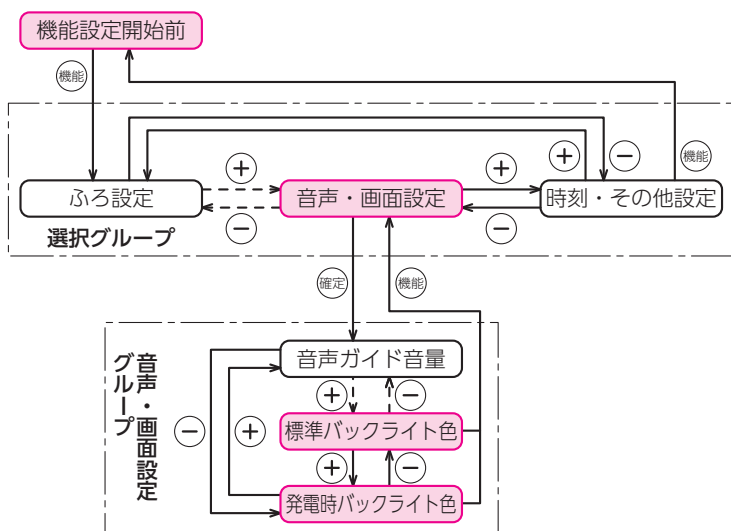


浴室リモコン

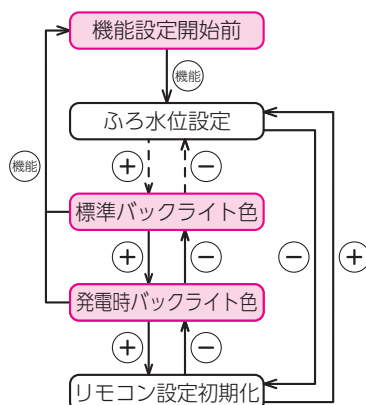


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

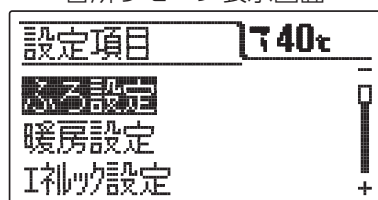


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

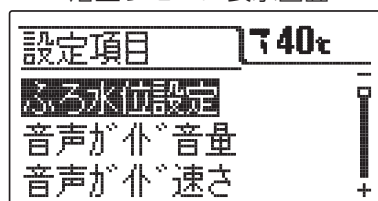
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

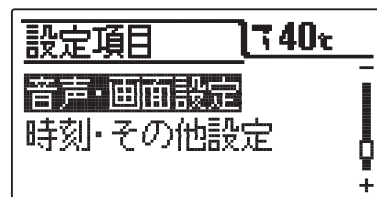
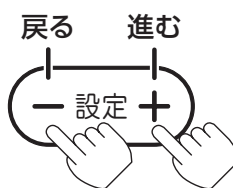
台所リモコン表示画面



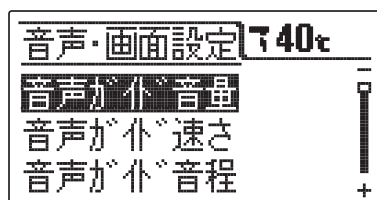
浴室リモコン表示画面



3 設定スイッチ②を押して「音声・画面設定」を選択する (台所リモコンのみ)

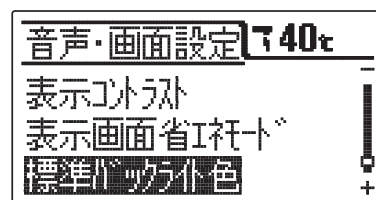
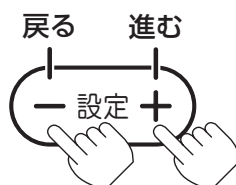


4 確定スイッチ^③を押す (台所リモコンのみ)



音声・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ^②を押して 「標準バックライト色」 「発電時バックライト色」の いずれかを選択する



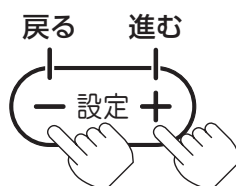
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ^③を押す



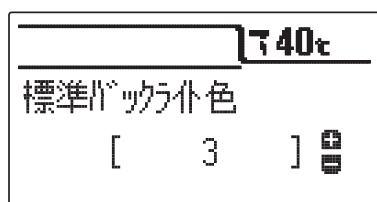
現在の設定が点滅します。
イラストは「標準バックライト色」を選択した場合です。

7 設定スイッチ^②を押して バックライト色を設定する



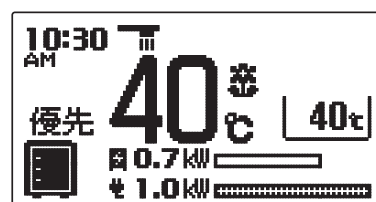
設定スイッチを押すごとに 1↔2...7↔8 の順で
(白) (薄い緑) (緑)
変更できます。

8 確定スイッチ^③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

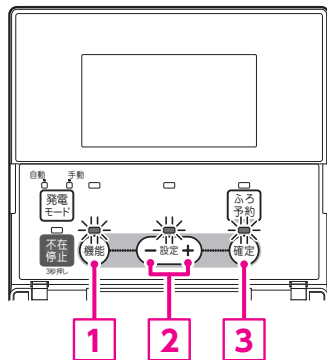
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコンと浴室リモコンは別々にバックライトの設定をすることができます。
- お買い求め時の設定は「標準バックライト色」と「発電時バックライト色」は「1」です。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります

リモコンの設定

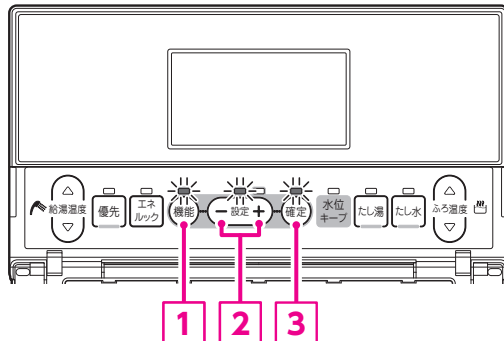
リモコン設定初期化

台所リモコンの場合は「機能設定」の「音声・画面設定」をお買い求め時の状態にします。
浴室リモコンの場合は「ふろ水位設定」以外の「機能設定」をお買い求め時の状態にします。

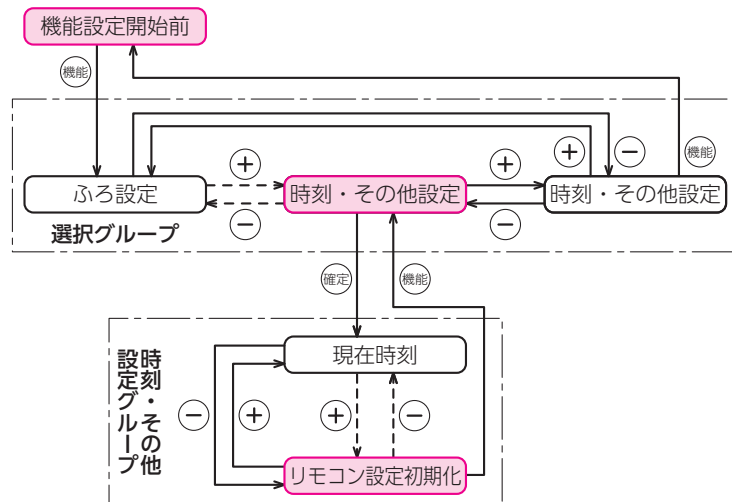
台所リモコン



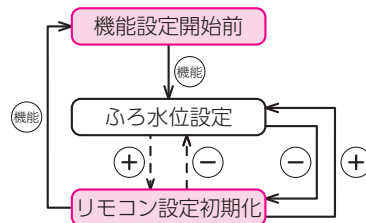
浴室リモコン



機能設定の順序



浴室リモコン

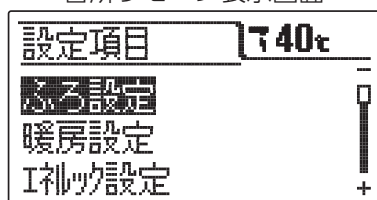


●浴室リモコンで設定する場合は**3・4**の操作はありません。

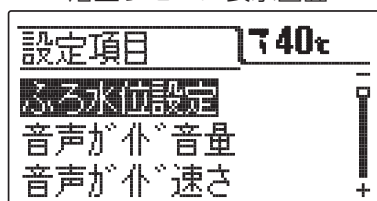
1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

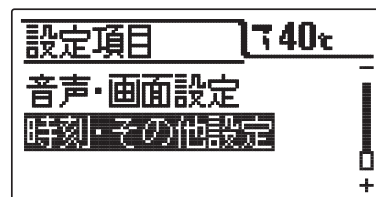
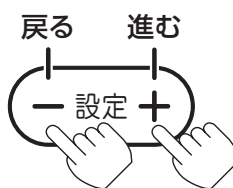
台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面

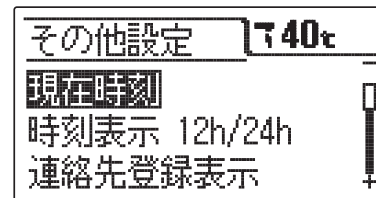


3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する (台所リモコンのみ)

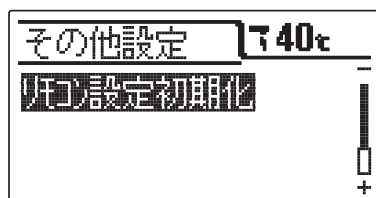
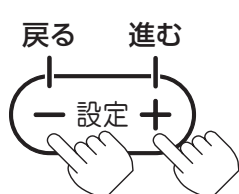


4 確定スイッチ③を押す (台所リモコンのみ)

時刻・その他設定グループの項目を表示します。

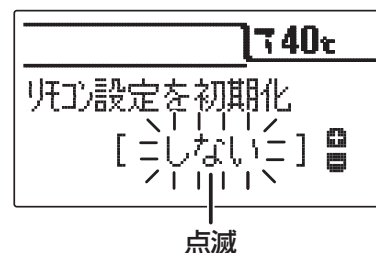


5 設定スイッチ②を押して 「リモコン設定初期化」を 選択する



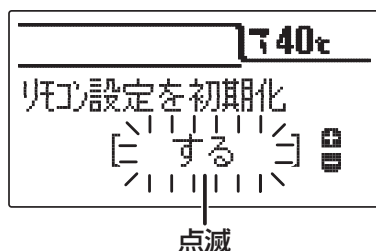
イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ③を押す



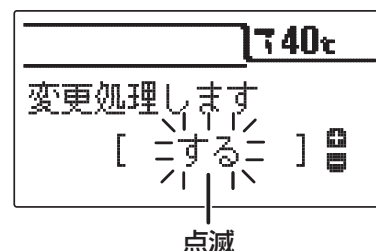
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ②を押して リモコン設定初期化を 設定する



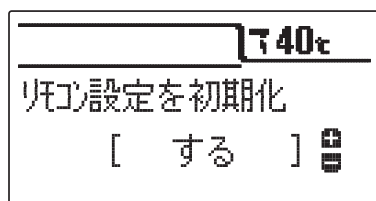
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

8 確定スイッチ③を押す



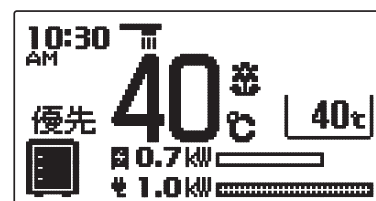
設定をやめる場合はふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

9 再度確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせし初期化します。
初期化後は自動的に設定が「しない」に戻ります。

10 ふたを閉じる



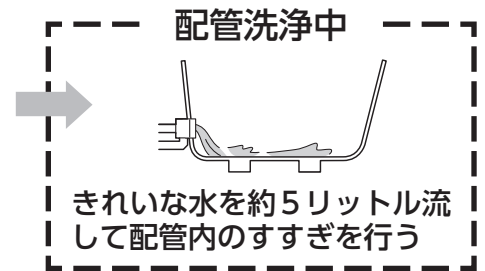
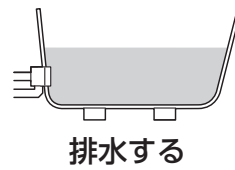
通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

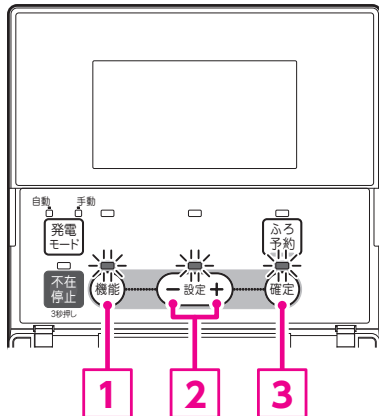
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「しない」に設定されています。
- 「9」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

配管クリーンの設定

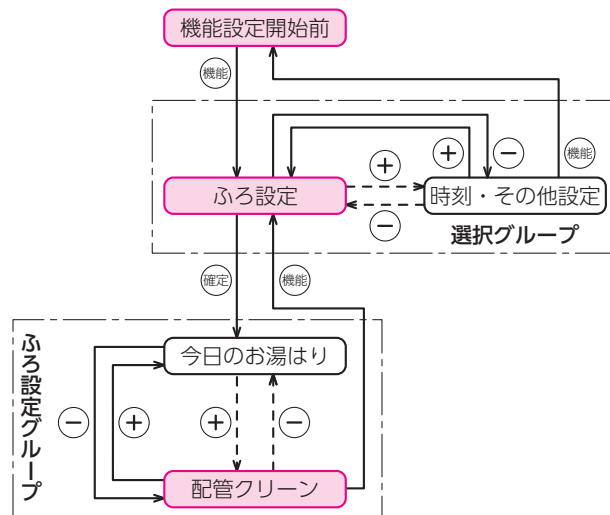
配管クリーンとはふろ自動運転終了(ふろ自動スイッチ「切」、またはふろ自動運転の保温時間経過)後、ふろ配管にきれいな水(約5リットル)を流し、ふろ配管内の残り湯を排出する機能です。浴そうのお湯が循環アダプターより低くなると作動します。



台所リモコン

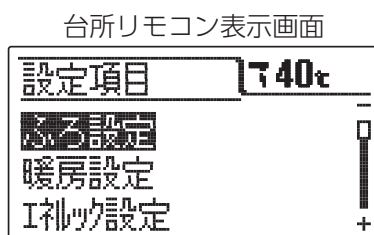


機能設定の順序

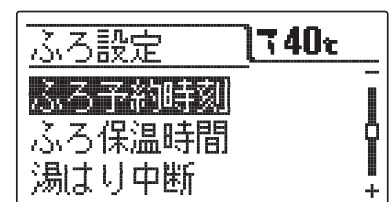


1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す



3 確定スイッチ③を押す

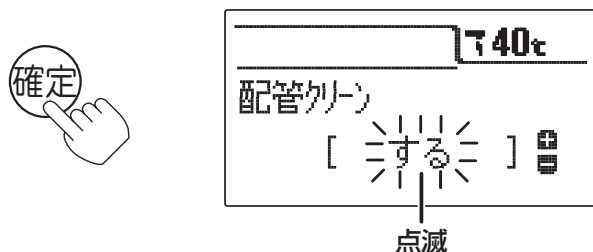


ふろ設定グループの項目を表示します。

4 設定スイッチ②を押して「配管クリーン」を選択する

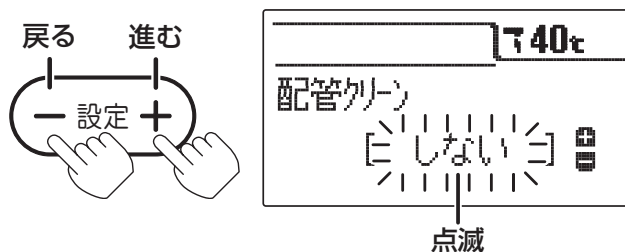


5 確定スイッチ③を押す



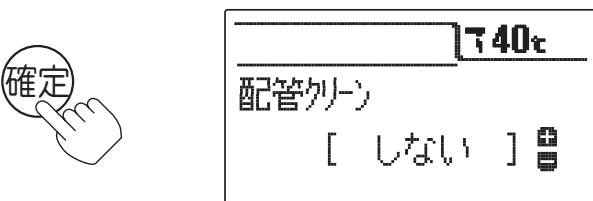
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ②を押して配管クリーンを設定する



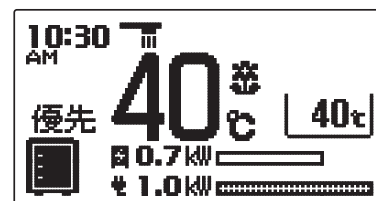
設定スイッチを押すごとにする<=>しないを交互に繰り返します。

7 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

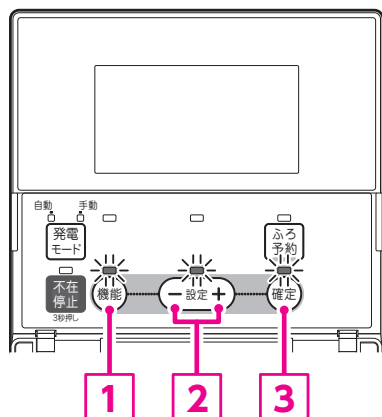
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には「する」に設定されています。
- 下記の場合は配管クリーンを「する」に設定しても作動しません。
 - ・浴そうの排水栓を抜く前のお湯(水)の量が循環口より上約 10cm 未満の場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、給湯スイッチが「切」になっている場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、ふろ自動スイッチが「入」になっている場合
 - ・浴そうのお湯(水)を排水しているときに、給湯を使用している場合
- 配管クリーンを中止する場合は給湯スイッチを「切」にしてください。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「4」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

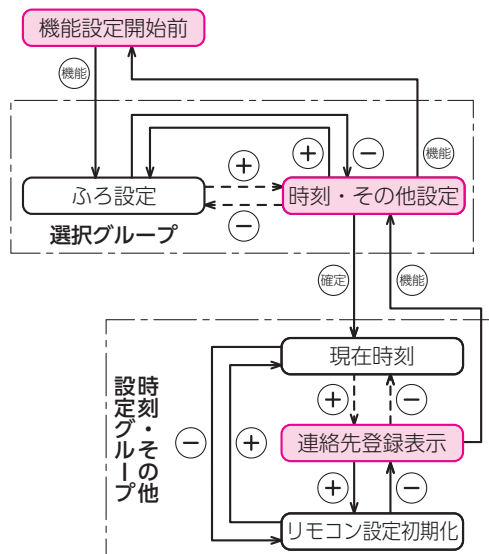
連絡先の登録・表示

●連絡先の電話番号を登録・表示することができます。メンテナンス会社の電話番号を登録してください。

台所リモコン

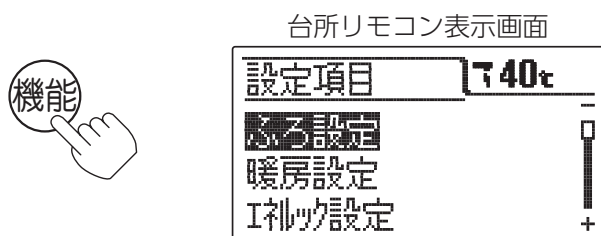


機能設定の順序

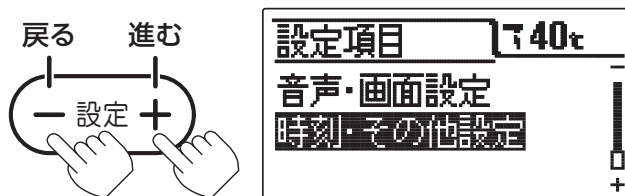


1 ふたを開く

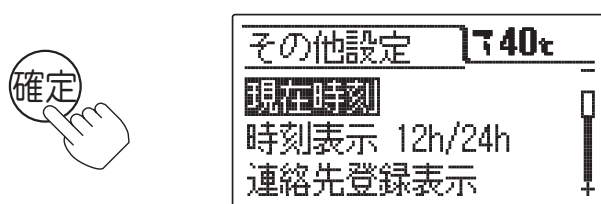
2 機能スイッチ①を押す



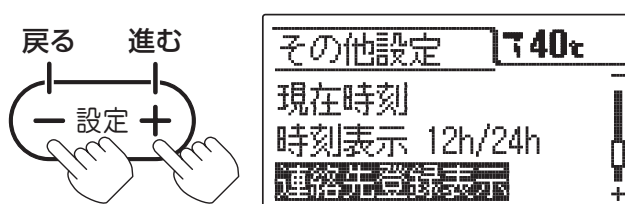
3 設定スイッチ②を押して「時刻・その他設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す

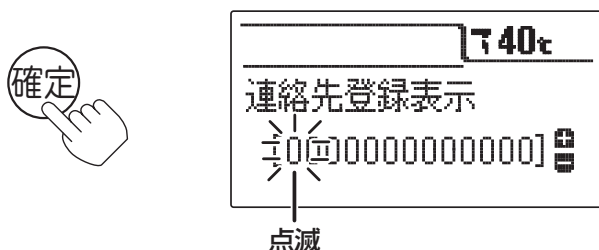


5 設定スイッチ②を押して「連絡先登録表示」を選択する



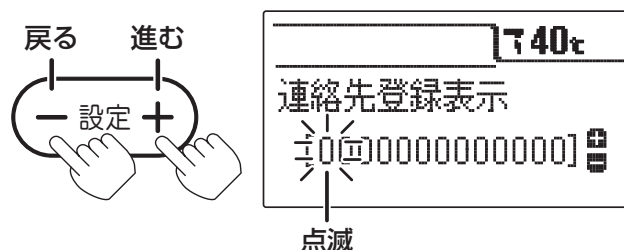
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

6 確定スイッチ③を押す



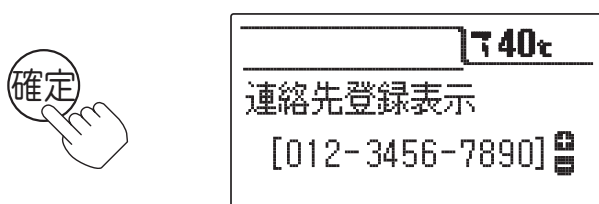
操作しても連絡先が表示されない場合は登録されていません。連絡先を登録する場合は7以下の操作を行ってください。
約40秒間放置またはふたを閉じると通常の表示に戻ります。

7 設定スイッチ②を押して連絡先を登録する



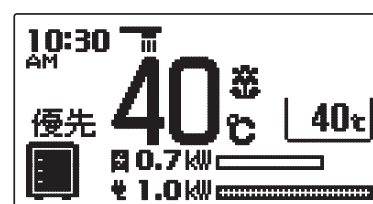
電話番号を1つずつ登録します。

8 確定スイッチ③を押す



設定の点滅が終了し、音声で「変更されました」とお知らせし、次の番号が点滅します。
7・8を繰り返し電話番号を登録します。
最後まで登録が済むと電話番号の点滅はなくなります。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時には電話番号は設定されていません。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ①を押すと「5」の表示になり他の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

音声ガイド一覧

●操作の一例を表示しています。

台所リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			台所リモコンから出る音声ガイド	浴室リモコンから出る音声ガイド	音量「00(切)」[「0(切)」]のとき
給湯「入」		55℃以上	♪あついお湯が出ます	あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	♪	—	—
給湯「切」			♪	—	—
現在時刻が未設定		給湯(押す)	時計を合わせてください	—	—
台所リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	ピピッ (浴室リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (浴室リモコンのみ)
浴室リモコン 優先のとき	給湯温度 上下		変更できません 優先を確認してください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)
ふろ自動	「入」		ふろ温度〇〇℃でお湯はりを行います	—	—
	お湯はり・沸き上げ後		♪おふろが沸きました	—	—
ふろ予約 「入」	現在時刻が設定済み		お湯はり(午後・午前)〇〇時に予約 されました	—	—
	現在時刻が未設定		予約できません 時計を合わせてください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)
追いだし			追いだしを行います	—	—
	沸き上げ後		♪おふろが沸きました	—	—
通話が自動的に終了するとき(※)			♪通話を終了します	♪通話を終了します	—
発電 モード	モードを切替えたとき		変更されました	—	—
	発電を停止するとき		変更されました	—	—
不在停止(約3秒間押す)			不在停止します	—	—
不在停止のとき		不在停止	不在停止を解除します	—	—
機能	設定	確定	変更されました	—	—
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	—	ピピピピッ (台所リモコンのみ)

※の音声ガイドはインターホン機能付のリモコンのみ発声します。

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

エネルギースイッチの音声ガイドは116ページを参照してください。

浴室リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			浴室リモコンから出る音声ガイド	台所リモコンから出る音声ガイド	音量「00(切)」[0(切)]のとき
給湯「入」		55℃以上	♪あついお湯が出ます	あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	♪	—	—
給湯「切」			♪	—	—
現在時刻が未設定		給湯(押す)	時計を合わせてください	—	—
浴室リモコン 優先のとき	優先「切」	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコン) (浴室リモコン)
	給湯温度 上下	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコンのみ)
台所リモコン 優先のとき	優先「切」	55℃以上	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます	ピピッ (台所リモコンのみ)
		48℃以下	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	お湯の温度が〇〇℃に変更されました	ピピッ (台所リモコンのみ)
	給湯温度 上下		変更できません 優先を確認してください	—	ピピピピッ (浴室リモコンのみ)
ふろ自動	「入」		ふろ温度〇〇℃でお湯はりをします	—	—
	お湯はり・沸き上げ後		♪おふろが沸きました	♪おふろが沸きました	—
ふろ温度 上下			ふろ温度が〇〇℃に変更されました	—	—
水位キープ「切」			水位キープを解除します	—	—
水位キープ「入」			水位キープを開始します	—	—
追いだき			追いだきをします	—	—
たし湯			たし湯をします	—	—
たし水			たし水をします	—	—
呼出(※1)			—	♪おふろで呼んでいます(2回)	ピーピーピーピーピーピー (2回) 音量「0(切)」のときは音声 ガイドでお知らせします。 (台所リモコンのみ)
通話が自動的に終了するとき(※2)			♪通話を終了します	♪通話を終了します	—
機能	設定	確定	変更されました	—	—
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	—	ピピピピッ (浴室リモコンのみ)

※1の音声ガイドはインターホン機能が付かないリモコンのみ発声します。

※2の音声ガイドはインターホン機能付のリモコンのみ発声します。

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

エネルギースイッチの音声ガイドは116ページを参照してください。

音声ガイド一覧

エネルギースイッチでの操作

項 目	音声ガイド	項 目	音声ガイド
エネルギーモニタ (削減率)	電気の情報を表示します	ガス	ガスの情報を表示します 目標を達成しています(※)
エネルギーモニタ	現在の電気と熱の利用状況を表示します	お湯	お湯の情報を表示します 目標を達成しています(※)
今日の情報	今日の情報を表示します	水道	水の情報を表示します 目標を達成しています(※)
エネファーム発電量	発電の情報を表示します	光熱費	光熱費の情報を表示します 目標を達成しています(※)
太陽光発電量	発電の情報を表示します	排熱利用量	熱の利用状況を表示します
電気使用量	電気の情報を表示します 目標を達成しています(※)	BU 熱利用量	熱の利用状況を表示します
購入電気	電気の情報を表示します	CO ₂ 削減量	CO ₂ 削減量の情報を表示します 今日の記録を表示します
販売電気	電気の情報を表示します	発電予定	発電ユニットの情報を表示します

※ の音声ガイドは目標を達成している場合のみお知らせします。
音声ガイドは操作したリモコンから発声します。

長く使っていただくために

点検・手入れの際のご注意

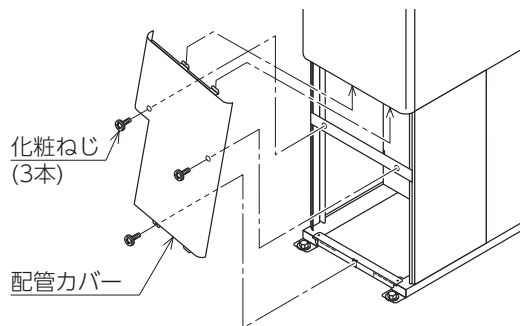
⚠ 注意

- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

点検・手入れ前の準備 (排熱利用給湯暖房ユニット)

配管カバー (別売) のはずしかた

配管カバーの化粧ねじ (3 本) をはずして配管カバーを取りはずします。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。



イラストは配管カバーを右側に取付ける場合です。

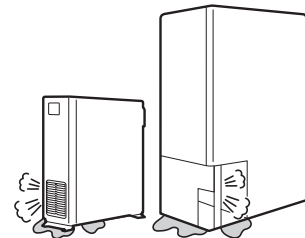
点検

(日常)

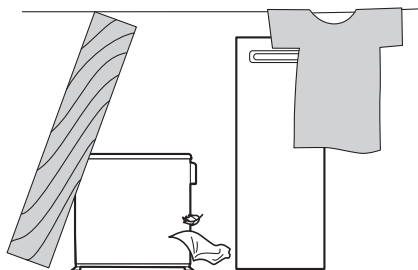
ガス漏れ・水漏れ

⚠ 警告

燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットや配管などからガス漏れしていないことや配管などから水漏れしていないことを確認してください。ガスが漏れていれば異臭がします。



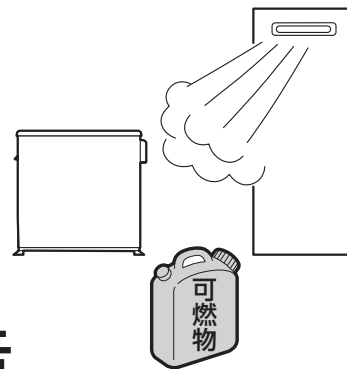
排気部およびその周囲



⚠ 警告

排気部がふさがれていないことを確認してください。

周囲の可燃物



⚠ 警告


燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットおよび排気部の周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

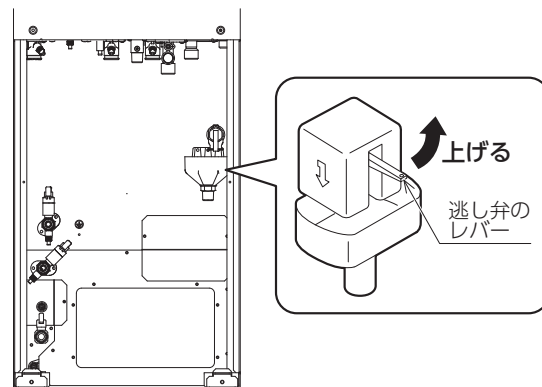
(1年に2～3回以上)

逃し弁の確認

⚠ 注意

排熱利用給湯暖房ユニットの逃し弁から熱いお湯が出ることがありますので手などにかからないように注意してください。また逃し弁のレバーが熱くなっていることがありますので注意してください。

1. 配管カバーをはずします。  116ページ
2. 逃し弁のレバーをゆっくり上げて、逃し弁から水が出てくるか確認してください。
3. 逃し弁のレバーを元の位置に戻します。



その他の機能

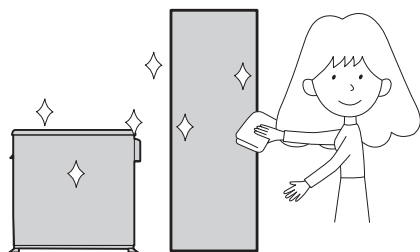
配管の点検

配管の水漏れ、保温材の破損がないか確認してください。

手入れ

(適時に)

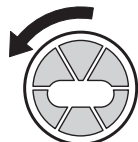
ほこり



外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

フィルターの掃除

左に回してはずす

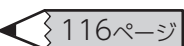


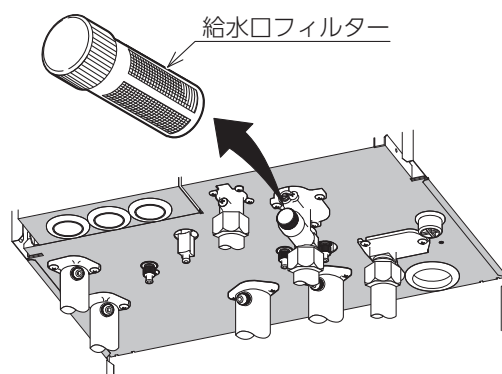
循環アダプター



浴そうを掃除するときは、必ず循環アダプターもはずして歯ブラシなどでフィルターの汚れを掃除してください。ご使用時には必ず取付けてください。

給水口フィルターの掃除

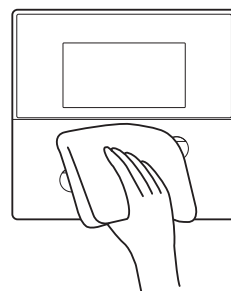
1. 給湯スイッチを「切」にします。
2. 配管カバーをはずします。  116ページ
3. 給水元栓を閉めます。
4. 給水水抜き栓をはずして給水口フィルターの掃除をしてください。
5. 元通りに給水水抜き栓を取付け、給水元栓を開け、配管カバーを取付けます。



底から見たイラストです。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因となります。

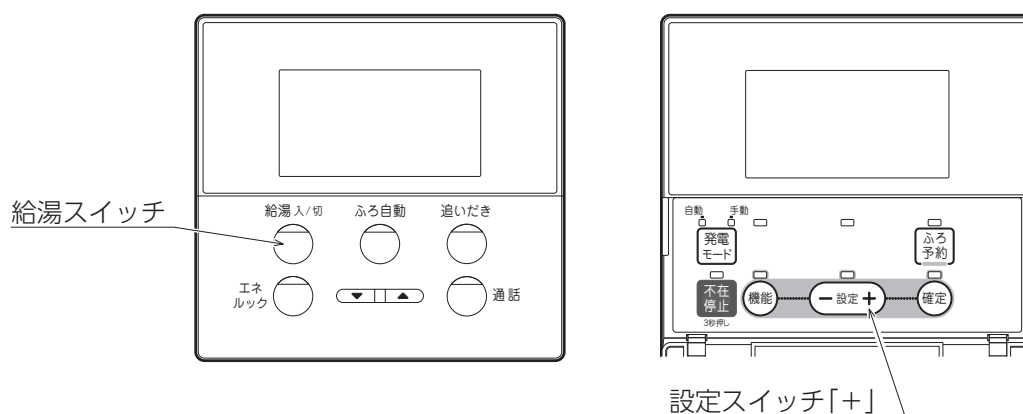


(1年に2～3回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)

貯湯タンクの水張りを行うことで給湯回路の洗浄が行えます。
貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

1. 浴そうの排水栓をはずします。
2. 循環アダプターのフィルターをはずします。
3. 台所リモコンの給湯スイッチを「切」にします。
4. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。
表示画面に「OOP」の点滅と「タンク水張り中」を表示します。
給湯スイッチが「切」でないと受け付けません。
また、台所リモコンの「暖房」表示中も受け付けません。
すべての暖房端末機の運転を停止してください。
この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
5. 「OOP」と「タンク水張り中」の表示が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
循環アダプターのフィルターを元通りに取付けます。



(1年に1回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(貯湯タンクの洗浄)

<水抜き>

貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

1. 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」に従って運転を停止してください。
2. 「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

<水張り>

1. 水抜き後、「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。
2. 「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」の「再び使用するとき」に従って運転を再開します。

59ページ

121ページ

123ページ

59ページ

定期点検

- 学習制御機能で自動的に最適な発電運転を行いますので、不在停止以外の操作はしないでください。また、ひんぱんな起動、停止操作は機器の寿命を低下させる原因になりますので、行わないでください。
- 燃料電池発電ユニットの性能を維持し、安全にご使用いただくためにはフィルター交換などの定期点検(3.5年ごと)が必要です。
- 定期点検はお客さま自身で行わないでください。担当のメンテナンス会社に連絡してください。

定期点検項目

	項目	周期
1	パッケージ換気フィルタの交換	3.5年
2	空気フィルタエレメントの交換	3.5年
3	イオン交換樹脂ボトルの交換	3.5年

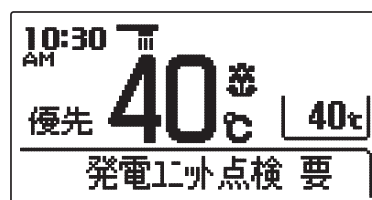
- 燃料電池発電ユニットの点検時期が超過すると、発電を停止します。
排熱利用給湯暖房ユニットのリモコンに「発電ユニット点検」を表示したときは、担当のメンテナンス会社に連絡してください。

- ・「発電ユニット点検」・「近」が点滅
もうすぐ点検時期であることのお知らせです。

台所リモコン表示画面



- ・「発電ユニット点検」・「要」が点滅
点検時期になったお知らせです。



- ・「発電ユニット点検」・「過」・「05F」が点滅
点検時期を超過したことのお知らせです。
燃料電池発電ユニットは運転しません。



- 定期点検のおすすめ(有料)
給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

部品交換について

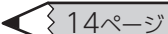

- 故障したままで使用しないでください。爆発・ガス漏れ・不完全燃焼の原因になります。
- 故障して修理や部品交換が必要なときは、担当のメンテナンス会社に依頼してください。

冬期の凍結による破損防止について

凍結予防

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

■燃料電池発電ユニット

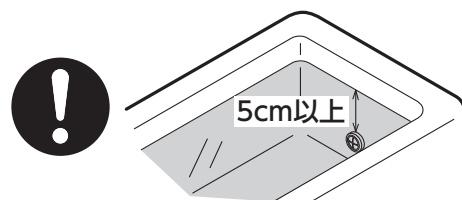
- 燃料電池発電ユニットの本体ブレーカ(電源：主回路漏電ブレーカ)を切らないでください。ブレーカの位置は「各部の名称とはたらき」を参照してください。  14ページ
- 発電設備専用と表示されたブレーカや、上位の基幹ブレーカを切らないでください。ブレーカの位置などは「ご使用前の準備と確認」を参照してください。  28ページ

■排熱利用給湯暖房ユニット

凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認

必ず循環アダプターより5cm以上給水してください。
浴そう内の水を循環させ、排熱利用給湯暖房ユニット内のふろ回路と追いだき配管の凍結を予防します。



- 停電した場合や電源プラグを抜くと「凍結予防装置による方法」では凍結予防装置が作動しないので効果がありません。「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」を行ってください。
- 凍結した場合はそのままでは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。再使用時はすべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開けて水が出ることや、燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニットや配管から水漏れがないことを確認してください。


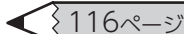
長期間使用しない場合

- しばらく使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。

燃料電池発電ユニットの水抜きについて

- 長期間燃料電池発電ユニットを使用しない場合は、水抜きが必要です。水抜きが必要なときは、担当のメンテナンス会社または大阪ガスへご連絡ください。

排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法

- 長期間にわたって排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない場合やブレーカを切る場合は水抜きを行ってください。
- 再使用時は「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従ってください。  123ページ
- 水抜きは配管カバーをはずして行い、終了後は取付けてください。  116ページ

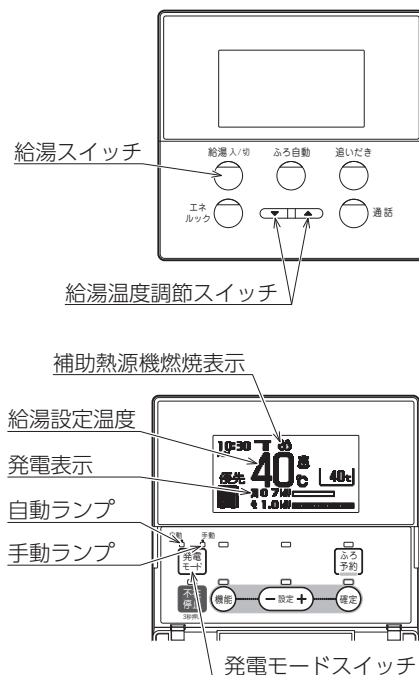
長期間使用しない場合

排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き

- 暖房回路に不凍液を使用している場合は10の作業は不要です。不凍液を使用している場合は不凍液注意シール「不凍液が入っています」が点検パネルの右下に貼られています。
- 水抜き中は他の運転操作をしないでください。
- 排水栓と水抜き栓の位置などは「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニット内の水張り)」のイラストを参照してください。

123ページ

1. 給湯設定温度を40℃に設定します。
2. 台所リモコンの貯湯量表示が点灯している場合は、すべての給湯栓を開けお湯を出します。
台所リモコンの貯湯量表示が消灯し、補助熱源機燃焼表示が点灯することを確認してから3以下を行ってください。
3. すべての給湯栓(シャワーなど含む)を閉めます。
4. 台所リモコンの発電モードスイッチを約5秒間押します。
音声で「変更されました」とお知らせします。
自動ランプ・手動ランプが消灯します。
発電していた場合は発電表示がしばらく点滅してから消灯します。
発電表示が消灯していることを確認してから5以下を行ってください。
5. 浴そうのお湯を排水します。
6. ガス栓①・給水元栓②を閉めます。
7. 給湯スイッチを「切」にしてから、すべての給湯栓(シャワーなど含む)・排水栓③を開けます。
このとき台所リモコンの表示画面に「260」を表示します。
8. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「-」を約3秒間押します。
表示画面に「00d」が点滅します。
1～7の操作を行わずに設定スイッチの「-」を押しても「00d」は表示しません。
この操作を行うと水抜きが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
9. 過圧逃し弁④・給水水抜き栓⑤をはずします。
10. 暖房「戻り」水抜き栓⑥・暖房「行き」水抜き栓⑦・暖房ポンプ水抜き栓⑧を緩めます。
暖房回路に不凍液を使用している場合は緩めないでください。
11. 追いだき「戻り」水抜き栓⑨・追いだき「行き」水抜き栓⑩・ふろポンプ水抜き栓⑪を緩めます。
12. 排熱水抜き栓⑫⑬・ラジエータ水抜き栓⑭・循環回路水抜き栓⑮・給湯水抜き栓⑯を緩めます。
13. 中和器水抜き栓⑰をはずします。
14. 排水栓③・過圧逃し弁④・水抜き栓⑤～⑰から水が出なくなる、または約1時間後に表示画面の「00d」の点滅が「260」の表示に変わると水抜きは完了です。
15. すべての水抜き栓を元通りに閉め、給湯栓(シャワーなど含む)と排水栓を閉めます。
16. 屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカを「OFF」にします。(排熱利用給湯暖房ユニットの電源が切れます)



警告

- やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。
給湯や暖房運転後、停電時などでも高温水が排水される場合があります。

お知らせ

- 給水元栓を閉めないで水抜きはできません。
台所リモコンの設定スイッチの「-」を押すと音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 停電時は5・6の操作を行った後、排水栓③を開け、過圧逃し弁④・すべての水抜き栓⑤～⑰を緩めてください。この作業で排熱利用給湯暖房ユニットすべての水は抜けません。凍結による破損を緩和させるための処置です。

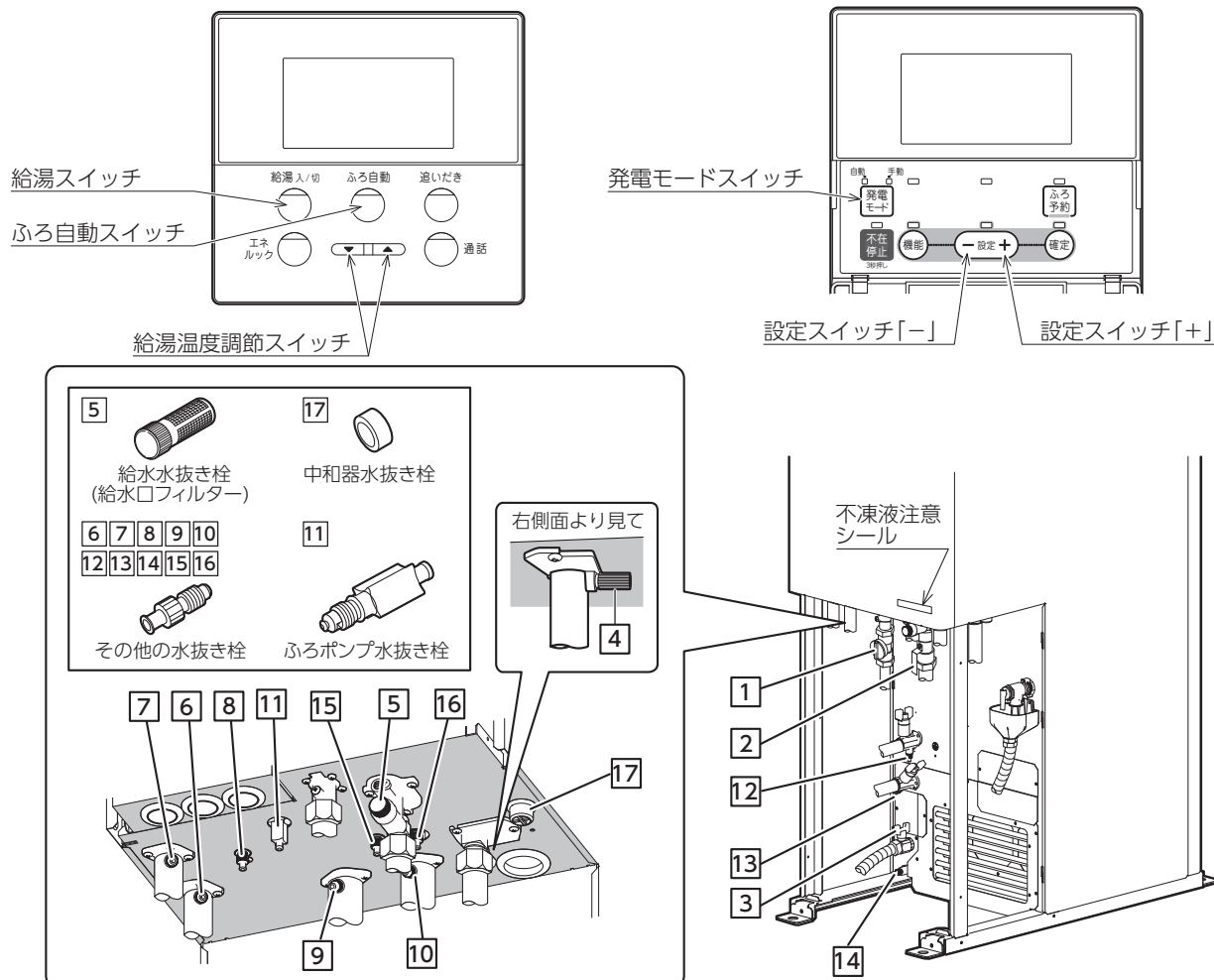
燃料電池発電ユニット

●燃料電池発電ユニットを再使用する場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスへご連絡ください。

排熱利用給湯暖房ユニット

再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)

- 水張り時には浴そうの循環アダプターから水が出ますので、浴そうの排水栓をはずしてください。
 - 「排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き」を行っていない場合にリモコンの表示画面に「260」を表示した場合は、原因(断水など)が直った後に5・6の操作を行ってください。
 - 水張り時間は約20分かかります。
 - 水張り中は他の運転操作をしないでください。
1. 配管カバーをはずして排水栓③・過圧逃し弁④・すべての水抜き栓⑤～⑰・すべての給湯栓(シャワーなどを含む)が閉まっていることを確認してください。 116ページ
 2. 屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカを「ON」にします。(排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入ります。)
 3. リモコンの表示画面に「260」が表示します。
 4. 給水元栓②を開けます。
 5. 台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。
表示画面に「00P」が点滅します。給水元栓②が充分開いていないと「00P」は点滅しません。
給湯スイッチが「入」、台所リモコンの「暖房」が表示中もこの操作は受け付けません。
すべての暖房端末機の運転を停止してください。
この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
 6. 「00P」が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
 7. 給湯栓を開け、水が出てくることを確認した後、給湯栓を閉めます。
 8. ガス栓①を開けます。
 9. 配管カバーを元通りに取付けます。
 10. 発電を再開する場合は発電モードスイッチを押します。 57ページ
ただし、自動電源切替器のブレーカを切った状態が24時間以上経過している場合は不要です。



その他の機能

災害時などにお湯を取出す方法

- 断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
ただし、停止の状態によってはお湯(水)が取り出せない場合があります。
- 燃料電池発電ユニットが自立運転を行っている場合は、運転を停止させる必要があります。
ただし、停電中に運転を停止させると停電が復旧するまで運転を再開することができません。

1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

◀ 49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

2 不在停止スイッチを約3秒間押す

不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。
発電はすぐに停止しません。

◀ 59ページ

停電時に自立運転を行っている場合はこの操作を行ってください。
緊急の場合はすぐに「3」以下を行ってください。

3 屋内分電盤の分岐ブレーカ(自動電源切替器用)を切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから抜いてください。

4 配管カバーをはずす

◀ 116ページ

5 給水元栓を閉める

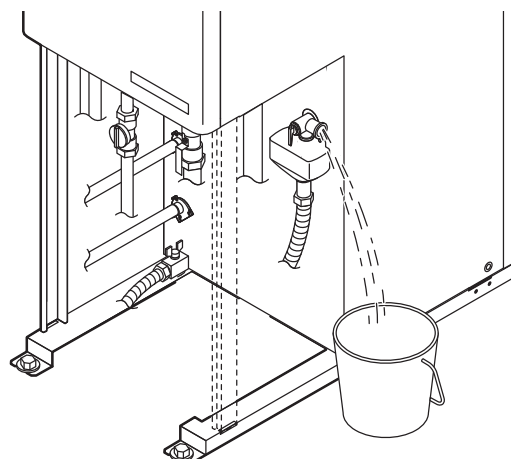
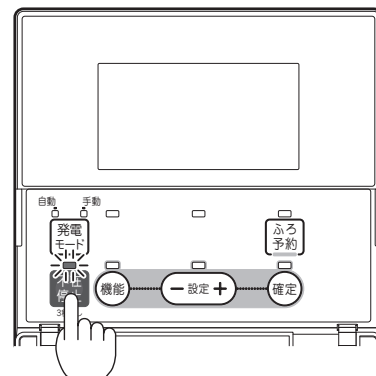
6 逃し弁の排水口を右に向ける

7 逃し弁のレバーを上げる

出てきたお湯(水)をバケツなどで受け、生活用水として使用してください。

初めに湯あかなどが出ることがありますので、少し捨ててから使用してください。

取水が終わったら逃し弁のレバーを下げてください。



配管カバーをはずしたイラストです。

再度使用するときは

- 「長期間使用しない場合」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。

◀ 123ページ

通電していない状態が24時間以上続いた場合は、「日付・現在時刻の設定」を行ってください。

また、暗証番号を入力する画面を表示した場合は暗証番号を入力してください。

◀ 30・31・62ページ

その後は通常通りに使用できます。



警告

- 取水中に熱湯が出ることがあり、やけどのおそれがあります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

■燃料電池発電ユニット

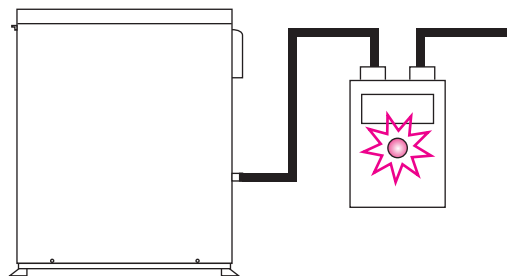
現 象	説 明
排気口から白煙が見える	●排気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
排気口から水が滴る	●排気に含まれる水分が凝縮し結露するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
連続的なうなり音がする	●機器内部の制御部品の運転音です。
連続的な機械音がする	●機器内部の制御部品の運転音です。
停止させたのに機械音が止まらない	●停止・冷却の過程でも制御部品が動作しています。また、換気のためファンも動作を継続しています。
発電していないのに機械音が聞こえるときがある	●排熱系の温度管理のために、制御部品が動作する音です。
27日に1度、停止する	●マイコンメータの誤検知防止のため、停止させています。
ドレンから水が排出される	●運転状況によって、微量の余剰水がドレンから排出されます。
給湯スイッチ「切」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	●「不在停止」を選択していない場合、発電・貯湯のため運転を継続しています。
操作していないのにリモコンの不在停止ランプが点灯している	●排熱利用給湯暖房ユニットを約48時間使用しなかった場合は、自動的に不在停止状態となります。
発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	●発電していなくても停止中の場合には、間欠的に運転ランプが点滅します。
発電していない	●過去のエネルギー使用実績から学習制御し、効率よく発電、停止を自動で行っています。ご家庭でのエネルギーの使用状況によっては、3日間ほど停止する場合があります。
自動電源切替器から動作音がする	●停電時に通常運転から自立運転に切り替わる際、または停電復旧時に自立運転から通常運転に切り替わる際に切替器の動作音がしますが、故障ではありません。

現 象
燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロや給湯、風呂、暖房が使用できない

●マイコンメータの保護装置が作動していませんか？

マイコンメータのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。

詳しくはマイコンメータの取扱説明書を参照してください。サービスを受けられるときは、担当のメンテナンス会社にガスメータ動作の状況を必ず連絡してください。



●リモコンの表示画面に何も表示されない

排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入っていることを確認してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■排熱利用給湯暖房ユニット

給湯(シャワー)・お風呂に関すること

現 象	説 明
初めて点火するとき、なかなか点火しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス配管内に空気が入っているためです。 ●給湯栓を閉め、再度開く操作を繰り返してください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 ●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。開けてください。 ●断水しているためです。 ●ガスメーターがガスを遮断しているためです。 ●給水水抜き栓の給水口フィルターにゴミなどがつまっているためです。  118ページ ●凍結しているためです。 ●給湯スイッチが「切」になっているためです。
お湯がぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ●先止め式の混合水栓の場合は、必ず逆止弁付のものを取付けてください。高圧力地域などで混合水栓の給水側から給湯側に逆流し、シャワーなど給湯使用時に快適性が確保できない場合があります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●排熱利用給湯暖房ユニットから給湯栓まで距離があり、配管内に水が残っているため多少時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開けて水と混ぜて使用してください。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていないためです。 ●給湯温度の設定が低いためです。 ●湯はり中断を「しない」にした場合、お湯はり中に給湯すると給湯温度はふろ温度になります。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作しているリモコンに「優先」を表示していない場合は調節できません。  35ページ
貯湯量表示が点灯しているのに、燃焼表示が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯量表示は約42℃以上のお湯の量を表示しています。 ●給湯設定温度によっては貯湯量表示が点灯していても、出湯すると補助熱源機が作動することがあります。
ふろ設定温度で設定した温度に沸き上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯はり中にふろ設定温度を低く設定すると、ふろ設定温度より高くなる場合があります。
ふろのお湯がぬるいまたはあつい	<ul style="list-style-type: none"> ●循環アダプターにゴミがつまっていたり、循環アダプターが確実に取付けられていないためです。
使用中に停電になり、再通電後もお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源が切れると、再通電後は自動的に点火しません。  34～48ページ 「給湯・ふろ運転」に従ってやり直してください。
出湯量・お湯はり量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯タンクのお湯がなくなったときに、暖房端末機の運転や追いだし運転などと同時に給湯を行うと出湯量が減少することがありますが、故障ではありません。
お湯はり量が多い	<ul style="list-style-type: none"> ●残り湯が設定水量付近にある状態でふろ自動運転を行うと、設定水位より多くお湯をはりをする場合があります。 ●循環アダプターにゴミがつまっているためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	<ul style="list-style-type: none"> ●他の給湯栓を同時に使用すると湯温が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。 ●水道の圧力や配管条件によっては出湯量が減る場合があります。 ●湯はり中断を「しない」にした場合、お湯はり中に出湯量が減る場合があります。
お湯はりの始めに水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●給水温度が高い場合やふろ設定温度を低くしている場合は、お湯はりの始めに水が出る場合があります。
お湯が白く見える	<ul style="list-style-type: none"> ●水中に溶けていた空気が分離して、細かい泡となり白く見えるためです。
運転時に点火・消火を繰り返すことがある	<ul style="list-style-type: none"> ●補助熱源機がお湯の温度を調節するために点火・消火を繰り返します。
追いだきができないまたは、追いだきが途中で停止する	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの循環口上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ●循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 ●断水時は追いだき運転できません。
ふろ運転するとき、浴そうの循環アダプターから泡が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●排熱利用給湯暖房ユニット内でお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。
断続的にたし湯運転する	<ul style="list-style-type: none"> ●たし湯中に給湯するとたし湯が中断されるためです。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。  44・45ページ
ふろ自動運転に通常より時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ●ふろ自動運転中に給湯するとお湯はりを一時中断するため時間がかかります。 また、お湯はりに使うお湯の一部を使うためお湯はりに時間がかかります。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。  44・45ページ
ふろ自動運転の途中でお湯はりが停止する 循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの残り湯を確認しているためです。 ●湯はり中断を「する」にすると、給湯中はお湯はりが中断します。

現 象	説 明
ふろアダプタから時々ポコポコと音がする	●気泡が抜けている音です。給湯および暖房使用中に発生することがありますが、異常ではありません。
ふろ自動運転や追いだきを始めると濁ったお湯が出る	●配管クリーンをしないと、配管内の残り湯が混入し濁ったお湯が出る場合があります。 ●特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。
追いだきができない	●浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(水)が入っていないためです。 ●循環アダプターにゴミがつまっているためです。
追いだき時間が長くなった	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯・暖房端末機の運転などと同時に追いだき運転を行うと追いだき時間が長くなる場合がありますが、故障ではありません。
ふろを使用していないのに循環アダプターから水が出る	●凍結予防のためにお湯を出しています。 ●配管クリーンを「する」にした場合は、配管内の水を排出するため水が出ます。
配管クリーンが作動しない	●配管クリーンの作動条件を満たしていないためです。 ●配管クリーンを「する」にしていないためです。 ●停電後は作動しません。

110・111ページ

暖房に関すること

現 象	説 明
暖房能力が低下した	●床暖房とその他の暖房端末機を同時に使用した場合に、暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。 ●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯や追いだき運転などと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。いずれかの運転を停止すると改善します。
床がなかなか暖まらない	●床材の種類・外気温度・住宅構造などによって、暖かくなるまでの時間が異なります。 (目安：1時間程度)
床や浴室がなかなか暖まらない 温度調節をしていないのに床暖房や浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化する	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、給湯や追いだき運転などと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがありますが、故障ではありません。いずれかの運転を停止すると改善します。
床の暖かさが場所によって異なる	●温水配管内に温水を循環させて床を暖めるしくみになっています。温水配管が通っているところと通っていないところでは、床の温度に若干の差が生じます。
床暖房の温度調節をしていないのに床の温度が下がる	●床暖房開始時は早く床を暖めるために高温の温水を流し、ある程度時間が経過すると、温水を一定の温度に下げます。故障ではありません。
床暖房中に音がする	●床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床材などが収縮や膨張する音、または温水の流れる音です。異常ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖かくなることがある	●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ヶ月に1回ポンプを自動的に回しています。このときに他の暖房端末機(浴室暖房など)を使用している場合は床の温度が一時的に少し上がる場合があります。
床の足ざわりが場所によって異なる	●温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
床に凹凸や段差がある	●温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合によっては目立つことがあります。
床の継ぎ目に隙間がある	●暖房すると床が乾燥して収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。
床が変色した	●床材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどで遮ってください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

排熱利用給湯暖房ユニット・リモコンに関すること

現 象	説 明
寒い日に排気部から湯気が出る	●排気ガスが水蒸気を多く含んでいて、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
給湯ランプが点灯しない	●停電しているためです。 ●漏電ブレーカが「切」になっているためです。 ●電源ブレーカを切っているためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示画面などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。リモコンの給湯スイッチを「切」にしても電子回路が作動していますので発熱があります。
時刻表示が「PM 0 : 00 (00 : 00)」で点滅している	●停電などで電源が切れた後(約 24 時間以上)は時刻を記憶していませんので、再度時刻を設定してください。  ●自立運転時に、自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超えた状態がしばらく続くと、時刻がクリアされることがあります。再度時刻を設定してください。 ●現在時刻を設定しないと自動モードやふろ自動運転の予約などができません。
リモコン表示が表示画面省エネモードにならない	●表示画面省エネモードの設定が正しく設定されていないためです。 ●給湯温度設定が55℃以上になっているためです。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが運転しているためです。(待機状態になっていません。)
リモコンのバックライトが暗い、または消灯している	●表示画面省エネモードになっているためです。
使用中に消火した	●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。開けてください。 ●断水しているためです。 ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 ●ガスメータがガスを遮断しているためです。
使用していないのにポンプまたは補助熱源機が作動(補助熱源機燃焼表示が点灯)する 使用していないのに排熱利用給湯暖房ユニットや配管から伝わり音がする	●ふろ自動運転の保温中や追いだし終了後にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。 ●ポンプの凍結を予防するために、外気温が約3℃になると凍結予防装置により、ポンプと補助熱源機が運転・停止を繰り返します。 ●一定期間お湯を使用しないと貯湯タンク内のお湯をあため直しします。そのとき補助熱源機が自動的に燃焼しているためです。 ●発電中は約4時間ごとに約60秒間補助熱源機が動作することがあります。発電に必要な動作で、故障ではありません。 ●ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを48時間に1回、約1秒間回しているためです。また給湯終了後は約5分間ポンプが動きます。 ●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ヶ月に1回自動的にポンプを回しているためです。
逃し弁から水が出る	●貯湯タンク内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。 ●運転中はポタポタと出ることがあります。
排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	●貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	●水中に溶けた微量の銅イオンが石けんや湯あかに含まれた脂肪分と反応して不溶性の生成物を生じ、青く見えることがありますが、健康上は支障ありません。浴そうや洗面台を中性洗剤で洗ってすすぎをよく行うことで発色しにくくなります。
運転を停止してもしばらくの間、排熱利用給湯暖房ユニットからファンの音がする	●燃焼室内の排気ガスを排出するためです。約5秒間で停止します。
給湯を止めた後しばらくポンプの音がする	●再出湯の待機をしています。約5分間で止まります。
リモコンの通話が途切れる	●マイクに水滴がつくと音が伝わらないことがあります。
自立運転中にリモコンの画面が表示しなくなった	●接続している電化製品の消費電力が発電量を超えている可能性があります。すみやかに接続した電化製品を取り外してください。取り外さない場合、電化製品の消費電力が発電量を超えた状態が続いたときに発電を停止します。停止すると停電中は再び発電を行うことができませんので、ご注意ください。  ●燃料電池発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は「故障表示」に従って処置を行ってください。 
自立運転中に暗証番号入力画面になった	●自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超えた状態がしばらく続くと、暗証番号がクリアされることがありますので、暗証番号の入力を行ってください。その後、時刻の設定を行ってください。  ●暗証番号が入力されていないと停電が復旧した後に発電が停止します。(停電中は発電(自立運転)を継続します)

発電に関すること

現 象	説 明
貯湯タンクにお湯がたまらない、または少ない	●暖房の使用状況によっては、排熱が暖房に利用される量が多いため、貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。 ●電気やお湯の使用量が日々大きく異なる場合など、使用状況によって貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。

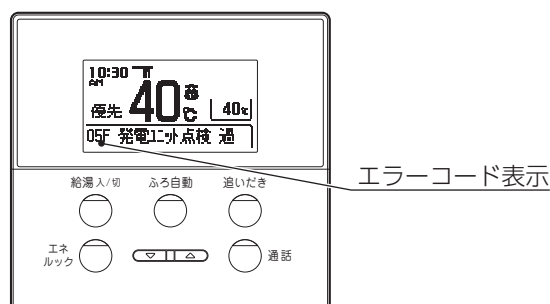
エネルギーに関すること

現 象		説 明
エネルギーモニター	電気使用量が燃料電池発電ユニットの定格発電量以下であっても購入電気が発生する	●電気量調整のために少量の購入電気が発生することがあります。
	太陽光発電に関する表示が消えた	●停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示なくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示するようになります。
金額表示	金額表示が出ない	●エネルギー金額表示の設定が「しない」になっています。設定を変更して「する」にしてください。 <div>84・85ページ</div>
	表示された量と金額の計算が合わない	●金額を計算するときに、基にする量は表示桁数以上の細かい数値で精度よく行っています。そのため、掛算した数字と異なる場合があります。
量と金額	エネルギーの表示量・金額が請求書と合わない	●エネルギーの量や金額は目安です。標準仕様では、ガス量は燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニットで消費した量、水は排熱利用給湯暖房ユニットで使用した量を表示しています。また、金額は基本料金や使用量に応じた料金に対応していません。ご家庭で支払われる使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示される金額で請求されることはありません。
月積算値	今月の積算値が先月に切替わる時に数字が変化する	●今月のデータを先月に切替える際、内部処理するためにわずかな差を生じることがあります。
光熱費金額	目標に対して実績が異常に少ない金額になる	●太陽光発電システムとマルチ計測ユニットをご利用の場合は、販売電気量を光熱費から差し引きますので少ない値になります。計算上、マイナスになる場合は0円を表示します。
水道使用量	実際の水道使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、少ない	●パルス機能付水道メーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。担当のメンテナンス会社にお問合せください。長期ご利用後の変化の場合は、パルス機能付水道メーターのパルス出力が粗くなっている可能性があります。改善するにはメーター交換が必要となります。水道メーターを設置した会社にお問合せください。
ガス使用量	実際のガス使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、少ない	●パルス機能付ガスメーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。販売店またはもよりの大阪ガスにお問合せください。

故障・異常の見分けかたと処置方法


故障表示

- 台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に故障・異常箇所を表示します。

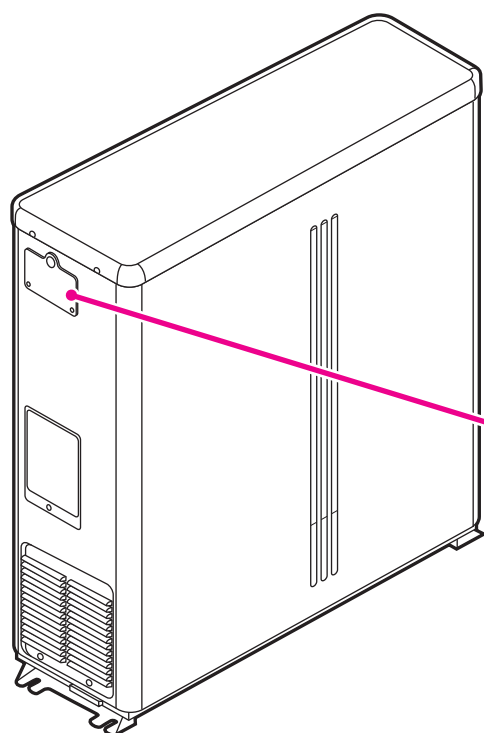


■燃料電池発電ユニット

- リモコンの表示画面に「* * F」(* * は数字またはアルファベットが表示されます)のエラーコードが表示されます。
- 「76F」「A0F」が表示された場合は、以下の確認と処置をしてください。

エラー表示	確認	処置
76F(*) (ユニット間 通信異常)	<ul style="list-style-type: none">●燃料電池発電ユニットの本体主回路漏電ブレーカが「入」になっているか確認してください。●ガス漏れがないことを確認し、異常がある場合はガスの元栓を閉じてください。	<ul style="list-style-type: none">●ブレーカの漏電表示が出ていた場合は、担当のメンテナンス会社に連絡してください。
A0F (燃料供給圧低)	<ul style="list-style-type: none">●ガスの元栓が閉まっていないか確認してください。●ガスメーターがガスを遮断していないか確認してください。	<ul style="list-style-type: none">●ガスが流れていることが確認できたら、リセットしてください。  132ページ●異常が回復しない場合は、担当のメンテナンス会社または大阪ガスに連絡してください。

※「76F」ではなく「769 (燃料電池発電ユニット通信異常)」が表示された場合も同じです。



半透明カバーの中

主回路漏電ブレーカ



注意

カバーは開けずに外から
目視してください。

漏電時突出部

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
燃料電池発電ユニットに関するエラーコードの種類は、次のページを参照してください。
- 自立運転中に停止した場合は電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。(エラーコードは表示されません。)

燃料電池発電ユニットに関すること

エラー表示	故 障 内 容
(05F)※	メンテナンス時間経過
10F	可燃ガス検知
11F	改質器バーナ点火失敗
12F	改質器バーナ失火
15F	起動異常
(18F)※	メンテナンス時間経過(警報)
20F	換気フローズスイッチ低
30F	改質器温度異常
33F	脱硫器温度異常
35F	CO 変成器 1 温度異常
36F	CO 変成器 2 温度異常
37F	CO 除去器温度異常
38F	蒸気発生器温度異常
39F	燃料予熱器温度異常
42F	電池冷却水温度異常
43F	アノード入口温度異常
44F	パッケージ温度異常
45F	排熱回収水温度異常
47F	燃料予熱器温度低
48F	水処理装置温度異常
50F	原燃料流量センサ異常
51F	CO 除去空気流量センサ異常
52F	改質器バーナ空気流量センサ異常
53F	カソード空気流量センサ異常
55F	可燃性ガスセンサ異常
56F	改質器入口圧力センサ異常
57F	燃料ガス圧力センサ異常
59F	ヒータ加熱系センサ異常
60F	原燃料ガスブロー異常
61F	改質器バーナ空気ブロー異常
67F	改質水ポンプ異常
68F	原燃料入口電磁弁異常
69F	ヒータ系過熱異常
76F	ユニット間通信異常

エラー表示	故 障 内 容
77F	制御装置異常
80F	脱硫器温度センサ異常
81F	燃料予熱器温度センサ異常
82F	燃料器温度センサ異常
83F	改質器触媒温度センサ異常
84F	CO 変成器 1 温度センサ異常
85F	CO 変成器 2 温度センサ異常
86F	CO 除去器温度センサ異常
87F	蒸気発生器温度センサ異常
88F	電池冷却水温度センサ異常
89F	水処理装置温度センサ異常
90F	11F → 原燃料供給系異常
91F	C0F → 原燃料供給系異常
92F	バーナ空気供給系異常
93F	C0F → カソード空気供給系異常
94F	C0F → CO 除去空気供給系異常
95F	蒸気供給系異常
A0F	燃料供給圧低
A1F	改質系圧力高
A2F	改質器保圧異常
A4F	S / C 低
B0F	排熱回収温度センサ異常
B1F	アノード入口温度センサ異常
B3F	11F → 燃料改質装置ヒータ異常
B4F	59F → 燃料改質装置ヒータ異常
B5F	69F → 燃料改質装置ヒータ異常
C0F	電池電圧低
C4F	電池電流低
C5F	電池電圧低時間超過
C6F	インバータ異常
E0F	商用電流検出異常
E9F	余剰電力ヒータ異常
F9F	逆流検出

※リモコンには以下のように表示されます。

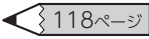
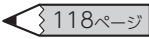
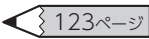

(05F)：「発電ユニット点検 過」



(18F)：「発電ユニット点検 近」、「発電ユニット点検 要」

故障・異常の見分けかたと処置方法

■排熱利用給湯暖房ユニット


- リモコンの表示画面に3ケタの数字でエラーコードを表示します。
- エラーコードが表示されたときは、下表の確認・処置を行ってください。
また、リモコンに処置方法を表示した場合はそれに従ってください。
- リセット(警報解除)の方法…リモコンの給湯スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。
表示によってはリセットしても直らない場合があります。
直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

表示	内 容	確 認・処 置
—	リモコンの表示画面に何も表示しない	電源ブレーカは「ON」になっていますか。
002	残り湯検知異常	浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。 〔設置後最初に行うふろ自動運転は、浴そうにお湯(水)がない状態で行ってください。〕
011	給湯／お湯はり時間超過	約1時間半連続して給湯・お湯はりを行いませんでしたか。 給湯・お湯はり中に補助熱源機が約1時間連続して燃焼しませんでしたか。 確認後リセットしてください。
012	ふろ追いだき時間超過	リセットしてください。
032	ふろ排水栓抜け検知	浴そうの排水栓を閉めていますか。 循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  お湯はり中または、追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだき運転できません。
043	暖房水湯水検知(自動試運転時)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
100	補助熱源機燃焼異常(排気閉塞警告)	
111	点火不良(給湯／お湯はり時)	ガス栓は充分開いていますか。 マイコンメータがガスを遮断していないか確認してください。 リセットしてください。
112	点火不良(追いだき時)	
113	点火不良(暖房時)	
121	立消え安全装置作動(給湯／お湯はり時)	
122	立消え安全装置作動(追いだき時)	
123	立消え安全装置作動(暖房時)	
141	残火安全装置作動(給湯／お湯はり時)	リセットしてください。
142	残火安全装置作動(追いだき時)	
143	残火安全装置作動(暖房時)	
159	排熱回路温度異常	
161	給湯温度高温異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
173	暖房回路漏水検知(少量)	
180	200V誤配線	
193	E-CON地絡	リセットしてください。
252	ふろ水流スイッチ異常 (お湯はり／追いだき時)	循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。 また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。 
260	断水検知(圧力スイッチ作動)	<p>給水元栓が閉まっていませんか。 断水していませんか。 リモコンの表示に従って復旧してください。 再度「260」を表示した場合は、「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」4～7に従って水張りを行ってください。 </p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リモコン表示画面 260 台所リモコンの 給湯スイッチを切にして 設定スイッチを約3秒間 押してください → </div> <div style="margin: 0 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リモコン表示画面 水張り運転(OOP表示)を 開始しない場合は 断水していないか 確認してください </div> </div>

表示	内 容	確 認・処 置
290	中和器異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
300	外気温サーミスタ異常	リセットしてください。
309	排熱戻サーミスタ異常	
310	補助熱源機入サーミスタ異常	
311	給水サーミスタ異常	
312	ふろ戻サーミスタ異常	
313	暖房戻サーミスタ異常	
319	貯湯1サーミスタ異常	
320	BU出サーミスタ異常	
321	給湯サーミスタ異常	
322	ふろ往サーミスタ異常	
323	暖房往サーミスタ異常	
329	貯湯2サーミスタ異常	
332	お湯はり温度差異常	
339	貯湯3サーミスタ異常	
342	ふろ往戻温度差異常	
349	貯湯4サーミスタ異常	
359	排熱往サーミスタ異常	
369	ラジエータ入サーミスタ異常	
411	給水水量センサー異常	
412	お湯はり水量センサー異常	
419	循環回路異常(BU水量センサー)	
430	水位電極異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
432	水位センサー異常	
433	暖房水位電極異常	
510	元ガス電磁弁異常	
511	給湯ガス電磁弁異常(給湯/お湯はり時)	
512	給湯ガス電磁弁異常(追いだき時)	
513	給湯ガス電磁弁異常(暖房時)	リセットしてください。
543	暖房回路漏水検知(多量)	
560	お湯はり弁異常	浴そうの排水栓を閉めていますか。 循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  118ページ
562	お湯はり異常	
572	お湯はり高温異常	リセットしてください。
579	タンクリフレッシュ運転異常(開始30分後)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
589	タンクリフレッシュ運転異常(開始3時間後)	
593	暖房熱交換器漏水検知	
611	送風機異常(給湯/お湯はり時)	リセットしてください。
612	送風機異常(追いだき時)	
613	送風機異常(暖房時)	
632	ふろ循環異常	循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないか確認してください。  118ページ また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。
642	ふろポンプ異常	リセットしてください。
643	暖房ポンプ異常	

故障・異常の見分けかたと処置方法

表示	内 容	確 認・処 置
651	湯比例弁異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
659	循環比例弁異常	
660	循環ポンプ異常	リセットしてください。
661	水比例弁異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
681	タンク閉止三方弁異常	リセットしてください。
691	貯湯三方弁異常	
700	制御基板異常	
710		
721	擬似炎検知(給湯 / お湯はり時)	
722	擬似炎検知(追いだき時)	
723	擬似炎検知(暖房時)	
730	制御基板設定不良	
731	制御基板異常	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
733		
740	台所リモコン通信異常(通信異常最大5分連続)	電源ブレーカを「OFF」→「ON」してください。
750	浴室リモコン通信異常(通信異常最大5分連続)	
760	リモコン通信異常(通信異常最大5分連続)	
763	インテリジェント通信異常 (暖房端末機通信異常 90 秒連続)	
769	燃料電池発電ユニット通信異常	
920	中和器寿命(警告表示)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
930	中和器寿命(機能停止)	
969	空気抜き異常(給湯回路の水張り異常)	リセットしてください。
990	補助熱源機燃焼異常(排気閉塞警報)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
末尾がF	燃料電池発電ユニット故障	燃料電池発電ユニットの項を参照してください。

 130ページ

130ページ

※ 自立運転中に「769」が発生した場合、燃料電池発電ユニットは停止します。

運転動作モード一覧表

●台所リモコンと浴室リモコンの表示画面に運転動作を示す表示が出ることがあります。

表示	内 容	確 認・処 置
00d	給湯回路水抜き中	運転動作を表示しています。 異常ではありません。
00P	給湯回路水張り中	

安全装置

安全装置	は た ら き
立 消 え 安 全 装 置	●使用中にバーナーの炎が消えた場合に自動的にガスを停止します。
残 火 安 全 装 置	●空だきなどにより熱交換器内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
空 だ き 防 止 装 置	●給湯回路に一定量の水が流れないと補助熱源機が燃焼しません。 ふろの循環を検知しないと追いかきません。 ●暖房水タンクに一定量の水または不凍液が入っていないと暖房運転しません。
停 電 安 全 装 置	●使用中に停電した場合に自動的にガスを停止します。 再通電後は自動的に点火しません。
補助熱源機過熱防止装置 (温度ヒューズ)	●排熱利用給湯暖房ユニット内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
過 電 流 防 止 装 置	●万一内部や送風機の配線のショートなどで過電流が流れたときにヒューズが切れて停止します。
過 圧 防 止 安 全 装 置	●熱交換器や貯湯タンク内の圧力が上昇した場合に圧力を逃がします。
ファン回転検出装置	●送風機の回転数が一定数以外の場合に補助熱源機を停止します。
漏 電 安 全 装 置	●万一漏電したときに作動して自動的に運転を停止します。
沸 騰 防 止 装 置	●高温のお湯が排熱利用給湯暖房ユニットに給水された場合に補助熱源機を燃焼しないようにします。
負 圧 防 止 安 全 装 置	●断水したときに自動的に運転を停止します。 ●貯湯タンクが負圧になることを防ぎます。
高 温 出 湯 回 避 装 置	●給湯温度が設定温度より高温の場合に高温で給湯しないように水を混ぜます。 ●停電中または運転していないときに高温で給湯しないように水を混ぜます。
凍 結 予 防 装 置	●ポンプが排熱利用給湯暖房ユニット内の水を循環させ、給湯・ふろ・暖房回路および配管の凍結を予防します。

運転中に誤動作したときは

●万一運転中に雷や自動車無線などで誤動作したり、動かなくなったりしたときは電源ブレーカを「OFF」し数秒後に再度「ON」します。再度運転して異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

故障かな？

異常時の処置方法

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。

なお、この処置を行った場合は燃料電池発電ユニットおよび排熱利用給湯暖房ユニットは使用できません。

ガス漏れの場合は絶対に火をつけたり、ブレーカの「入・切」、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 換気をする

ガス漏れの場合はすぐに使用を中止して、換気してください。ただし、換気扇は回さないでください。十分に換気してから「2」以下を行ってください。

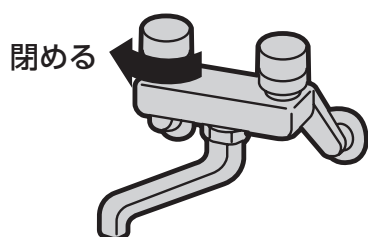
2 暖房末端機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

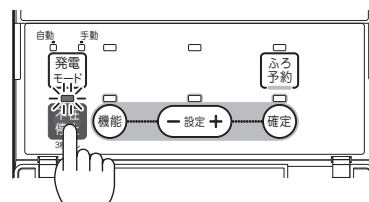
49・50・55・56ページ

台所リモコンで操作できない暖房末端機は暖房末端機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

3 給湯栓を閉める



4 不在停止スイッチを約3秒間押す 〔ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)〕



台所リモコンの不在停止スイッチを約3秒間押してください。不在停止ランプが点灯し、ガス発電・給湯暖房機が停止します。

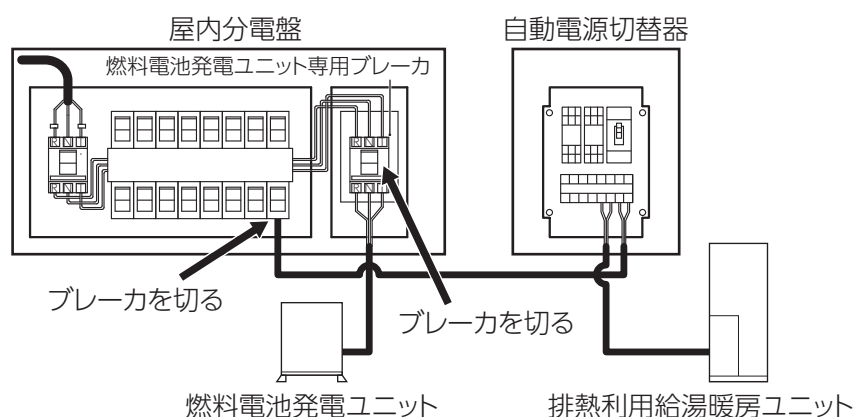
発電はすぐに停止しません。

緊急の場合はすぐに「5」以下を行ってください。

59ページ

5 ブレーカを切る

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから行ってください。



6 ガス栓や給水元栓を閉める



7 担当のメンテナンス会社に連絡する

■燃料電池発電ユニット

項	目	記 入 内 容
品	名	(P)191-TB03 (燃料電池発電ユニット)
型	式	TM1-AD-LP (LP ガス)
設	置	屋外式据置形・壁面近接設置形
ガ	ス	LP ガス
電	気	単相三線式 AC 100V/200V 60Hz
外	形	高さ 1,000mm 幅 780mm 奥行 300mm (高さは脚を含む)
重	量	94kg (満水時 100kg)
消	費	1.1kW (起動時)
電	力	0.25kW (待機時凍結防止運転時)
ガ	ス	2.2kW (定格運転時)
定	格	700W
最	低	250W
発	電	37.5% (LP ガス) ※1
総	合	93% (LP ガス) ※1
騒	音	38dB (A) 以下 (無響室内、全面 1m)
起	動	約 50 分 (発電まで)
運	転	全自動
系	統	逆潮なし系統連系ガイドライン準拠 (無償逆潮なし)
自 立 運 転 機 能	電	単相二線 AC100V 60Hz
	最 大 出 力	350VA
接続排熱利用給湯暖房ユニット品名		136-CF02

※1 低位発熱量基準 (LHV) による。

■排熱利用給湯暖房ユニット

項 目		記 入 内 容
名 称	品 名	136-CF02 (排熱利用給湯暖房ユニット)
	型 式 名	FCG-202-DR
	設 置 方 式	屋外式据置形・壁面近接設置形
	給 排 気 方 式	強制排気式
	外 形 寸 法	高さ 1,760mm 幅 750mm 奥行 440mm
	重 量	100kg (満水時約 304kg)
	接 続	ガ ス R1/2 (15A)
		給 水 R3/4 (20A)
		給 湯 R3/4 (20A)
		ふ ろ (往・戻) QF16 ジョイント
		暖 房 (往・戻) QF16 ジョイント
		排 熱 (高・低) R1/2 (15A)
		排 水 R1/2 (15A)
		オ ー バ ー フ ロ ー R1/2 (15A)
		電 源 AC100V 60Hz
		信 号 線 2 芯
	消費電力	最 大 時 239W (給湯+ふろ+暖房)
		凍 結 予 防 ヒ ー タ ー 124W
		待 機 時 給湯スイッチ「切」: 3W 給湯スイッチ「入」: 5W (台所・浴室リモコン取付時)
運 転 制 御 仕 様	点 火 方 式	連続スパーク点火式
	給湯・お湯はり	能 力 システム給湯能力: 1.22~41.9kW (0.7~24号) 補助熱源機能力: 4.36~41.9kW (2.5~24号)
		給 湯 時 最 大 出 湯 量 24L/min (貯湯タンク含む)
		最 低 作 動 流 量 ON: 2.7L/min OFF: 1.5L/min
		最 低 作 動 水 圧 9.8kPa (0.1kgf/cm ²)
		減 圧 弁 圧 力 370kPa (3.78kgf/cm ²)
	追 っ だ き	能 力 12.0kW (10,300kcal/h)
		方 式 強制循環式
安 全 装 置	暖 房	能 力 17.4kW (15,000kcal/h) [75℃時]
	立消え安全装置・残火安全装置・空だき防止装置・停電安全装置 補助熱源機過熱防止装置 (温度ヒューズ)・過電流防止装置・過圧防止安全装置 ファン回転検出装置・漏電安全装置・沸騰防止装置・負圧防止安全装置 高温出湯回避装置・凍結予防装置	
付 属 品		コネクタ (コード) 一式

接続燃料電池発電ユニット品名	(P)191-TB03
----------------	-------------

使 用 ガ ス	LP ガス	
ガ ス 消 費 量	最大	最小 (参考値)
	44.1kW (3.15kg/h)	4.5kW (0.32kg/h)

※ガス消費量は補助熱源機の消費量です。

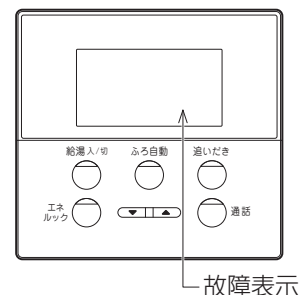
アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に125～135ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………(P)191-TB03型〔燃料電池発電ユニット〕／
136-CF02型〔排熱利用給湯暖房ユニット〕
2. 型 式 名……………TM1-AD-LP (LP ガス)〔燃料電池発電ユニット〕／
FCG-202-DR〔排熱利用給湯暖房ユニット〕
3. ガ ス 種……………LP ガス
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況……………できるだけ詳しく(故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日



保証について

- この機器には保証書がついています。
必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などが記入されていることを確認してください。
- 保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

転居または機器を移設・廃棄するとき

- 転居するときは担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- 移設・廃棄するときはお客さま自身で行わず、担当のメンテナンス会社または大阪ガスにご相談ください。
- 移設先のガス種によっては使用できない場合があります。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

危険



ガスくさいときは、ガス栓を閉め
窓を全開にして(火気に注意して)
大阪ガスにご連絡ください。